

【公開版】

日本原燃株式会社	
資料番号	共通 09 R6
提出年月日	令和 3 年 8 月 1 8 日

## 設工認に係る補足説明資料

### 申請対象設備の選定

#### 【R6 改正内容】

- 「申請対象設備の抽出結果」(別紙 1 - 1)
  - ・ 火防 00 別紙 2 の項目番号の変更に伴う基本設計方針紐づけ番号を修正
  - ・ 分割申請計画の見直しに伴う申請回の修正
  - ・ 火災防護設備と火災防護設備以外に資料を分割
- 「申請対象設備の抽出結果」(別紙 1 - 2)
  - ・ 抽出作業結果の拡充, 記載の修正  
(グローブボックス消火装置, 窒素消火装置, 二酸化炭素消火装置)

## 目 次

1. 概要	1
2. 設工認申請対象設備の選定	1
3. まとめ	3

## 1. 概要

再処理施設、MOX燃料加工施設に関する「共通06：本文（基本設計方針、仕様表等）、添付書類（計算書、説明書）、添付図面で記載すべき事項」に示す設工認申請対象設備の選定の基本的な考え方にに基づき実施する選定作業について補足説明するものである。

## 2. 設工認申請対象設備の選定

### (1) 設工認申請対象設備の選定の考え方

- a. 設工認申請の対象となる設備は、基本設計方針の要求種別を踏まえ、事業変更許可申請書で担保した事項を実現するための設備（許可整合）、および、技術基準の要求事項を満足するための設備（技術基準適合）を選定する。
- b. 基本設計方針の要求種別が機能要求②に関係する設備は、仕様表対象設備となり、それらには機器単体で技術基準への適合や基本設計を達成するものと、系統として技術基準への適合や基本設計を達成するものがあることから、系統として安全機能（設計要件）を達成するものに対して、設備構成情報等を示す設計図書に対する色塗りにより安全機能に関係する対象範囲や対象機器を抽出する。
- c. 機能要求②に該当する項目に関係する設備を基本設計方針の項目と併せてリスト化するとともに、その中で系統として安全機能（設計要件）を達成するものを明確化し、その対象設備と設計情報（設備構成情報等を示す設計図書）及び色塗り結果とを紐づけすることにより、対象範囲や対象機器の抽出を抜けなく行う。
- d. 設置要求、機能要求①のように機器単体の機能、性能を達成するものについては、機器リスト等の設計図書等を用いて対象設備をリストに纏める。また、基本設計方針の項目ごとの要求種別および該当する対象設備の整理結果については『共通06を受けた個別条文での対応 別紙—2「基本設計方針の申請書単位での展開表」』へ反映する。
- e. しゅん工または試験運転中の再処理施設、廃棄物管理施設については、今回の設工認における変更事項を申請対象とするため、「共通02 事業変更許可申請書で新規制基準を受けて追加等した項目の明確化」、「共通03（技術基準規則）新規制基準を受けて追加等された要求事項及び変更等した項目の明確化」で変更ありとした事項と基本設計方針との紐づけにより変更となる基本設計方針の機能要求②を抽出することにより、変更申請で明確にすべき仕様表対象となる機器等を抽出する。既設工認から変更のない仕様表対象設備については、適正化を行う必要性を評価した上で、抽出作業を実施する。
- f. なお、試験運転中の再処理施設については、新規制基準を受けて新たに追加する機器以外は、設工認の認可を得ており、上述の安全機能（設計要件）との関係を踏まえると必須ではない機器等も系統説明図において基本設計方針対象設備として申請対象となっている。このため、検査対象機器の範囲を明確化することを目的として、改めてこの関係性について既工認の系統説明図等を含めて設工認申請対象と

なる設備等の抽出を行う。

## (2) 申請対象設備の具体的な抽出手順

申請対象設備の抽出については、以下の手順で行う。

### a. 設備の分類

- (a) 基本設計方針で整理した主要な設備と要求種別（機能要求②）について「系統として機能、性能を達成するもの（例：プール水冷却／換気／圧縮空気等）」と「機器単体で機能、性能を達成するもの（例：電気盤／計器／放管モニター等）」に分類する。
- (b) この際、基本設計方針と要求種別、対象設備と併せて、基本設計方針の項目ごとに技術基準の条項と紐づけを行い、色塗りを行う系統との関係を明確にする。

### b. 色塗りによる設備の抽出

- (a) 系統として機能、性能を達成するものは、要求される機能、性能を達成するために必要となる主要機器、配管等を主流路として設定し、系統図（設計図書等）に主流路上の機器、配管等の色塗り等を行う。なお、テストライン、バイパスライン、ベント・ドレンライン等は主流路の対象としない。
- (b) 系統として機能、性能を達成するものを抽出する際は、要求される機能、性能を達成するために必要な関連設備（電気設備、計装設備等）も合わせて抽出作業を行う。
- (c) 主配管、ダクトは、用途（機能）、使用範囲等を明確にするため、設計基準対象施設のみ境界、重大事故等対処設備のみ境界、兼用設備の境界等がわかるように色塗り等を行う。
- (d) 機器単体で機能、性能を達成するものについては、機器リスト（設計図書等）に色塗り等を行う。
- (e) 色塗り等を行ったエビデンス設計図書等（色塗り系統図等）を取り纏め、設備ごとの事業変更許可及び技術基準規則との関係、既設工認可からの変更等を整理表等で整理し、選定ガイドに沿って抜け漏れなく抽出できていることを確認する。

### c. 抽出結果の設備リストへの反映

- (a) 抽出した対象設備はリスト化する。
- (b) 抽出した機器等をリストに反映する際には配管やダクト、設備一式を設置するもの、インターロック等は以下に示すとおり記載する。
  - イ) 配管及びダクトは説明対象となる技術基準適合性の項目が同じものは from-to で分解せず、「主配管 一式」として記載する。
  - ロ) 設備一式を設置することで適合性を示すものも「〇〇設備 一式」として記載する。

ハ) 計装設備のインターロックは、作動させる検出端となる計器と機器の停止等の動作に係るインターロック（停止回路等）の各々について仕様表を作成するため、計器とインターロックはリスト上分けて記載し、インターロック側で検出端となる計器との紐づけが分かるように記載する。

（例：温度高により加熱蒸気を停止するインターロック（〇〇蒸発缶温度））

(c) なお、設計進捗等によりリストの変更が必要になった場合は、リストの見直しを実施する。

### (3) 申請対象設備選定の結果

『共通 06 を受けた個別条文での対応 別紙－2「基本設計方針の申請書単位での展開表」』からの申請対象設備選定結果を別紙－1 に示す。

## 3. まとめ

各条文の『共通 06 を受けた個別条文での対応 別紙－2「基本設計方針の申請書単位での展開表」』に係る作業結果を踏まえ、適宜、申請対象設備リストの見直しを行い、以下の共通資料へ反映する。

- (1) 申請対象設備の抽出結果を「共通 0 4 分割申請における考え方」へ反映する。
- (2) 申請対象設備の抽出結果を設備リストにて整理し、「共通 0 5 工事工程等を踏まえた分割申請計画（分割申請数、申請予定時期、分割の理由）」へ反映する。

以 上

# 別紙

共通 09 【申請対象設備の選定】

別紙				備考
資料 No.	名称	提出日	Rev	
別紙 1-1	申請対象設備の抽出作業結果（再処理） 11 条：火災等による損傷の防止 35 条：火災等による損傷の防止	<u>08/18</u>	<u>1</u>	
別紙 1-2	申請対象設備の抽出作業結果（MOX） 11 条：火災等による損傷の防止 29 条：火災等による損傷の防止	<u>08/18</u>	<u>1</u>	

## 別紙 1-1

申請対象設備の抽出作業結果（再処理）

11 条：火災等による損傷の防止

35 条：火災等による損傷の防止



1. 申請対象設備リスト (火災防護設備)
2. 申請対象設備抽出結果 (消火用水供給設備)
3. 申請対象設備抽出結果 (不活性ガス消火設備)
4. 申請対象設備抽出結果 (ハロゲン化物消火設備)
5. 申請対象設備抽出結果 (火災影響軽減設備)
6. 申請対象設備リスト (火災防護設備以外)
7. 申請対象設備抽出結果 (火災発生防止；化学的制限値)
8. 申請対象設備抽出結果 (火災発生防止；有機溶媒火災対策)
9. 申請対象設備抽出結果 (火災発生防止；熱的制限値)
10. 申請対象設備抽出結果 (火災発生防止；水素ガス対策)
11. 申請対象設備抽出結果 (安全圧縮空気系)

申請対象設備リスト

(火災防護設備)

11 条：火災等による損傷の防止

35 条：火災等による損傷の防止

申請対象設備リスト (火災防護設備)

「番号」については、他条文等の整理を踏まえ、申請対象設備リスト完本時に通し番号を設定することとする。

精査中

精査中

番号	施設区分	設備	設備又は系	系	機器名称	機種	基本設計方針 (機能要求②) 紐付け番号	エビデンス 紐付け番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用	備考	
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	-	-	ろ過水貯槽	容器 (環状型・円筒型・板状型・角柱型)	11条/35条-97 11条/35条-98 11条/35条-99	機-07-01	G6周辺	1	①-1	既設	非安重	-	主：給水処理設備 従：火災防護設備	E, MOX (再処理主)	
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	-	-	消火用水貯槽	容器 (ライニング型)	11条/35条-97 11条/35条-98 11条/35条-99	機-07-02	GC	1	①-1	既設	非安重	-	-	E, MOX (再処理主)	
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	-	-	電動機駆動消火ポンプ	ポンプ	11条/35条-97 11条/35条-99	機-07-03	GC	1	①-1	既設	非安重	-	-	E, MOX (再処理主)	
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	-	-	ディーゼル駆動消火ポンプ	ポンプ	11条/35条-97 11条/35条-99	機-07-04	GC	1	①-1	既設	非安重	-	-	E, MOX (再処理主)	
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	-	-	主配管 (ろ過水貯槽側)	主配管	11条/35条-97 11条/35条-99	配-07-01	G6/AT	一式	①-1	既設/改造	非安重	-	-	E, MOX (再処理主)	配管名称細分化中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	-	-	主配管 (消火栓設備への供給配管側)	主配管	11条/35条-97 11条/35条-99	配-07-02	GC/GE/AE/ GB/FC/ FB/FA/EA/ AA/KA/ GA/AG/AB/ AC/AH/ AK/DB/DA/ AD/BA/ CA/CB/DC	一式	①-1 ②-2	既設/改造	非安重	-	-	E, MOX (再処理主)	配管名称細分化中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	-	-	消火水槽 (緊急時対策建屋用)	容器 (ライニング型)	11条/35条-97 11条/35条-98 11条/35条-99	機-12-01	AZ	1	②-4	新設	非安重	-	-	MOX (再処理主)	
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	-	-	消火ポンプ (緊急時対策建屋用)	ポンプ	11条/35条-97 11条/35条-99	機-12-02	AZ	2	②-4	新設	非安重	-	-	MOX (再処理主)	
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	-	-	主配管 (消火ポンプ出口配管ヘッダ)	主配管	11条/35条-97 11条/35条-99	配-12-01	AZ	一式	②-4	新設	非安重	-	-	MOX (再処理主)	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	-	-	二酸化炭素ポンベ (二酸化炭素消火設備 (全域用))	容器 (環状型・円筒型・板状型・角柱型)	11条/35条-97		FA	一式	①-3	改造	非安重	-	-	-	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	-	-	主配管 (各部屋入口まで)	主配管	11条/35条-97		FA	一式	①-3	改造	非安重	-	-	-	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	-	-	二酸化炭素ポンベ (二酸化炭素消火設備 (全域用))	容器 (環状型・円筒型・板状型・角柱型)	11条/35条-97		GA	一式	②-4	既設	非安重	-	-	-	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	-	-	主配管 (各部屋入口まで)	主配管	11条/35条-97		GA	一式	②-4	既設	非安重	-	-	-	詳細設計中

申請対象設備リスト（火災防護設備）

番号	施設区分	設備	設備又は系	系	機器名称	機種	基本設計方針 (機能要求②) 紐付け番号	エビデンス 紐付け番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用	備考	
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	-	-	ハロゲン化物ボンベ (ハロゲン化物消火設備 (全域用: ハロン1301))	容器 (環状型・円筒型・板状型・角柱型)	11条/35条-97 11条/35条-131		FA	一式	①-3	新設	非安重	-	-	-	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	-	-	主配管 (各部屋入口まで)	主配管	11条/35条-97 11条/35条-131		FA	一式	①-3	新設	非安重	-	-	-	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	-	-	ハロゲン化物ボンベ (ハロゲン化物消火設備 (全域用: ハロン1301))	容器 (環状型・円筒型・板状型・角柱型)	11条/35条-97 11条/35条-128 11条/35条-129 11条/35条-131		AG, GA	一式	②-4	新設	非安重	-	-	-	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	-	-	主配管 (各部屋入口まで)	主配管	11条/35条-97 11条/35条-128 11条/35条-129 11条/35条-131		AG, GA	一式	②-4	新設	非安重	-	-	-	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	-	-	ハロゲン化物ボンベ (ハロゲン化物消火設備 (局所用: ハロン1301))	容器 (環状型・円筒型・板状型・角柱型)	11条/35条-97 11条/35条-129		AG	一式	②-4	新設	非安重	-	-	-	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	-	-	主配管 (噴射ヘッドまで)	主配管	11条/35条-97 11条/35条-129		AG	一式	②-4	新設	非安重	-	-	-	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	-	-	ハロゲン化物ボンベ (ハロゲン化物消火設備 (局所用: FK-5-1-12))	容器 (環状型・円筒型・板状型・角柱型)	11条/35条-97		FA, F1(A)基礎, F1(B)基礎	一式	①-3	新設	非安重	-	-	-	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	-	-	主配管 (ケーブルトレイ入口まで)	主配管	11条/35条-97		FA, F1(A)基礎, F1(B)基礎	一式	①-3	新設	非安重	-	-	-	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	-	-	ハロゲン化物ボンベ (ハロゲン化物消火設備 (局所用: FK-5-1-12))	容器 (環状型・円筒型・板状型・角柱型)	11条/35条-97 11条/35条-129		AT	一式	②-4	新設	非安重	-	-	-	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	-	-	主配管 (ケーブルトレイ入口まで)	主配管	11条/35条-97 11条/35条-129		AT	一式	②-4	新設	非安重	-	-	-	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	-	-	ハロゲン化物ボンベ (ハロゲン化物消火設備 (局所用: FK-5-1-12))	容器 (環状型・円筒型・板状型・角柱型)	11条/35条-97		FA	一式	①-3	新設	非安重	-	-	-	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	-	-	主配管 (盤入口まで)	主配管	11条/35条-97		FA	一式	①-3	新設	非安重	-	-	-	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	-	-	ハロゲン化物ボンベ (ハロゲン化物消火設備 (局所用: FK-5-1-12))	容器 (環状型・円筒型・板状型・角柱型)	11条/35条-97 11条/35条-129		AG	一式	②-4	新設	非安重	-	-	-	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	-	-	主配管 (盤入口まで)	主配管	11条/35条-97 11条/35条-129		AG	一式	②-4	新設	非安重	-	-	-	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	-	-	防火水槽 (緊急時対策建屋用)	容器 (ライニング型)	11条/35条-97 11条/35条-98 11条/35条-99	機-12-03	AZ周辺	1	②-4	新設	非安重	-	-	MOX (再処理主)	

申請対象設備リスト (火災防護設備)

番号	施設区分	設備	設備又は系	系	機器名称	機種	基本設計方針 (機能要求②) 紐付け番号	エビデンス 紐付け番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用	備考	
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (使用済燃料輸送容器管理建屋 —使用済燃料受入れ・貯蔵建屋 /使用済燃料輸送容器管理建屋 間洞道—使用済燃料受入れ・蔵 管理建屋/使用済燃料輸送容器 管理建屋間洞道)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	11条-5	建-1	FC	一式	①-3	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (使用済燃料受入れ・貯蔵建 屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	11条-5	建-2	FA	一式	①-3	既設	安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (前処理建屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	11/35条-5 11/35条-127	建-3	AA	一式	②-3	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (分離建屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	11/35条-5 11/35条-127	建-4	AB	一式	②-3	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (精製建屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	11/35条-5 11/35条-127	建-5	AC	一式	②-4	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (ウラン脱硝建屋—ウラン脱硝 建屋/ウラン酸化物貯蔵建屋間 洞道)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	11条-5	建-6	BA	一式	②-4	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (ウラン・プルトニウム混合脱 硝建屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	11/35条-5 11/35条-127	建-7	CA	一式	②-3	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (ウラン酸化物貯蔵建屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	11条-5	建-8	BB	一式	②-4	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (ウラン・プルトニウム混合酸 化物貯蔵建屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	11条-5 11条-127	建-9	CB	一式	②-4	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (制御建屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	11/35条-5 11/35条-127	建-10	AG	一式	②-4	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (高レベル廃液ガラス固化建 屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	11/35条-5 11/35条-127	建-11	KA	一式	②-3	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (使用済燃料受入れ・貯蔵管理 建屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	11条-5	建-12	FB	一式	①-2	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (低レベル廃液処理建屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	11条-5	建-13	AD	一式	②-4	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (第1ガラス固化体貯蔵建屋東 棟—高レベル廃液ガラス固化建 屋/第1ガラス固化体貯蔵建屋 間洞道—高レベル廃液ガラス固 化建屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	11条-5 11条-127	建-14	AT	一式	②-3	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中

申請対象設備リスト（火災防護設備）

番号	施設区分	設備	設備又は系	系	機器名称	機種	基本設計方針 (機能要求②) 紐付け番号	エビデンス 紐付け番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用	備考	
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (低レベル廃棄物処理建屋-低 レベル廃棄物処理建屋/第2低 レベル廃棄物貯蔵建屋間洞道- 第2低レベル廃棄物貯蔵建屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	11条-5	建-15	DA, DB	一式	②-3	既設	非安重	—	—	詳細設計中	
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (チャンネルボックス・バーナ ブルポイズン処理建屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	11条-5	建-16	DC	一式	②-4	既設	非安重	—	—	詳細設計中	
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (ハル・エンドピース貯蔵建 屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	11条-5	建-17	AE	一式	②-4	既設	非安重	—	—	詳細設計中	
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (使用済燃料の 受入れ施設及び 貯蔵施設用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (第1低レベル廃棄物貯蔵建 屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	11条-5	建-18	FD	一式	①-3	既設	非安重	—	—	詳細設計中	
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (使用済燃料の 受入れ施設及び 貯蔵施設用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (第4低レベル廃棄物貯蔵建 屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	11条-5	建-19	FD2	一式	①-3	既設	非安重	—	—	詳細設計中	
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (主排気筒管理建屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	11条-5	建-20	AP	一式	②-4	既設	非安重	—	—	詳細設計中	
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (使用済燃料の 受入れ施設及び 貯蔵施設用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (北換気筒管理建屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	11条-5	建-21	AQ	一式	②-4	既設	非安重	—	—	詳細設計中	
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (非常用電源建屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	11条-5 11条-127	建-22	GA	一式	②-3	既設	非安重	—	—	詳細設計中	
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (第1保管庫・貯水所)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	35条-5	建-23	G13	一式	②-3	新設	—	—	—	詳細設計中	
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (第2保管庫・貯水所)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	35条-5	建-24	G14	一式	②-3	新設	—	—	—	詳細設計中	
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (第1軽油貯槽)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	35条-5	建-25	G15	一式	②-4	新設	—	—	—	詳細設計中	
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (第2軽油貯槽)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	35条-5	建-26	G16	一式	②-4	新設	—	—	—	詳細設計中	
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (分析建屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	11条-5	建-27	AH	一式	②-4	既設	非安重	—	—	詳細設計中	
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (緊急時対策建屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	35条-5	建-28	AZ	一式	②-4	新設	非安重	—	—	MOX(再処理主)	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	火災区域(区画)構造物 (重油貯槽)	建物・構築物 (火災区域 (区画)構造物)	35条-5	建-29	G17	一式	②-4	新設	—	—	—	MOX(再処理主)	詳細設計中

申請対象設備リスト (火災防護設備)

番号	施設区分	設備	設備又は系	系	機器名称	機種	基本設計方針 (機能要求②) 紐付け番号	エビデンス 紐付け番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用	備考	
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	-	-	火災区域(区画) 構造物 (出入管理建屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画) 構造物)	11条-5	建-30	AK	一式	②-4	既設	非安重	-	-	-	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	-	-	火災区域(区画) 構造物 (分離建屋/高レベル廃液ガラス 固化建屋間洞道-分離建屋- 高レベル廃液ガラス固化建屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画) 構造物)	11条-5 11条-127	建-31	AT	一式	②-3	既設	非安重	-	-	-	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	-	-	火災区域(区画) 構造物 (分離建屋/精製建屋/ウラン 脱硝建屋/ウラン・プルトニウム 混合脱硝建屋/低レベル廃液 処理建屋/低レベル廃棄物処理 建屋/分析建屋間洞道-分離建 屋-精製建屋-ウラン脱硝建屋 -ウラン・プルトニウム混合脱 硝建屋-低レベル廃液処理建屋 -低レベル廃棄物処理建屋-分析 建屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画) 構造物)	11条-5 11条-127	建-32	AT	一式	②-3	既設	非安重	-	-	-	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	-	-	火災区域(区画) 構造物 (精製建屋/ウラン・プルトニ ウム混合脱硝建屋間洞道-精製 建屋-ウラン・プルトニウム混 合脱硝建屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画) 構造物)	11条-5 11条-127	建-33	AT	一式	②-3	既設	非安重	-	-	-	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (再処理設備本体用)	火災防護設備	-	-	火災区域(区画) 構造物 (前処理建屋/分離建屋/精製 建屋/高レベル廃液ガラス固化 建屋/ウラン・プルトニウム混 合脱硝建屋/制御建屋/非常用 電源建屋/冷却水設備の安全冷 却水系/主排気筒/主排気筒管 理建屋間洞道-前処理建屋-分 離建屋-精製建屋-高レベル廃 液ガラス固化建屋-ウラン・プ ルトニウム混合脱硝建屋-制御 建屋-非常用電源建屋-冷却水 設備の安全冷却水系-主排気筒 -主排気筒管理建屋)	建物・構築物 (火災区域 (区画) 構造物)	11条-5 11条-127	建-34	AT	一式	②-3	既設	非安重	-	-	-	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (使用済燃料の 受入れ施設及び 貯蔵施設用)	火災防護設備	-	-	火災区域(区画) 構造物 (使用済燃料受入れ・貯蔵建屋 /使用済燃料受入れ施設及び貯 蔵施設用 安全冷却水系冷却塔 A基礎間洞道-使用済燃料受入 れ施設及び貯蔵施設用 安全冷 却水冷却塔A基礎-使用済燃料 受入れ施設及び貯蔵施設用 安 全冷却水系冷却塔A基礎/第1低 レベル廃棄物貯蔵建屋間洞道)	建物・構築物 (火災区域 (区画) 構造物)	11条-5	建-35	F1(A)基礎	一式	①-3	既設	非安重	-	-	-	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (使用済燃料の 受入れ施設及び 貯蔵施設用)	火災防護設備	-	-	火災区域(区画) 構造物 (第1非常用ディーゼル発電設 備用重油タンク室)	建物・構築物 (火災区域 (区画) 構造物)	11条-5	建-36	F2	一式	①-3	既設	非安重	-	-	-	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設 (使用済燃料の 受入れ施設及び 貯蔵施設用)	火災防護設備	-	-	火災区域(区画) 構造物 (使用済燃料受入れ施設及び貯 蔵施設用 安全冷却水冷却塔B 基礎-使用済燃料受入れ・貯蔵 建屋/使用済燃料受入れ施設及 び貯蔵施設用 安全冷却水系冷 却塔B基礎間洞道)	建物・構築物 (火災区域 (区画) 構造物)	11条-5	建-37	F1(B)基礎	一式	①-3	既設	非安重	-	-	-	詳細設計中

### 申請対象設備抽出結果

施 設	その他再処理設備の附属施設
設 備	火災防護設備
機 器	消火用水供給設備、防火水槽



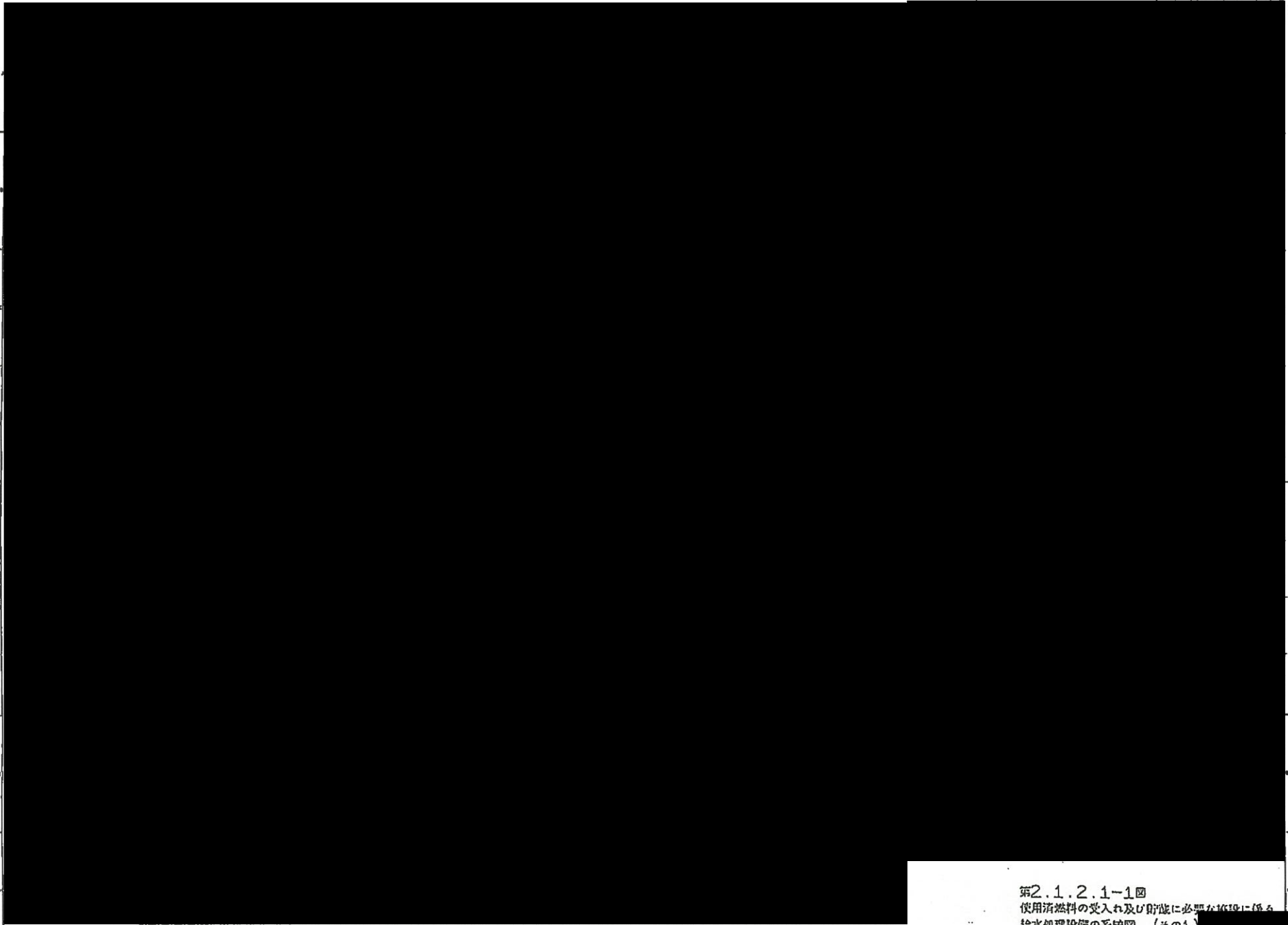
【対象機器】	施設区分		設備区分				機器名称(許可)
	その他再処理設備の附属施設	—	火災防護設備	—	—	—	消火用水供給系(消火水供給設備)
その他再処理設備の附属施設	—	火災防護設備	—	—	—	防火水槽	
【主たる機能】	消火						

精査中

精査中

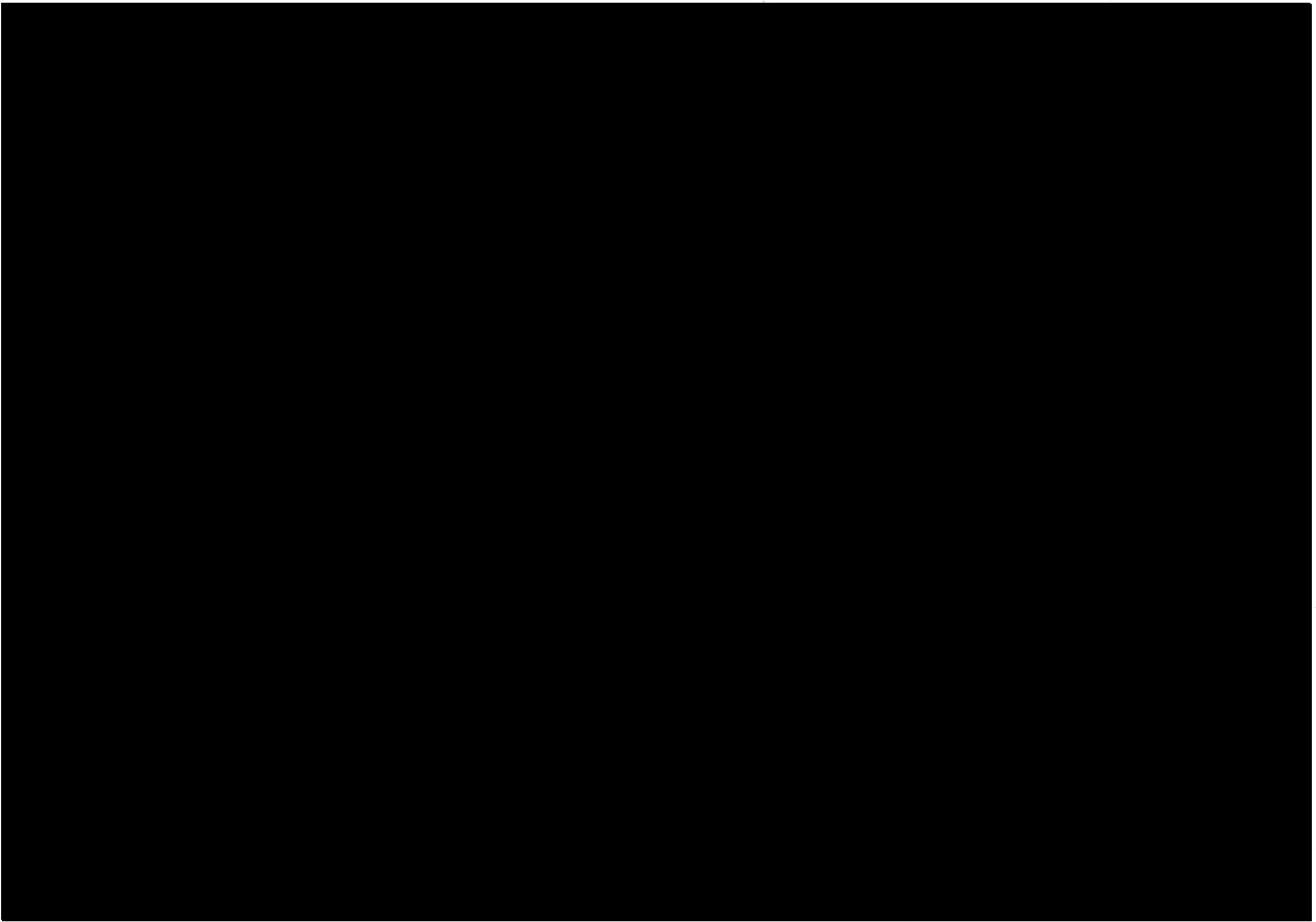
【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SΔ区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考
機-07-01	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	—	—	—	ろ過水貯槽	ろ過水貯槽	容器(環状型・円筒型・板状型・角柱型)	G6周辺	1	①-1	既設	非安重	—	主:給水処理設備 従:火災防護設備	E,MOX(再処理主)	
機-07-02	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	—	—	—	消火用水貯槽	消火用水貯槽	容器(ライニング型)	GC	1	①-1	既設	非安重	—	—	E,MOX(再処理主)	
機-07-03	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	—	—	—	電動機駆動消火ポンプ	電動機駆動消火ポンプ	ポンプ	GC	1	①-1	既設	非安重	—	—	E,MOX(再処理主)	
機-07-04	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	—	—	—	ディーゼル駆動消火ポンプ	ディーゼル駆動消火ポンプ	ポンプ	GC	1	①-1	既設	非安重	—	—	E,MOX(再処理主)	
配-07-01	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	—	—	—	消火用水供給系(消火水供給設備)	主配管(ろ過水貯槽側)	主配管	G6/AT	一式	①-1	既設/改造	非安重	—	—	E,MOX(再処理主)	配管名称細分化中
配-07-02	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	—	—	—	消火用水供給系(消火水供給設備)	主配管(消火栓設備への供給配管側)	主配管	GC/GE/AE/GB/FC / FB/FA/EA/AA/KA / GA/AG/AB/AC/AH / AK/DB/DA/AD/BA / CA/CB/DC	一式	①-1 ②-2	既設/改造	非安重	—	—	E,MOX(再処理主)	配管名称細分化中
機-12-01	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	—	防火水槽	防火水槽(緊急時対策建屋用)	容器(ライニング型)	AZ	1	②-4	新設	非安重	—	—	MOX(再処理主)	詳細設計中
機-12-02	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	—	消火ポンプ	消火ポンプ(緊急時対策建屋用)	ポンプ	AZ	2	②-4	新設	非安重	—	—	MOX(再処理主)	詳細設計中
配-12-01	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	—	消火用水供給系(消火水供給設備)	主配管(消火ポンプ出口配管ヘッダ)	主配管	AZ	一式	②-4	新設	非安重	—	—	MOX(再処理主)	詳細設計中
機-12-03	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	—	防火水槽	防火水槽(緊急時対策建屋用)	容器(ライニング型)	AZ周辺	1	②-4	新設	非安重	—	—	MOX(再処理主)	詳細設計中

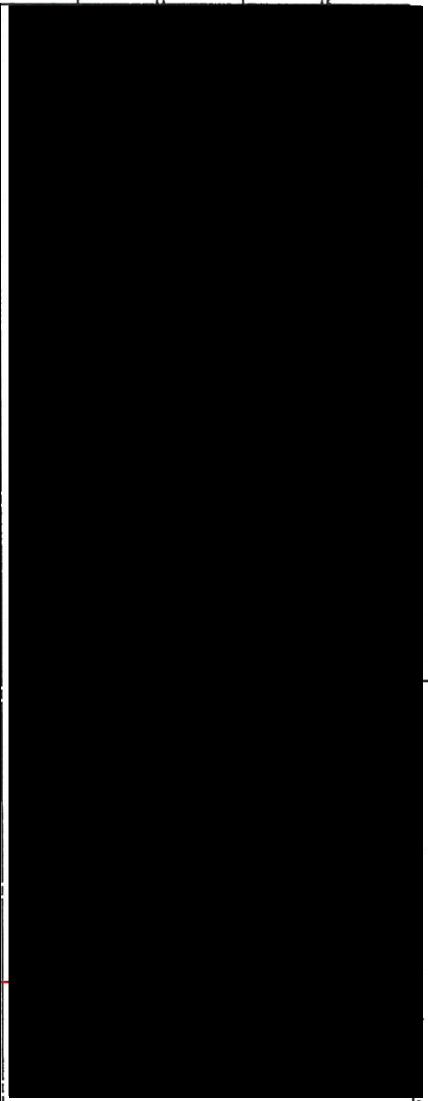


0727 841

第2.1.2.1-1図  
使用済燃料の受入れ及び貯蔵に必要な処理に係る  
捨水処理設備の系統図 (その1)

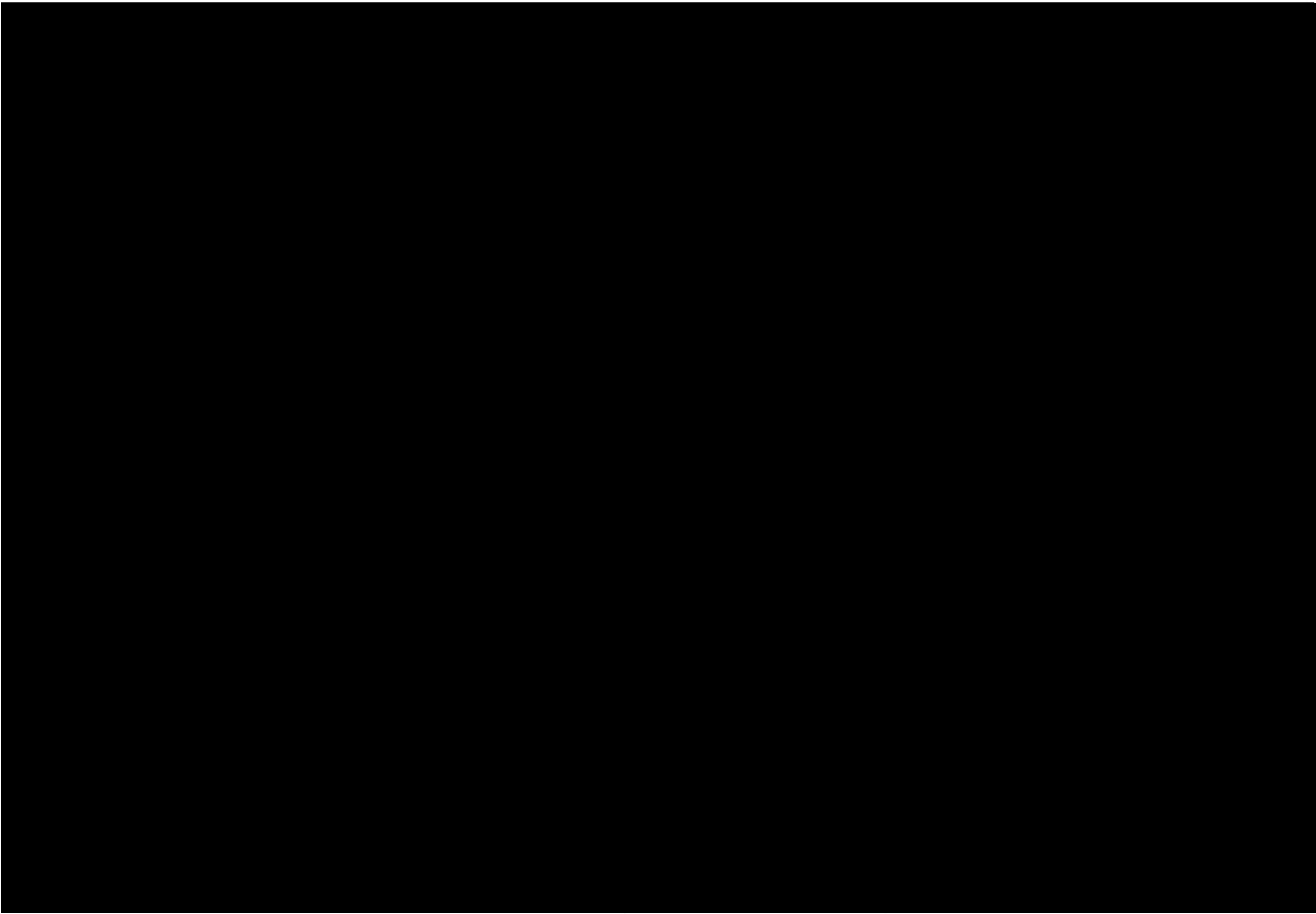


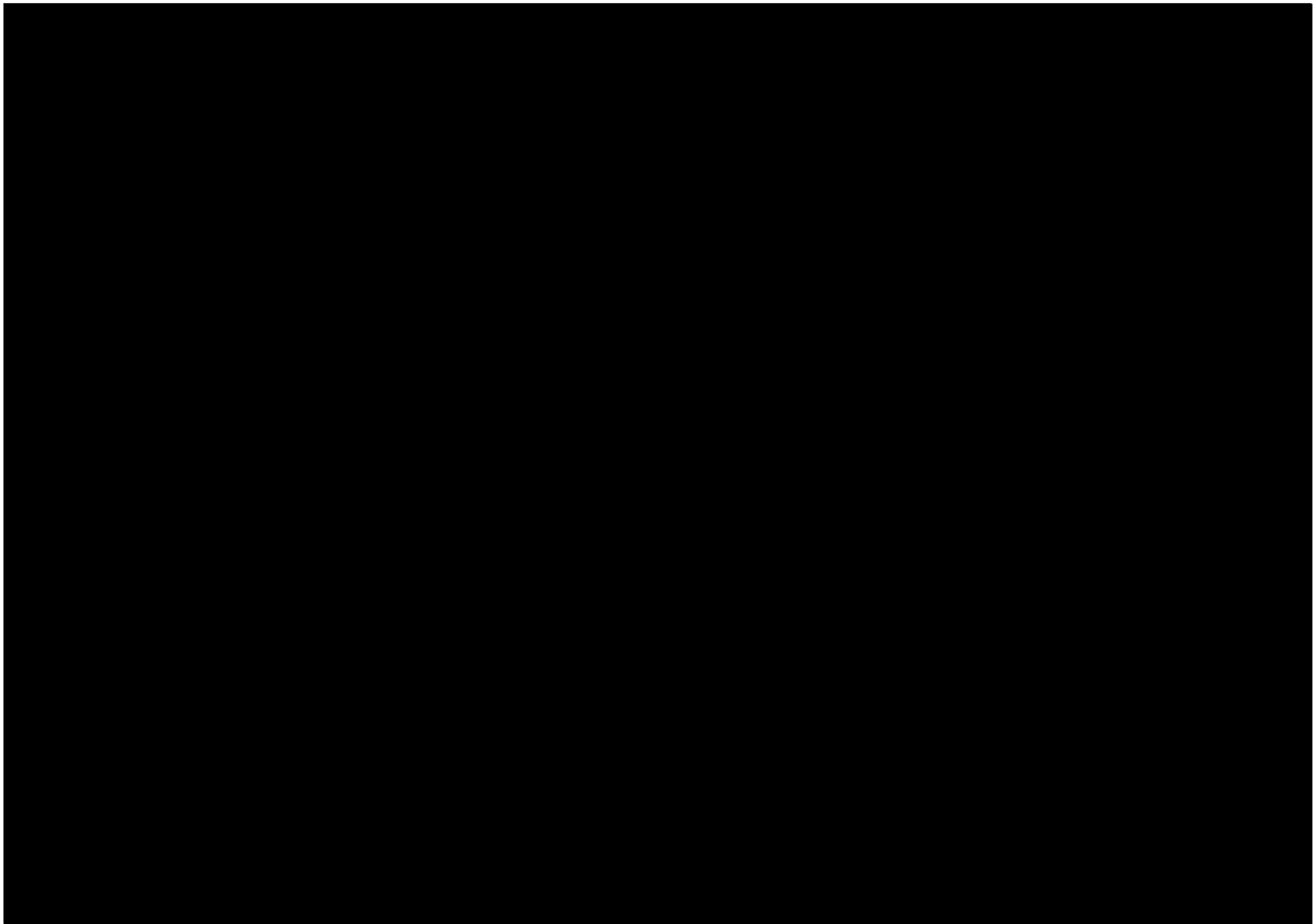
0517

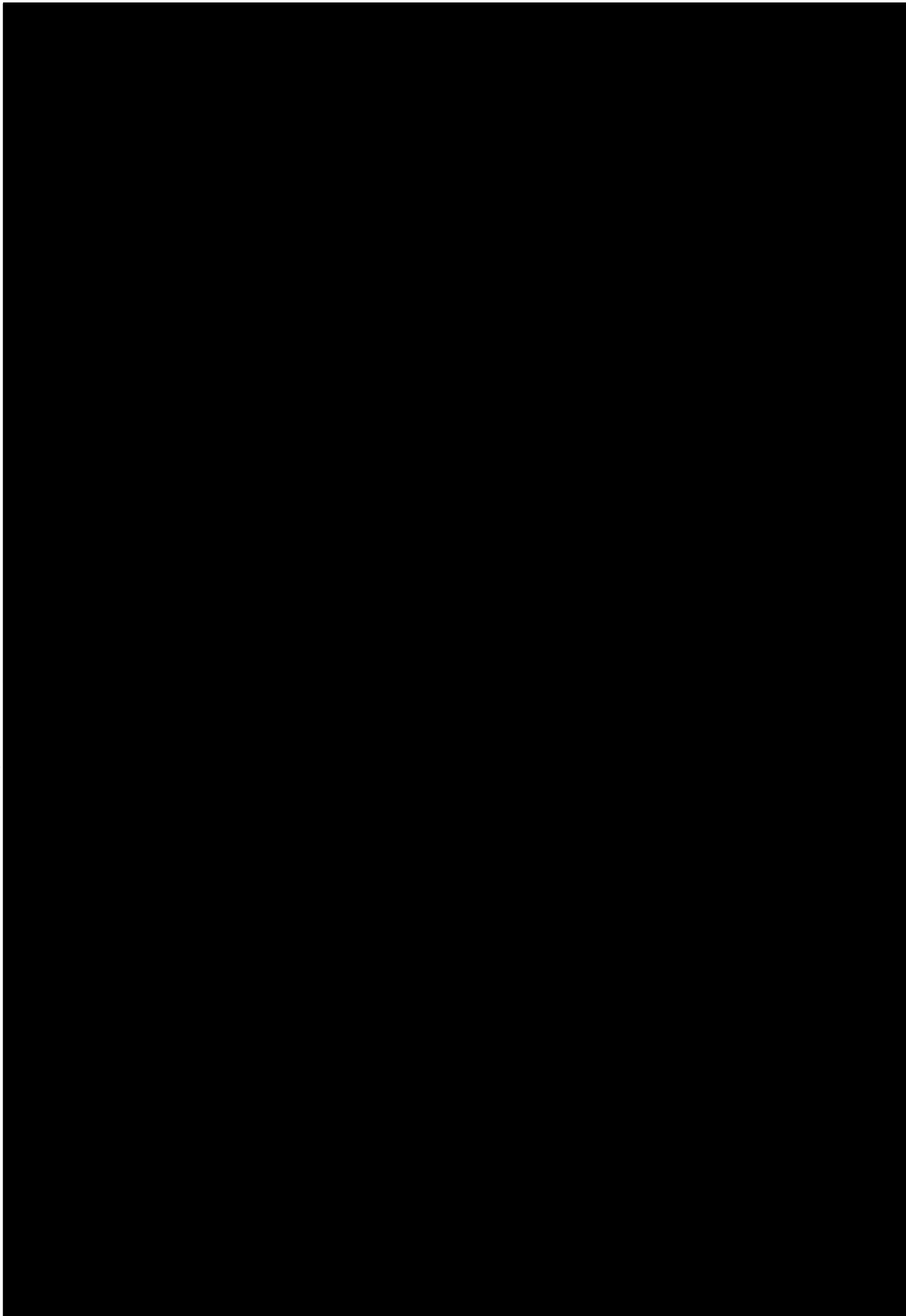


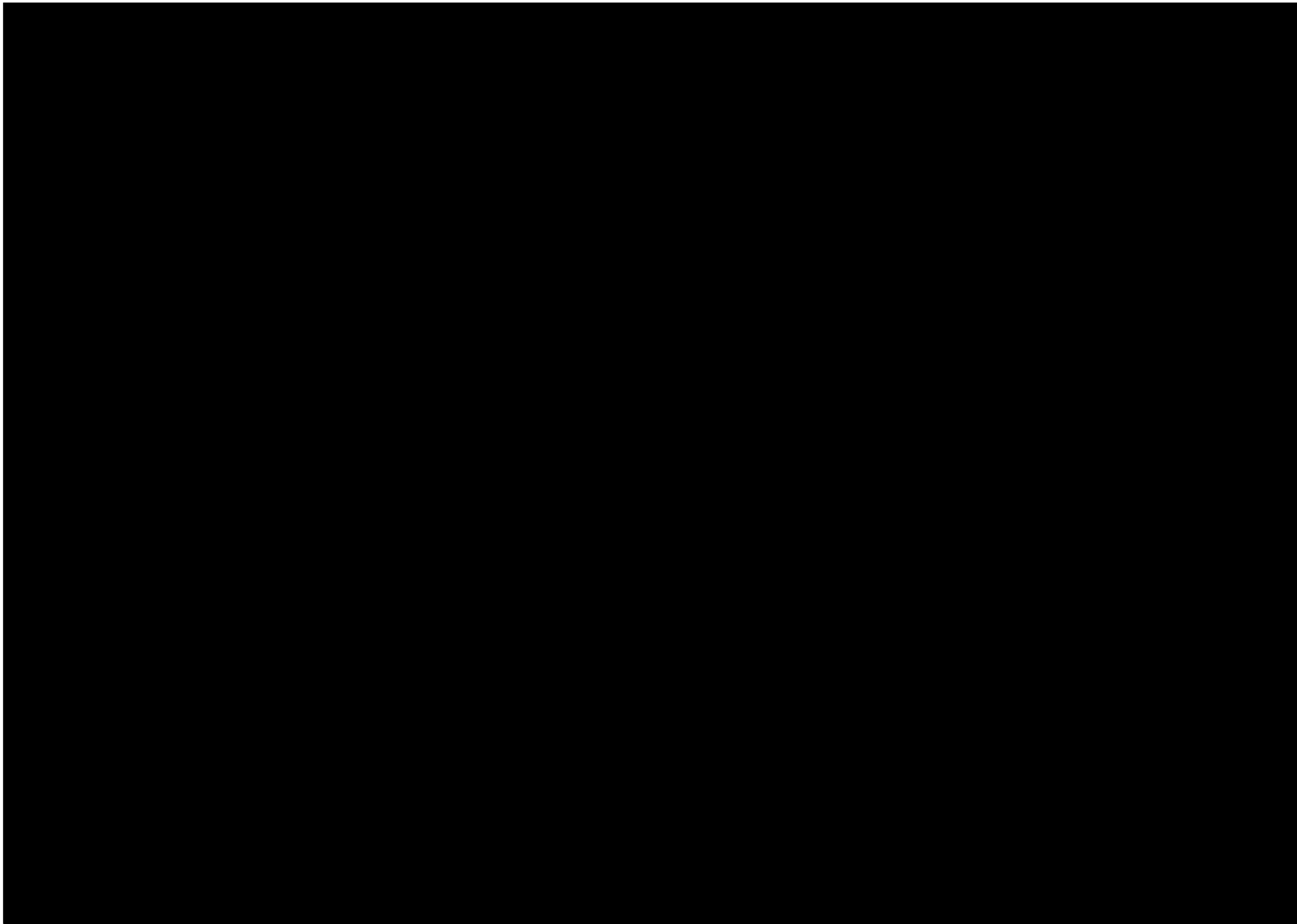
第2.1.3.1.3-2図  
使用済燃料の受入れ及び貯蔵に  
消火装置の系統図(その1)

4318

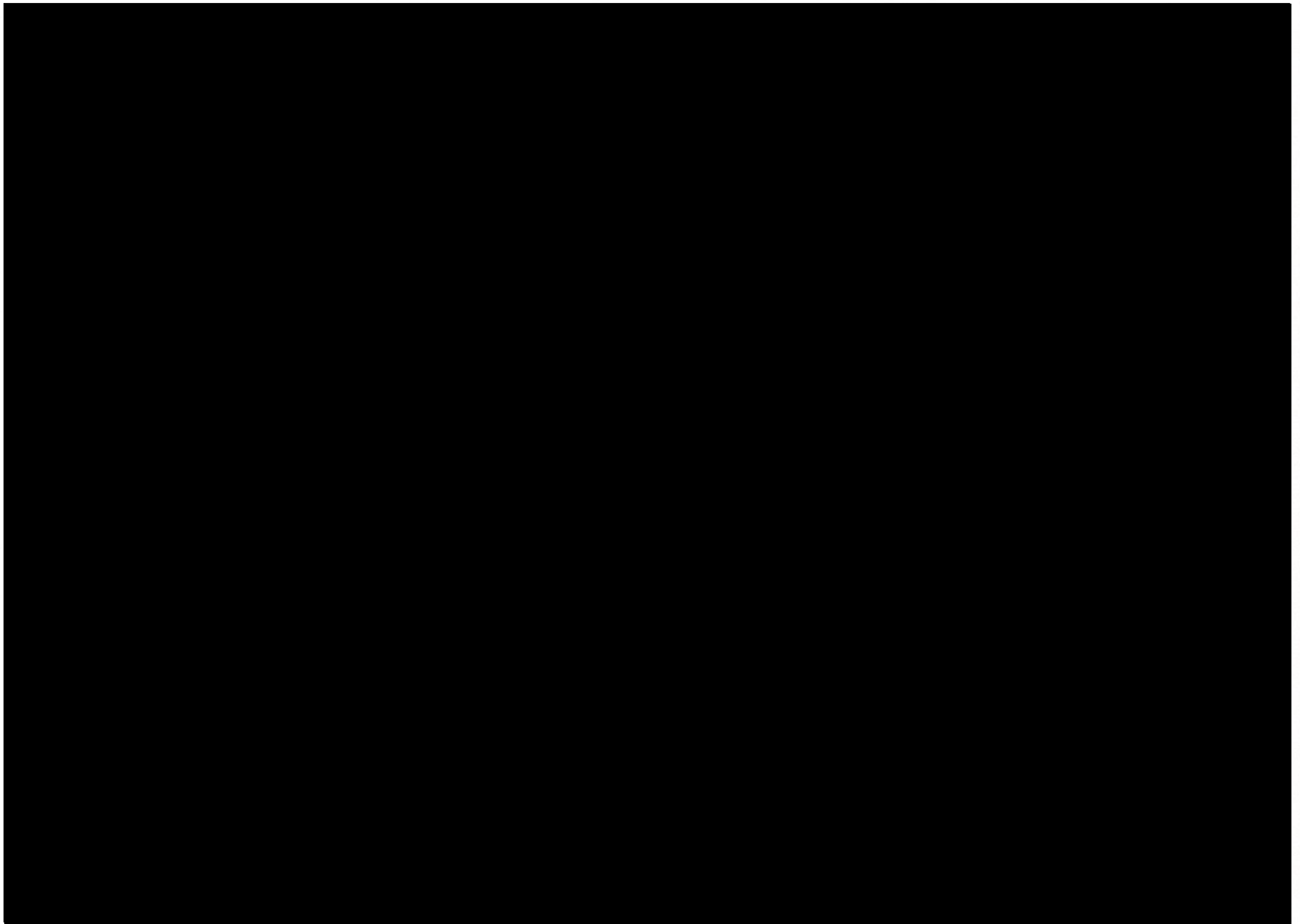












### 申請対象設備抽出結果

施 設	その他再処理設備の附属施設
設 備	火災防護設備
機 器	不活性ガス消火設備

【対象機器】	施設区分		設備区分				機器名称(許可)
	その他再処理設備の附属施設	—	火災防護設備	—	—	—	固定式消火設備 (不活性ガス消火設備：全域)
【主たる機能】	消火						

精査中

【機器等の抽出】																		
紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	—	—	—	固定式消火設備 (不活性ガス消火設備：全域)	二酸化炭素ボンベ(二酸化炭素消火設備(全域用))	容器 (環状型・円筒型・板状型・角柱型)	FA	一式	①-3	改造	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	—	—	—	固定式消火設備 (不活性ガス消火設備：全域)	主配管(各部屋入口まで)	主配管	FA	一式	①-3	改造	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	—	固定式消火設備 (不活性ガス消火設備：全域)	二酸化炭素ボンベ(二酸化炭素消火設備(全域用))	容器 (環状型・円筒型・板状型・角柱型)	GA	一式	②-4	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	—	固定式消火設備 (不活性ガス消火設備：全域)	主配管(各部屋入口まで)	主配管	GA	一式	②-4	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中

### 申請対象設備抽出結果

施 設	その他再処理設備の附属施設
設 備	火災防護設備
機 器	ハロゲン化物消火設備

【対象機器】	施設区分		設備区分				機器名称(許可)
	その他再処理設備の附属施設	—	火災防護設備	—	—	—	固定式消火設備 (ハロゲン化物消火設備：全域)
その他再処理設備の附属施設	—	火災防護設備	—	—	—	固定式消火設備 (ハロゲン化物消火設備：局所)	
【主たる機能】	消火設備						

精査中

【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	D B区分	S A区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	—	—	—	固定式消火設備 (ハロゲン化物消火設備：全域)	ハロゲン化物ボンベ(ハロゲン化物消火設備(全域用：ハロン1301))	容器 (環状型・円筒型・板状型・角柱型)	FA	一式	①-3	新設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	—	—	—	固定式消火設備 (ハロゲン化物消火設備：全域)	主配管(各部屋入口まで)	主配管	FA	一式	①-3	新設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	—	固定式消火設備 (ハロゲン化物消火設備：全域)	ハロゲン化物ボンベ(ハロゲン化物消火設備(全域用：ハロン1301))	容器 (環状型・円筒型・板状型・角柱型)	AG, GA	一式	②-4	新設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	—	固定式消火設備 (ハロゲン化物消火設備：全域)	主配管(各部屋入口まで)	主配管	AG, GA	一式	②-4	新設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	—	固定式消火設備 (ハロゲン化物消火設備：局所)	ハロゲン化物ボンベ(ハロゲン化物消火設備(局所用：ハロン1301))	容器 (環状型・円筒型・板状型・角柱型)	AG	一式	②-4	新設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	—	固定式消火設備 (ハロゲン化物消火設備：局所)	主配管(噴射ヘッドまで)	主配管	AG	一式	②-4	新設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	—	—	—	固定式消火設備 (ハロゲン化物消火設備：局所)	ハロゲン化物ボンベ(ハロゲン化物消火設備(局所用：FK-5-1-12))	容器 (環状型・円筒型・板状型・角柱型)	FA, F1(A)基礎, F1(B)基礎	一式	①-3	新設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	—	—	—	固定式消火設備 (ハロゲン化物消火設備：局所)	主配管(ケーブルトレイ入口まで)	主配管	FA, F1(A)基礎, F1(B)基礎	一式	①-3	新設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	—	固定式消火設備 (ハロゲン化物消火設備：局所)	ハロゲン化物ボンベ(ハロゲン化物消火設備(局所用：FK-5-1-12))	容器 (環状型・円筒型・板状型・角柱型)	AT	一式	②-4	新設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(再処理設備本体用)	火災防護設備	—	—	—	固定式消火設備 (ハロゲン化物消火設備：局所)	主配管(ケーブルトレイ入口まで)	主配管	AT	一式	②-4	新設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	—	—	—	固定式消火設備 (ハロゲン化物消火設備：局所)	ハロゲン化物ボンベ(ハロゲン化物消火設備(局所用：FK-5-1-12))	容器 (環状型・円筒型・板状型・角柱型)	FA	一式	①-3	新設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用)	火災防護設備	—	—	—	固定式消火設備 (ハロゲン化物消火設備：局所)	主配管(盤入口まで)	主配管	FA	一式	①-3	新設	非安重	—	—	—	詳細設計中

【対象機器】	施設区分		設備区分				機器名称（許可）
	その他再処理設備の附属施設	—	火災防護設備	—	—	—	固定式消火設備 (ハロゲン化物消火設備：全域)
その他再処理設備の附属施設	—	火災防護設備	—	—	—	固定式消火設備 (ハロゲン化物消火設備：局所)	
【主たる機能】	消火設備						

精査中

【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称（許可）	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	D B区分	S A区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	固定式消火設備 (ハロゲン化物消火設備：局所)	ハロゲン化物ボンベ（ハロゲン化物消火設備（局所用：FK-5-1-12）	容器 (環状型・円筒型・板状型・角柱型)	AG	一式	②-4	新設	非安重	—	—	—	詳細設計中
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	固定式消火設備 (ハロゲン化物消火設備：局所)	主配管（盤入口まで）	主配管	AG	一式	②-4	新設	非安重	—	—	—	詳細設計中

### 申請対象設備抽出結果

施 設	その他再処理設備の附属施設
設 備	火災防護設備
機 器	火災影響軽減設備

【対象機器】	施設区分		設備区分				機器名称（許可）
	その他再処理設備の附属施設	—	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備
【主たる機能】	影響軽減						

精査中

【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称（許可）	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用（主従）	共用（主従）	備考
建-1	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（使用済燃料輸送容器管理建屋－使用済燃料受入れ・貯蔵建屋／使用済燃料輸送容器管理建屋間洞道－使用済燃料受入れ・蔵管理建屋／使用済燃料輸送容器管理建屋間洞道）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	FC	一式	①-3	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
建-2	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	FA	一式	①-3	既設	安重	—	—	—	詳細設計中
建-3	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（前処理建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	AA	一式	②-3	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
建-4	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（分離建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	AB	一式	②-3	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
建-5	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（精製建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	AC	一式	②-4	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
建-6	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（ウラン脱硝建屋－ウラン脱硝建屋／ウラン酸化物貯蔵建屋間洞道）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	BA	一式	②-4	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
建-7	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	CA	一式	②-3	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
建-8	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（ウラン酸化物貯蔵建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	BB	一式	②-4	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
建-9	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	CB	一式	②-4	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
建-10	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（制御建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	AG	一式	②-4	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
建-11	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（高レベル廃液ガラス固化建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	KA	一式	②-3	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
建-12	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	FB	一式	①-3	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
建-13	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（低レベル廃液処理建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	AD	一式	②-4	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
建-14	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（第1ガラス固化体貯蔵建屋東棟－高レベル廃液ガラス固化建屋／第1ガラス固化体貯蔵建屋間洞道－高レベル廃液ガラス固化建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	AT	一式	②-3	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中



【対象機器】	施設区分		設備区分				機器名称（許可）
	その他再処理設備の附属施設	—	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備
【主たる機能】	影響軽減						

精査中

【機器等の抽出】

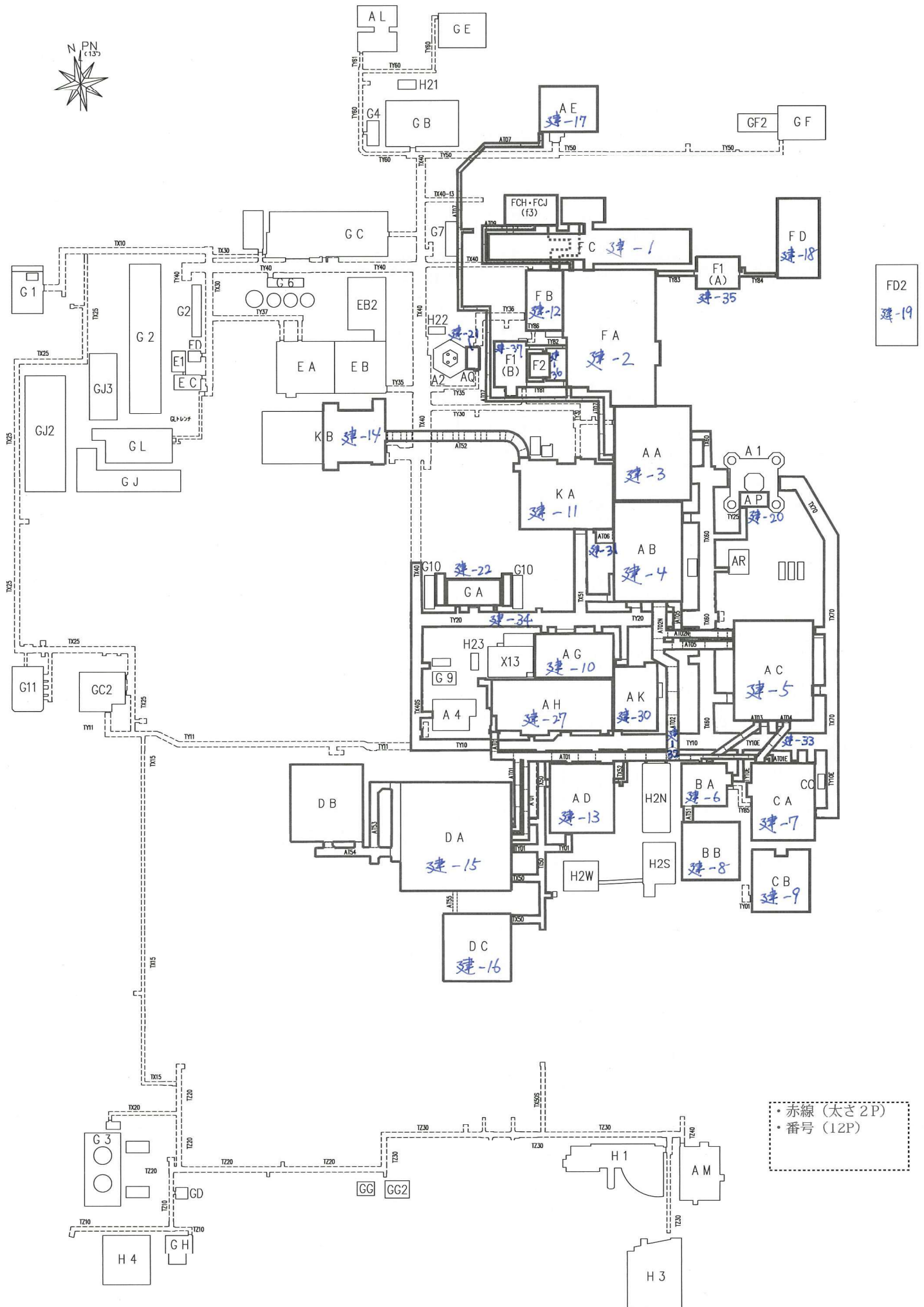
紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称（許可）	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用（主従）	共用（主従）	備考
建-15	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（低レベル廃棄物処理建屋-低レベル廃棄物処理建屋/第2低レベル廃棄物貯蔵建屋間洞道-第2低レベル廃棄物貯蔵建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	DA, DB	一式	②-3	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
建-16	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（チャンネルボックス・バーナブルポイズン処理建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	DC	一式	②-3	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
建-17	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（ハル・エンドピース貯蔵建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	AE	一式	②-4	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
建-18	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（第1低レベル廃棄物貯蔵建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	FD	一式	①-3	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
建-19	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（第4低レベル廃棄物貯蔵建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	FD2	一式	①-3	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
建-20	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（主排気筒管理建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	AP	一式	②-4	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
建-21	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（北換気筒管理建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	AQ	一式	②-4	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
建-22	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（非常用電源建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	GA	一式	②-3	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
建-23	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（第1保管庫・貯水所）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	G13	一式	②-3	新設	—	—	—	—	詳細設計中
建-24	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（第2保管庫・貯水所）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	G14	一式	②-3	新設	—	—	—	—	詳細設計中
建-25	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（第1軽油貯槽）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	G15	一式	②-4	新設	—	—	—	—	詳細設計中
建-26	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（第2軽油貯槽）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	G16	一式	②-4	新設	—	—	—	—	詳細設計中
建-27	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（分析建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	AH	一式	②-4	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中
建-28	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（緊急時対策建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	AZ	一式	②-4	新設	非安重	—	—	MOX（再処理主）	詳細設計中

【対象機器】	施設区分		設備区分				機器名称（許可）
	その他再処理設備の附属施設	—	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備
【主たる機能】	影響軽減						

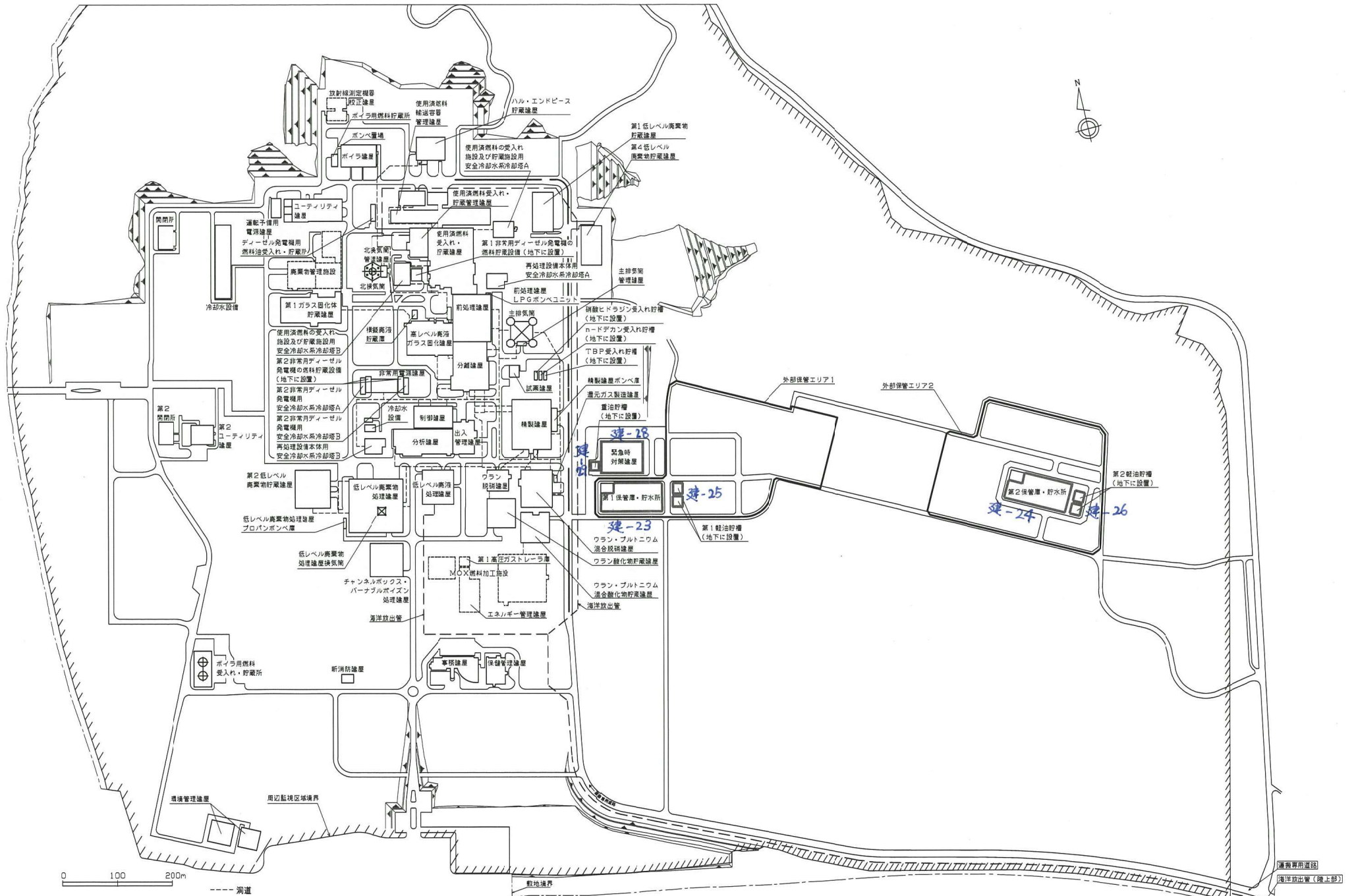
精査中

【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称（許可）	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用（主従）	共用（主従）	備考	
建-29	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（重油貯槽）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	G17	一式	②-4	新設	—	—	—	MOX（再処理主）	詳細設計中	
建-30	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（出入管理建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	AK	一式	②-4	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中	
建-31	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（分離建屋/高レベル廃液ガラス固化建屋間洞道-分離建屋-高レベル廃液ガラス固化建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	AT	一式	②-3	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中	
建-32	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（分離建屋/精製建屋/ウラン脱硝建屋/ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋/低レベル廃液処理建屋/低レベル廃棄物処理建屋/分析建屋間洞道-分離建屋-精製建屋-ウラン脱硝建屋-ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋-低レベル廃液処理建屋-低レベル廃棄物処理建屋-分析建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	AT	一式	②-3	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中	
建-33	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（精製建屋/ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋間洞道-精製建屋-ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	AT	一式	②-3	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中	
建-34	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（再処理設備本体用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（前処理建屋/分離建屋/精製建屋/高レベル廃液ガラス固化建屋/ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋/制御建屋/非常用電源建屋/冷却水設備の安全冷却水系/主排気筒/主排気筒管理建屋間洞道-前処理建屋-分離建屋-精製建屋-高レベル廃液ガラス固化建屋-ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋-制御建屋-非常用電源建屋-冷却水設備の安全冷却水系-主排気筒-主排気筒管理建屋）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	AT	一式	②-3	既設	非安重	—	—	—	—	詳細設計中
建-35	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（使用済燃料受入れ・貯蔵建屋/使用済燃料受入れ施設及び貯蔵施設用 安全冷却水系冷却塔A基礎間洞道-使用済燃料受入れ施設及び貯蔵施設用 安全冷却水冷却塔A基礎-使用済燃料受入れ施設及び貯蔵施設用 安全冷却水系冷却塔A基礎/第1低レベル廃棄物貯蔵建屋間洞道）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	F1(A)基礎	一式	①-3	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中	
建-36	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（第1非常用ディーゼル発電設備用重油タンク室）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	F2	一式	①-3	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中	
建-37	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設（使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用）	火災防護設備	—	—	—	火災影響軽減設備	火災区域（区画）構造物（使用済燃料受入れ施設及び貯蔵施設用 安全冷却水冷却塔B基礎-使用済燃料受入れ・貯蔵建屋/使用済燃料受入れ施設及び貯蔵施設用 安全冷却水系冷却塔B基礎間洞道）	建物・構築物（火災区域（区画）構造物）	F1(B)基礎	一式	①-3	既設	非安重	—	—	—	詳細設計中	



- ・赤線 (太さ 2P)
- ・番号 (12P)



主要な再処理施設を収容する建物及び構築物は、標高約5.5mに設置。

廃液専用道路  
海洋放出管（陸上部）

## 申請対象設備リスト

(火災防護設備以外：別条文で説明を実施)

11 条：火災等による損傷の防止

35 条：火災等による損傷の防止

申請対象設備リスト（火災防護設備以外）

「番号」については、他条文等の整理を踏まえ、申請対象設備リスト完本時に通し番号を設定することとする。

今後のヒアリング  
結果を踏まえ反映

精査中

精査中

番号	施設区分	設備	設備又は系	系	機器名称	機種	基本設計方針 (機能要求②) 紐付け番号	エビデンス 紐付け番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用	備考
	再処理設備本体	精製施設	プルトニウム精製設備	—	—	主要弁	11条-18	機-04-01	AC	4	②-4	既設	安重	—	—	—	
	再処理設備本体	精製施設	プルトニウム精製設備	—	—	主要弁	11条-18	機-04-02	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒再生系	分離・分配系	主要弁	11条-18	機-03-01	AB	1	②-3	既設	非安重	—	—	—	
	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒再生系	分離・分配系	主要弁	11条-18	機-03-02	AB	1	②-3	既設	非安重	—	—	—	
	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒再生系	プルトニウム精製系	主要弁	11条-18	機-04-01	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒再生系	プルトニウム精製系	主要弁	11条-18	機-04-02	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒再生系	ウラン精製系	主要弁	11条-18	機-04-01	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒再生系	ウラン精製系	主要弁	11条-18	機-04-02	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒処理系	—	主要弁	11条-22	機-04-01	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒処理系	—	主要弁	11条-22	機-04-02	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒処理系	—	主要弁	11条-22	機-04-03	AC	2	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒処理系	—	主要弁	11条-22	機-04-04	AC	2	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒処理系	—	主要弁	11条-22	機-04-05	AC	2	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒処理系	—	主要弁	11条-22	機-04-06	AC	2	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	再処理設備本体	分離施設	分配設備	—	—	主要弁	11条-29	機-03-01	AB	2	②-3	既設	安重	—	—	—	
	再処理設備本体	精製施設	ウラン精製設備	—	—	主要弁	11条-29	機-04-01	AC	2	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	再処理設備本体	精製施設	プルトニウム精製設備	—	—	主要弁	11条-29	機-04-02	AC	2	②-4	既設	安重	—	—	—	
	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	酸回収設備	第2酸回収系	—	主要弁	11条-29	機-04-01	AC	2	②-4	既設	安重	—	—	—	
	再処理設備本体	脱硝施設	ウラン・プルトニウム混合脱硝設備	還元ガス供給系	—	主要弁	11条-35	機-05-01	CA	2	②-3	既設	安重	—	—	—	
	再処理設備本体	脱硝施設	ウラン・プルトニウム混合脱硝設備	還元ガス供給系	—	主要弁	11条-35	機-05-02	CA	1	②-3	既設	非安重	—	—	—	
	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	—	—	主配管	11条-32	配-02-01	AA	一式	②-3	既設	安重	—	—	—	配管名称細分化中

申請対象設備リスト (火災防護設備以外)

番号	施設区分	設備	設備又は系	系	機器名称	機種	基本設計方針 (機能要求②) 紐付け番号	エビデンス 紐付け番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用	備考
	再処理設備本体	溶解施設	清澄・計量設備	—	—	主配管	主配管	11条-32	配-02-01	AA	一式	②-3	既設	安重	—	—	配管名称細分化中
	再処理設備本体	分離施設	分離設備	—	—	主配管	主配管	11条-32	配-03-01	AB	一式	②-3	既設	安重	—	—	配管名称細分化中
	再処理設備本体	分離施設	分配設備	—	—	主配管	主配管	11条-32	配-03-01	AB	一式	②-3	既設	安重	—	—	配管名称細分化中
	再処理設備本体	分離施設	分離建屋一時貯留処理設備	—	—	主配管	主配管	11条-32	配-03-01	AB	一式	②-3	既設	安重	—	—	配管名称細分化中
	再処理設備本体	精製施設	プルトニウム精製設備	—	—	主配管	主配管	11条-32	配-04-01	AC	一式	②-4	既設	安重	—	—	配管名称細分化中
	再処理設備本体	精製施設	精製建屋一時貯留処理設備	—	—	主配管	主配管	11条-32	配-04-01	AC	一式	②-4	既設	安重	—	—	配管名称細分化中
	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒再生系	分離・分配系	主配管	主配管	11条-32	配-04-01	AB	一式	②-3	既設	安重	—	—	配管名称細分化中
	再処理設備本体	脱硝施設	ウラン・プルトニウム混合脱硝設備	溶液系	—	主配管	主配管	11条-32	配-05-01	CA	一式	②-3	既設	安重	—	—	配管名称細分化中
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	ウラン逆抽出器8段目水相温度計	計装/放管設備	11条-18	機-06-01	AB	1	②-4	既設	非安重	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	ウラン逆抽出器8段目水相温度高による逆抽出用硝酸の供給を停止するインターロック	計装/放管設備	11条-18	機-06-02	AB	1	②-4	既設	非安重	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	逆抽出器溶液温度計	計装/放管設備	11条-18	機-06-03	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	逆抽出器溶液温度高による逆抽出用硝酸の供給を停止するインターロック	計装/放管設備	11条-18	機-06-04	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	
	計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	逆抽出塔溶液温度 (A, B) 計	計装/放管設備	11条-18	機-06-01	AC	2	②-4	既設	安重	—	—	
	計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	逆抽出塔溶液温度高による加熱停止回路	計装/放管設備	11条-18	機-06-02	AC	2	②-4	既設	安重	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	ウラン逆抽出器溶液温度計	計装/放管設備	11条-18	機-06-31	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	ウラン逆抽出器溶液温度高による逆抽出用硝酸の加温を停止するインターロック	計装/放管設備	11条-18	機-06-32	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	第1洗浄器1段目水相温度計	計装/放管設備	11条-18	機-06-05	AB	1	②-4	既設	非安重	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	第1洗浄器1段目水相温度高による加熱用温水の供給を停止するインターロック	計装/放管設備	11条-18	機-06-06	AB	1	②-4	既設	非安重	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	第3洗浄器1段目水相温度計	計装/放管設備	11条-18	機-06-07	AB	1	②-4	既設	非安重	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	第3洗浄器1段目水相温度高による加熱用温水の供給を停止するインターロック	計装/放管設備	11条-18	機-06-08	AB	1	②-4	既設	非安重	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	第1洗浄器1段目温度計	計装/放管設備	11条-18	機-06-09	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	第1洗浄器1段目温度高による加熱用温水の供給を停止するインターロック	計装/放管設備	11条-18	機-06-10	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	第3洗浄器1段目温度計	計装/放管設備	11条-18	機-06-11	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	第3洗浄器1段目温度高による加熱用温水の供給を停止するインターロック	計装/放管設備	11条-18	機-06-12	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	第1洗浄器1段目温度計	計装/放管設備	11条-18	機-06-13	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	第1洗浄器1段目温度高による加熱用温水の供給を停止するインターロック	計装/放管設備	11条-18	機-06-14	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	第3洗浄器1段目温度計	計装/放管設備	11条-18	機-06-15	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	

申請対象設備リスト (火災防護設備以外)

番号	施設区分	設備	設備又は系	系	機器名称	機種	基本設計方針 (機能要求②) 紐付け番号	エビデンス 紐付け番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用	備考	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	第3洗浄器1段目温度高による加熱用温水の供給を停止するインターロック	計装/放管設備	11条-18	機-06-16	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	第1蒸発缶凝縮器出口廃ガス圧力(1,2)計	計装/放管設備	11条-22	機-06-17	AC	2	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	第1蒸発缶圧力高による不活性ガス(窒素)の注入、有機溶媒の供給停止及び加熱蒸気の供給を停止するインターロック	計装/放管設備	11条-22	機-06-18	AC	2	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	溶媒蒸留塔上段圧力(1,2)計	計装/放管設備	11条-22	機-06-19	AC	2	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	溶媒蒸留塔圧力高による不活性ガス(窒素)の注入、有機溶媒の供給停止及び加熱蒸気の供給を停止するインターロック	計装/放管設備	11条-22	機-06-20	AC	2	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	熱分解装置乾留部下部ガス温度計	計装/放管設備	11条-24	機-06-21	DA	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	熱分解装置乾留部下部ガス温度高による外部ヒータの加熱停止及び廃溶媒の供給を停止するインターロック	計装/放管設備	11条-24	機-06-22	DA	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	燃焼装置温度(1)計	計装/放管設備	11条-25	機-06-23	DA	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	燃焼装置温度低による廃溶媒の供給を停止するインターロック	計装/放管設備	11条-25	機-06-24	DA	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	ウラン濃縮缶加熱蒸気温度(A,B)計	計装/放管設備	11条-29	機-06-03	AB	2	②-4	既設	安重	—	—	—	
	計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	ウラン濃縮缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路	計装/放管設備	11条-29	機-06-04	AB	2	②-4	既設	安重	—	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	ウラン濃縮缶加熱蒸気温度(1,2)計	計装/放管設備	11条-29	機-06-25	AC	2	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	ウラン濃縮缶加熱蒸気温度高によるウラン濃縮缶への加熱蒸気の供給停止及びウラン濃縮缶加熱蒸気発生器への一次蒸気を供給停止するインターロック	計装/放管設備	11条-29	機-06-26	AC	2	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	プルトニウム濃縮缶加熱蒸気温度(A,B)計	計装/放管設備	11条-29	機-06-05	AC	2	②-4	既設	安重	—	—	—	
	計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	プルトニウム濃縮缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路	計装/放管設備	11条-29	機-06-06	AC	2	②-4	既設	安重	—	—	—	
	計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	蒸発缶・精留塔加熱蒸気温度(A,B)計	計装/放管設備	11条-29	機-06-07	AC	2	②-4	既設	安重	—	—	—	
	計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	蒸発缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路	計装/放管設備	11条-29	機-06-08	AC	2	②-4	既設	安重	—	—	—	
	計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	高レベル廃液濃縮缶加熱蒸気温度(A,B)計	計装/放管設備	11条-29	機-06-09	AB	2	②-4	既設	安重	—	—	—	
	計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	蒸発缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路	計装/放管設備	11条-29	機-06-10	AB	2	②-4	既設	安重	—	—	—	
	計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	還元ガス受槽水素濃度(A,B)計	計装/放管設備	11条-35	機-06-11	CA	2	②-4	既設	安重	—	—	—	
	計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	還元ガス受槽水素濃度高による還元ガス供給停止回路	計装/放管設備	11条-35	機-06-12	CA	2	②-4	既設	安重	—	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	混合装置ミキサー水素濃度計	計装/放管設備	11条-35	機-06-29	CA	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	還元ガス供給槽水素濃度高による還元ガスの供給を停止するインターロック	計装/放管設備	11条-35	機-06-30	CA	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	



申請対象設備リスト (火災防護設備以外)

番号	施設区分	設備	設備又は系	系	機器名称	機種	基本設計方針 (機能要求②) 紐付け番号	エビデンス 紐付け番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用	備考
	放射性廃棄物の 廃棄施設	固体廃棄物の廃 棄施設	低レベル固体廃 棄物処理設備	廃溶媒処理系	—	主要弁	11条-24 11条-25	機-08-01	DA	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	
	放射性廃棄物の 廃棄施設	液体廃棄物の廃 棄施設	高レベル廃液処 理設備	高レベル廃液濃 縮設備	高レベル廃液濃 縮系	主要弁	11条-29	機-03-01	AB	2	②-3	既設	安重	—	—	—	
	放射性廃棄物の 廃棄施設	液体廃棄物の廃 棄施設	高レベル廃液処 理設備	高レベル廃液濃 縮設備	高レベル廃液濃 縮系	主配管	11条-32	配-03-01	AB	一式	②-3	既設	安重/非安重	常設SA	—	—	配管名称細分 化中
	放射性廃棄物の 廃棄施設	液体廃棄物の廃 棄施設	高レベル廃液処 理設備	高レベル廃液貯 蔵設備	高レベル濃縮廃 液貯蔵系	主配管	11条-32	配-09-01	KA	一式	②-3	既設	安重/非安重	常設SA	—	—	配管名称細分 化中
	放射性廃棄物の 廃棄施設	液体廃棄物の廃 棄施設	高レベル廃液処 理設備	高レベル廃液貯 蔵設備	不溶解残渣廃液 貯蔵系	主配管	11条-32	配-09-01	KA	一式	②-3	既設	安重/非安重	常設SA	—	—	配管名称細分 化中
	放射性廃棄物の 廃棄施設	液体廃棄物の廃 棄施設	高レベル廃液処 理設備	高レベル廃液貯 蔵設備	共用貯蔵系	主配管	11条-32	配-09-01	KA	一式	②-3	既設	安重/非安重	常設SA	—	—	配管名称細分 化中
	放射性廃棄物の 廃棄施設	固体廃棄物の廃 棄施設	高レベル廃液ガ ラス固化設備	—	—	主配管	11条-32	配-09-01	KA	一式	②-3	既設	安重/非安重	常設SA	—	—	配管名称細分 化中
	その他再処理設 備の附属施設	その他再処理設 備の附属施設 (再処理設備本 体用)	圧縮空気設備	安全圧縮空気系	—	安全空気圧縮装置A/B/C	11条-32	機-07-01	AA	3	②-3	既設	安重	—	—	—	
	その他再処理設 備の附属施設	その他再処理設 備の附属施設 (再処理設備本 体用)	圧縮空気設備	安全圧縮空気系	—	水素掃気用空気貯槽	11条-32	機-07-02	AA	1	②-3	既設	安重	—	—	—	
	その他再処理設 備の附属施設	その他再処理設 備の附属施設 (再処理設備本 体用)	圧縮空気設備	安全圧縮空気系	—	主配管	11条-32	配-02-01 配-03-01 配-04-01 配-05-01 配-07-01 配-09-01	AA, AB, AC, CA, KA, AT	一式	②-3 ②-4	既設	安重/非安重	常設SA	—	—	配管名称細分 化中

## 申請対象設備抽出結果

施 設	再処理設備本体，計測制御系統施設
設 備	計測制御設備 安全保護回路 分配設備，ウラン精製設備，プルトニウム精製設備，分離・分配系，ウラン精製系，プルトニウム精製系 (火災発生防止；化学的制限値)
機 器	計測制御設備，安全保護回路，主要弁 (インターロック含む)

【対象機器】	施設区分		設備区分				機器名称(許可)
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	計測制御設備
計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	—	安全保護回路	
再処理設備本体	分離施設	分配設備	—	—	—	遮断弁	
		ウラン精製設備	—	—	—	遮断弁	
	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒再生系	分離・分配系	—	—	遮断弁
				ウラン精製系	—	—	遮断弁
ブルトニウム精製系	—	—	—	遮断弁			

【主たる機能】 火災発生防止；化学的制限値

精査中

【機器等の抽出】																		
紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考
機-06-01	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	ウラン逆抽出器溶液温度	ウラン逆抽出器 8 段目水相温度計	計装/放管設備	AB	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-02	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	ウラン逆抽出器溶液温度	ウラン逆抽出器 8 段目水相温度高による逆抽出用硝酸の供給を停止するインターロック	計装/放管設備	AB	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-03	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	逆抽出器溶液温度	逆抽出器溶液温度計	計装/放管設備	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-04	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	逆抽出器溶液温度	逆抽出器溶液温度高による逆抽出用硝酸の供給を停止するインターロック	計装/放管設備	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-01	計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	—	逆抽出塔溶液温度高による加熱停止回路	逆抽出塔溶液温度 (A, B) 計	計装/放管設備	AC	2	②-4	既設	安重	—	—	—	—
機-06-02	計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	—	逆抽出塔溶液温度高による加熱停止回路	逆抽出塔溶液温度高による加熱停止回路	計装/放管設備	AC	2	②-4	既設	安重	—	—	—	—
機-04-01	再処理設備本体	精製施設	ブルトニウム精製設備	—	—	—	逆抽出塔溶液温度高による加熱停止回路に係る遮断弁	主要弁	主要弁	AC	4	②-4	既設	安重	—	—	—	—
機-06-31	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	ウラン逆抽出器温度	ウラン逆抽出器溶液温度計	計装/放管設備	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-32	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	ウラン逆抽出器温度	ウラン逆抽出器溶液温度高による逆抽出用硝酸の加温を停止するインターロック	計装/放管設備	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-04-02	再処理設備本体	精製施設	ブルトニウム精製設備	—	—	—	ブルトニウム精製設備	主要弁	主要弁	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-05	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	第 1 洗浄器溶液温度	第 1 洗浄器 1 段目水相温度計	計装/放管設備	AB	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-06	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	第 1 洗浄器溶液温度	第 1 洗浄器 1 段目水相温度高による加熱用温水の供給を停止するインターロック	計装/放管設備	AB	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-03-01	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒再生系	分離・分配系	—	分離・分配系	主要弁	主要弁	AB	1	②-3	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-07	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	第 3 洗浄器溶液温度	第 3 洗浄器 1 段目水相温度計	計装/放管設備	AB	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-08	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	第 3 洗浄器溶液温度	第 3 洗浄器 1 段目水相温度高による加熱用温水の供給を停止するインターロック	計装/放管設備	AB	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-03-02	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒再生系	分離・分配系	—	分離・分配系	主要弁	主要弁	AB	1	②-3	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-09	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	第 1 洗浄器溶液温度	第 1 洗浄器 1 段目温度計	計装/放管設備	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-10	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	第 1 洗浄器溶液温度	第 1 洗浄器 1 段目温度高による加熱用温水の供給を停止するインターロック	計装/放管設備	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-04-01	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒再生系	ブルトニウム精製系	—	ブルトニウム精製系	主要弁	主要弁	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-11	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	第 3 洗浄器溶液温度	第 3 洗浄器 1 段目温度計	計装/放管設備	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-12	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	第 3 洗浄器溶液温度	第 3 洗浄器 1 段目温度高による加熱用温水の供給を停止するインターロック	計装/放管設備	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-04-02	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒再生系	ブルトニウム精製系	—	ブルトニウム精製系	主要弁	主要弁	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-13	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	第 1 洗浄器溶液温度	第 1 洗浄器 1 段目温度計	計装/放管設備	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-14	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	第 1 洗浄器溶液温度	第 1 洗浄器 1 段目温度高による加熱用温水の供給を停止するインターロック	計装/放管設備	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—

【対象機器】	施設区分		設備区分				機器名称(許可)
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	計測制御設備
計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	—	安全保護回路	
再処理設備本体	分離施設	分配設備	—	—	—	遮断弁	
		ウラン精製設備	—	—	—	遮断弁	
	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒再生系	分離・分配系	—	遮断弁	
		ウラン精製系			—	遮断弁	
		プルトニウム精製系			—	遮断弁	

【主たる機能】 火災発生防止；化学的制限値

精査中

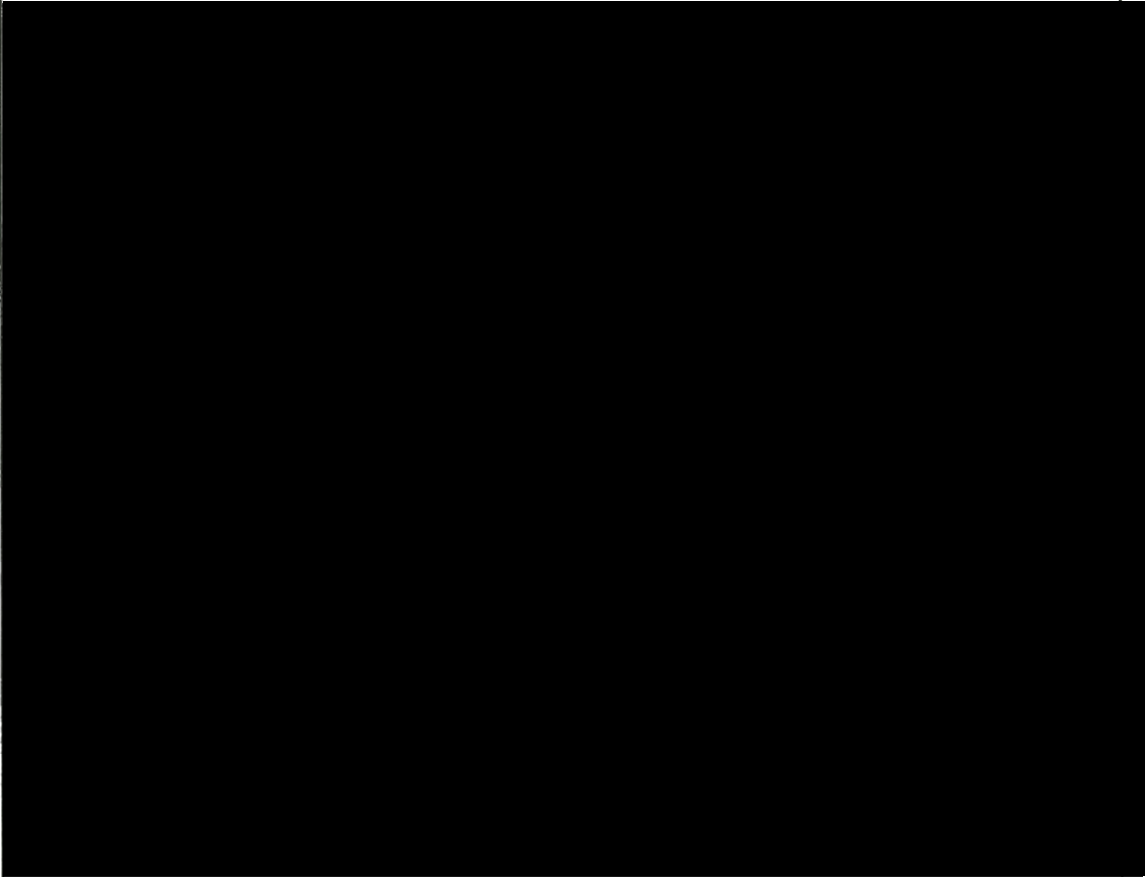
【機器等の抽出】																		
機-04-01	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒再生系	ウラン精製系	—	ウラン精製系	主要弁	主要弁	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-15	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	第3洗浄器溶液温度	第3洗浄器1段目温度計	計装/放管設備	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-16	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	第3洗浄器溶液温度	第3洗浄器1段目温度高による加熱用温水の供給を停止するインターロック	計装/放管設備	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-04-02	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒再生系	ウラン精製系	—	ウラン精製系	主要弁	主要弁	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—

機-06-01,02

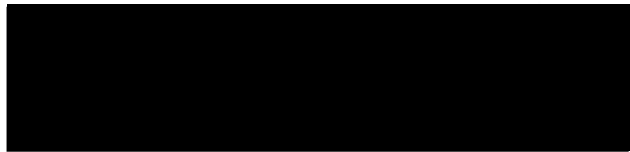
平成10年12月25日  
一 次 補 正

11-42

ウラン逆抽出器8段目水相温度



計装制御設備



第1.2.1.3.2-20図  
分配設備の  
の20)



図-ホ-1-2-20

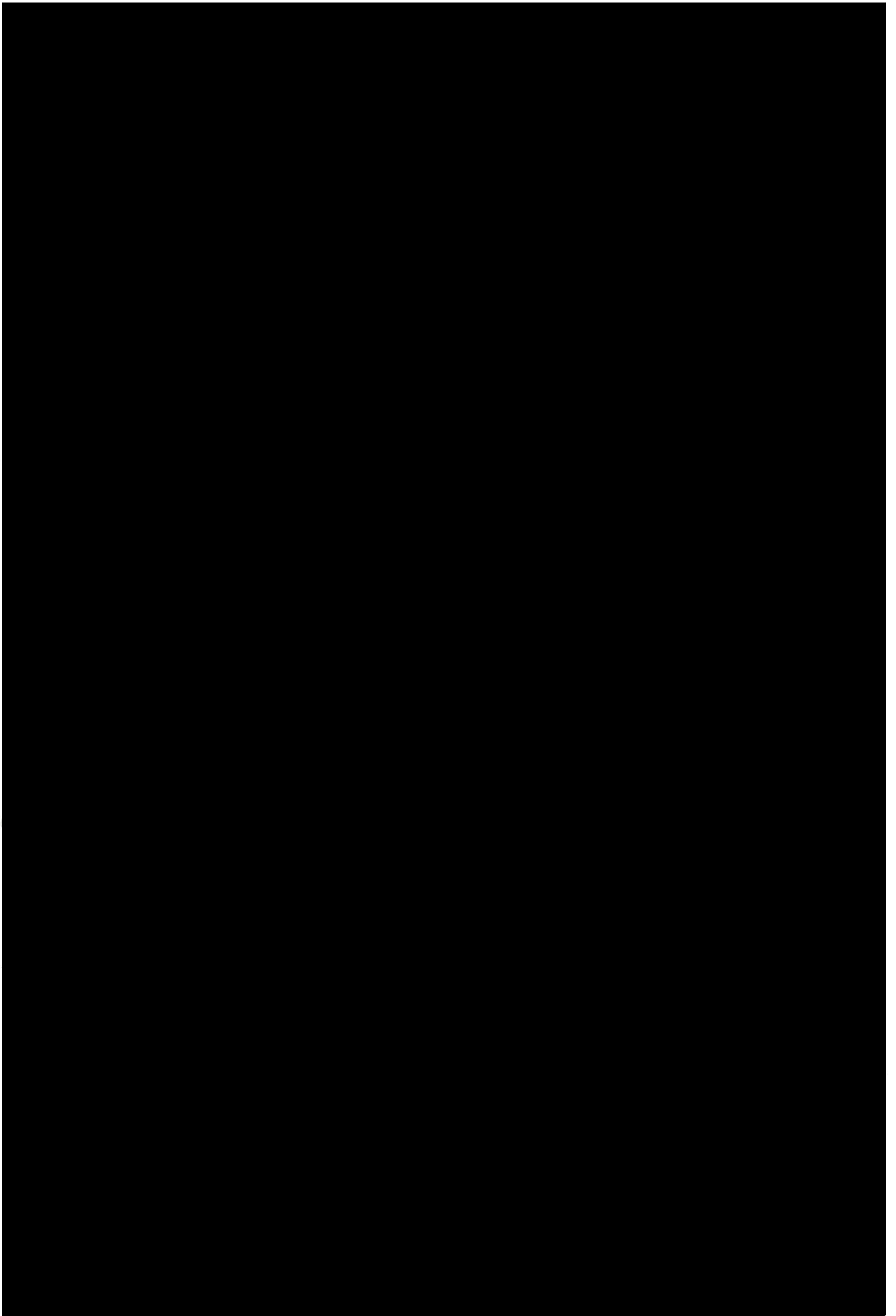
F

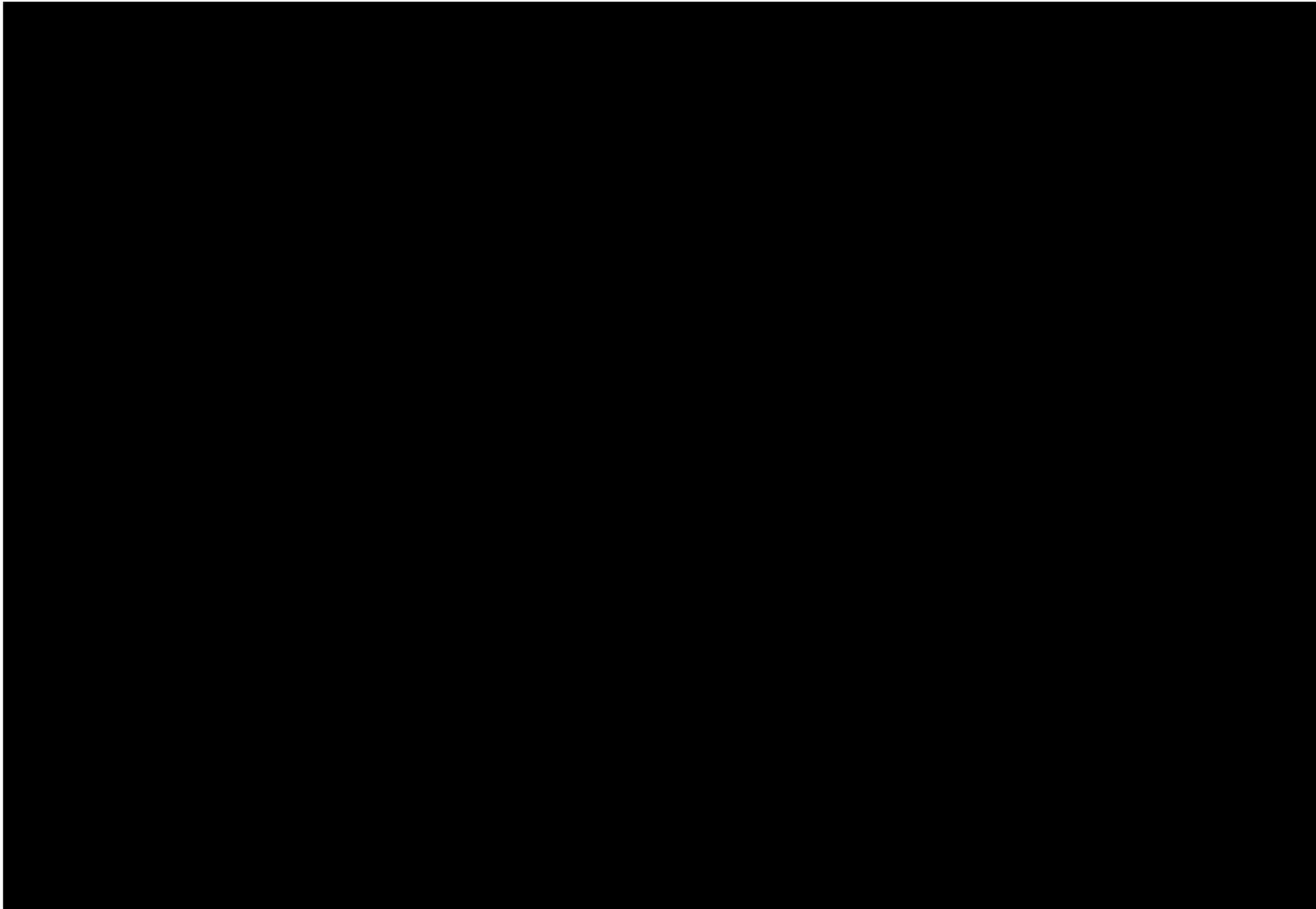
①-SM F

232

107

107.1



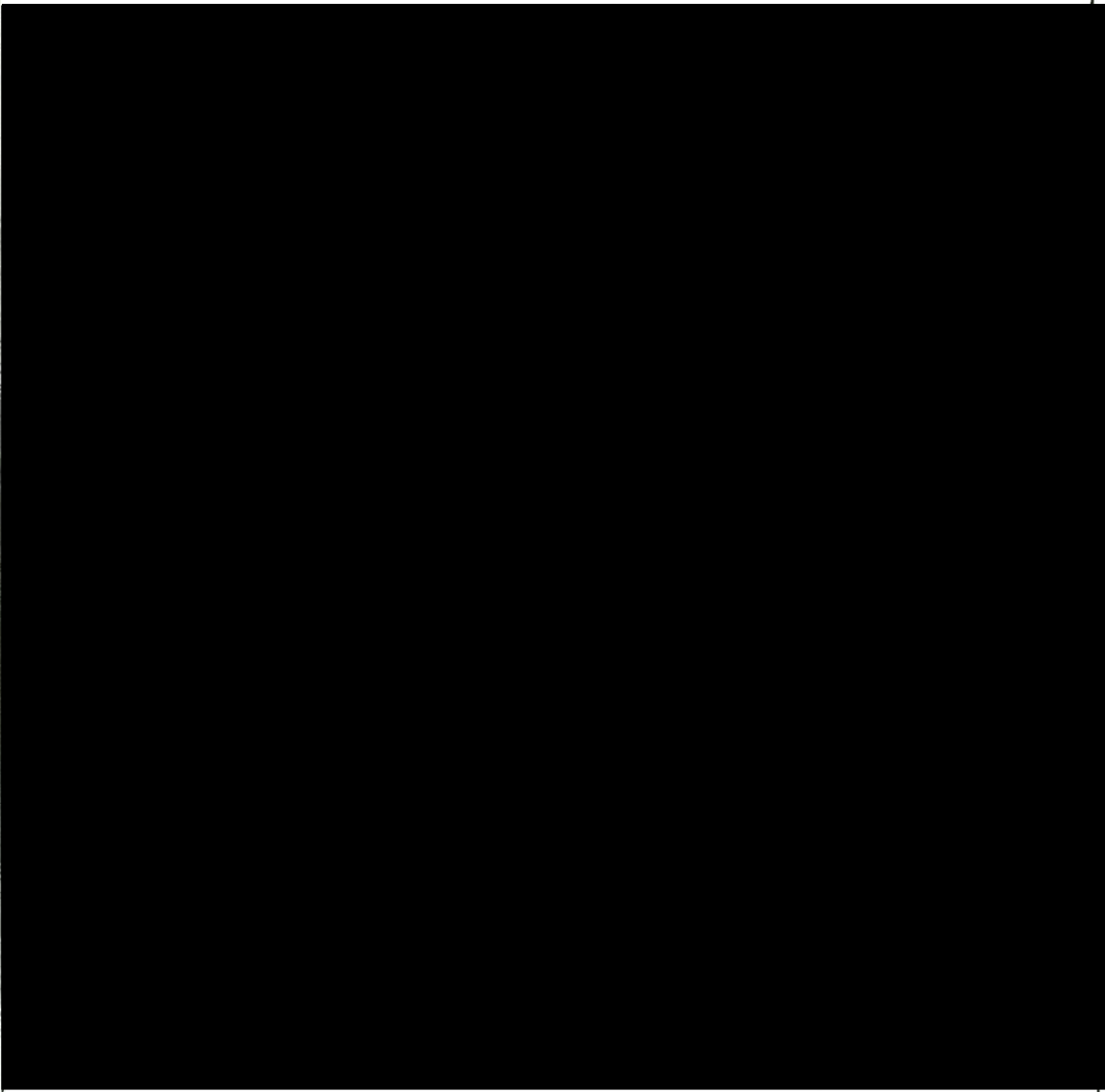


機 06-03.04

13-1

平成10年12月25日  
一 次 補 正

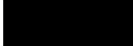
逆抽出器溶液温度



計測制御設備



第1.2.1.4.1-1図  
ウラン精製設備の  
計測制御系統図(その1)



D

図-ホ-1-4-1

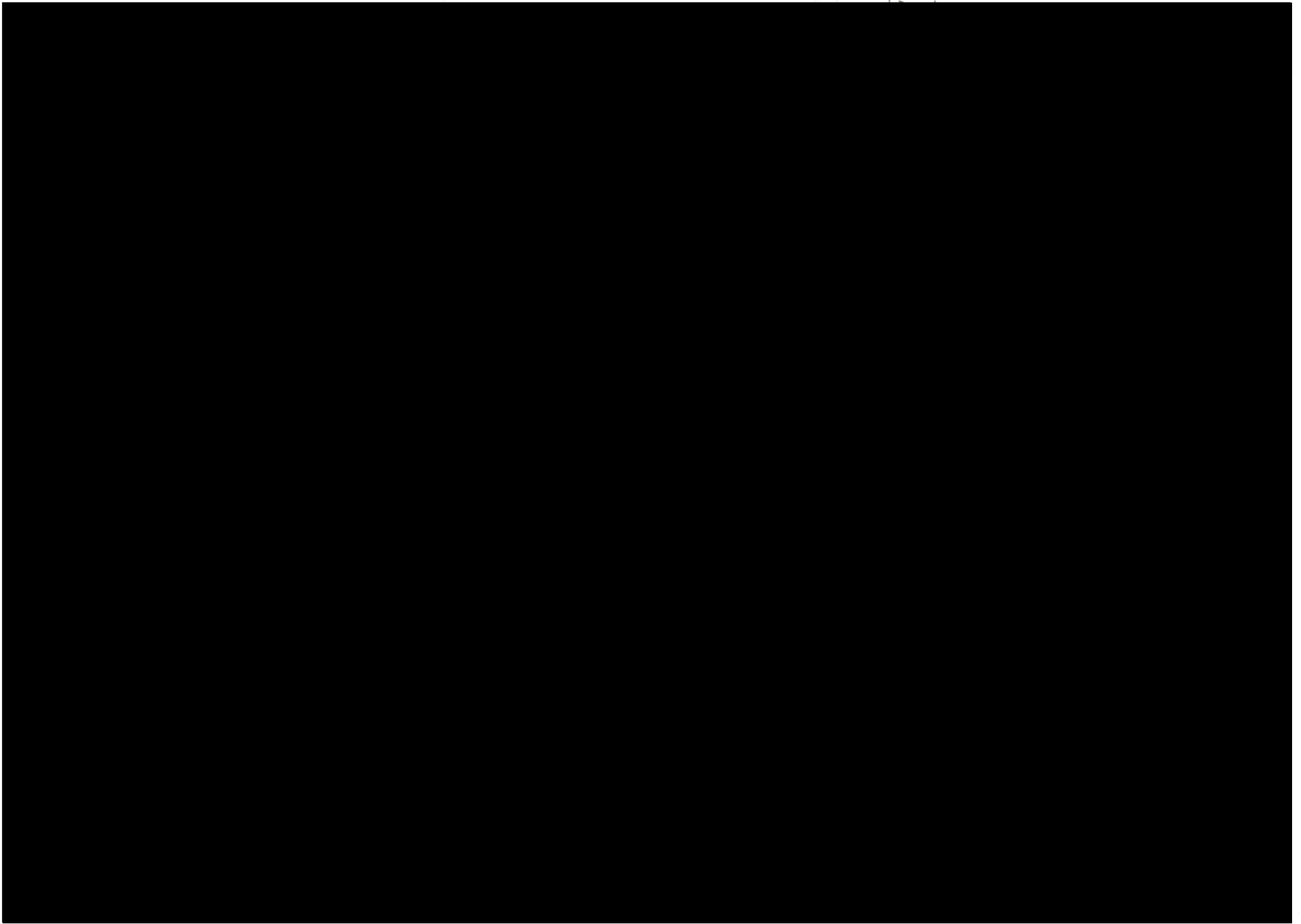
⑦-MC-D  
766

766

1171





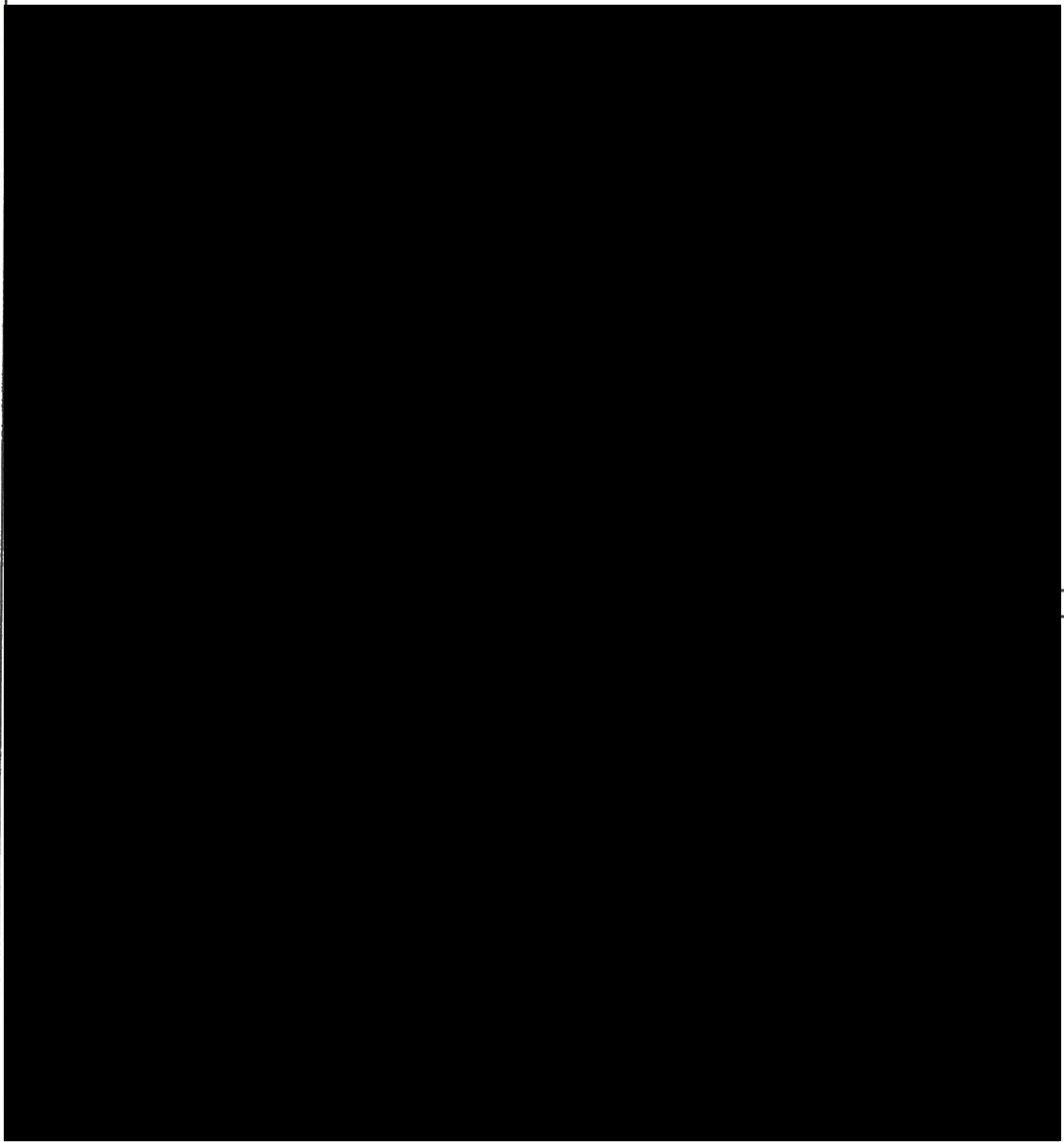


機-06-01, 02

89.1-9

逆抽出塔溶液温度 A

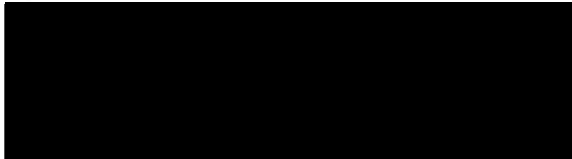
安全保護回路



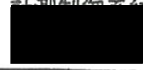
704-2-3  
精製  
設備  
機-04-01

⑦-MC-G

1234



第1.2.1.4.2-2図  
プルトニウム精製設備の  
計測制御系統図(その2)



G

図一ホ一1-5-2

1

190A

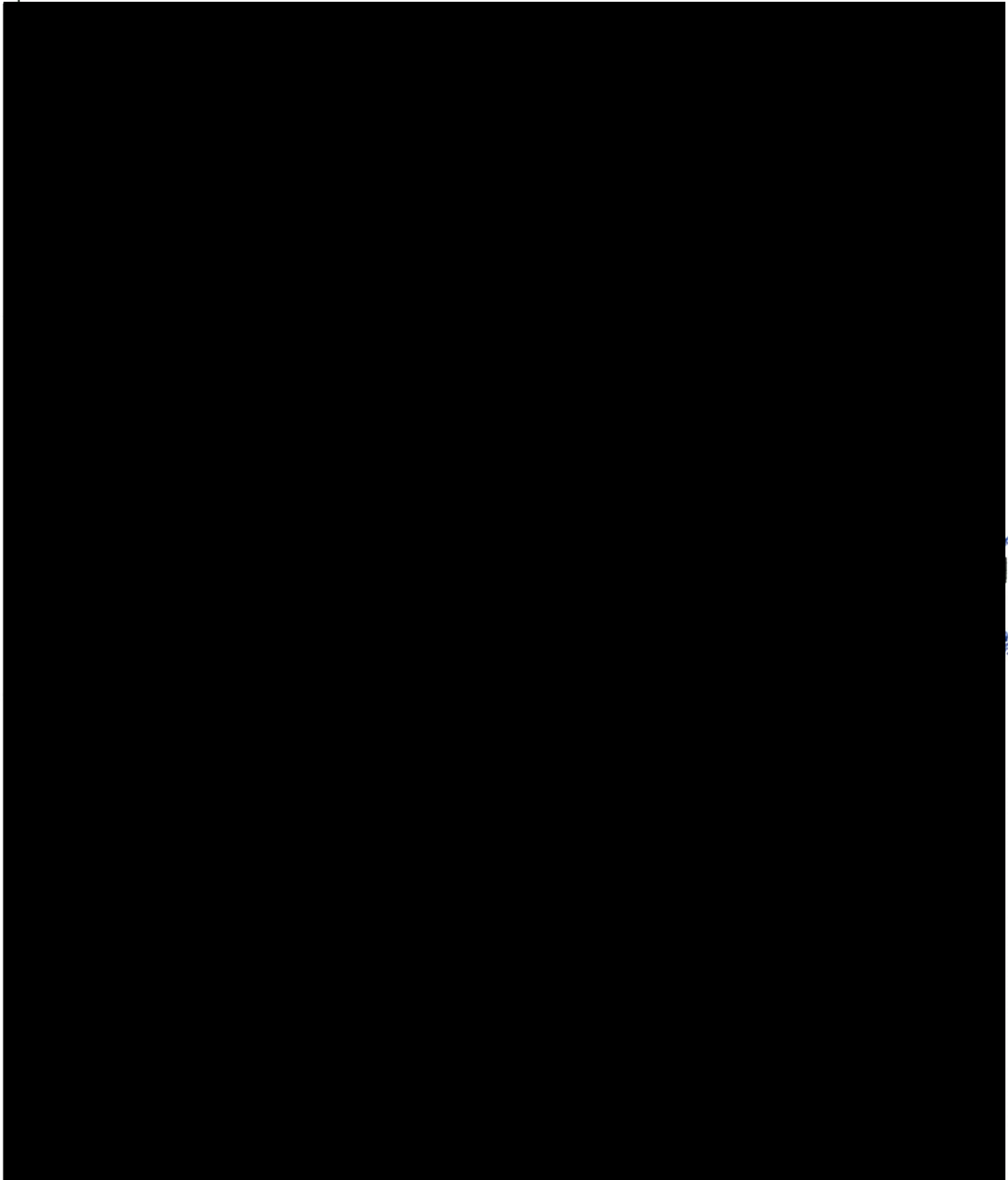
機-06-01, 02

平成10年12月25日  
一次補正

89.1-10

逆抽出塔溶液温度B

安全保護回路



pl=ウム  
精製  
設備  
機-04-01

①-MC-F

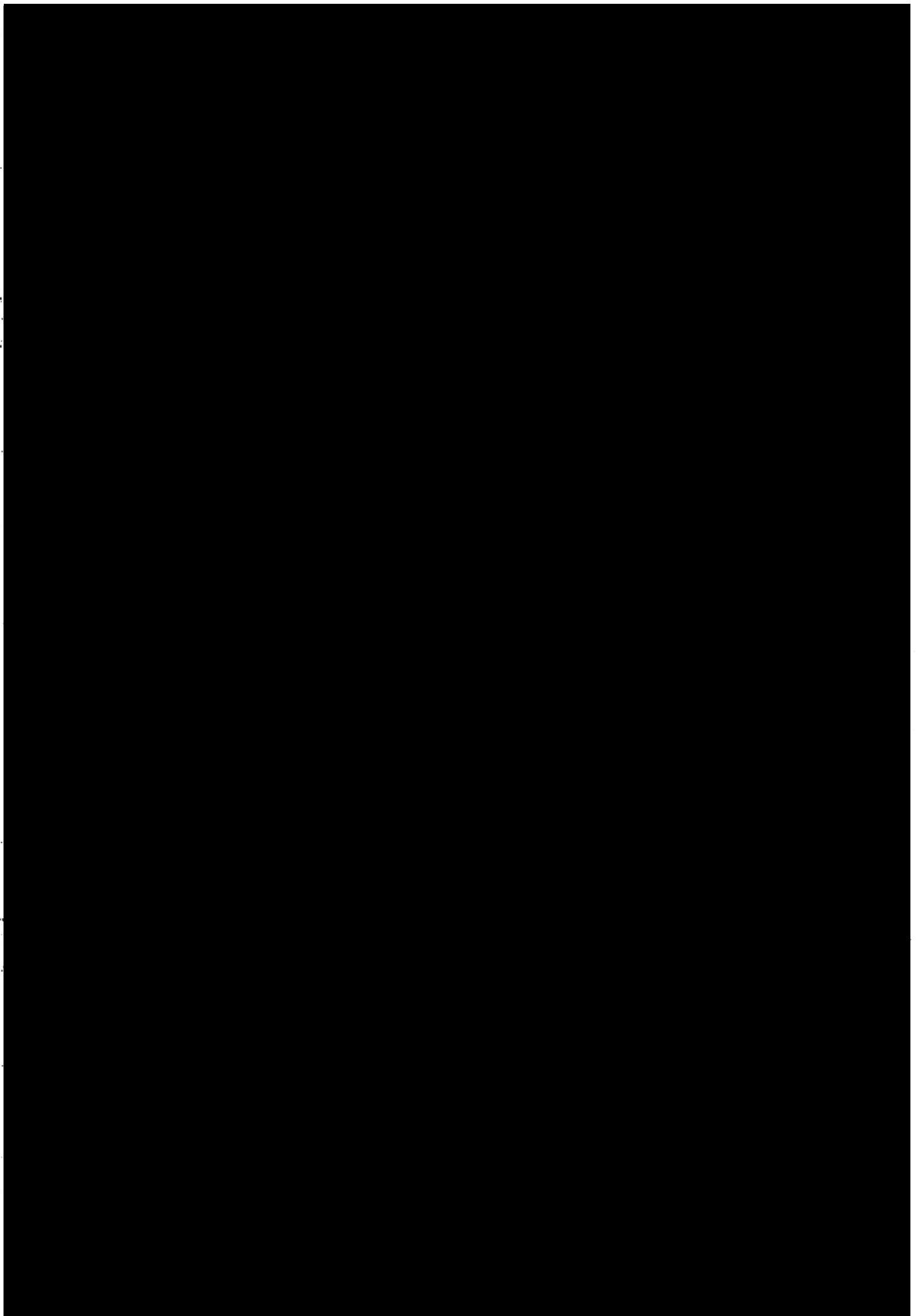
1235

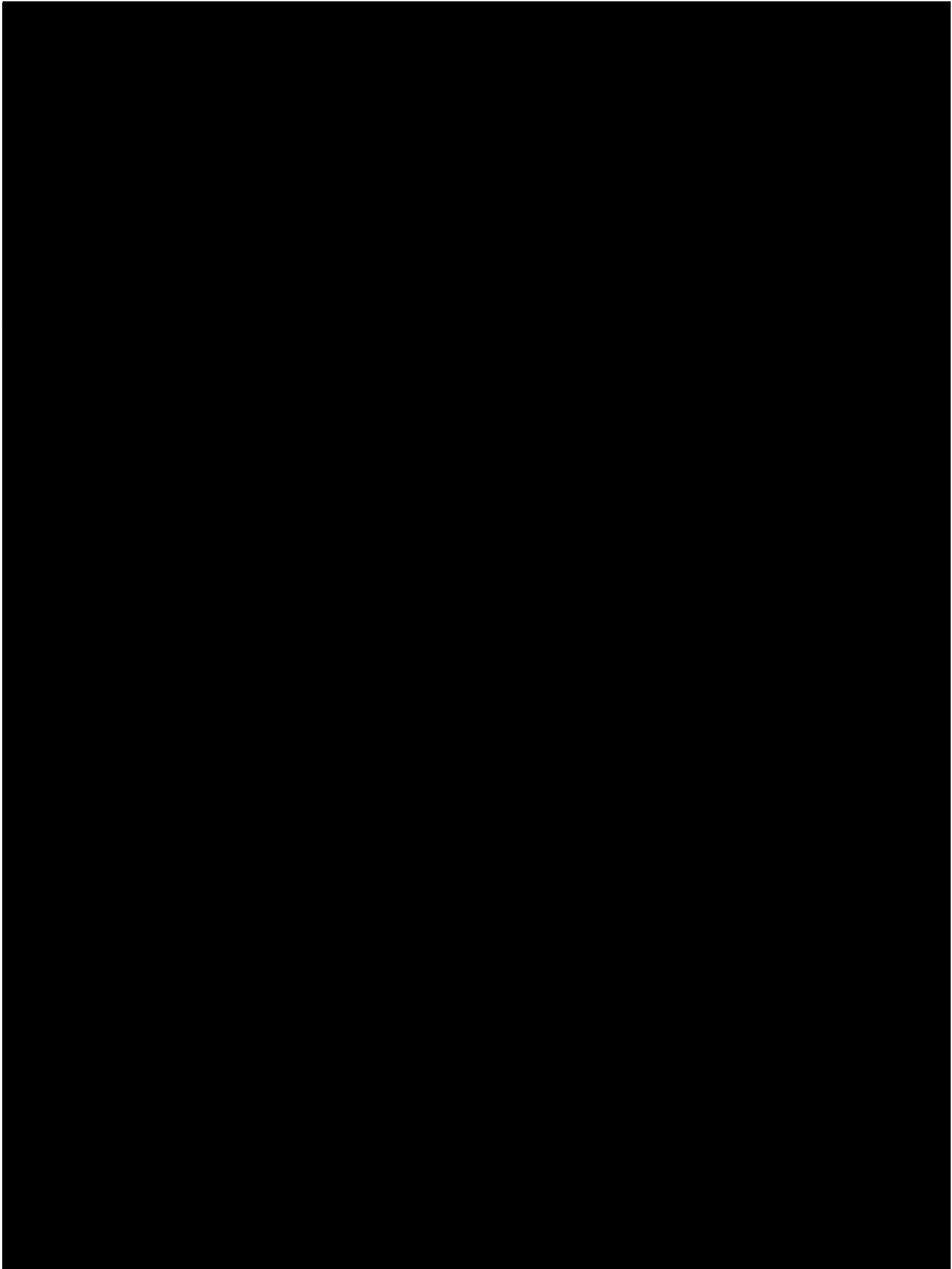
第1.2.1.4.2-3図  
プルトニウム精製設備の  
計測制御系統図(その3)

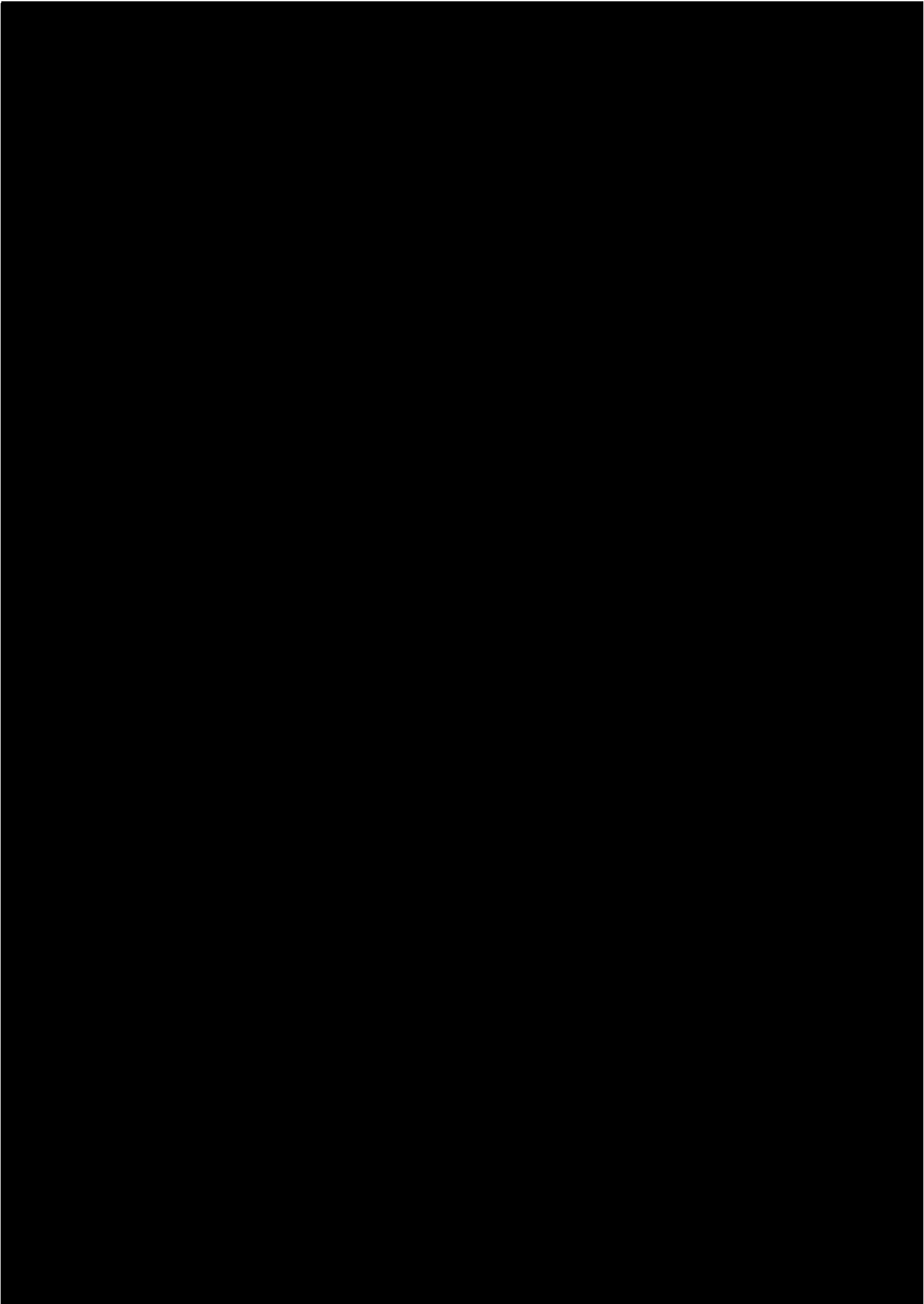


図-ホ-1-5-3

F



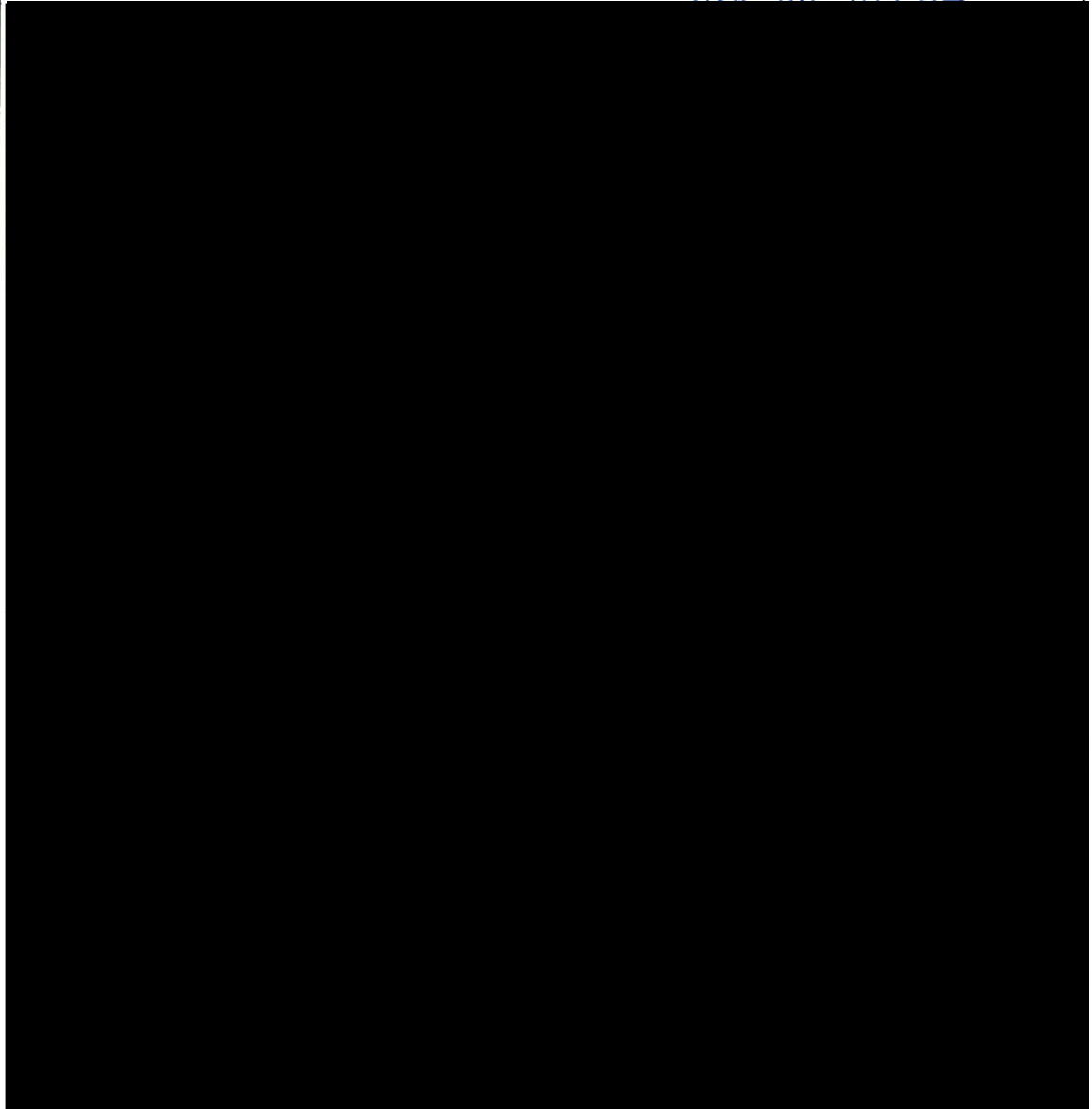




ウラン逆抽出器 8 段目温度

計測制御設備

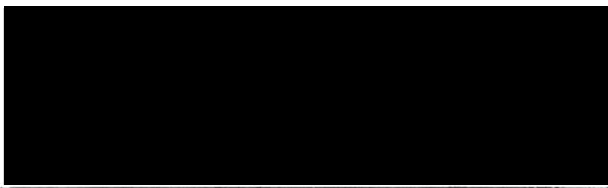
機-06-31.32



⑦-MC-F



1234



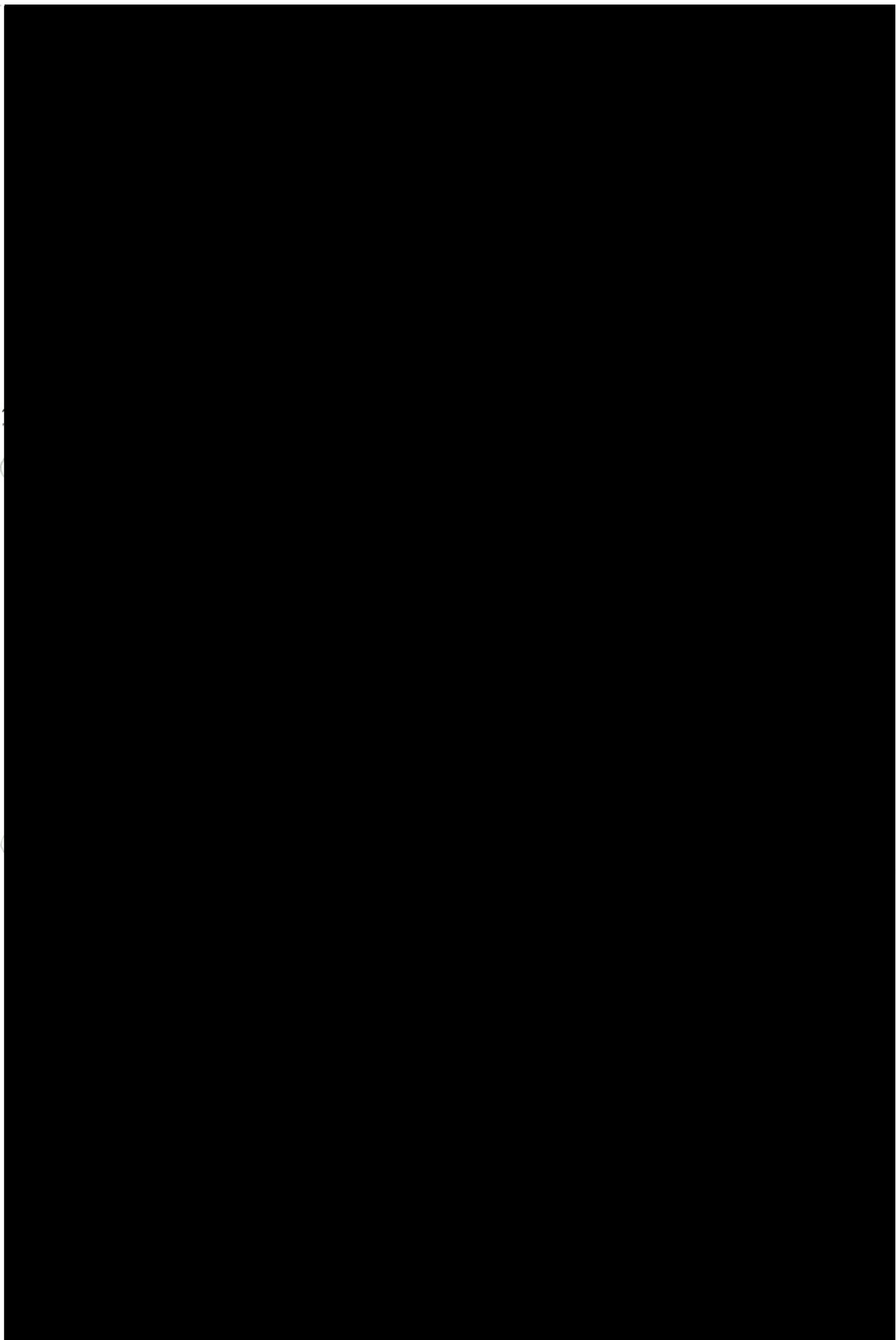
第1.2.1.4.2-7図  
プルトニウム精製設備の  
計測制御系統図 (その7)

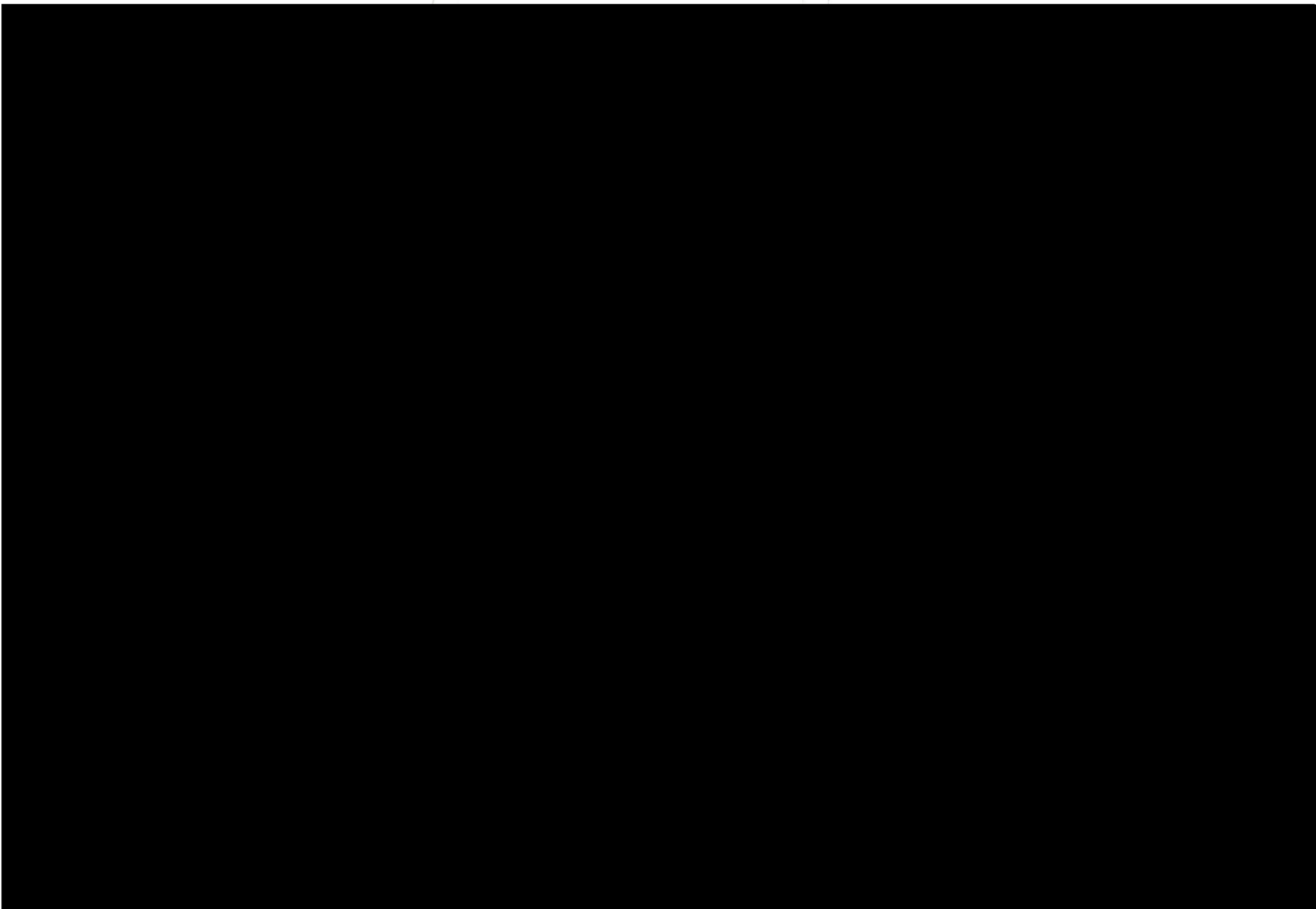


図-ホ-1-5-7

F





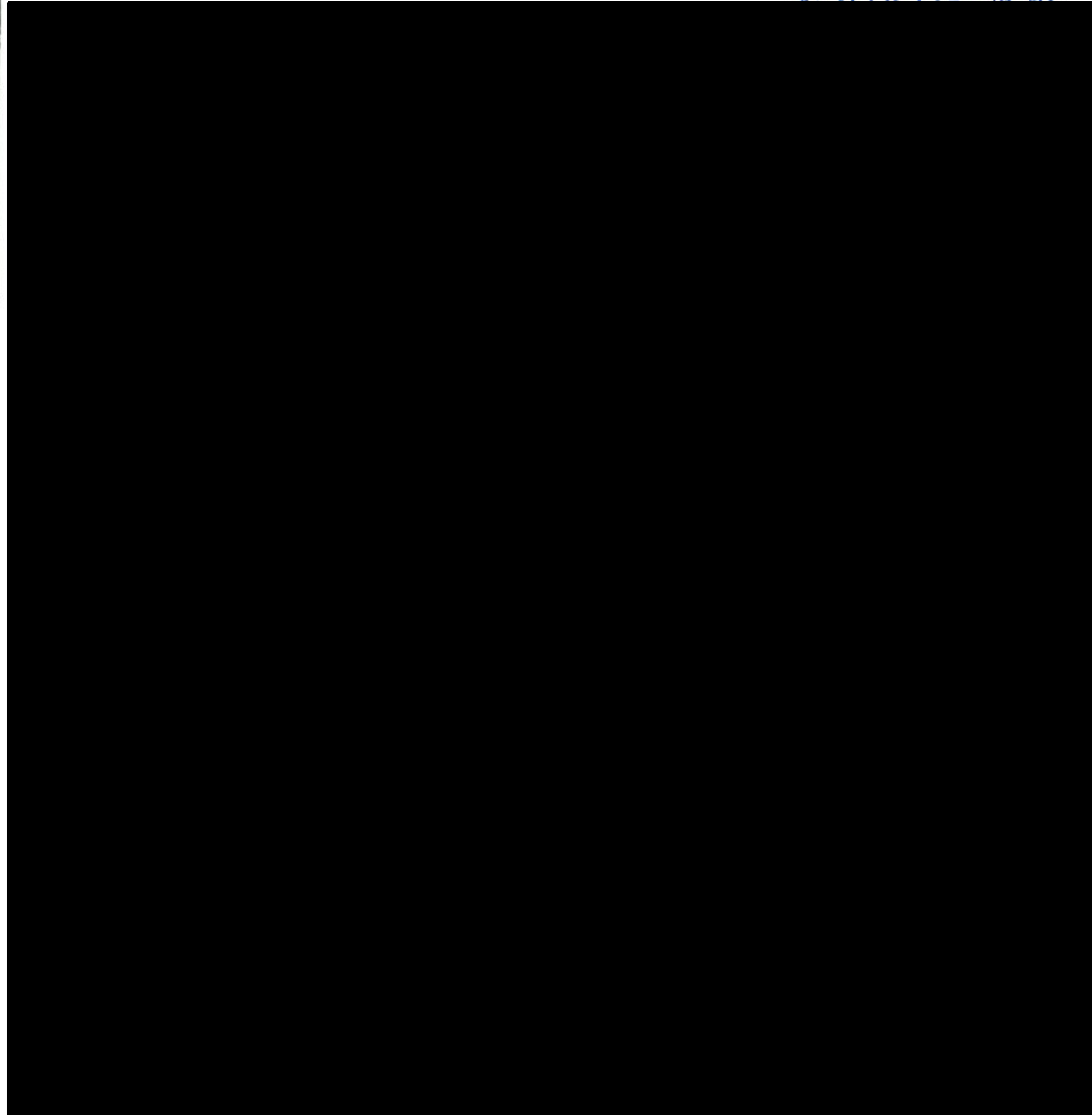


機-06-05, 06

平成10年12月25日  
一 次 補 正

29-1

第1洗浄器1段目水相温度



①-SM F 97/

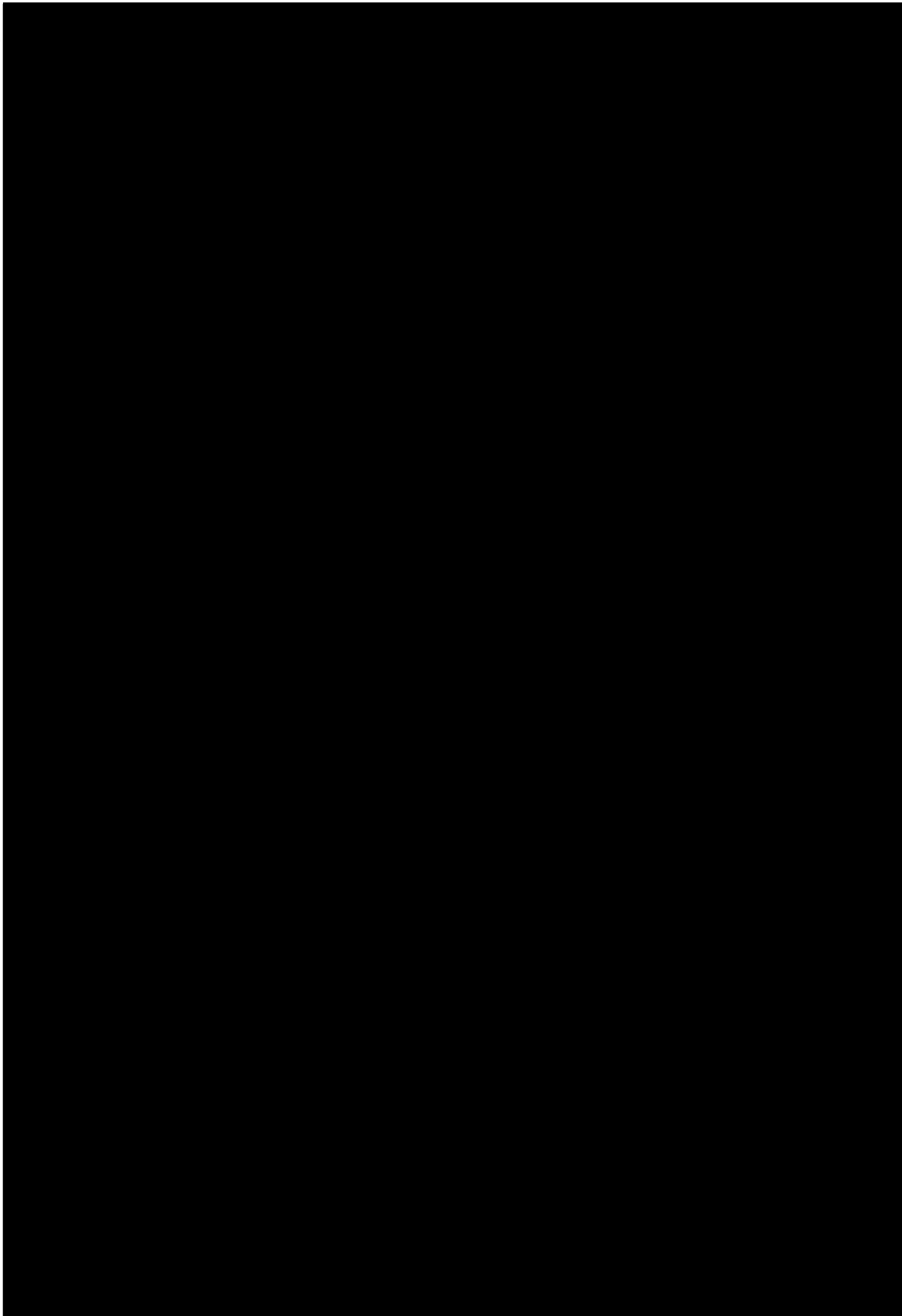
778

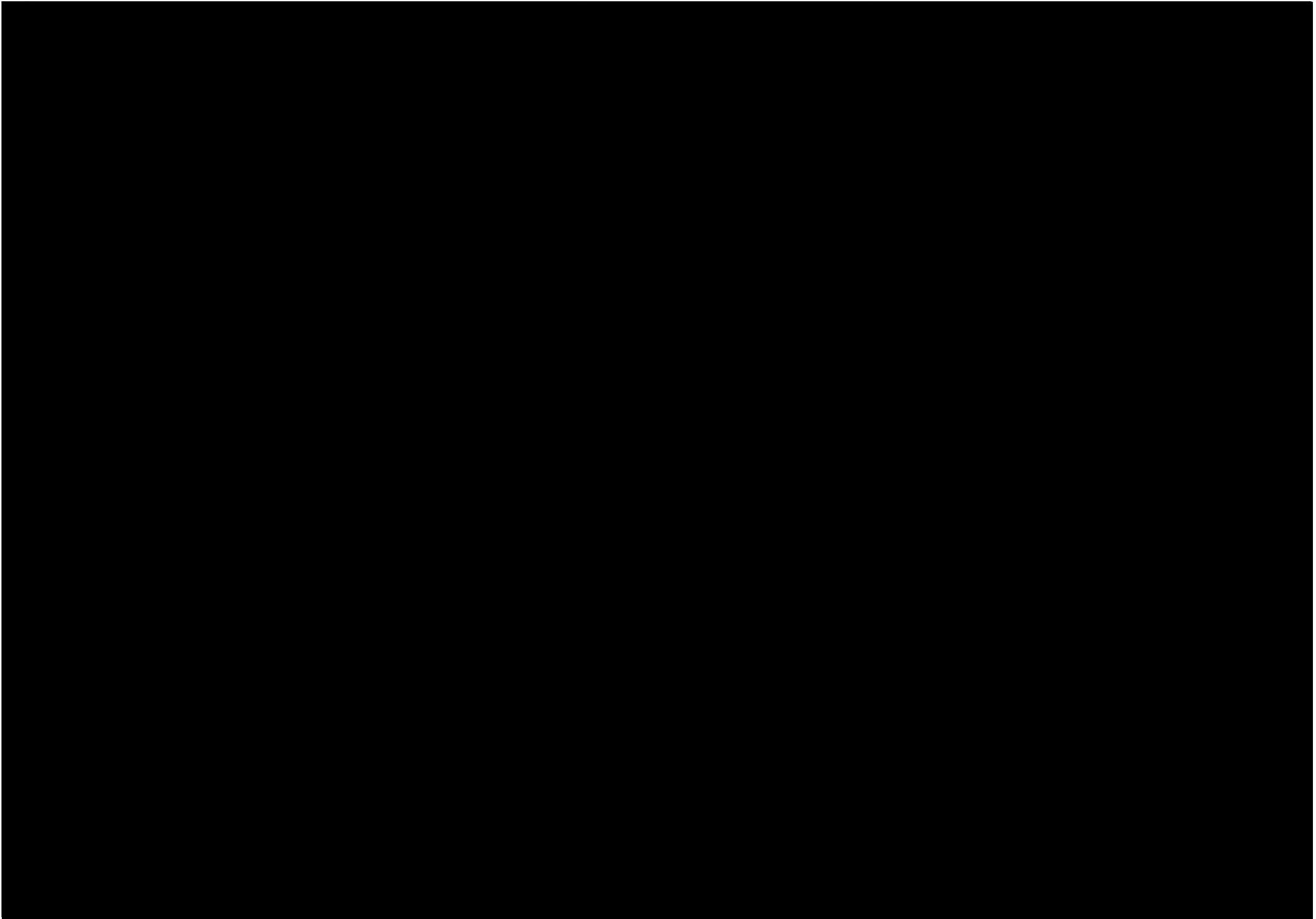
1452

第1.2.1.6.2.1.1-1図  
分離・分配系の  
計測制御系統図(その1)

F

図-ホ-1-9-1





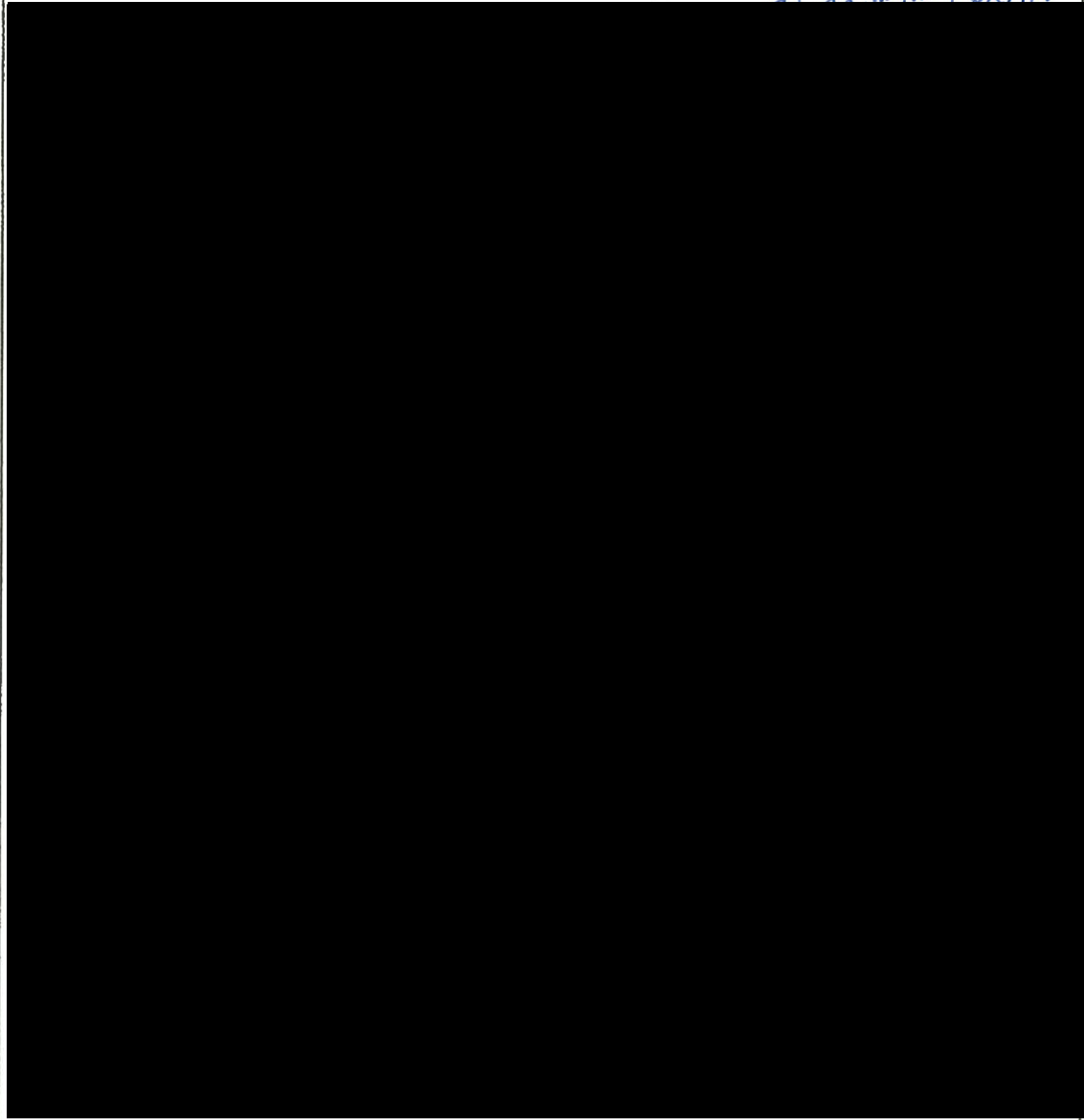
機-06-07.08

平成10年12月25日  
一 次 補 正

29-2

第3洗浄器1段目水相温度

計装制御設備



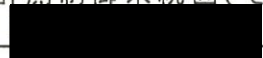
①-SM F  
1.1.1

179

1453

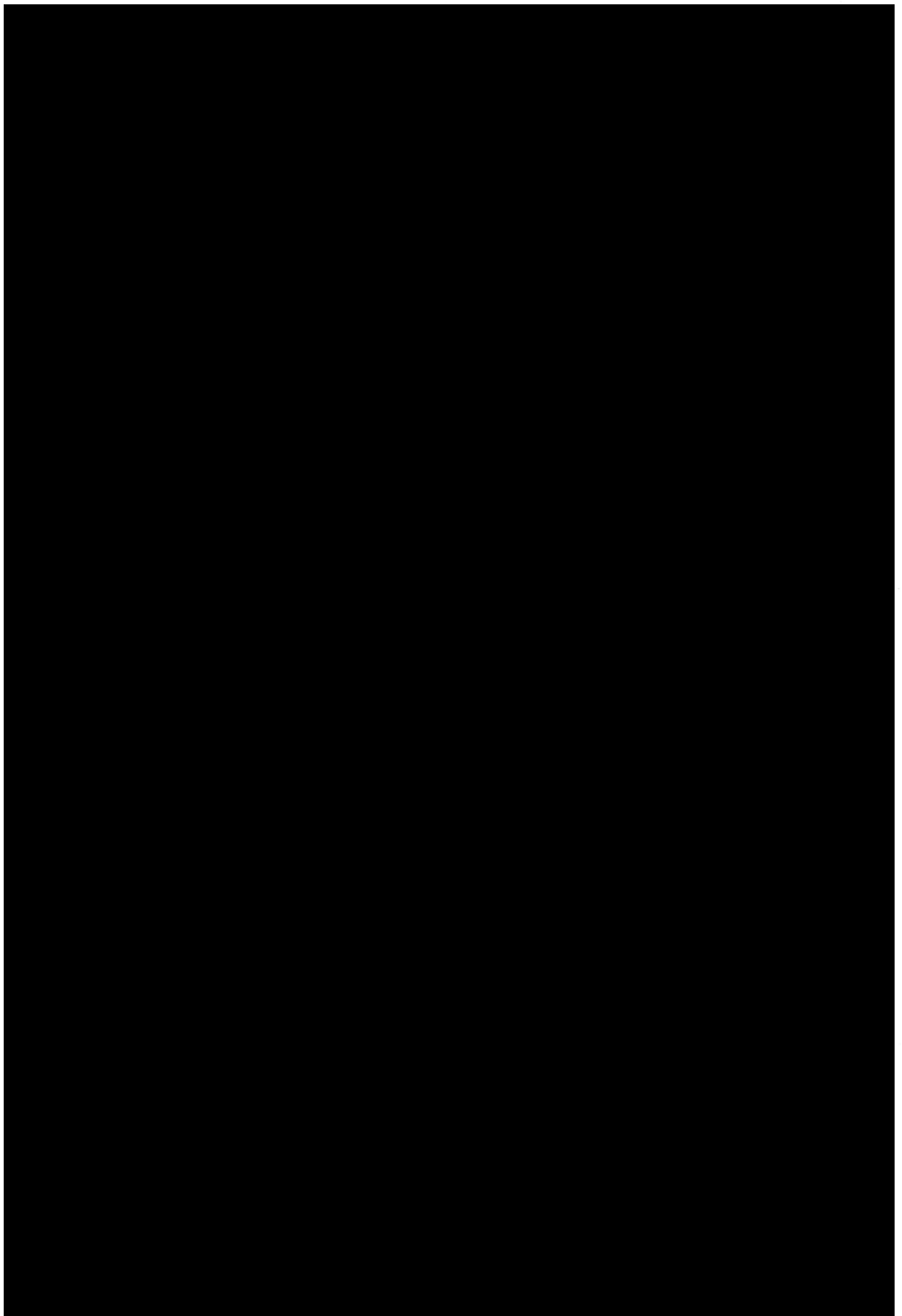


第1.2.1.6.2.1.1-2図  
分離・分配系の  
計測制御系統図(その2)



F

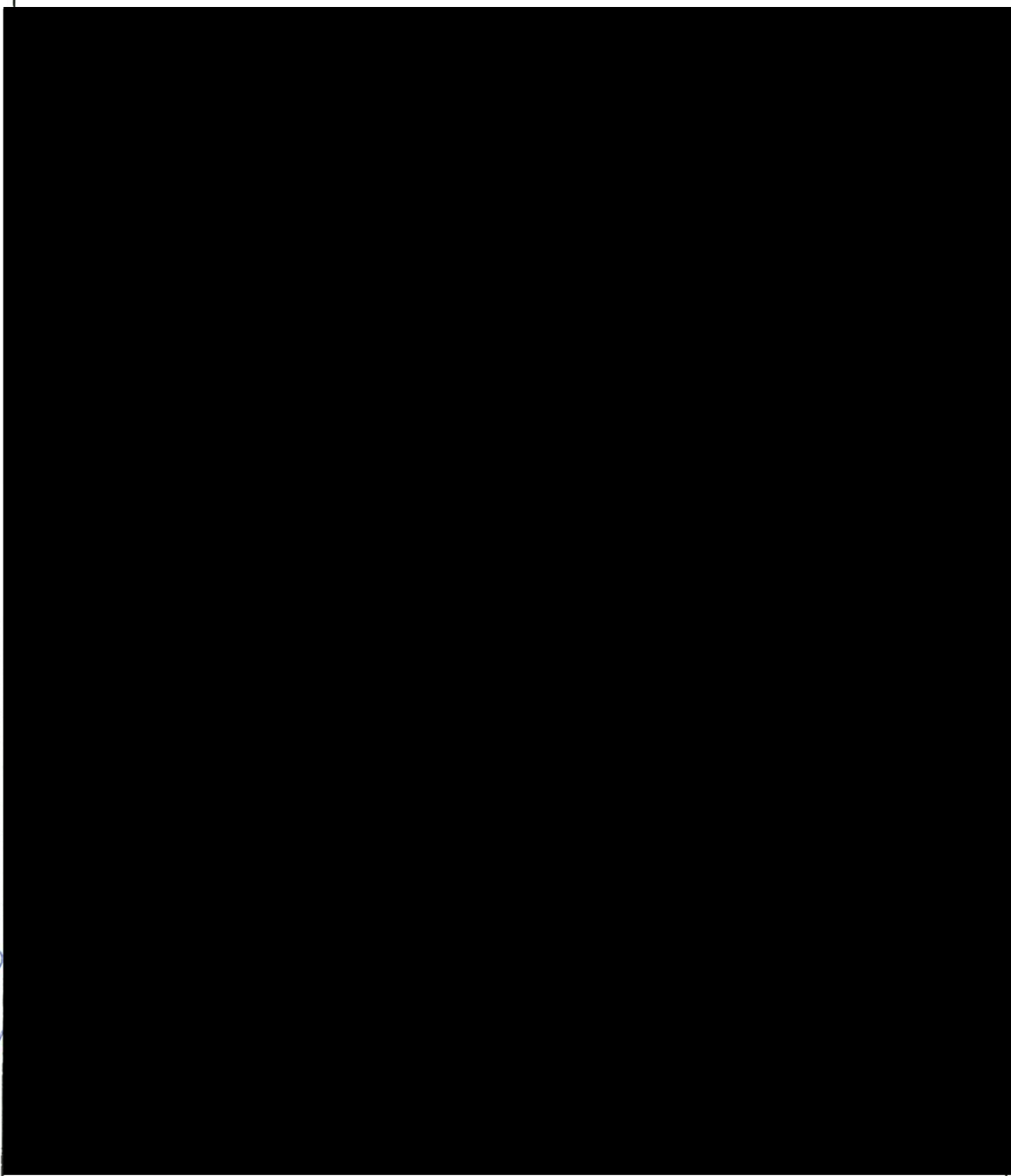
図-ホ-1-9-2







①



⑦  
132

⑦-MC-G

⑦  
790

機-06-0

機-06-1

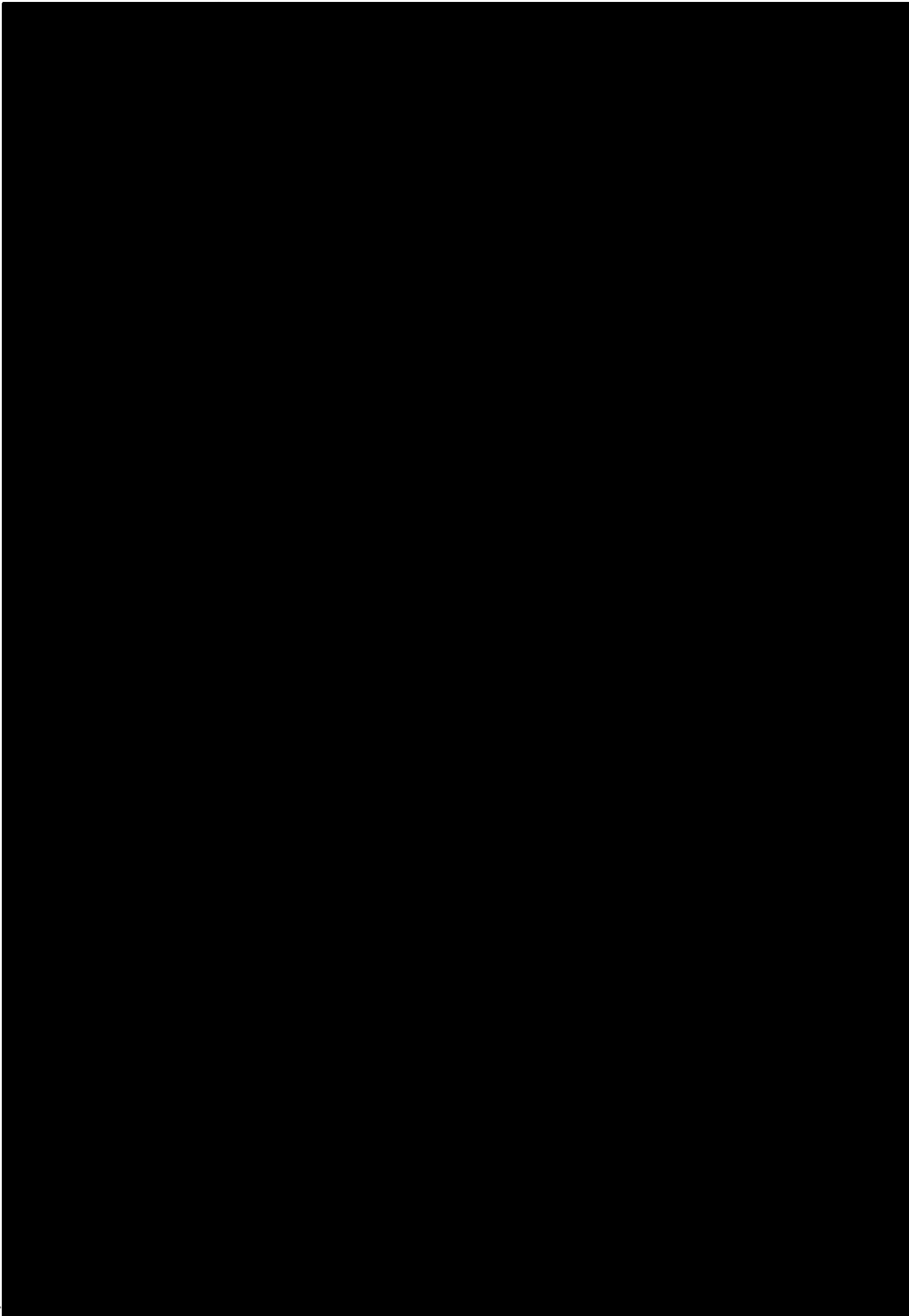
1473

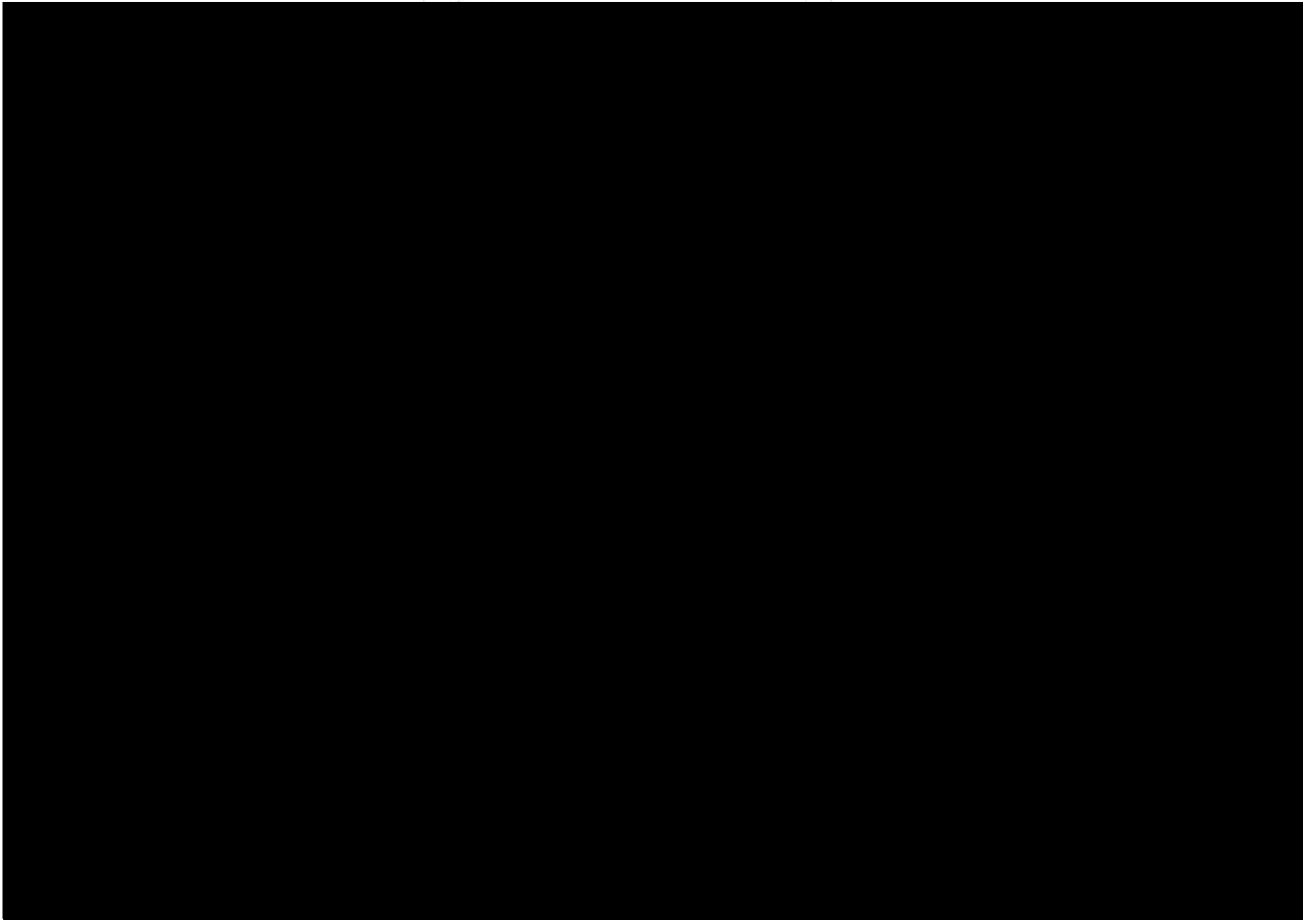
-4  
-5

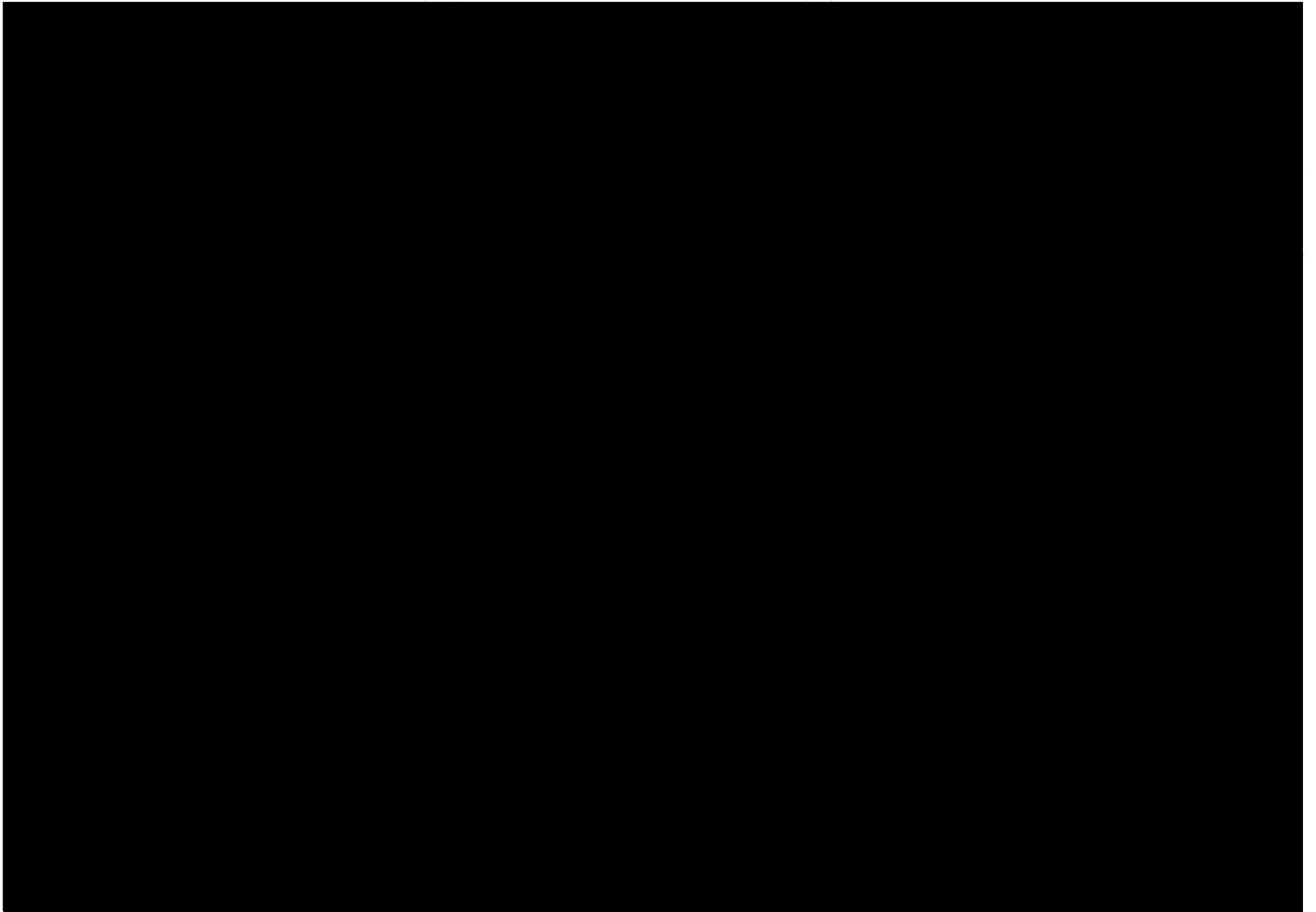


第1.2.1.6.2.1.2-1図  
プルトニウム精製系の  
計測制御系統図(その1)  
( ⑦ )

G

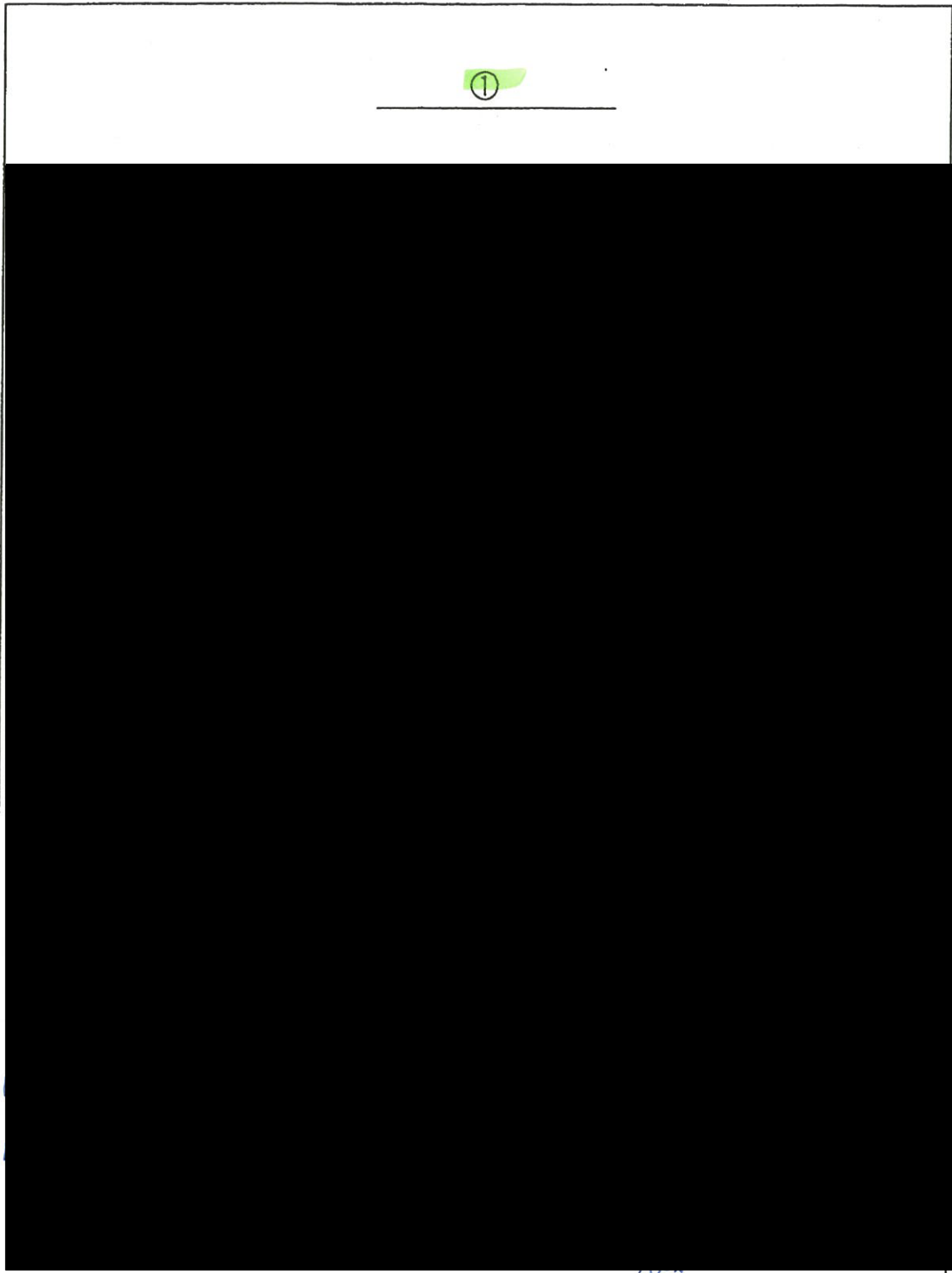






31-3 平成10年12月25日  
— 次 補 正  
31-4

①



121

⑦-MC-F



187

機-06-13.

機-06-15.

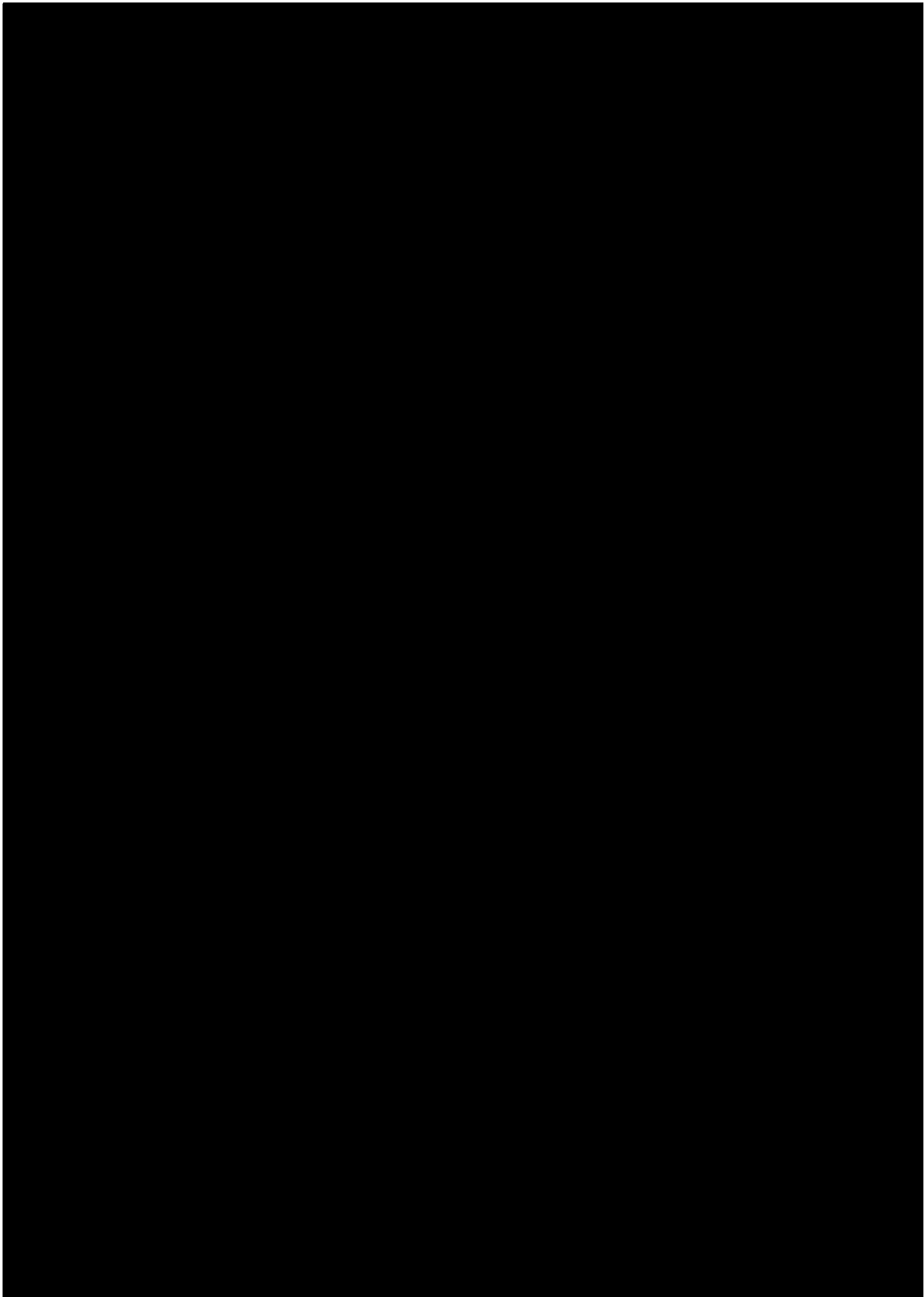
1501

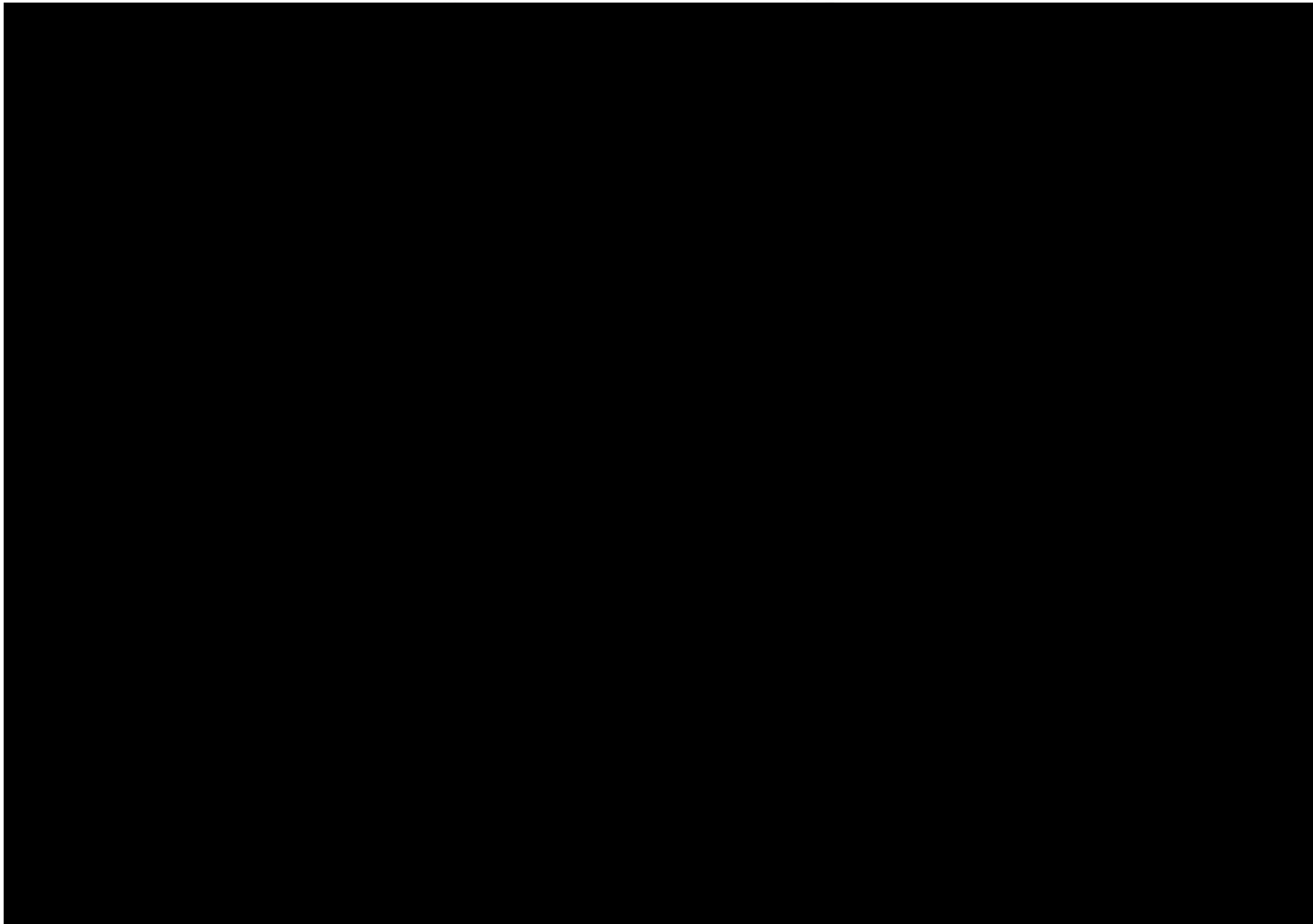


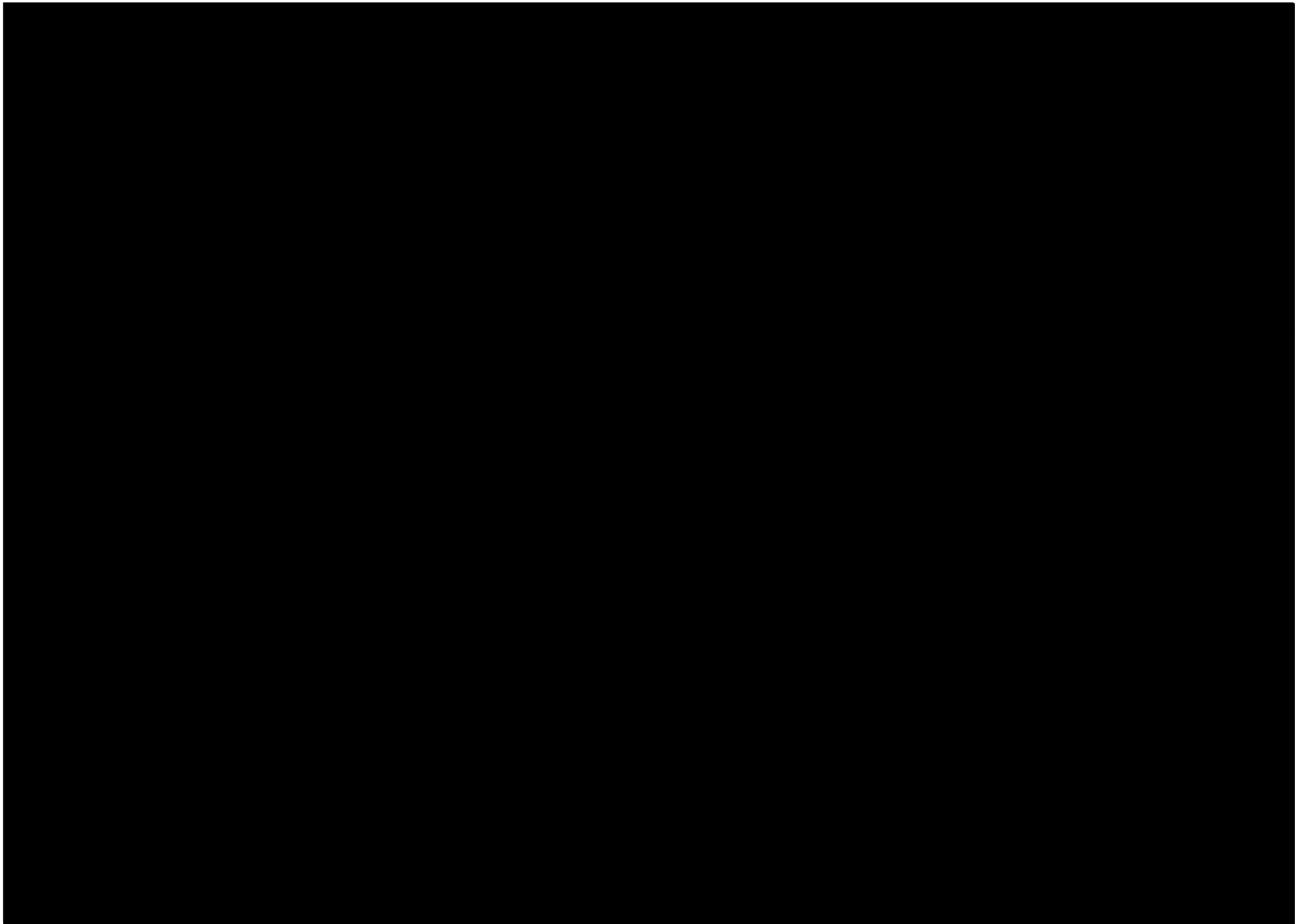
第1.2.1.6.2.1.3-1図  
ウラン精製系の  
計測制御系統図 (その1)  
( ⑦ )

図-ホ-1-11-1

F









### 申請対象設備抽出結果

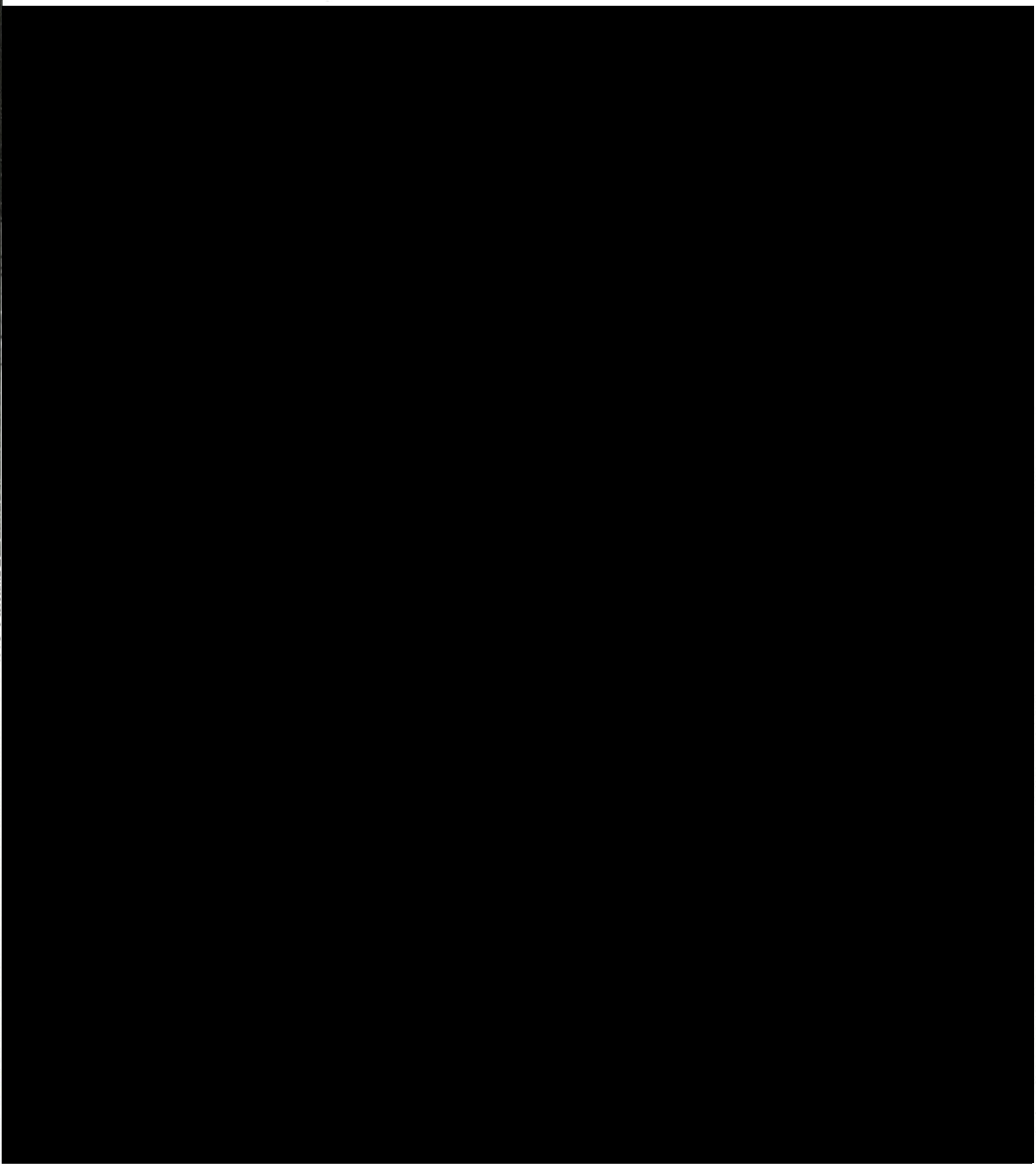
施 設	再処理設備本体，計測制御系統施設， 放射性廃棄物の廃棄施設
設 備	計測制御設備 溶媒処理系，廃溶媒処理系 (火災発生防止；有機溶媒火災対策)
機 器	計測制御設備，主要弁 (インターロック含む)

【対象機器】	施設区分		設備区分				機器名称(許可)
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	計測制御設備
放射性廃棄物の廃棄施設	固体廃棄物の廃棄施設	低レベル固体廃棄物処理設備	廃溶媒処理系	—	—	遮断弁	
【主たる機能】	火災発生防止；有機溶媒火災対策						

精査中

【機器等の抽出】																		
紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考
機-06-17	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	第1蒸発缶系統内圧力	第1蒸発缶凝縮器出口ガス圧力(1,2)計	計装/放管設備	AC	2	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-18	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	第1蒸発缶系統内圧力	第1蒸発缶圧力高による不活性ガス(窒素)の注入、有機溶媒の供給停止及び加熱蒸気の供給を停止するインターロック	計装/放管設備	AC	2	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-19	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	溶媒蒸留塔系統内圧力	溶媒蒸留塔上段圧力(1,2)計	計装/放管設備	AC	2	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-20	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	溶媒蒸留塔系統内圧力	溶媒蒸留塔圧力高による不活性ガス(窒素)の注入、有機溶媒の供給停止及び加熱蒸気の供給を停止するインターロック	計装/放管設備	AC	2	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-04-01	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒処理系	—	—	溶媒処理系	主要弁██████████	主要弁	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-04-02	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒処理系	—	—	溶媒処理系	主要弁██████████	主要弁	AC	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-04-03	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒処理系	—	—	溶媒処理系	主要弁██████████	主要弁	AC	2	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-04-04	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒処理系	—	—	溶媒処理系	主要弁██████████	主要弁	AC	2	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-04-05	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒処理系	—	—	溶媒処理系	主要弁██████████	主要弁	AC	2	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-04-06	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒処理系	—	—	溶媒処理系	主要弁██████████	主要弁	AC	2	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-21	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	計測制御設備	熱分解装置乾留部下部ガス温度計	計装/放管設備	DA	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-22	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	計測制御設備	熱分解装置乾留部下部ガス温度高による外部ヒータの加熱停止及び溶媒の供給を停止するインターロック	計装/放管設備	DA	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-23	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	計測制御設備	燃焼装置温度(1)計	計装/放管設備	DA	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-24	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	計測制御設備	燃焼装置温度低による溶媒の供給を停止するインターロック	計装/放管設備	DA	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-08-01	放射性廃棄物の廃棄施設	固体廃棄物の廃棄施設	低レベル固体廃棄物処理設備	廃溶媒処理系	—	—	廃溶媒処理系	主要弁██████████	主要弁	DA	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	—

①



0-TO-L-301



181

機-06-17.18  
152/機-06-19.20



第1.2.1.6.2.2-1 図  
溶媒処理系の  
計測制御系統図(その1)  
( ④ )

計測制御設備

図-ホ-1-12-1

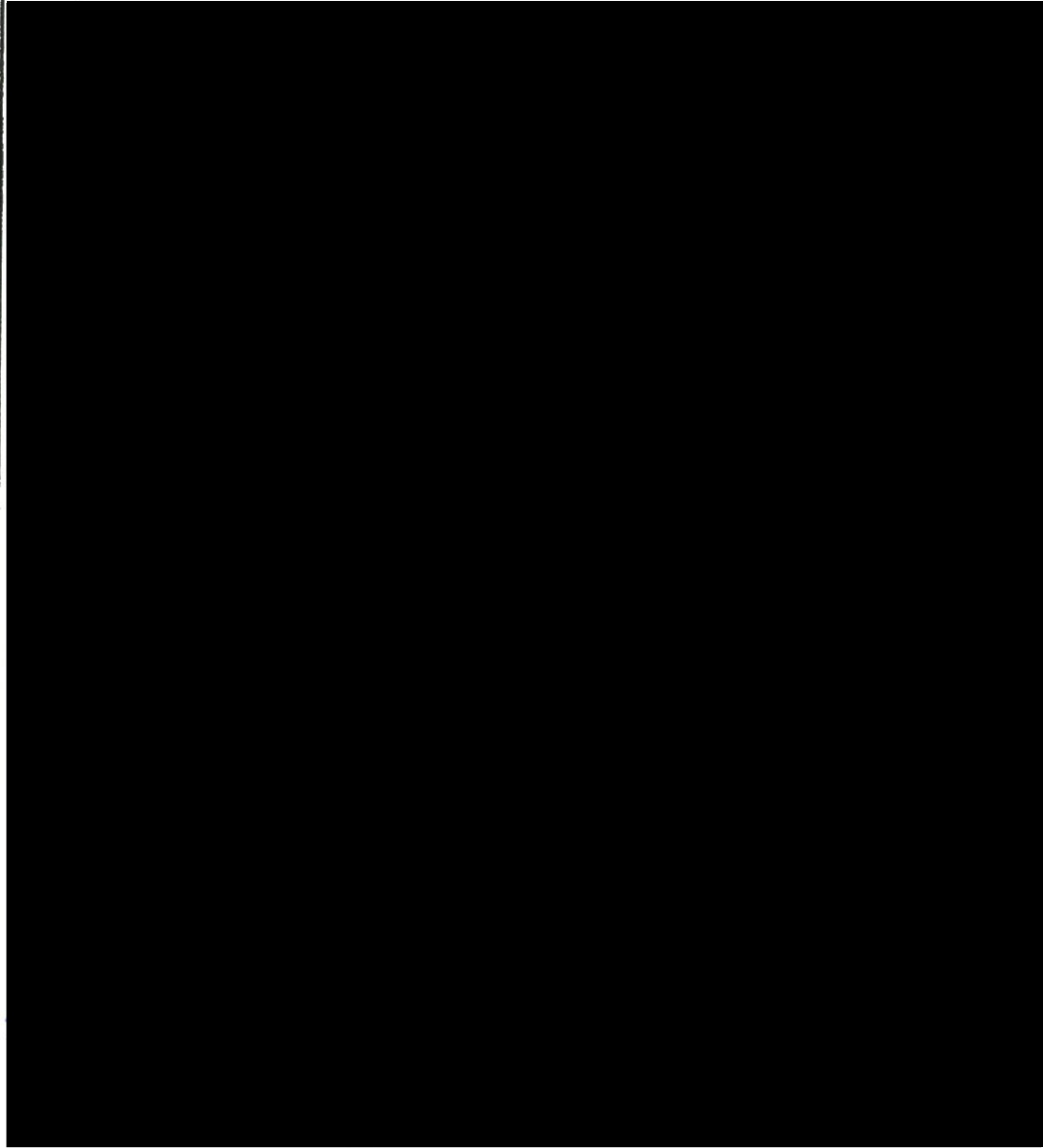
L

平成10年12月25日

32-2 一 次 補 正

32-4

①



第1.2.1.6.2.2-2図  
溶媒処理系の  
計測制御系統図(その2)  
( ④ )

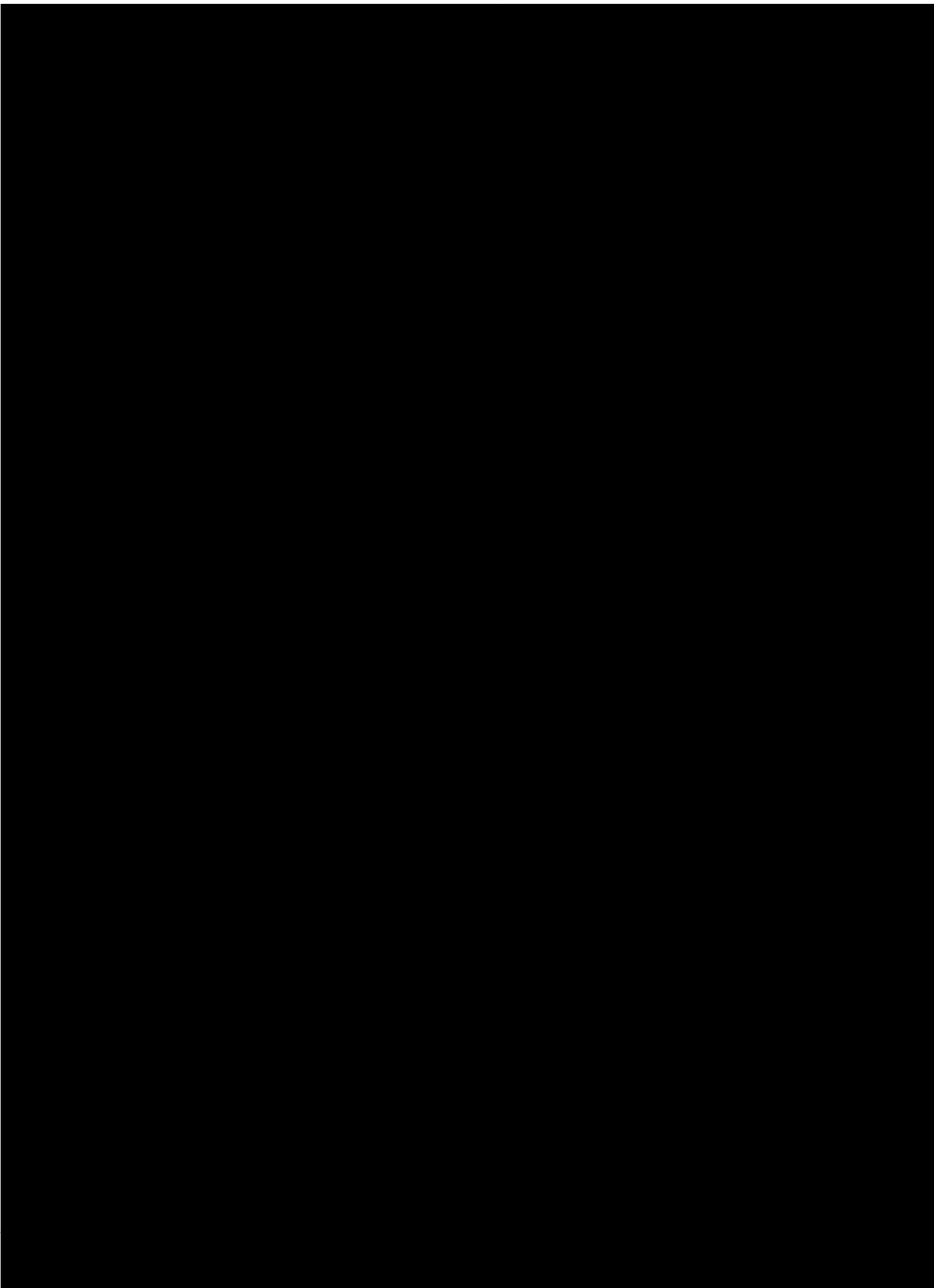
L

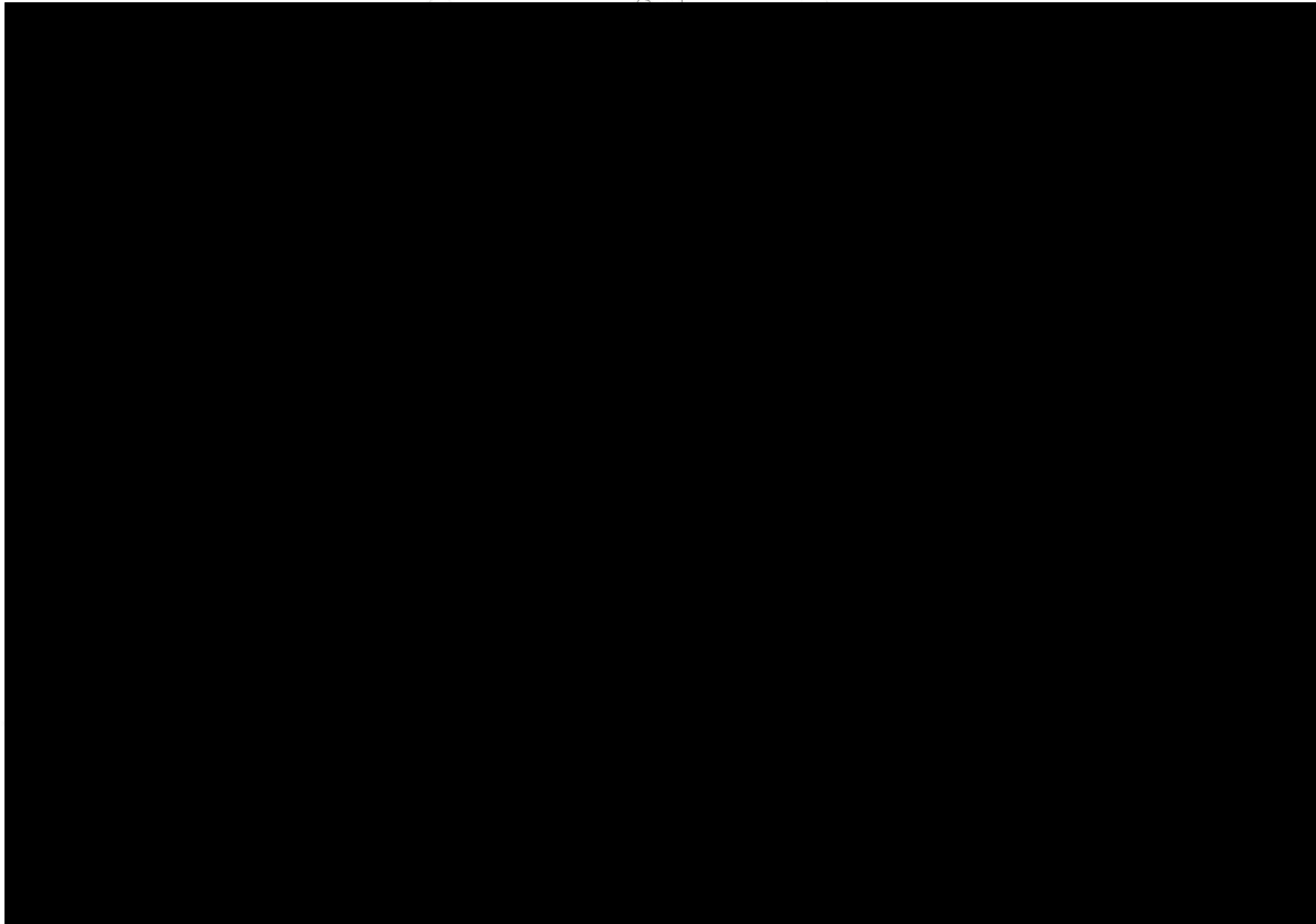
図-ホ-1-12-2

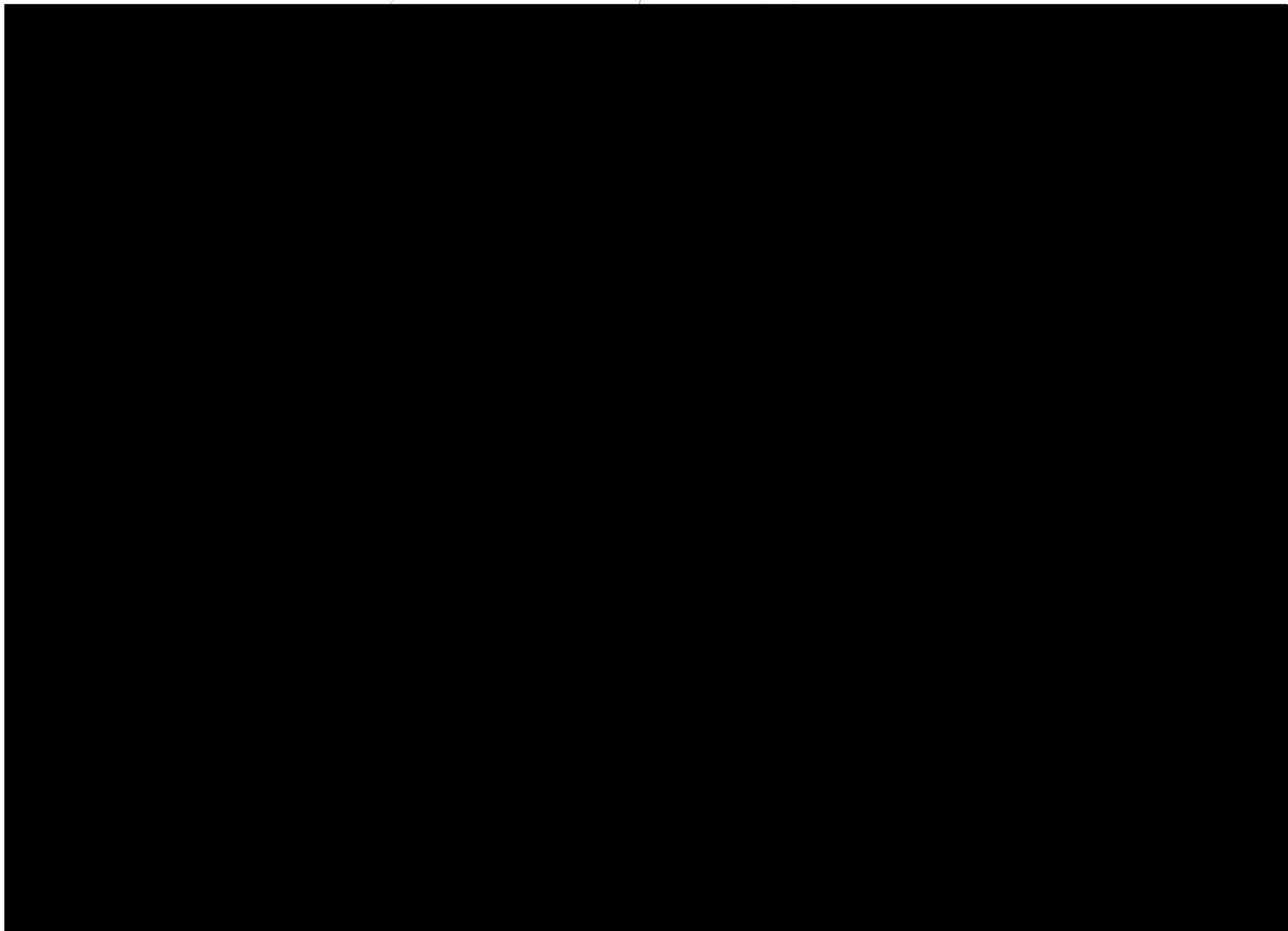
○-TO-L 5/1

○

1522 機-06-1  
機-06-1  
19.20

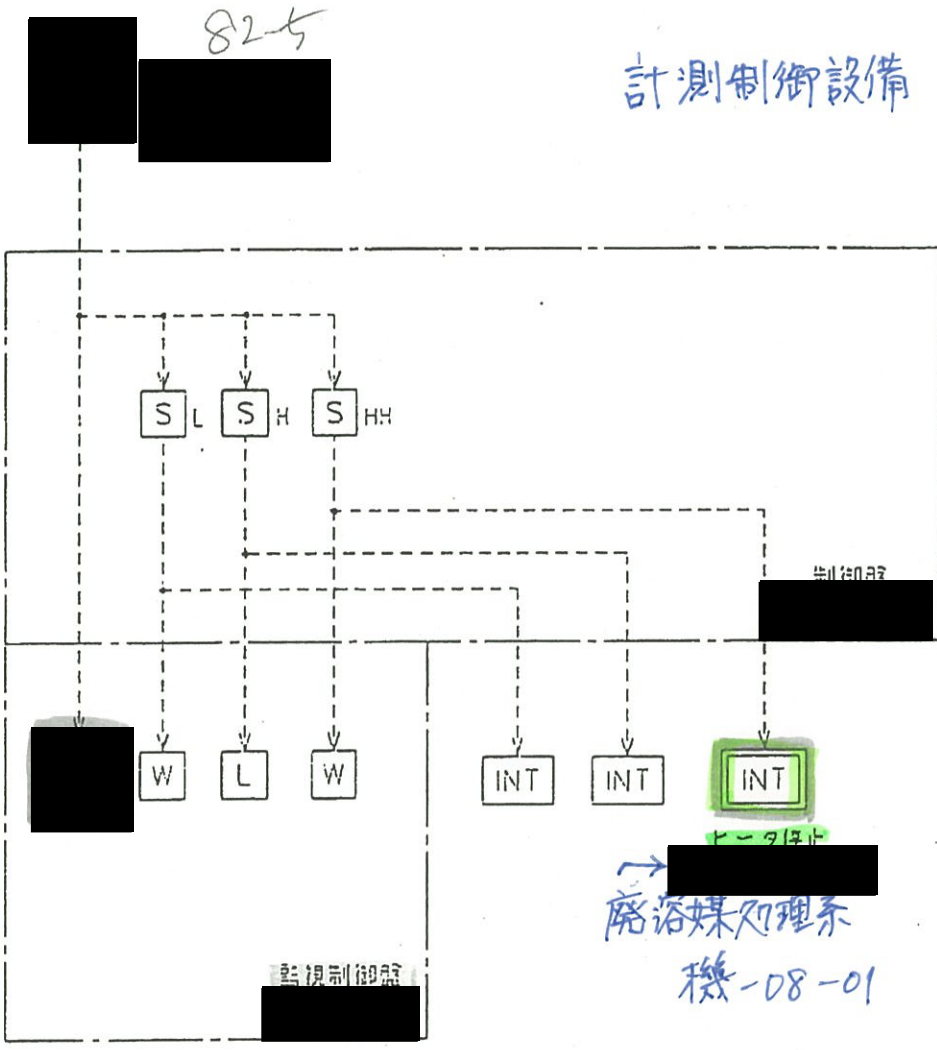






機-06-21.22

熱分解装置乾留部下部ガス温度



第1.2.1.10.3.2-2 廃溶媒処理系の計測制御系統図 (その2)

図-ホ-1-22-2

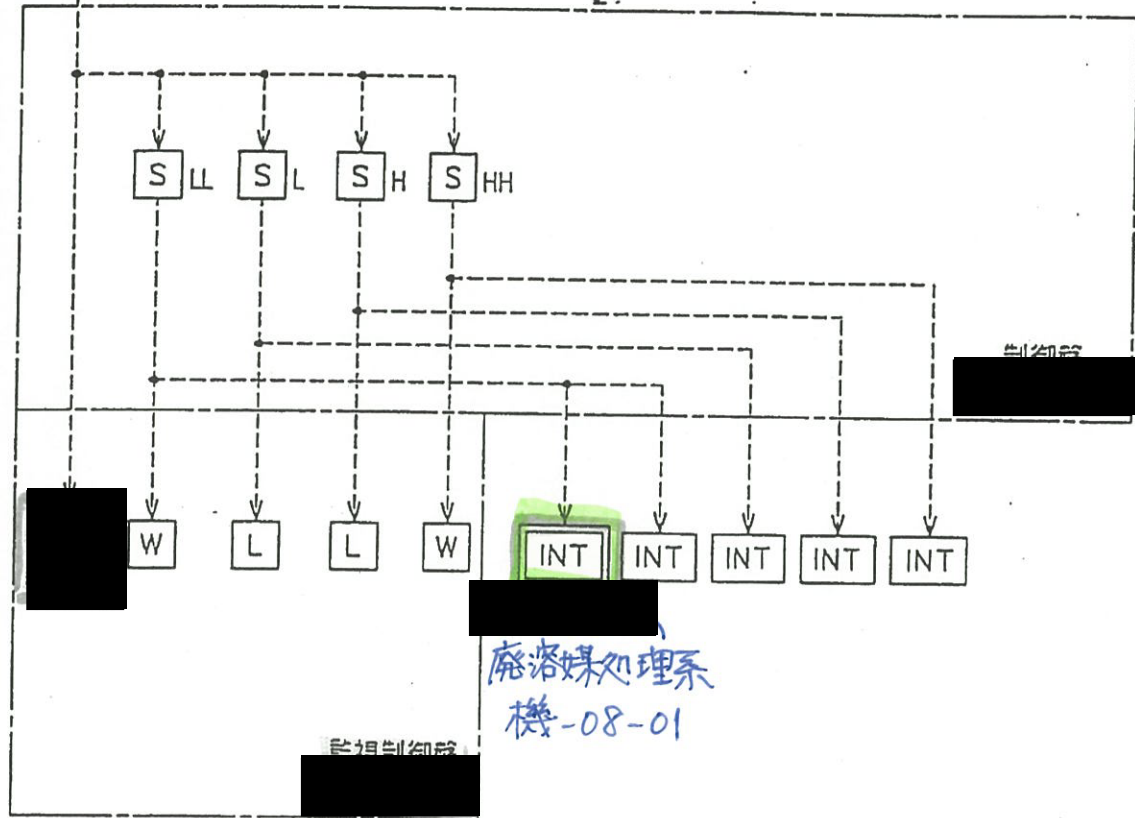


機-06-23.24

燃焼装置温度1

82-6

計測制御設備



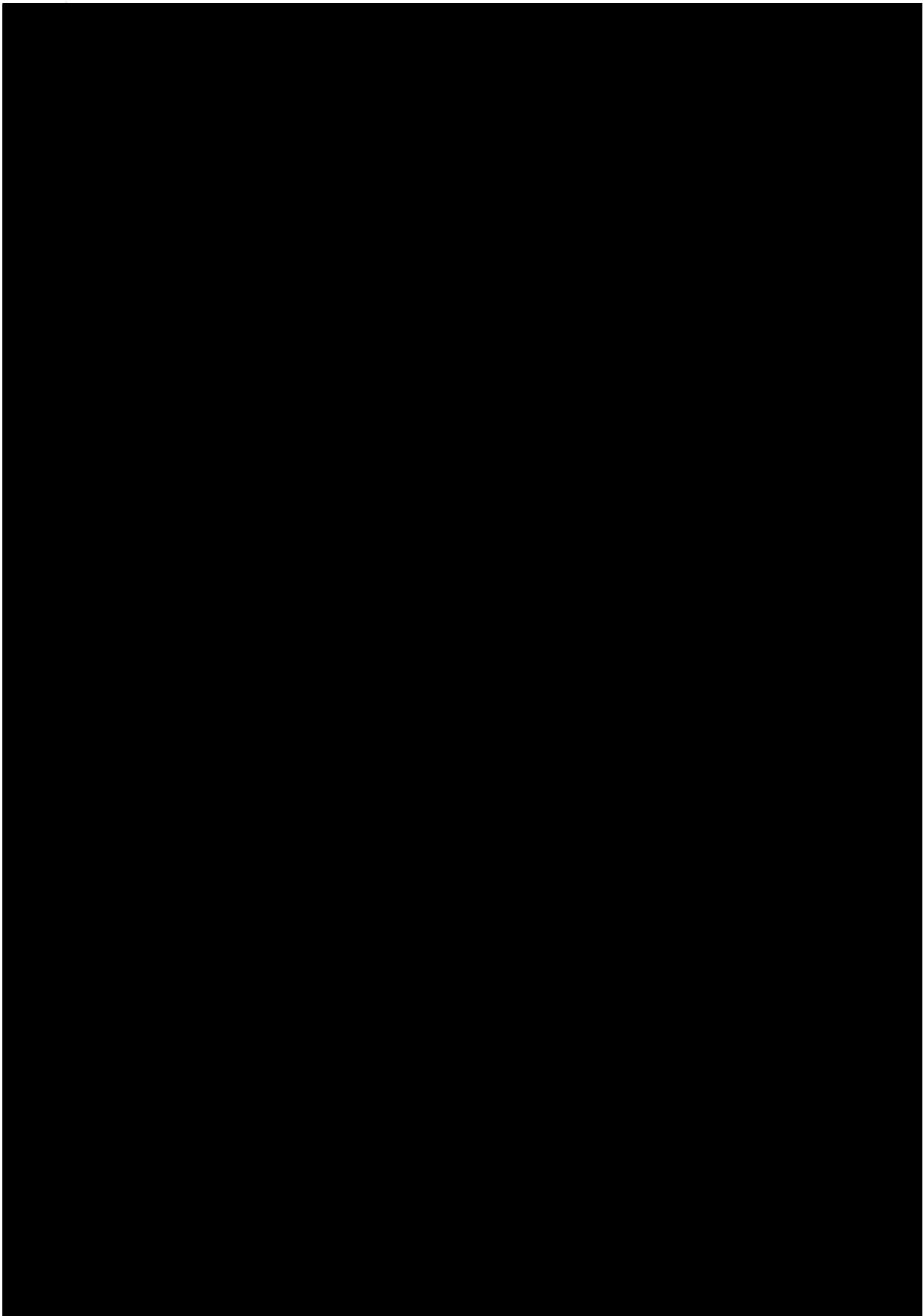
廃溶媒処理系  
機-08-01

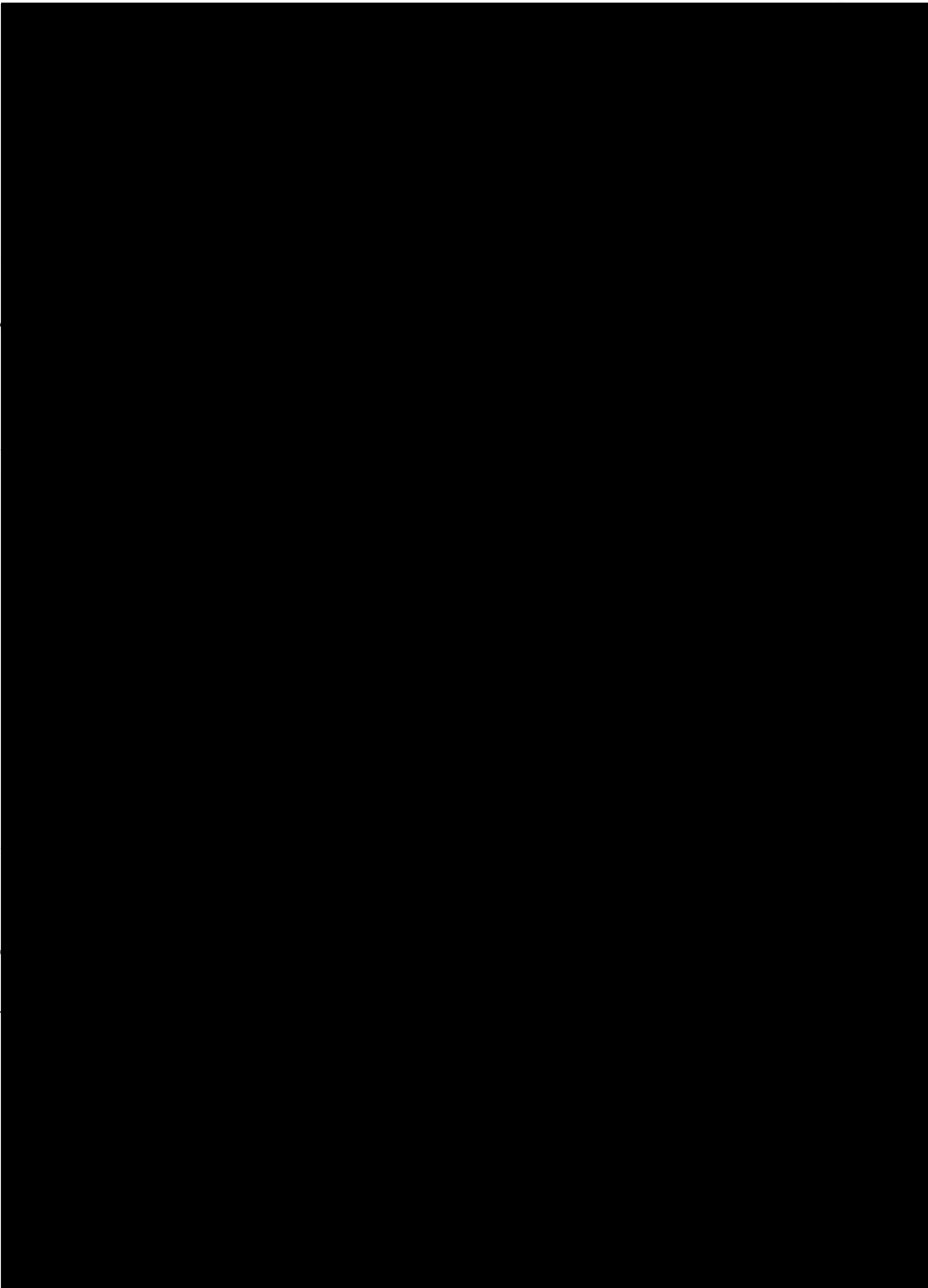
監視制御器

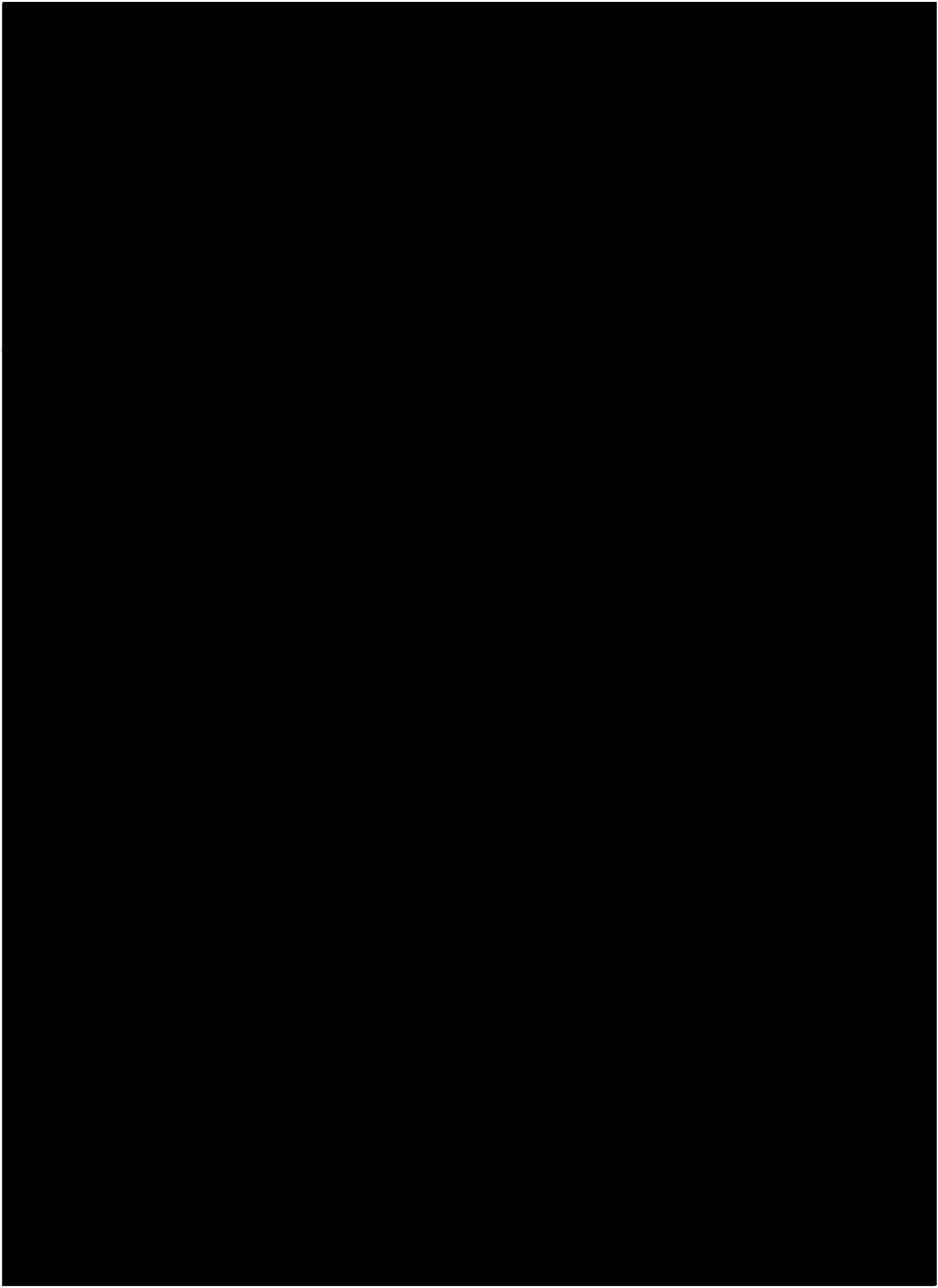
第 1.2.1.10.3.2-3 図  
廃溶媒処理系の計測制御系統図  
(その 3)

⑦ - TO G

1773







## 申請対象設備抽出結果

施 設	再処理設備本体，計測制御系統施設， 放射性廃棄物の廃棄施設
設 備	計測制御設備 安全保護回路 分配設備，ウラン精製設備，プルトニウム精製設備，第2酸回収系，高レベル廃液濃縮系 (火災発生防止；熱的制限値)
機 器	計測制御設備，安全保護回路，主要弁 (インターロック含む)

【対象機器】	施設区分		設備区分				機器名称(許可)
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	計測制御設備
計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	—	安全保護回路	
再処理設備本体	分離施設	分配設備	—	—	—	遮断弁	
		精製施設	ウラン精製設備	—	—	—	遮断弁
	酸及び溶媒の回収施設	酸回収設備	第2酸回収系	—	—	—	遮断弁
		液体廃棄物の廃棄施設	高レベル廃液処理設備	高レベル廃液濃縮設備	高レベル廃液濃縮系	—	—

精査中

【機器等の抽出】

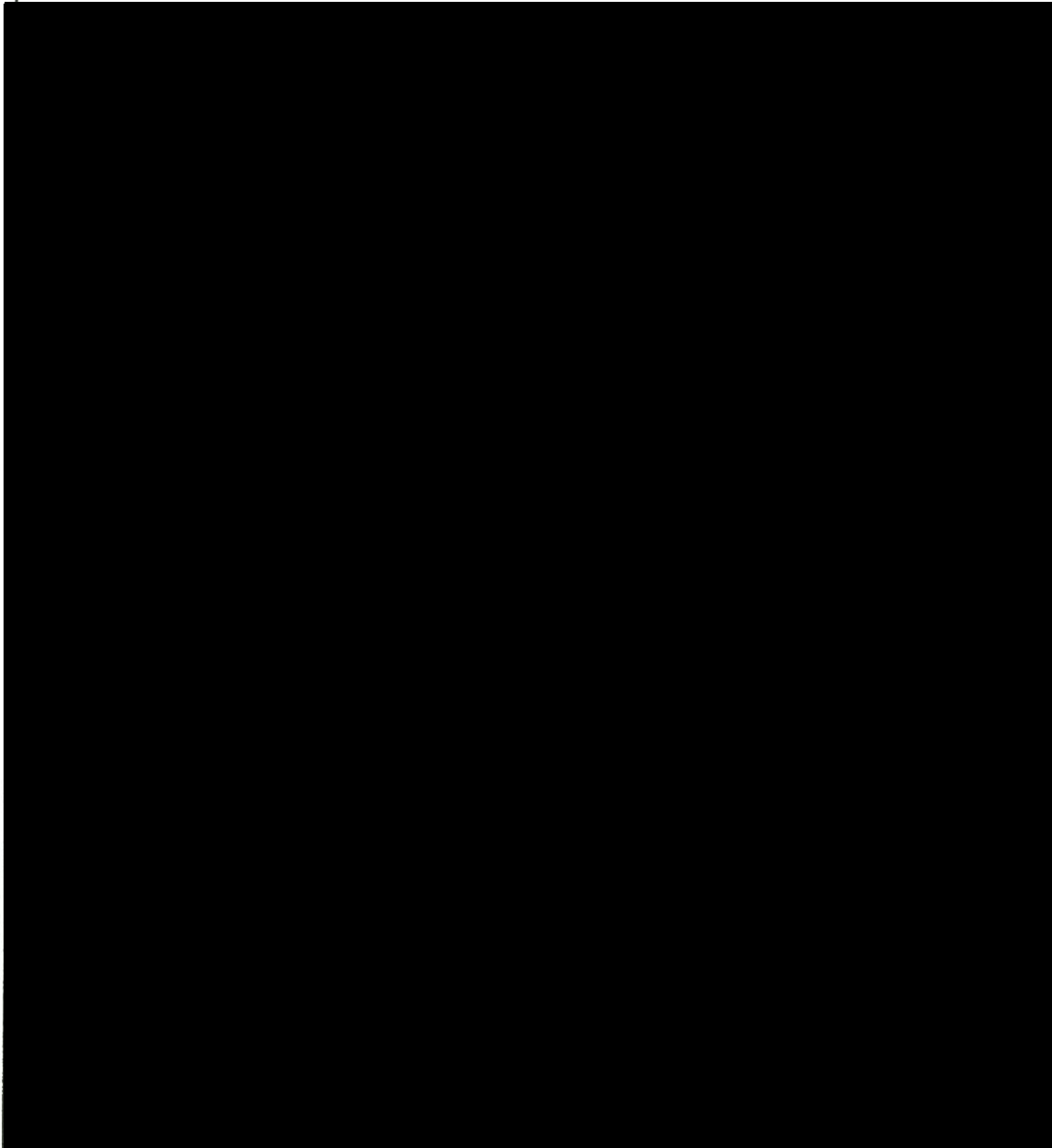
紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考
機-06-03	計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	—	分離施設のウラン濃縮缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路	ウラン濃縮缶加熱蒸気温度(A,B)計	計装/放管設備	AB	2	②-4	既設	安重	—	—	—	—
機-06-04	計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	—	分離施設のウラン濃縮缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路	ウラン濃縮缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路	計装/放管設備	AB	2	②-4	既設	安重	—	—	—	—
機-03-01	再処理設備本体	分離施設	分配設備	—	—	—	分離施設のウラン濃縮缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路に係る遮断弁	主要弁	主要弁	AB	2	②-3	既設	安重	—	—	—	—
機-06-25	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	ウラン濃縮缶加熱蒸気温度	ウラン濃縮缶加熱蒸気温度(1,2)計	計装/放管設備	AC	2	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-26	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	ウラン濃縮缶加熱蒸気温度	ウラン濃縮缶加熱蒸気温度高によるウラン濃縮缶への加熱蒸気の供給停止及びウラン濃縮缶加熱蒸気発生器への一次蒸気を供給停止するインターロック	計装/放管設備	AC	2	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-04-01	再処理設備本体	精製施設	ウラン精製設備	—	—	—	ウラン精製設備	主要弁	主要弁	AC	2	②-4	既設	非安重	—	—	—	—
機-06-05	計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	—	プルトニウム濃縮缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路	プルトニウム濃縮缶加熱蒸気温度(A,B)計	計装/放管設備	AC	2	②-4	既設	安重	—	—	—	—
機-06-06	計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	—	プルトニウム濃縮缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路	プルトニウム濃縮缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路	計装/放管設備	AC	2	②-4	既設	安重	—	—	—	—
機-04-02	再処理設備本体	精製施設	プルトニウム精製設備	—	—	—	プルトニウム濃縮缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路に係る遮断弁	主要弁	主要弁	AC	2	②-4	既設	安重	—	—	—	—
機-06-07	計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	—	第2酸回収系の蒸発缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路	蒸発缶・精留塔加熱蒸気温度(A,B)計	計装/放管設備	AC	2	②-4	既設	安重	—	—	—	—
機-06-08	計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	—	第2酸回収系の蒸発缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路	蒸発缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路	計装/放管設備	AC	2	②-4	既設	安重	—	—	—	—
機-04-01	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	酸回収設備	第2酸回収系	—	—	第2酸回収系の蒸発缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路に係る遮断弁	主要弁	主要弁	AC	2	②-4	既設	安重	—	—	—	—
機-06-09	計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	—	高レベル廃液濃縮缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路	高レベル廃液濃縮缶加熱蒸気温度(A,B)計	計装/放管設備	AB	2	②-4	既設	安重	—	—	—	—
機-06-10	計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	—	高レベル廃液濃縮缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路	蒸発缶加熱蒸気温度高による加熱停止回路	計装/放管設備	AB	2	②-4	既設	安重	—	—	—	—
機-03-01	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄施設	高レベル廃液処理設備	高レベル廃液濃縮設備	高レベル廃液濃縮系	—	高レベル廃液濃縮缶凝縮器排気出口温度高による加熱停止回路に係る遮断弁	主要弁	主要弁	AB	2	②-3	既設	安重	—	—	—	—

89.1-63

ウラン濃縮缶加熱蒸気温度A

安全保護回路

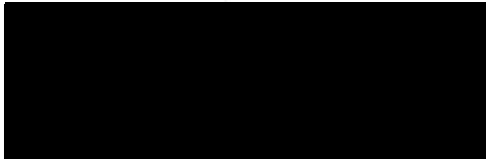
機-06-03.04



⑦-III F

設備  
機-03-01

1075



第1. 2. 1. 3. 2-24図  
分配設備の  
計測制御系統図(その24)



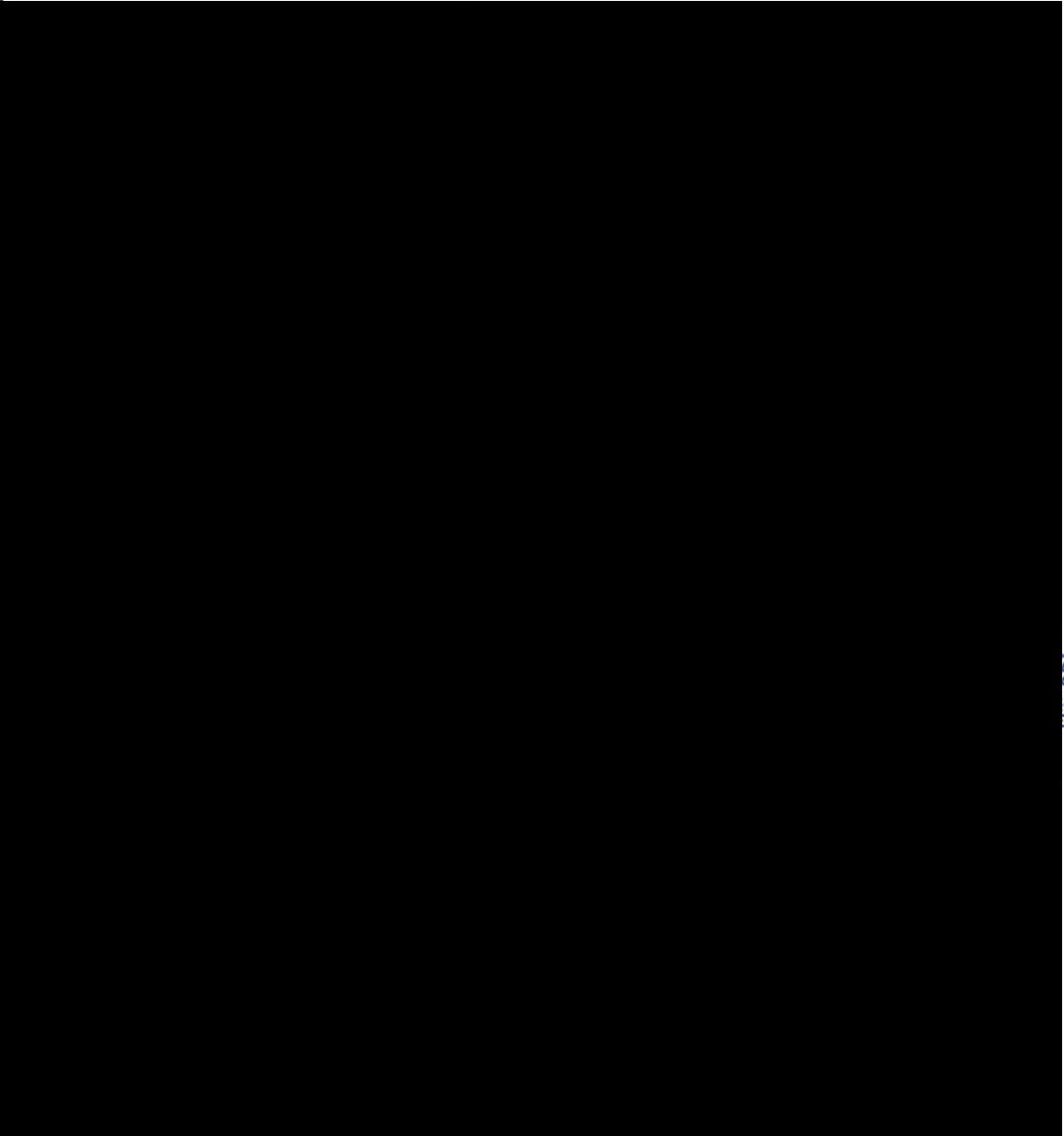
F

89.1-64

ウラン濃縮缶加熱蒸気温度B

安全保護回路

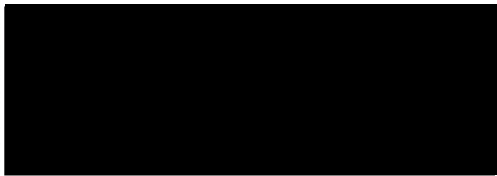
機-06-03.04



⑦-III F

設備  
機-03-01

1076

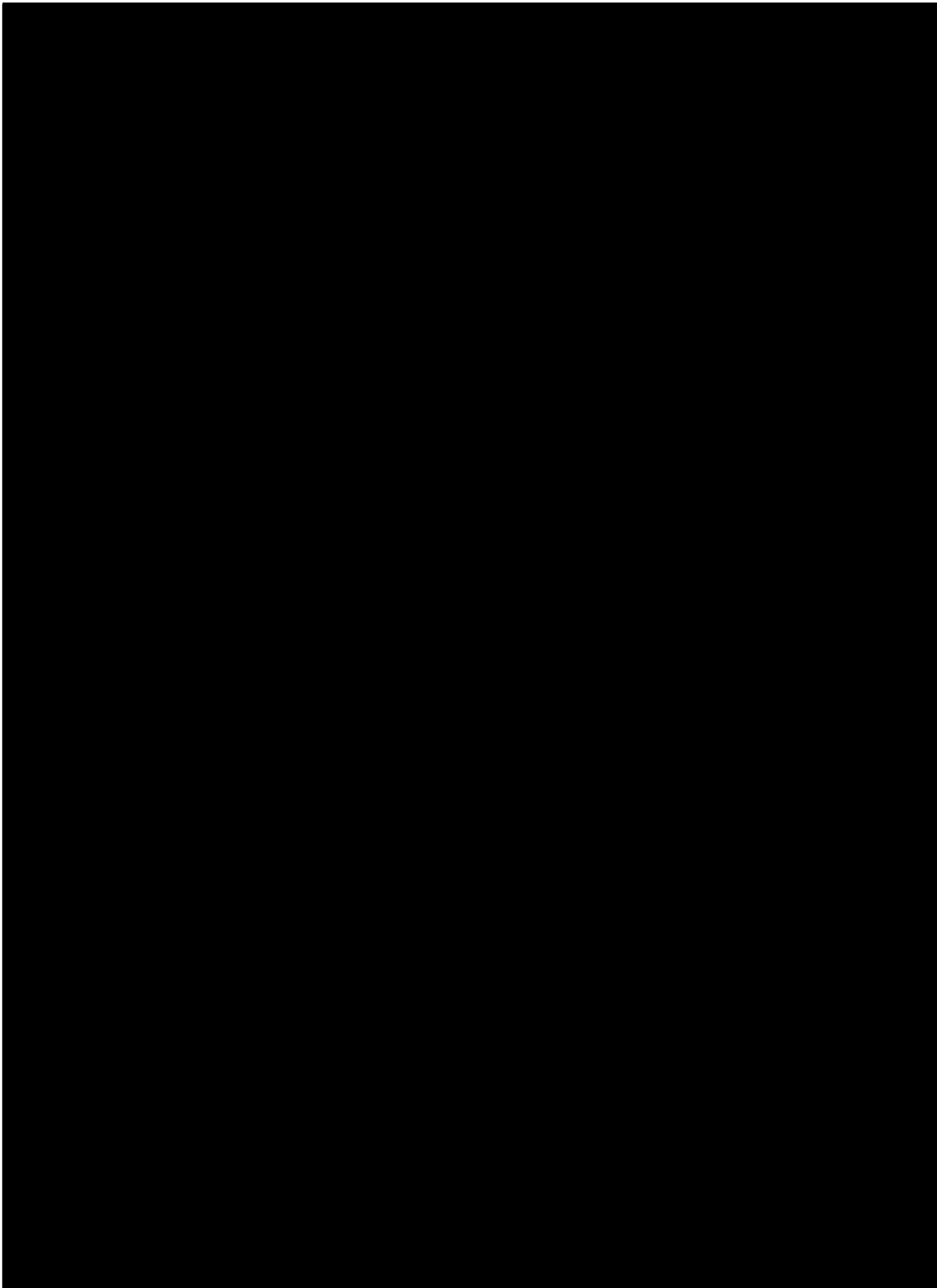


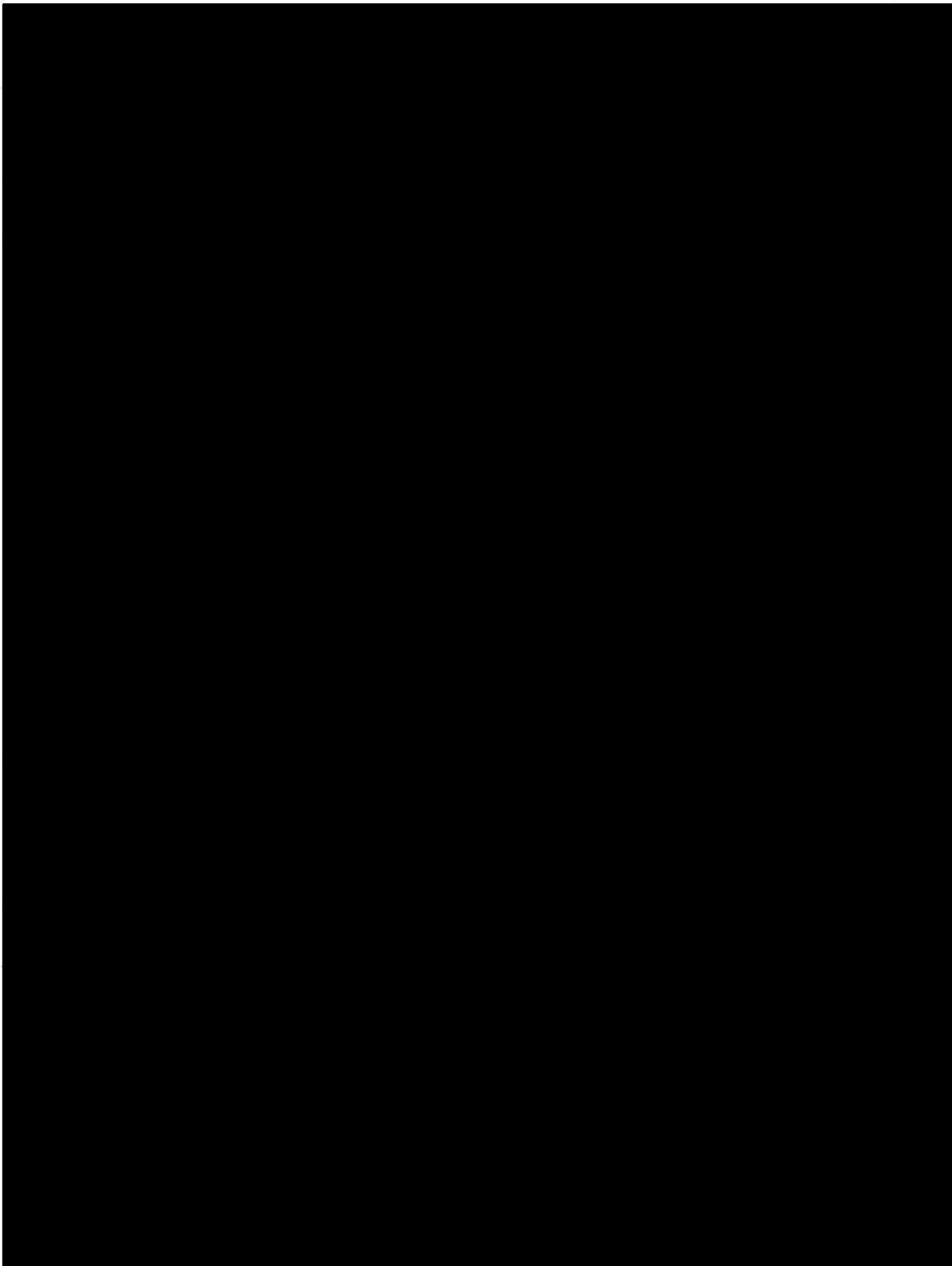
第1.2.1.3.2-25図  
分配設備の  
計測制御系統図(その25)

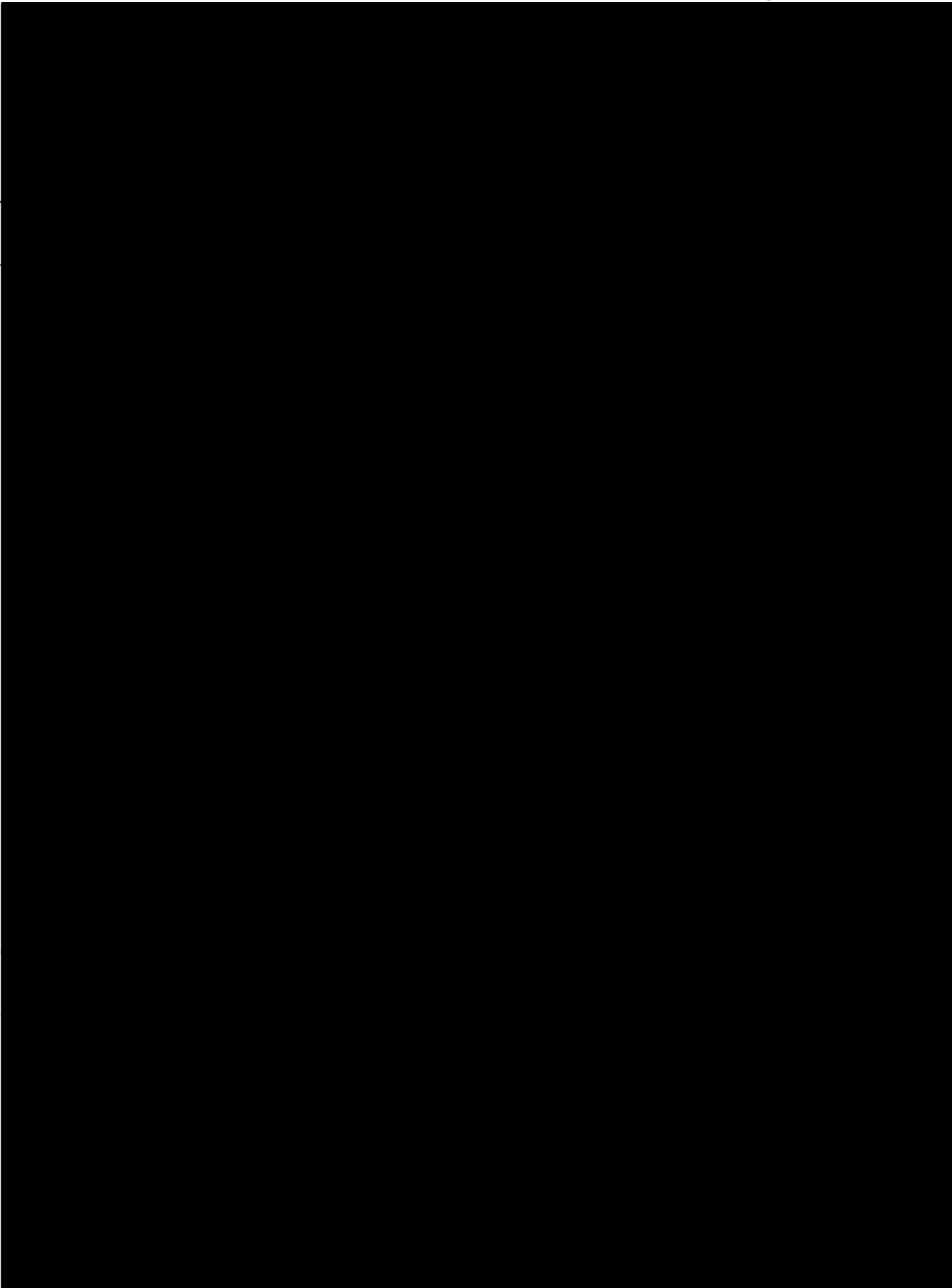


F



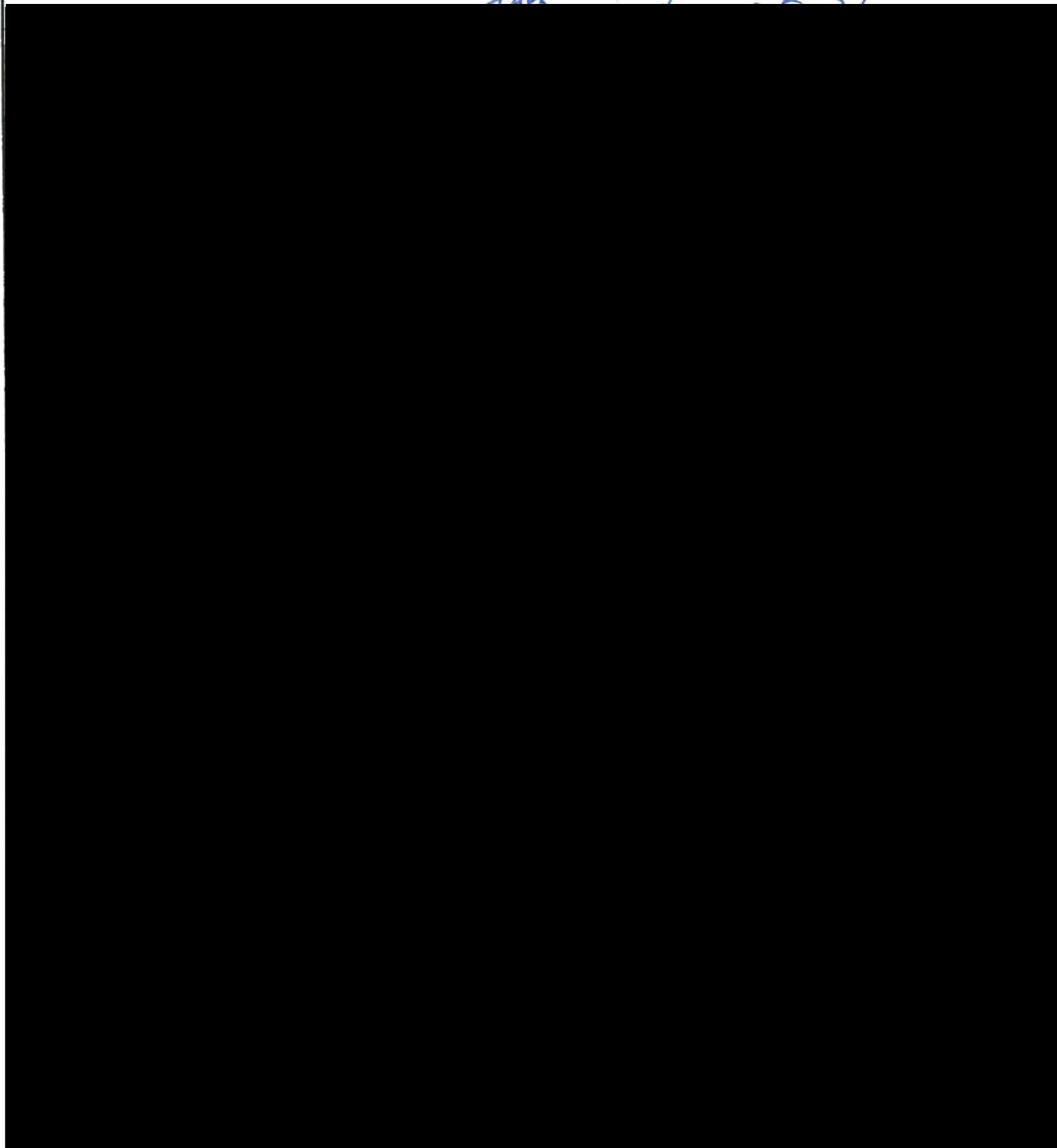






13-3

ウラン濃縮缶加熱蒸気温度1 計測制御設備



機-04-01

第1.2.1.4.1-3図  
ウラン精製設備の  
計測制御系統図(その3)

F

図-ホ-1-4-3

1173  
0-TO F

444

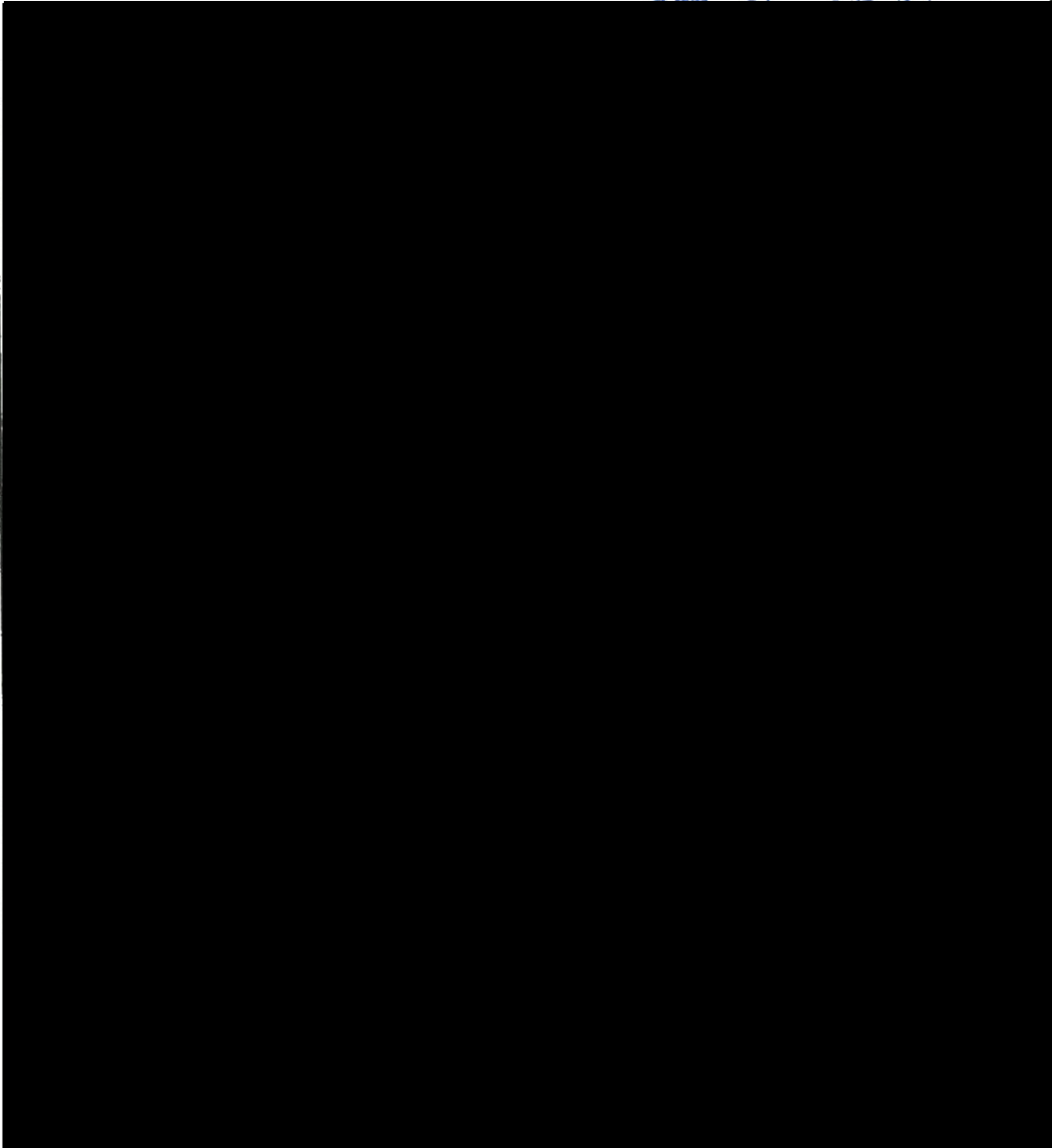
47

1173

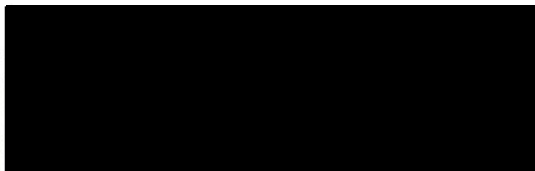
13-4

ウラン濃縮缶加熱蒸気温度2

計測制御設備



機-04-01



第1.2.1.4.1-4図  
ウラン精製設備の  
計測制御系統図(その4)



F

図-ホ-1-4-4

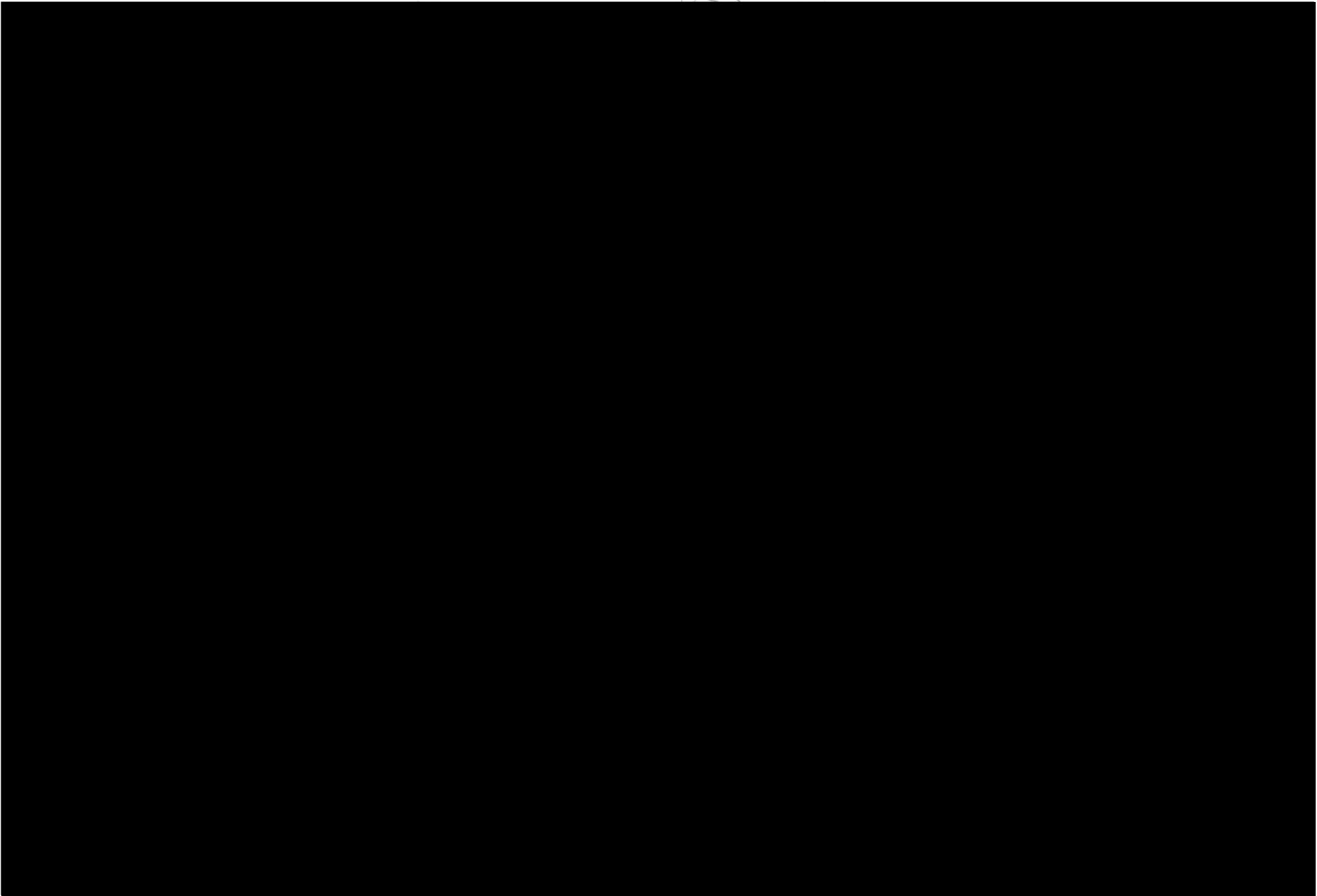
TO F

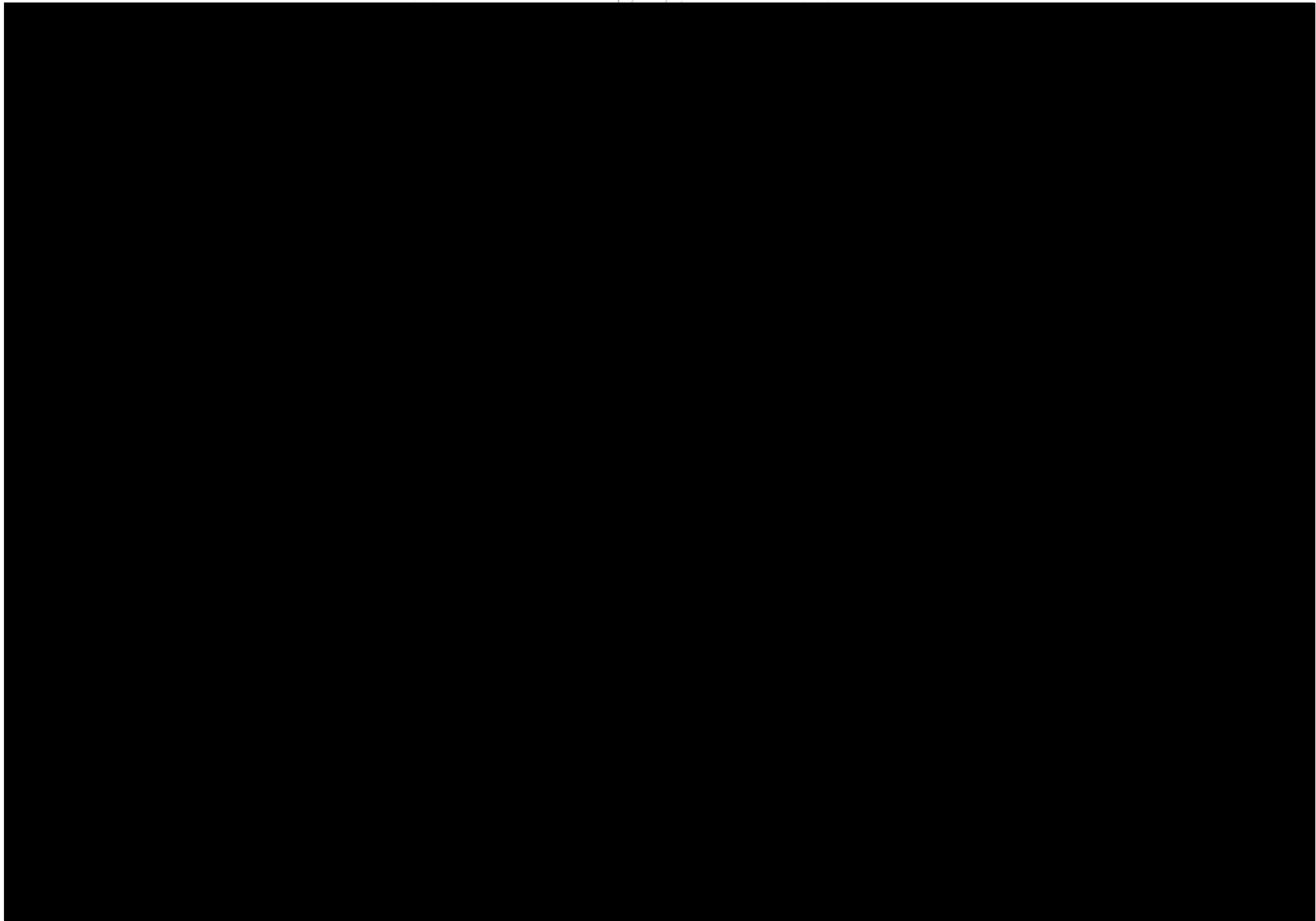
6.1.1

13.4

1174





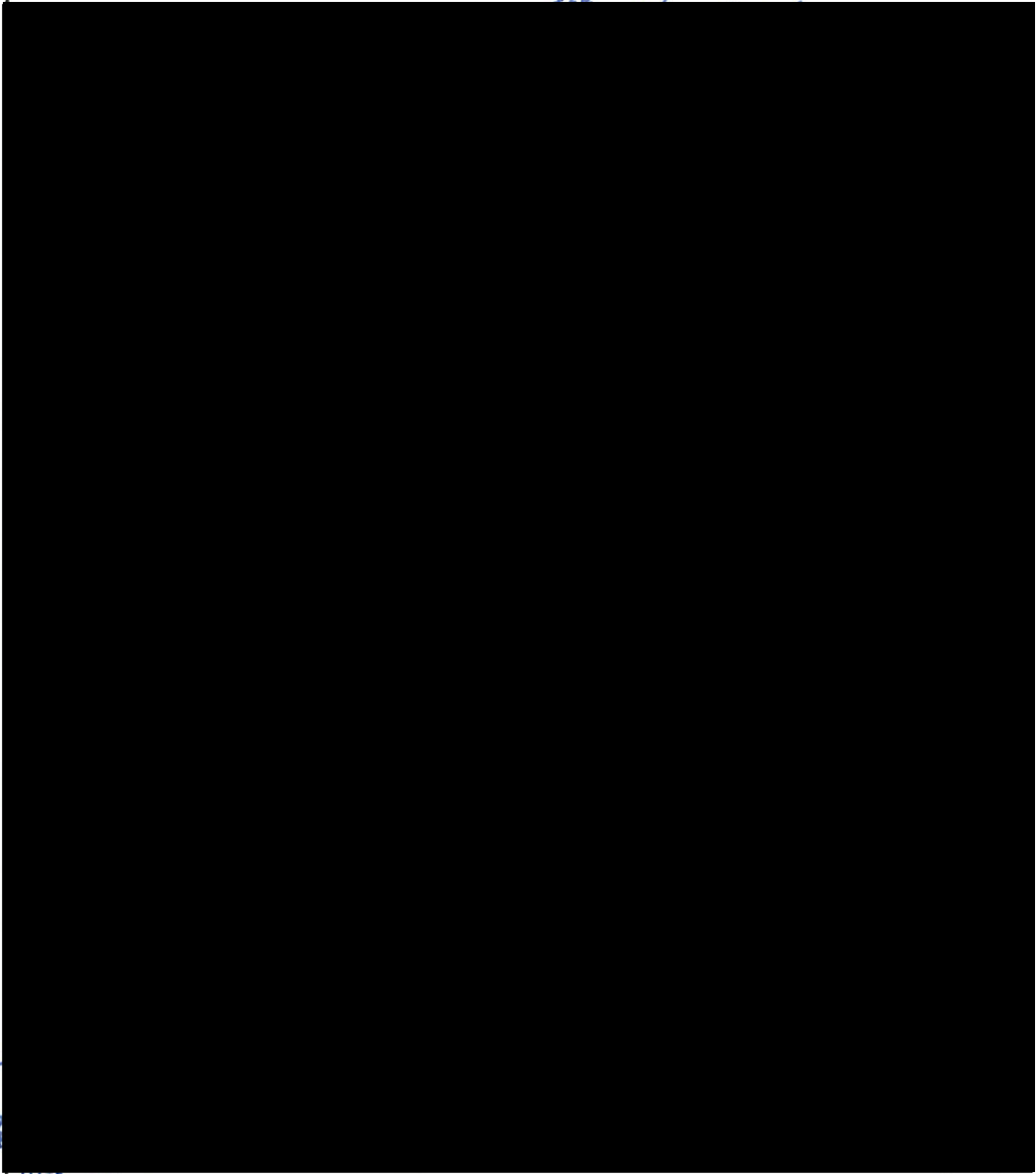




89-1-5

プルトニウム濃縮缶加熱蒸気温度A

安全保護回路



TO-U



515

7014ニウム  
精製設備

1910

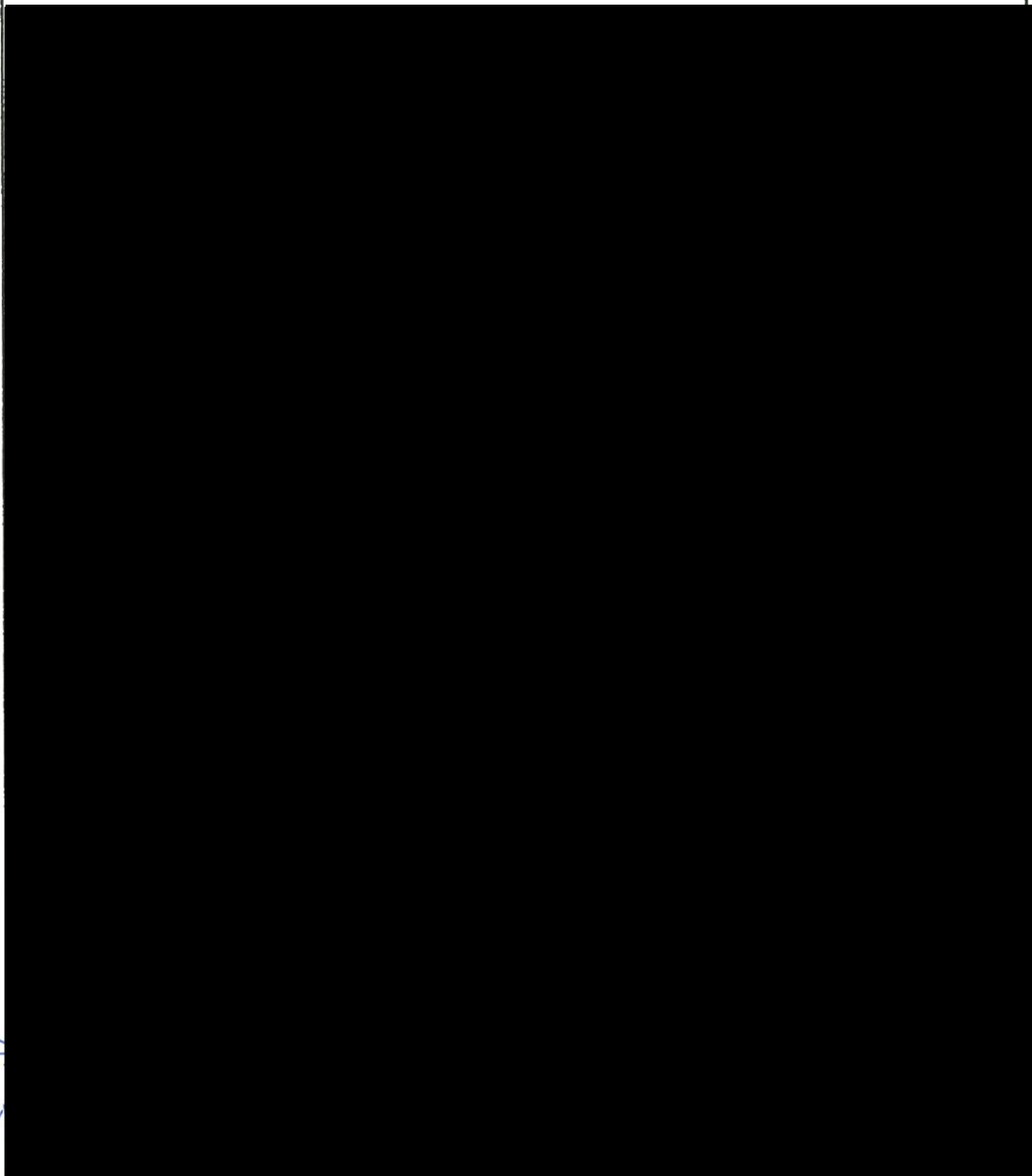
第1.2.2.1-1図  
精製施設のプルトニウム濃縮缶加熱停止回路の  
計測制御系統図(その1)

図-ホ-1-26-1

J

89.1-6

プルトニウム濃縮缶加熱蒸気温度B 安全保護回路



TO H

216

701V

1911

125-04

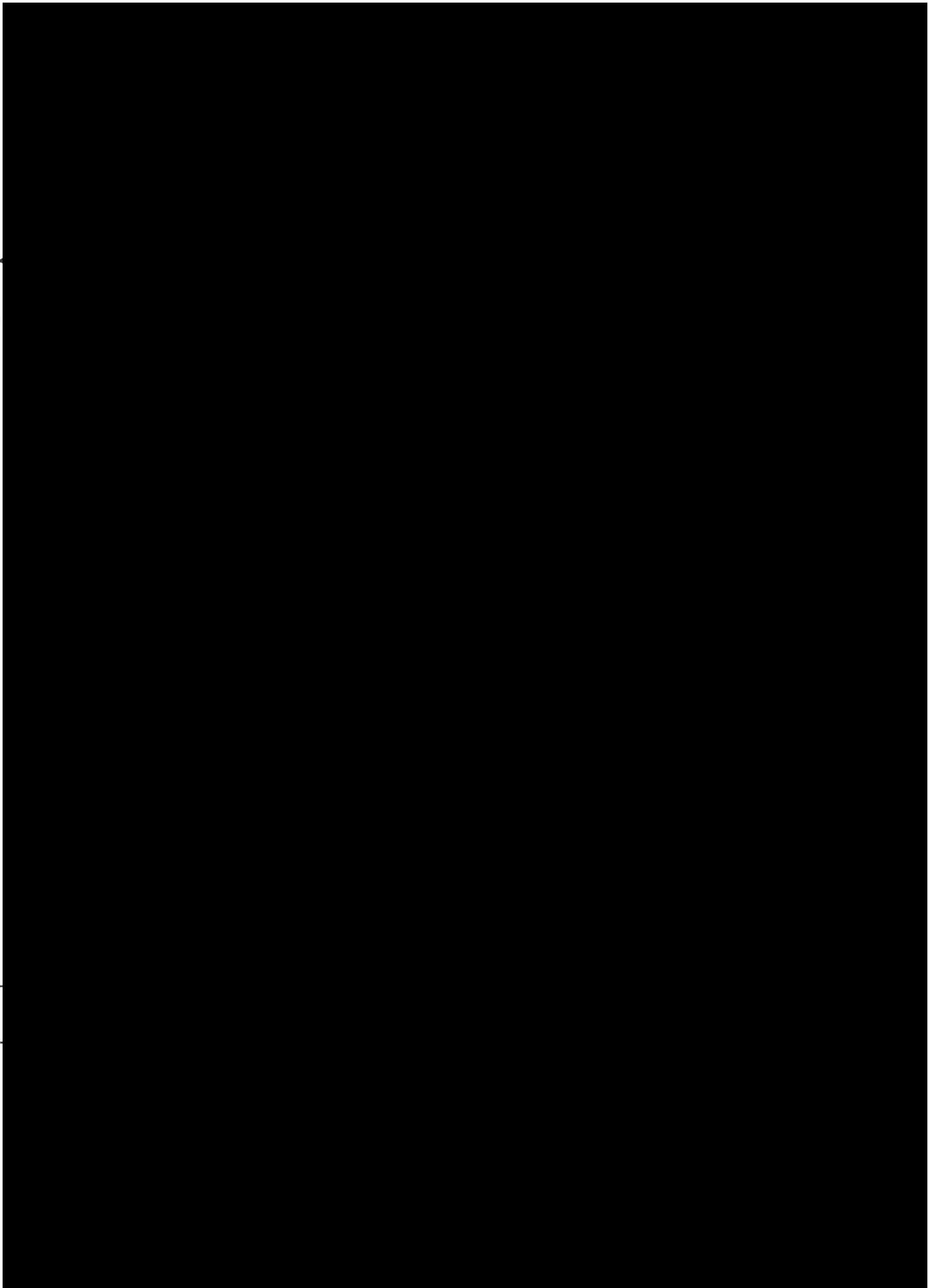
[Redacted]

第 1.2.2.1-2 図  
精製施設のプルトニウム濃縮缶加熱停止回路の  
計測制御系統図(その2)

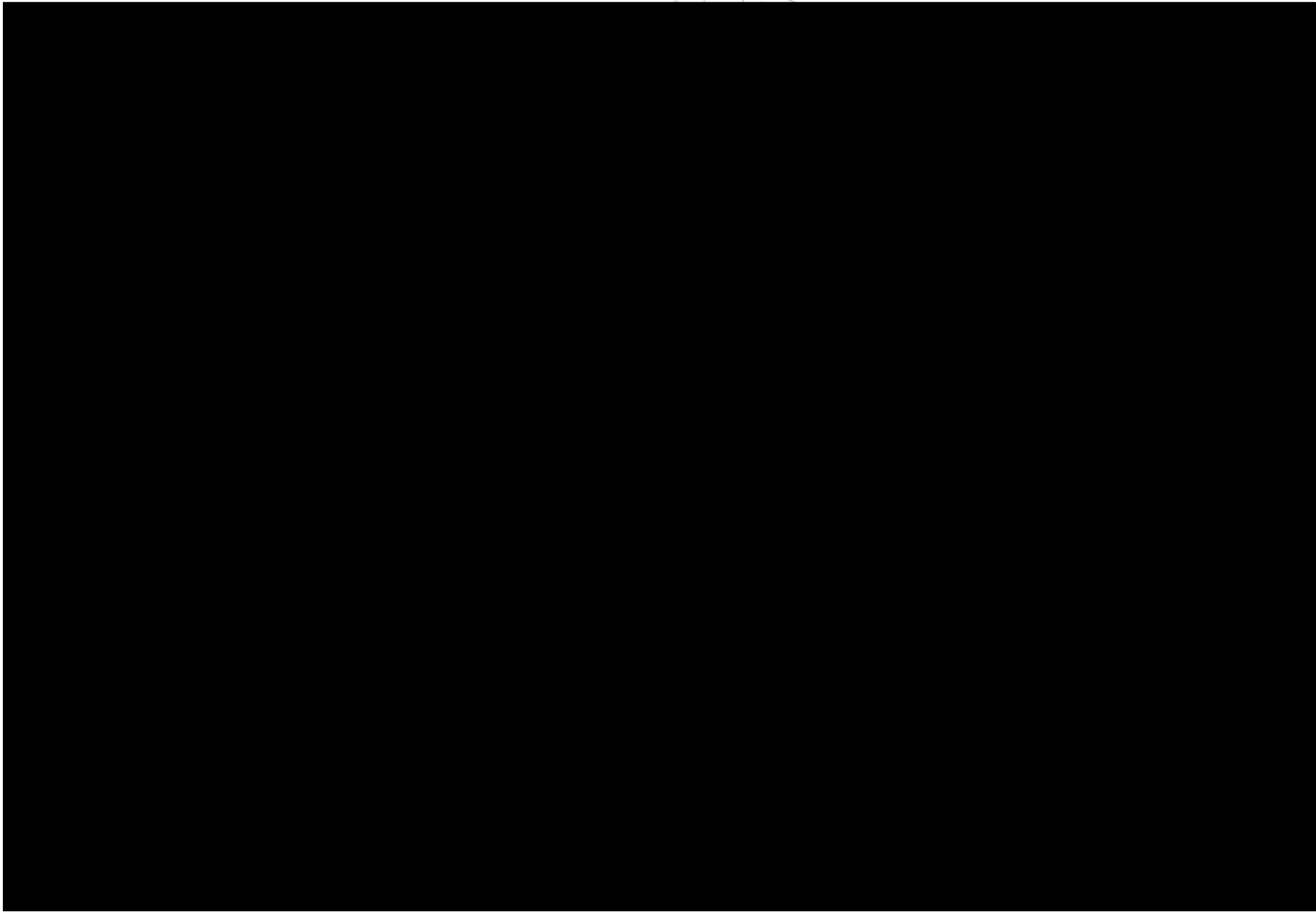
[Redacted]

H

図-ホ-1-26-2



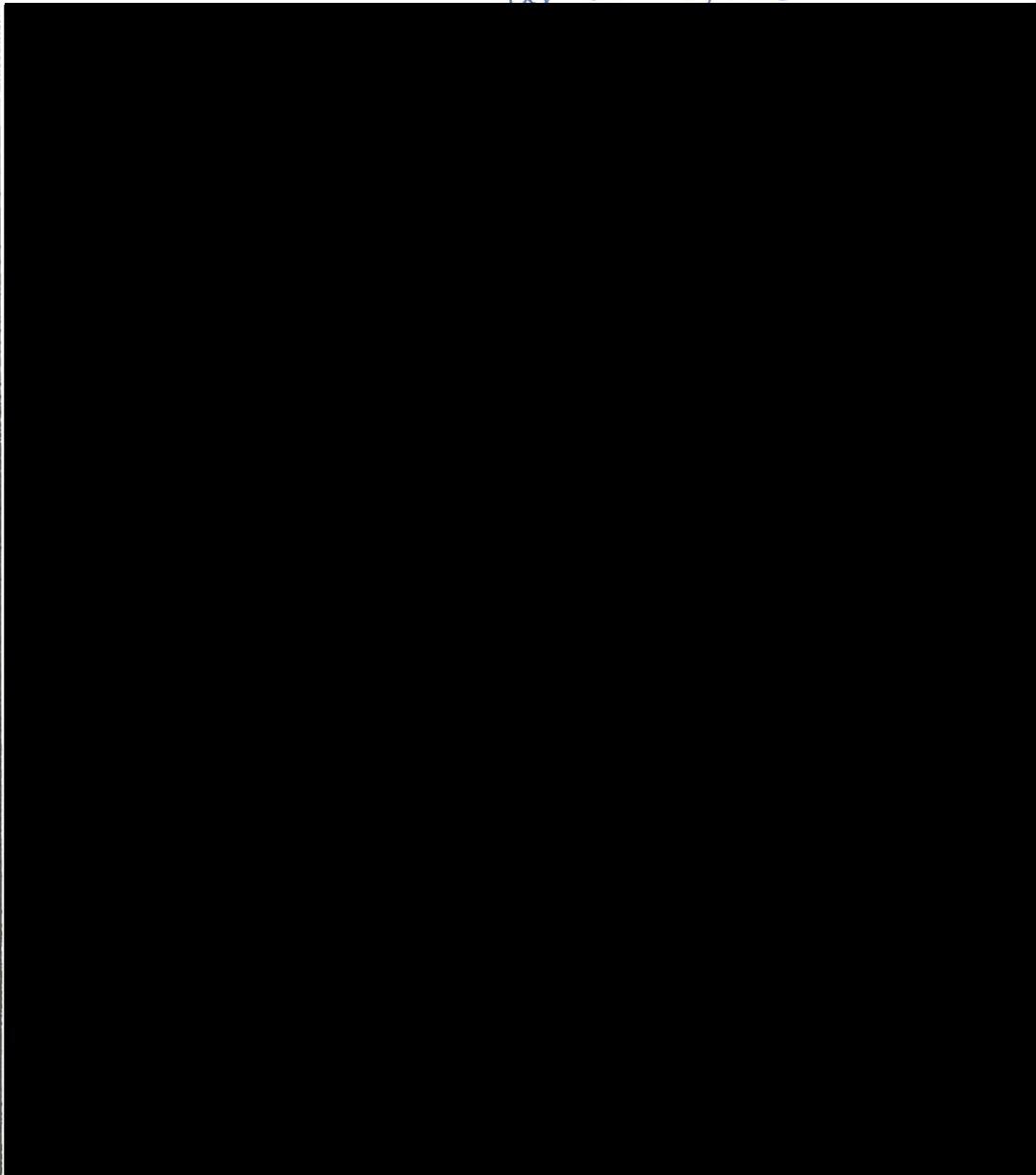
29 1 5



89.1-7

蒸発缶・精留塔加熱蒸気温度A 安全保護回路

機-06-07.08



44

0-TO G

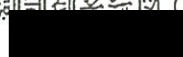


173

1403



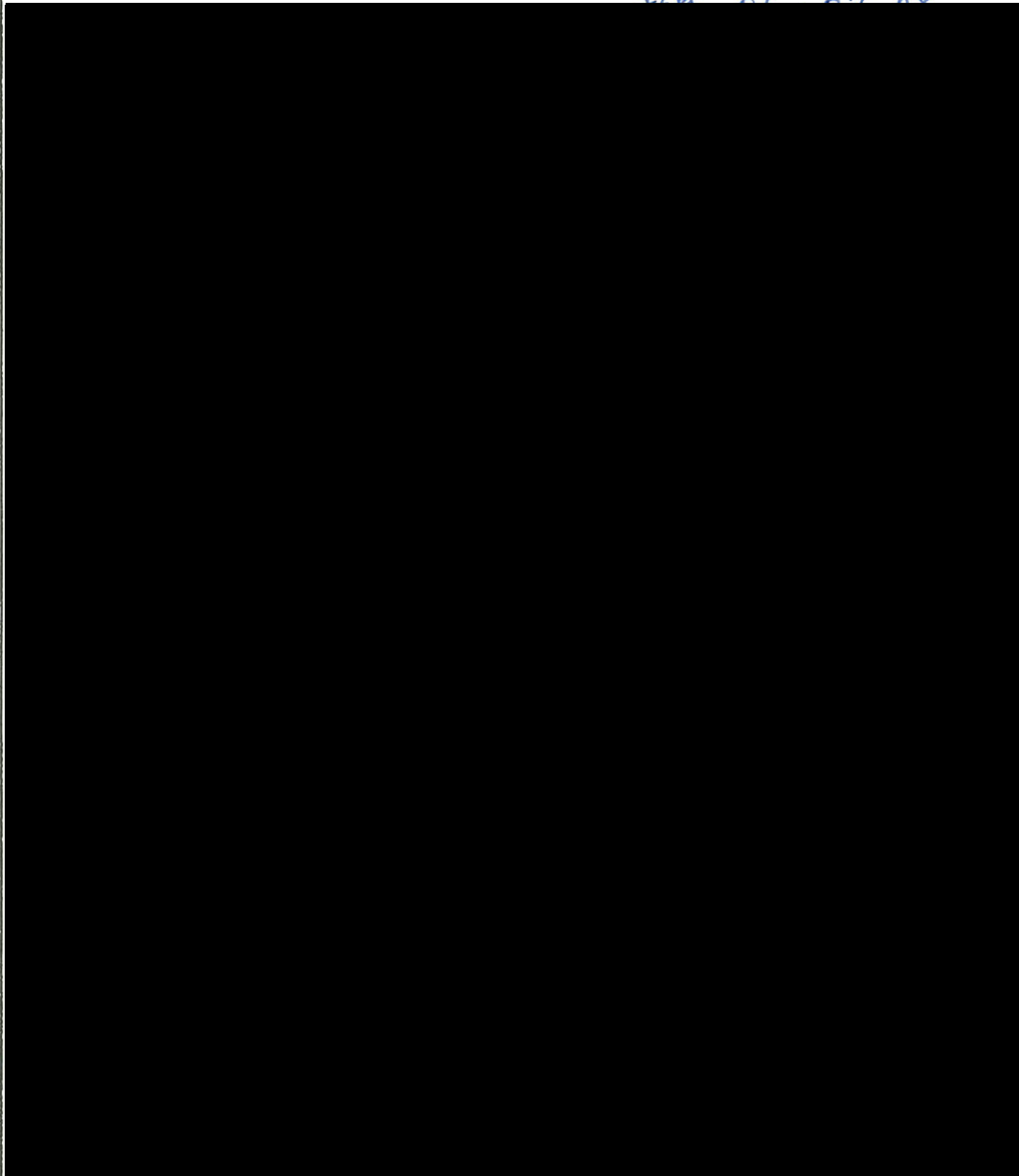
第1.2.1.6.1.2-2 図  
第2酸回収系の  
計測制御系統図(その2)



G

29.1-8

蒸発缶・精留塔加熱蒸気温度B 安全保護回路



第1.2.1.6.1.2-3 図  
第2酸回収系の  
計測制御系統図(その3)



36

Φ - TO H



174

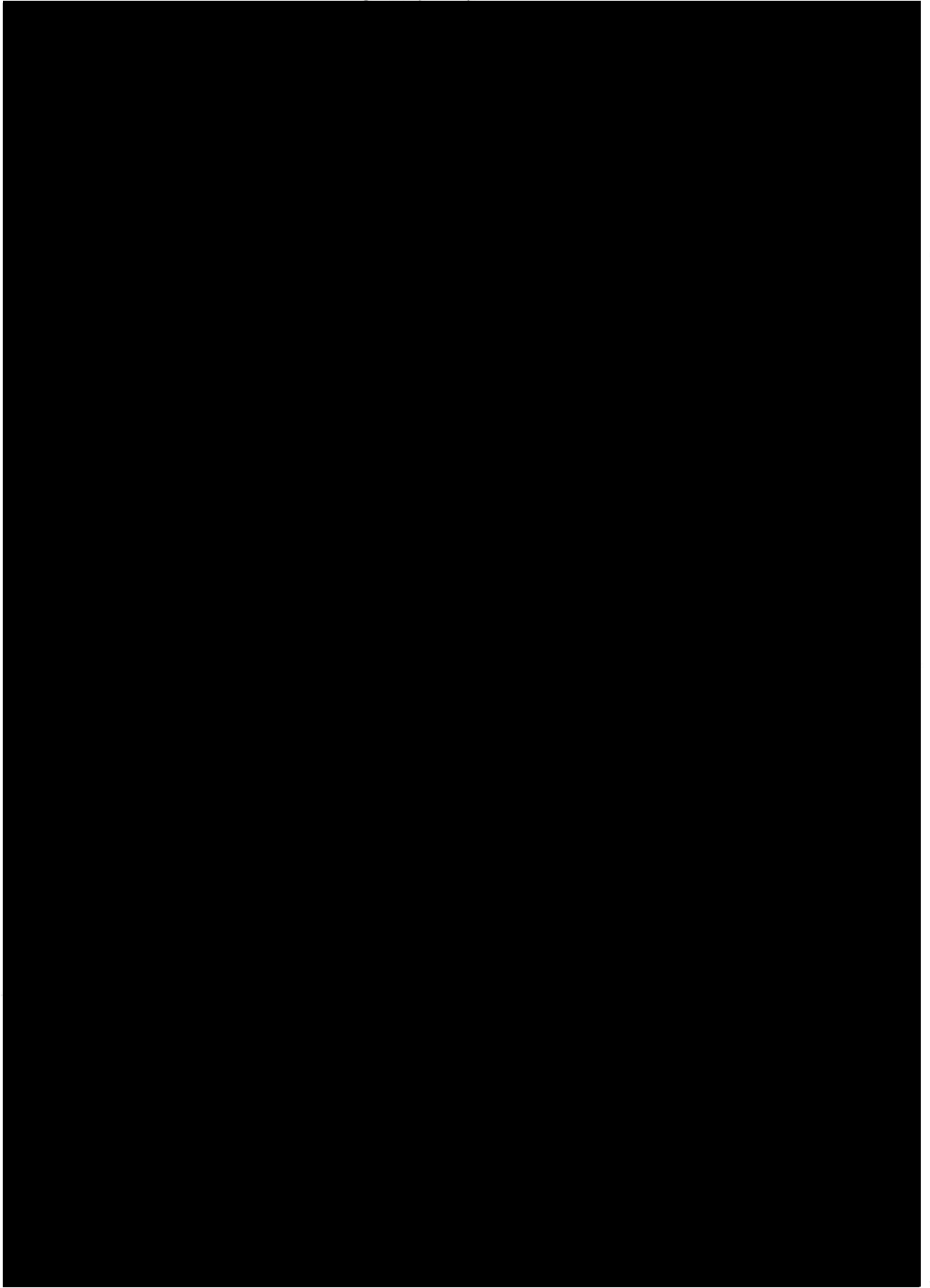
1404

図-ホ-1-8-3

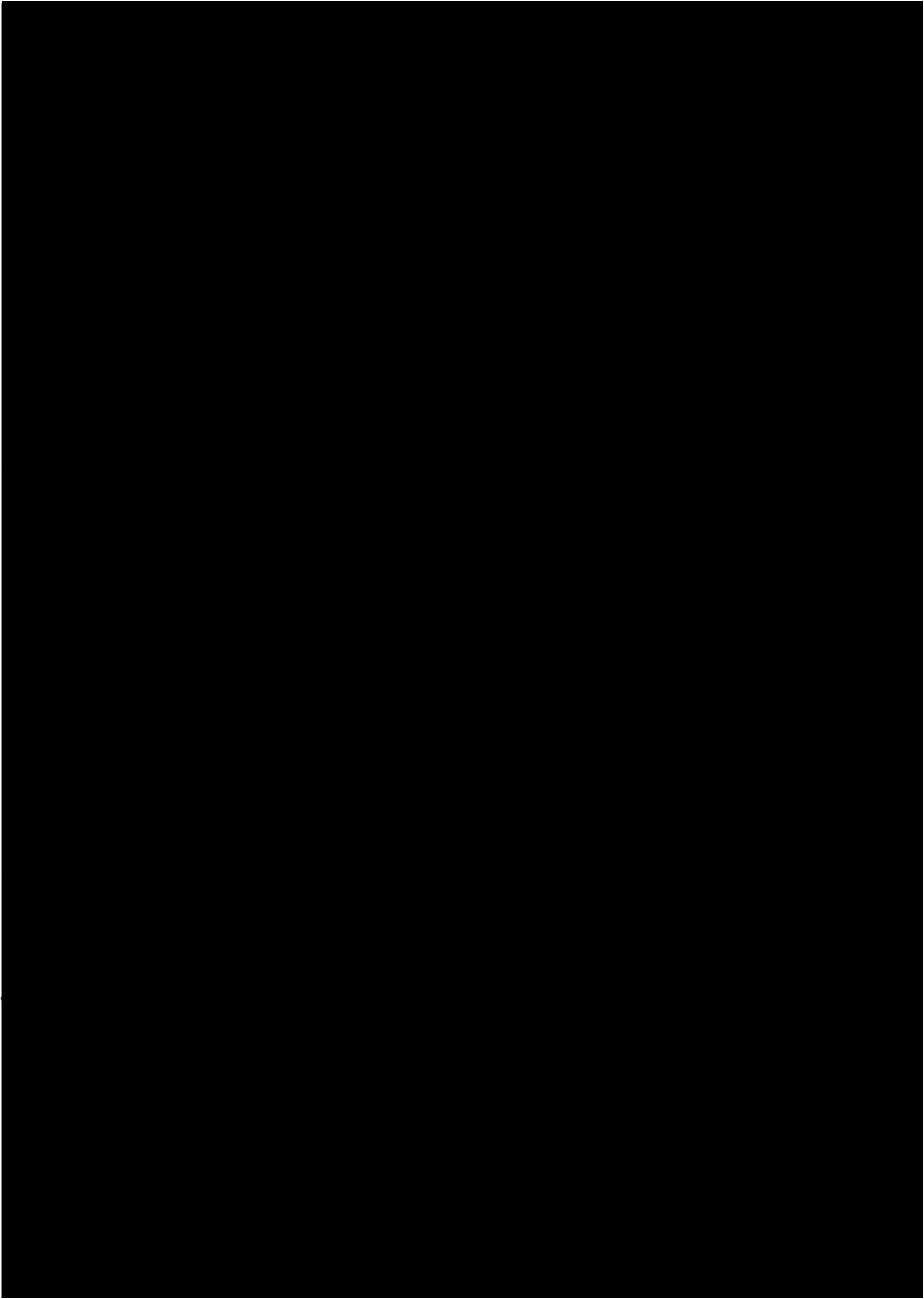
H



89.1-17





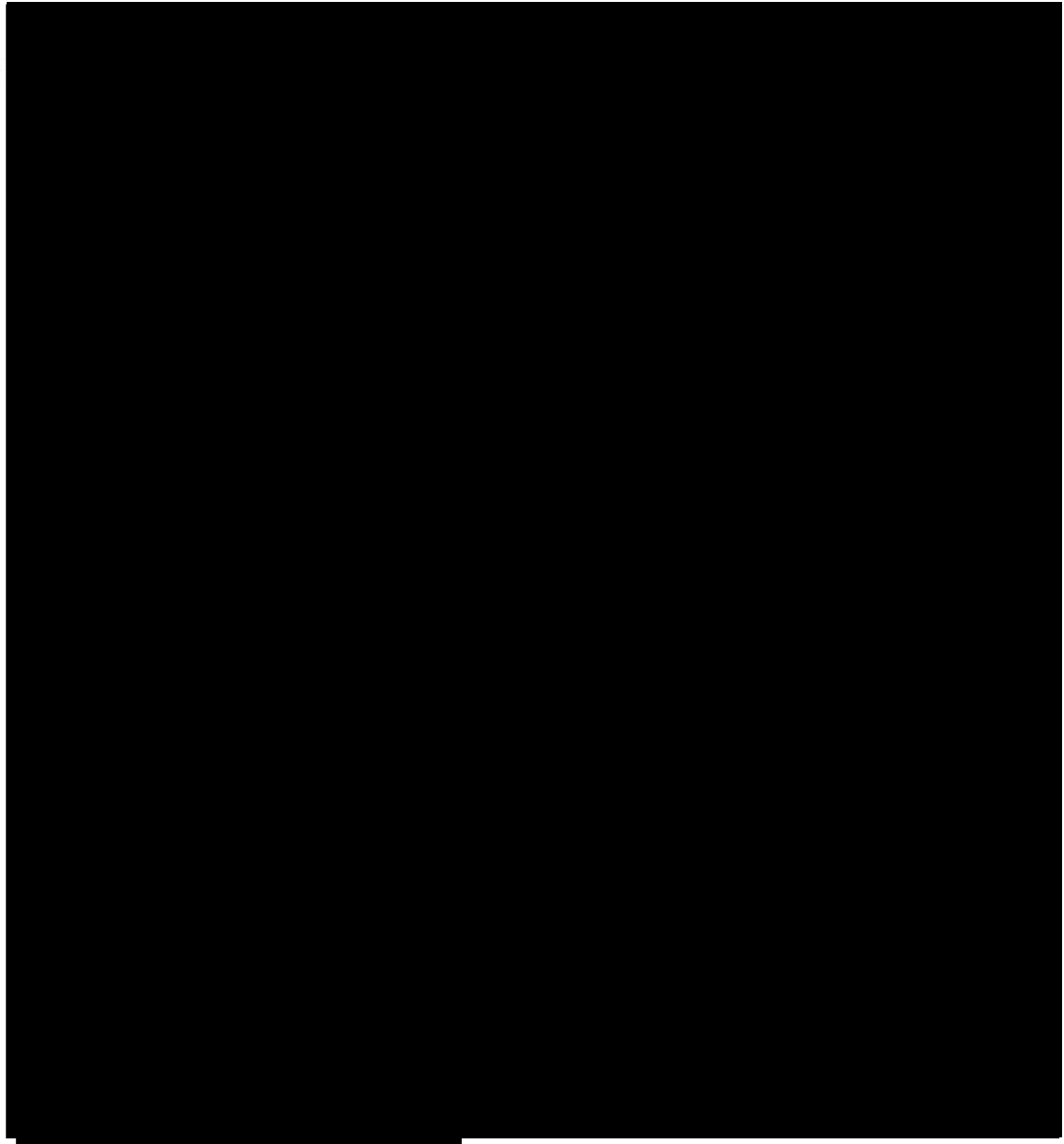


89.1-61

高レベル廃液濃縮缶加熱蒸気温度A

安全保護回路

機 - 06 - 09.10



⑦-III F

1913

第1.2.2.2-1図  
高レベル廃液濃縮缶加熱停止回路の  
計測制御系統図(その1)

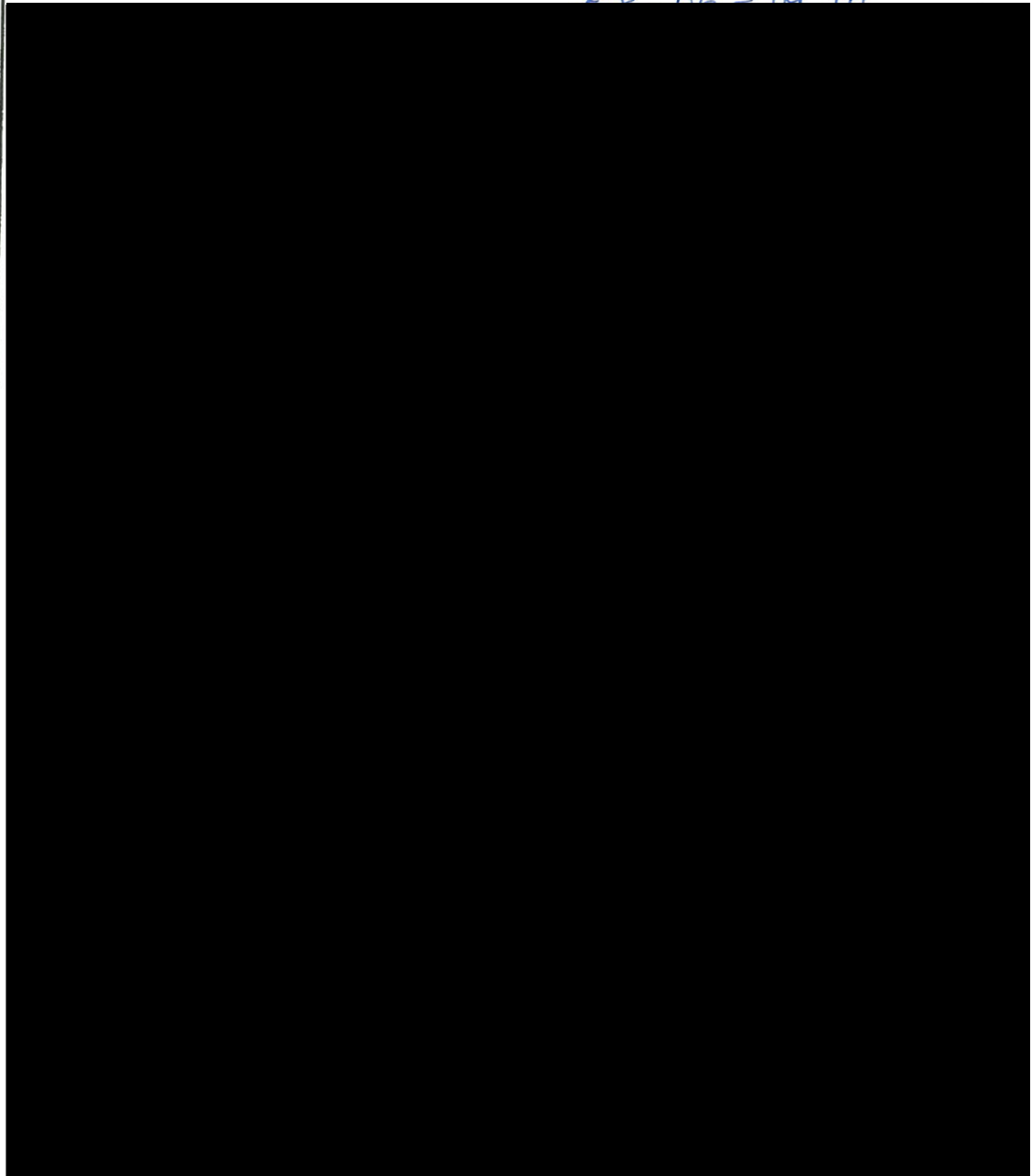
F

89.1-62

高レベル廃液濃縮缶加熱蒸気温度B

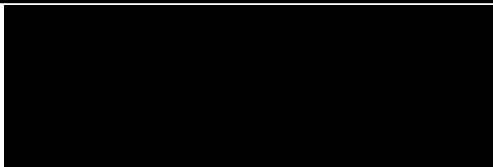
安全保護回路

追加 06-09-10



①-III F

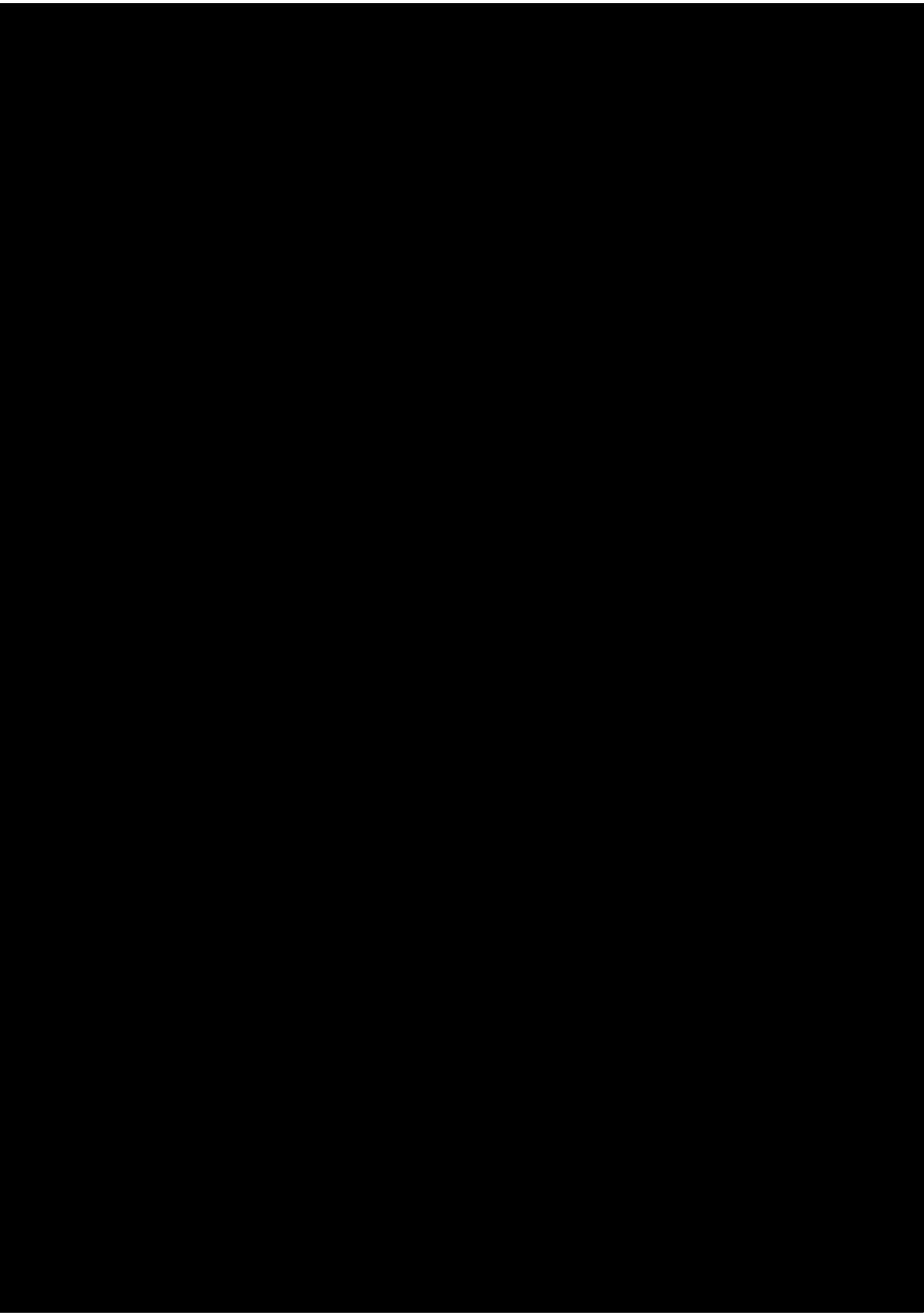
1914

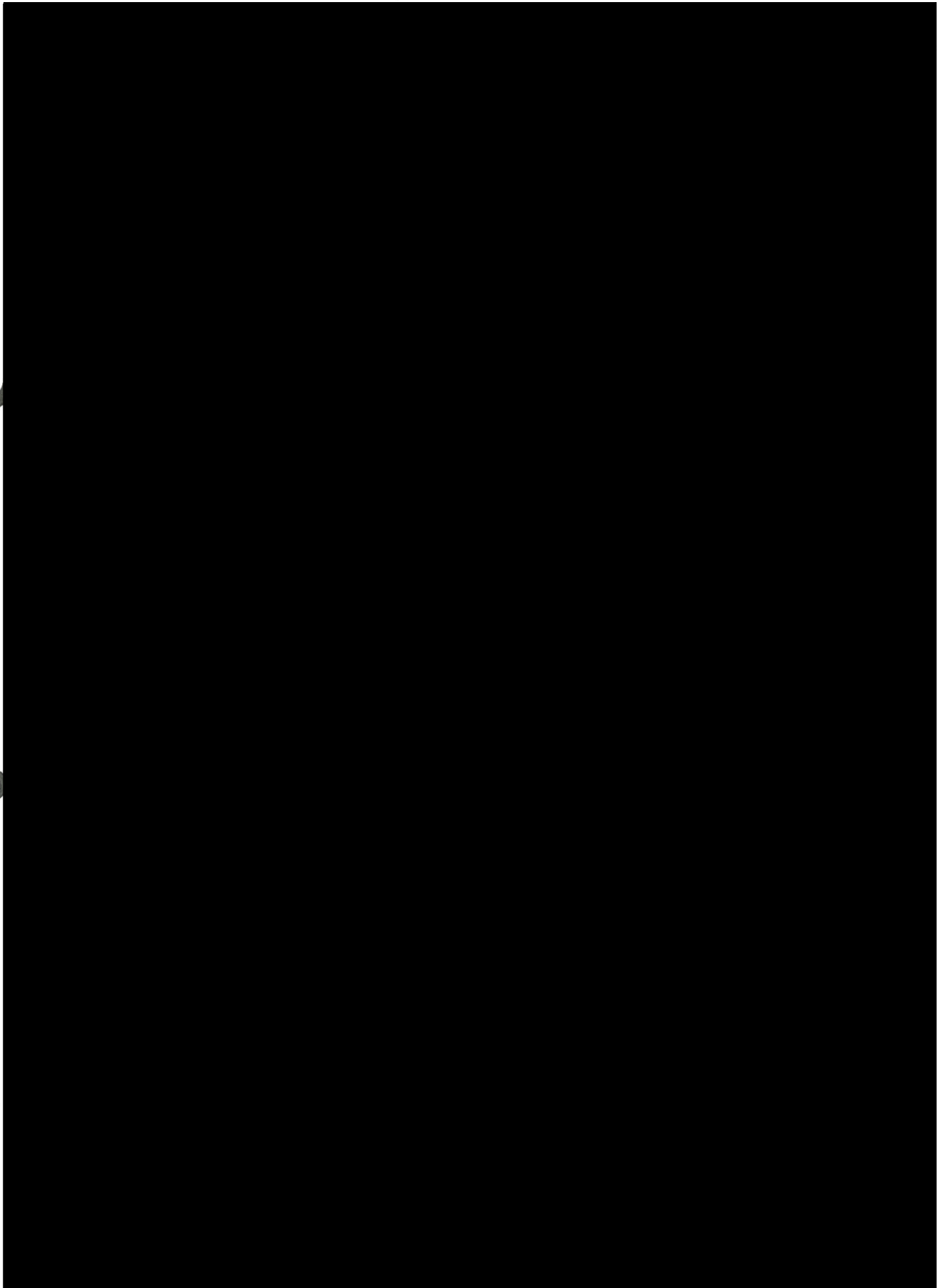


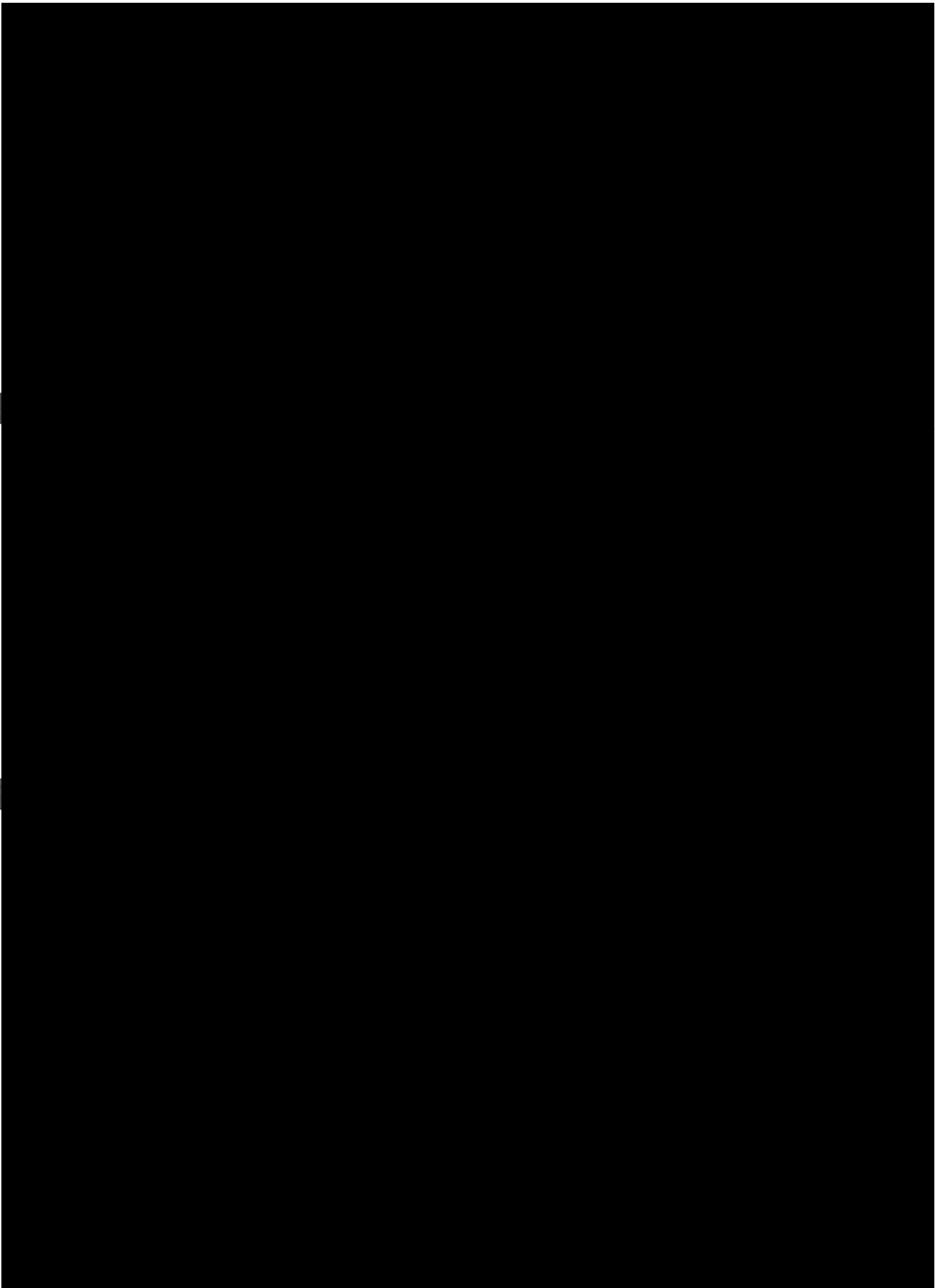
第1.2.2.2-2図  
高レベル廃液濃縮缶加熱停止回路の  
計測制御系統図(その2)



F







### 申請対象設備抽出結果

施設	再処理設備本体，計測制御系統施設
設備	計測制御設備 安全保護回路 還元ガス供給系 (火災発生防止；水素ガス対策)
機器	計測制御設備，安全保護回路，主要弁 (インターロック含む)

【対象機器】	施設区分		設備区分				機器名称(許可)
	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	計測制御設備
計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	—	安全保護回路	
再処理設備本体	脱硝施設	ウラン・プルトニウム混合脱硝設備	還元ガス供給系	—	—	遮断弁	
【主たる機能】	火災発生防止；水素ガス対策						

精査中

【機器等の抽出】

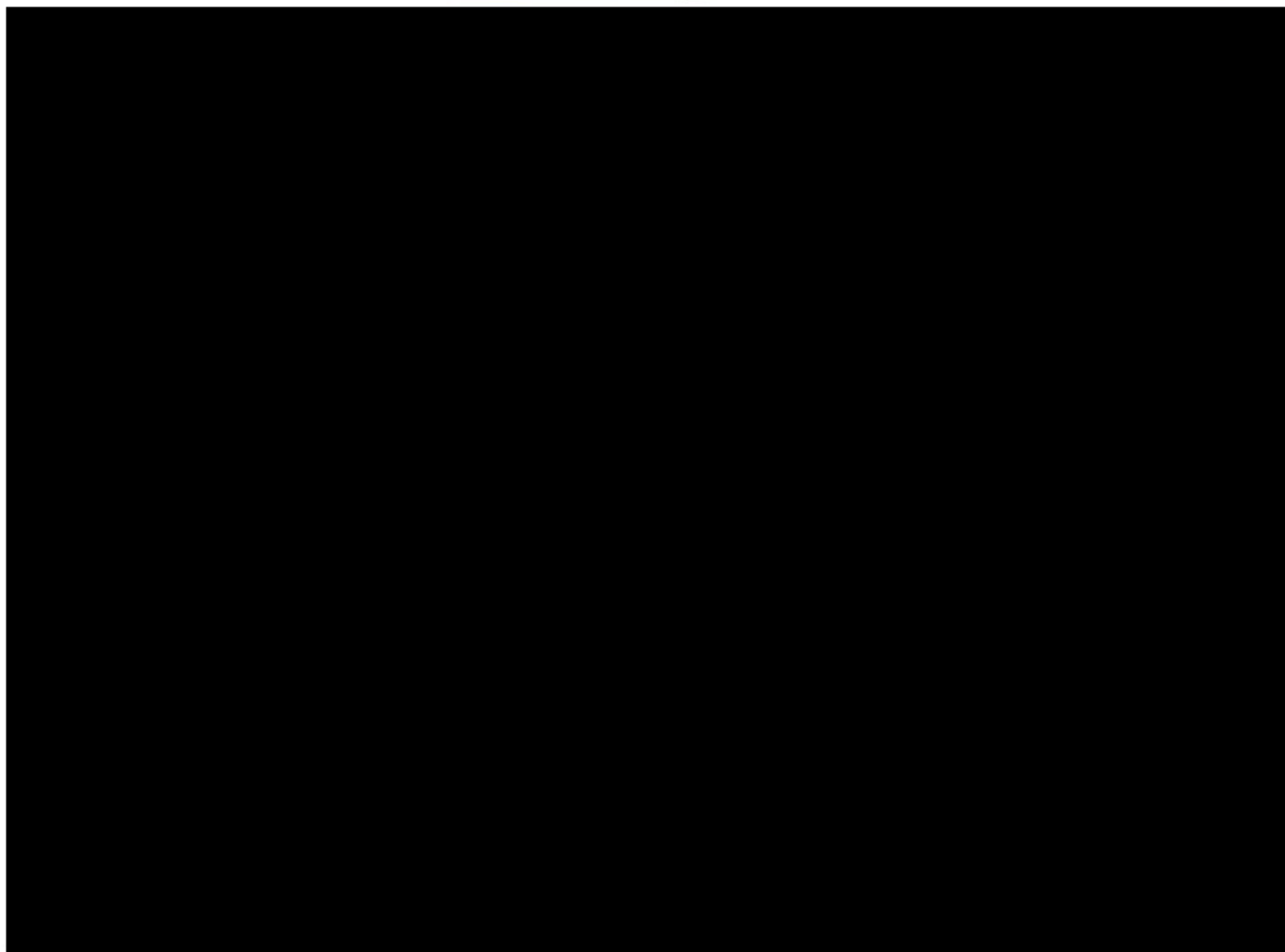
紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考
機-06-11	計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	—	還元ガス受槽水素濃度高による還元ガス供給停止回路	還元ガス受槽水素濃度(A,B)計	計装/放管設備	CA	2	②-4	既設	安重	—	—	—	
機-06-12	計測制御系統施設	—	安全保護回路	—	—	—	還元ガス受槽水素濃度高による還元ガス供給停止回路	還元ガス受槽水素濃度高による還元ガス供給停止回路	計装/放管設備	CA	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	
機-06-29	再処理設備本体	脱硝施設	ウラン・プルトニウム混合脱硝設備	還元ガス供給系	—	—	還元ガス受槽水素濃度項による還元ガス供給停止回路に係る遮断弁	主要弁	主要弁	CA	2	②-3	既設	安重	—	—	—	
機-06-30	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	計測制御設備	混合装置ミキサー水素濃度計	計装/放管設備	CA	2	②-4	既設	安重	—	—	—	
機-05-01	計測制御系統施設	—	計測制御設備	—	—	—	計測制御設備	還元ガス供給槽水素濃度高による還元ガスの供給を停止するインターロック	計装/放管設備	CA	1	②-4	既設	非安重	—	—	—	
機-05-02	再処理設備本体	脱硝施設	ウラン・プルトニウム混合脱硝設備	還元ガス供給系	—	—	還元ガス供給系	主要弁	主要弁	CA	1	②-3	既設	非安重	—	—	—	



89.1-53

還元ガス受槽水素濃度 A

安全保護回路



12

第1.2.1.5.2.5-2図  
還元ガス供給系の  
計測制御系統図(その2)

図一ホー1-8-2

F

1

008

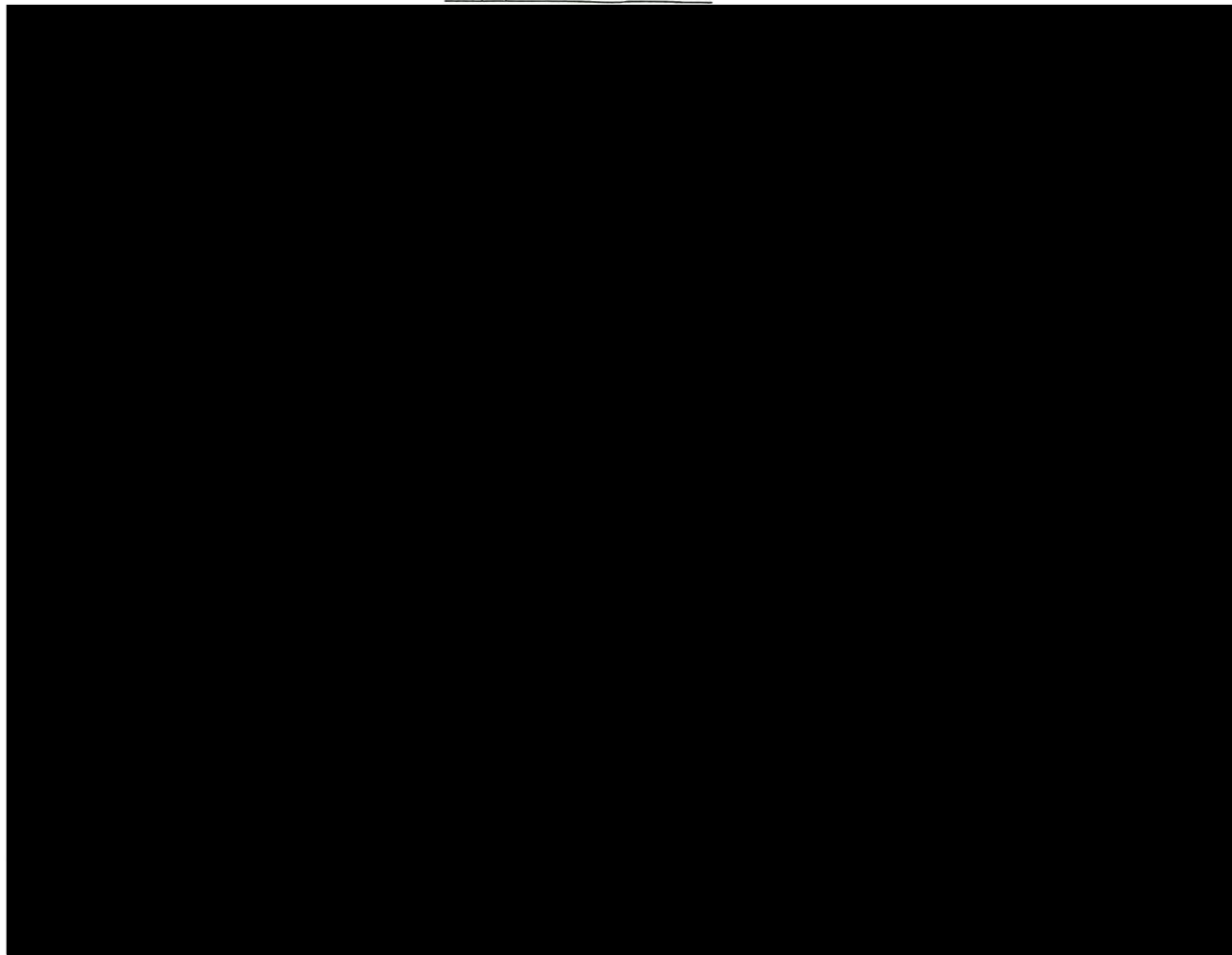
⑤-MC-F

0777

89.1-54

還元ガス受槽水素濃度B

安全保護回路



11.12

第1.2.1.5.2.5-3図  
還元ガス供給系の  
計測制御系統図(その3)

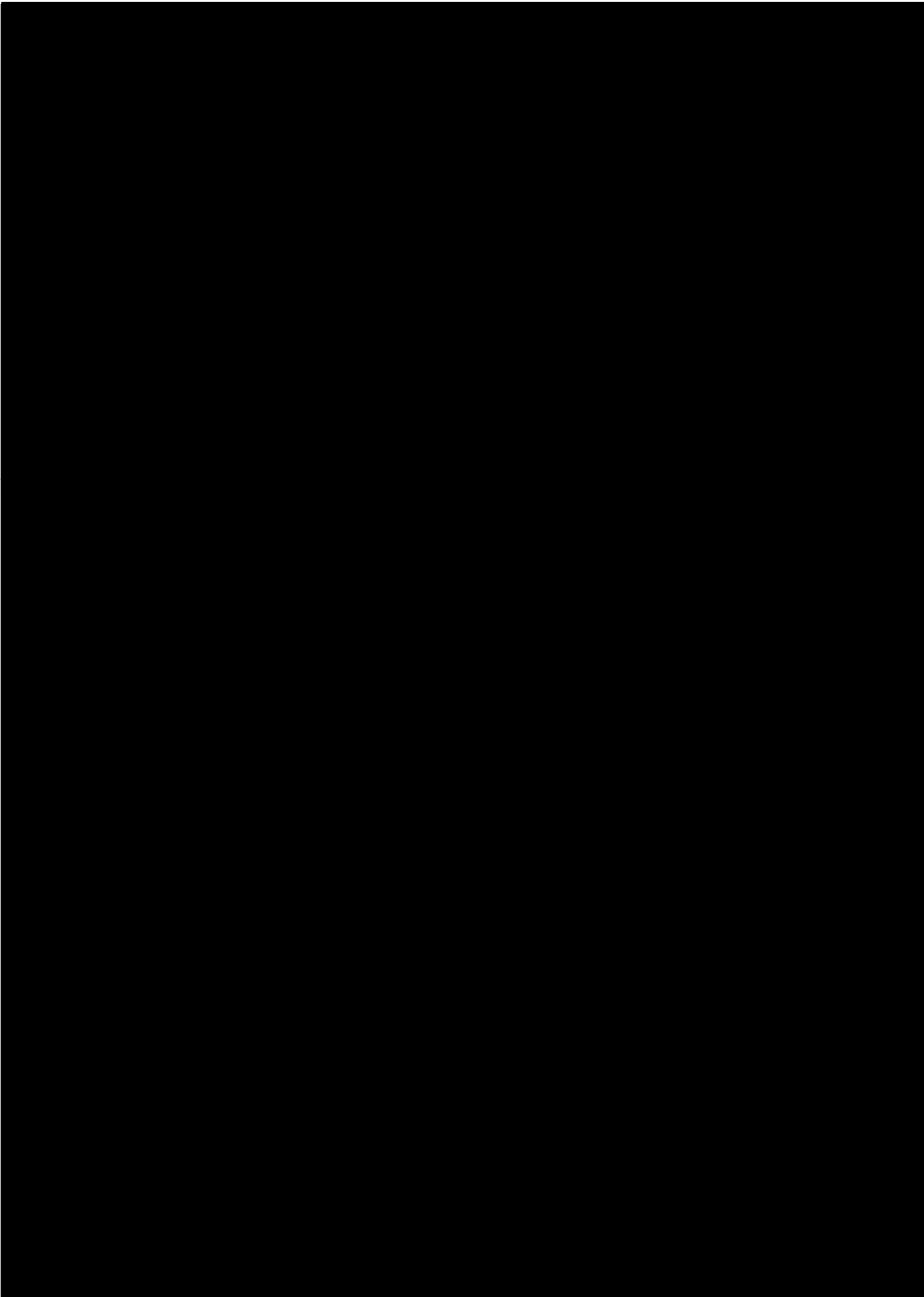
図一ホー1-8-3

F

7/18

⑧-MC-F

0778



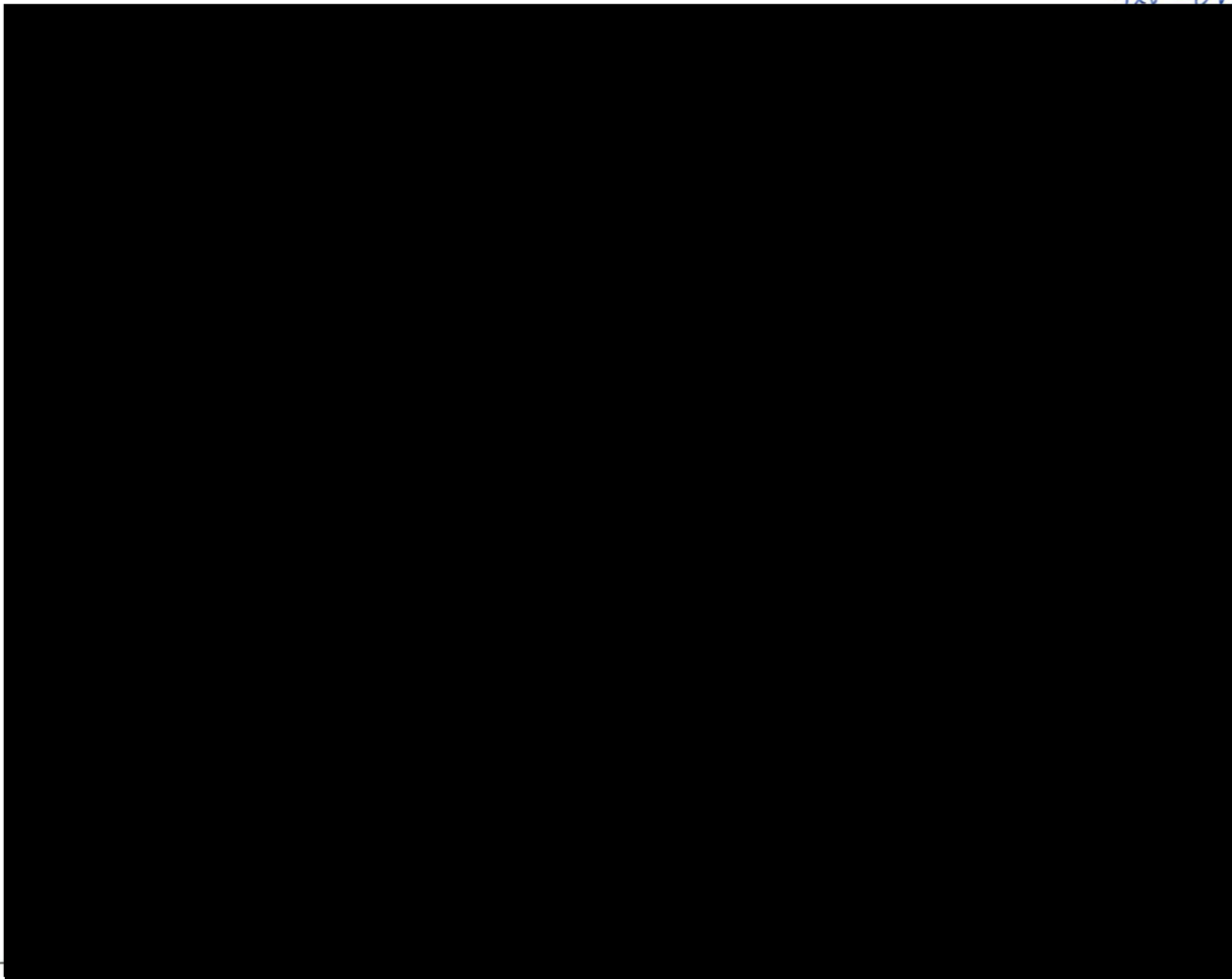


23-3

混合装置ミキサー出口水素濃度

機-06-29, 30

制御設備



第1.2.1.5.2.5-5図  
還元ガス供給系の  
制御制御系統図(その5)

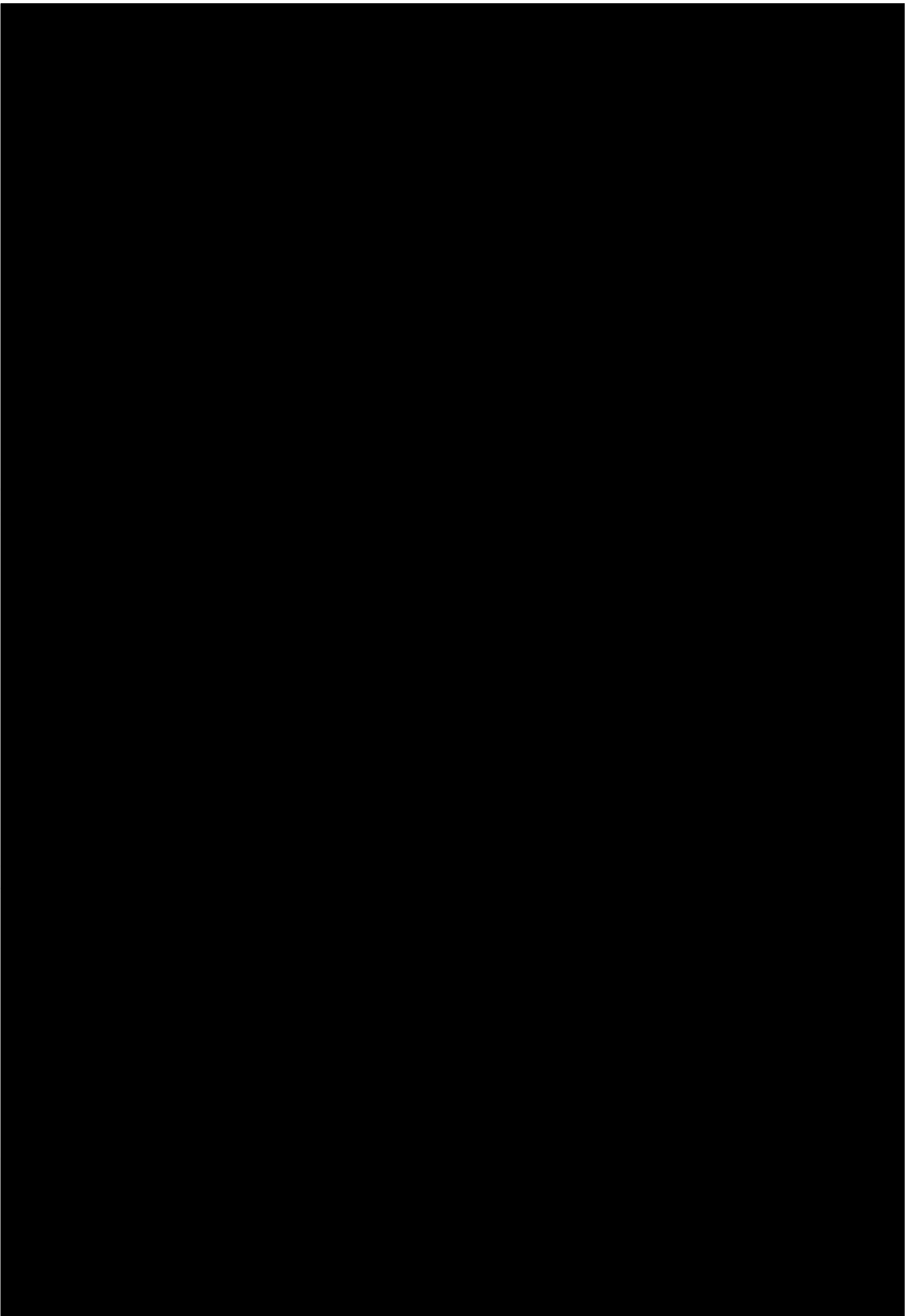
図一ホ-1-8-5

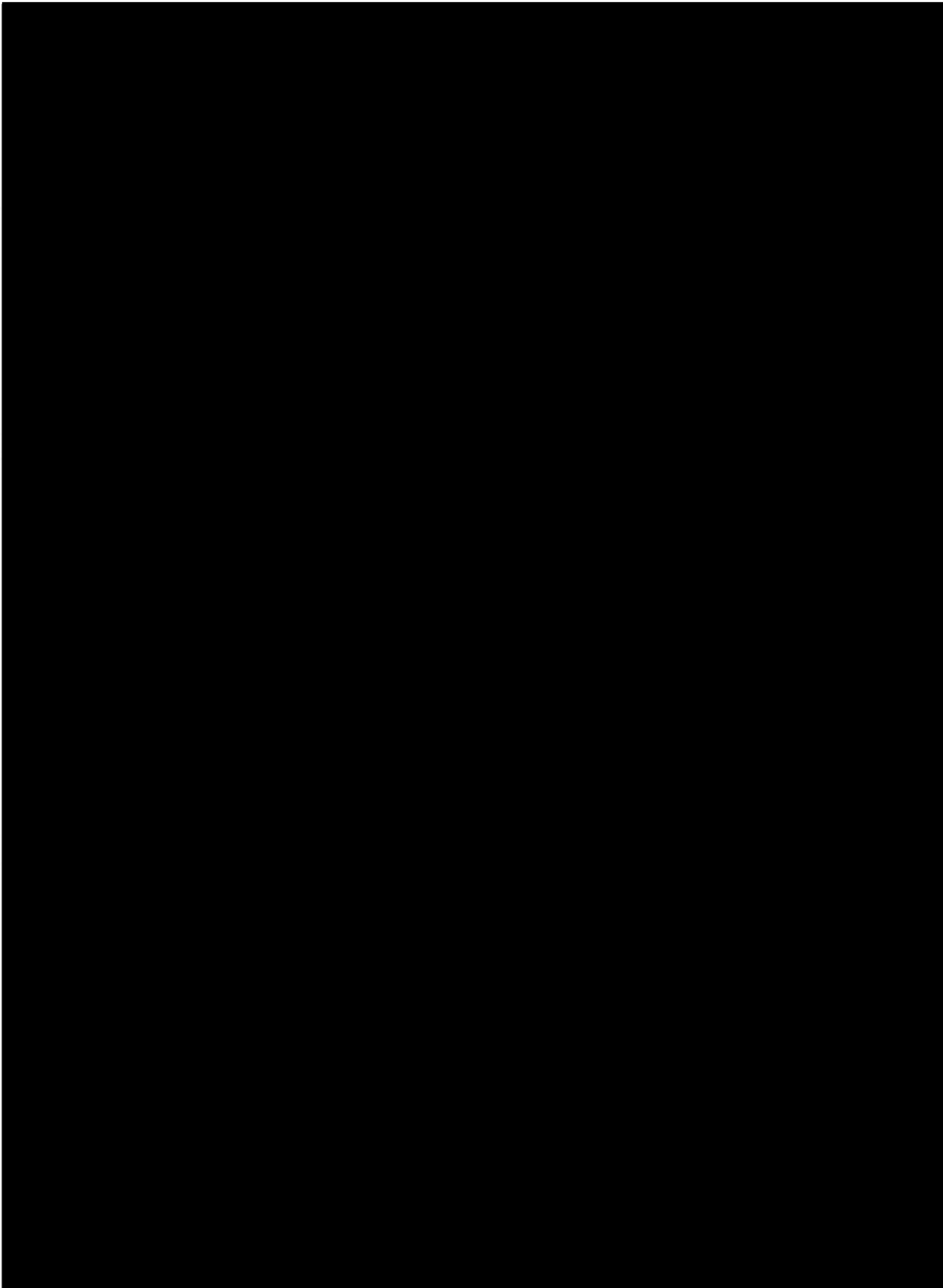
D

⑧-MC-D

5/1

0780





## 申請対象設備抽出結果

施 設	再処理設備本体，放射性廃棄物の廃棄施設，その他再処理設備の附属施設
設 備	溶解設備，清澄・計量設備，分離設備，分配設備，分離建屋一時貯留処理設備，プルトニウム精製設備，精製建屋一時貯留処理設備，分離・分配系，溶液系 高レベル廃液濃縮系，高レベル濃縮廃液貯蔵系，不溶解残渣廃液貯蔵系，共用貯蔵系 安全圧縮空気系
機 器	安全空気圧縮装置，水素掃気用空気貯槽，主配管



	施設区分		設備区分				機器名称(許可)
	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(再処理設備本体用)	圧縮空気設備	安全圧縮空気系	—	—	安全空気圧縮装置, 水素掃気用空気貯槽, 主配管
【対象機器】	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	—	—	—	主配管
	再処理設備本体	溶解施設	清澄・計量設備	—	—	—	主配管
	再処理設備本体	分離施設	分離設備	—	—	—	主配管
	再処理設備本体	分離施設	分配設備	—	—	—	主配管
	再処理設備本体	分離施設	分離建屋一時貯留処理設備	—	—	—	主配管
	再処理設備本体	精製施設	プルトニウム精製設備	—	—	—	主配管
	再処理設備本体	精製施設	精製建屋一時貯留処理設備	—	—	—	主配管
	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒再生系	分離・分配系	—	主配管
	再処理設備本体	脱硝施設	ウラン・プルトニウム混合脱硝設備	溶液系	—	—	主配管
	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄施設	高レベル廃液処理設備	高レベル廃液濃縮設備	高レベル廃液濃縮系	—	主配管
	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄施設	高レベル廃液処理設備	高レベル廃液貯蔵設備	高レベル濃縮廃液貯蔵系	—	主配管
	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄施設	高レベル廃液処理設備	高レベル廃液貯蔵設備	不溶解残渣廃液貯蔵系	—	主配管
	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄施設	高レベル廃液処理設備	高レベル廃液貯蔵設備	共用貯蔵系	—	主配管
放射性廃棄物の廃棄施設	固体廃棄物の廃棄施設	高レベル廃液ガラス固化設備	—	—	—	主配管	
【主たる機能】	火災発生防止 (水素掃気対策, 水素ガス爆発対策, 有機溶媒火災対策, 化学的制限値対策, 熱的制限値対策)						

精査中

【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考
機-07-01	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(再処理設備本体用)	圧縮空気設備	安全圧縮空気系	—	—	安全空気圧縮装置	安全空気圧縮装置A/B/C	圧縮機	AA	3	②-3	既設	安重	—	—	—	
機-07-02	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(再処理設備本体用)	圧縮空気設備	安全圧縮空気系	—	—	水素掃気用空気貯槽	水素掃気用空気貯槽	容器(環状型・円筒型・板状型・角柱型)	AA	1	②-3	既設	安重	—	—	—	
配-02-01 配-03-01 配-04-01 配-05-01 配-07-01 配-09-01	その他再処理設備の附属施設	その他再処理設備の附属施設(再処理設備本体用)	圧縮空気設備	安全圧縮空気系	—	—	安全圧縮空気系	主配管	主配管	AA, AB, AC, CA, KA, AT	一式	②-3 ②-4	既設	安重/非安重	—	—	—	配管名称細分化中
配-02-01	再処理設備本体	溶解施設	溶解設備	—	—	—	溶解設備	主配管	主配管	AA	一式	②-3	既設	安重	—	—	—	配管名称細分化中
配-02-01	再処理設備本体	溶解施設	清澄・計量設備	—	—	—	清澄・計量設備	主配管	主配管	AA	一式	②-3	既設	安重	—	—	—	配管名称細分化中
配-03-01	再処理設備本体	分離施設	分離設備	—	—	—	分離設備	主配管	主配管	AB	一式	②-3	既設	安重	—	—	—	配管名称細分化中
配-03-01	再処理設備本体	分離施設	分配設備	—	—	—	分配設備	主配管	主配管	AB	一式	②-3	既設	安重	—	—	—	配管名称細分化中
配-03-01	再処理設備本体	分離施設	分離建屋一時貯留処理設備	—	—	—	分離建屋一時貯留処理設備	主配管	主配管	AB	一式	②-3	既設	安重	—	—	—	配管名称細分化中
配-04-01	再処理設備本体	精製施設	プルトニウム精製設備	—	—	—	プルトニウム精製設備	主配管	主配管	AC	一式	②-4	既設	安重	—	—	—	配管名称細分化中
配-04-01	再処理設備本体	精製施設	精製建屋一時貯留処理設備	—	—	—	精製建屋一時貯留処理設備	主配管	主配管	AC	一式	②-4	既設	安重	—	—	—	配管名称細分化中
配-04-01	再処理設備本体	酸及び溶媒の回収施設	溶媒回収設備	溶媒再生系	分離・分配系	—	分離・分配系	主配管	主配管	AB	一式	②-4	既設	安重	—	—	—	配管名称細分化中
配-05-01	再処理設備本体	脱硝施設	ウラン・プルトニウム混合脱硝設備	溶液系	—	—	溶液系	主配管	主配管	CA	一式	②-3	既設	安重	—	—	—	配管名称細分化中
配-03-01	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄施設	高レベル廃液処理設備	高レベル廃液濃縮設備	高レベル廃液濃縮系	—	高レベル廃液濃縮系	主配管	主配管	AB	一式	②-3	既設	安重/非安重	—	—	—	配管名称細分化中
配-09-01	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄施設	高レベル廃液処理設備	高レベル廃液貯蔵設備	高レベル濃縮廃液貯蔵系	—	高レベル濃縮廃液貯蔵系	主配管	主配管	KA	一式	②-3	既設	安重/非安重	—	—	—	配管名称細分化中
配-09-01	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄施設	高レベル廃液処理設備	高レベル廃液貯蔵設備	不溶解残渣廃液貯蔵系	—	不溶解残渣廃液貯蔵系	主配管	主配管	KA	一式	②-3	既設	安重/非安重	—	—	—	配管名称細分化中
配-09-01	放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄施設	高レベル廃液処理設備	高レベル廃液貯蔵設備	共用貯蔵系	—	共用貯蔵系	主配管	主配管	KA	一式	②-3	既設	安重/非安重	—	—	—	配管名称細分化中
配-09-01	放射性廃棄物の廃棄施設	固体廃棄物の廃棄施設	高レベル廃液ガラス固化設備	—	—	—	高レベル廃液ガラス固化設備	主配管	主配管	KA	一式	②-3	既設	安重/非安重	—	—	—	配管名称細分化中













項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	第1 G r			第2 G r (E施設共用関連)				第2 G r (主要建屋SA設備等)			第3 G r					
					説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更①)	申請対象設備 (2項変更②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更③)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更②)	申請対象設備 (2項変更④)	申請対象設備 (別設工認① 第2ユーティリティ建 屋に係る施設)	申請対象設備 (別設工認② 海洋放出管切り離し工 事)	仕様表
5	火災及び爆発の影響軽減対策が必要な火災防護上重要な機器等を設置する火災区域は、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁(耐火隔壁、耐火シール、防火戸、防火ダンパ等)として、3時間耐火に設計上必要な150mm以上の壁厚を有するコンクリート壁や火災前試験により3時間以上の耐火能力を有する耐火壁、天井及び床により隣接する他の火災区域と分離する。火災区域又は火災区画のファンネルは、他の火災区域又は火災区画からの煙の流入防止を目的として、煙等流入防止装置を設置する設計とする。	機能要求② 設置要求	耐火壁 【施設共通 基本設計方針】	設計方針(火災区域の設定) 設計方針(影響軽減) (第2回以降)	○	【施設共通 基本設計方針】	-	○	-	【機能要求②】 火災防護設備 火災影響軽減設備 (火災区域構造物) (低レベル廃棄物処理建屋 第2低レベル廃棄物貯蔵建屋 関連する潤道)	<火災区域構造物> 名称、種類、主要寸法、材料	○	【機能要求②】 火災防護設備 火災影響軽減設備 (火災区域構造物) (前処理建屋 分離建屋 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 非常用電源建屋 第1保管庫・貯水所 第2保管庫・貯水所 高レベル廃液ガラス固化建屋 関連する潤道)	<火災区域構造物> 名称、種類、主要寸法、材料	○	【機能要求②】 火災防護設備 火災影響軽減設備 (火災区域構造物) (北換気筒管理建屋 使用済燃料受入れ・貯蔵建屋 使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋 第1非常用ディーゼル発電設備重油タンク室 緊急時対策建屋 ウラン脱硝建屋 第1低レベル廃棄物貯蔵建屋 第4低レベル廃棄物貯蔵建屋 関連する潤道)	【機能要求②】 火災防護設備 火災影響軽減設備 (火災区域構造物) (精製建屋 低レベル廃液処理建屋 H&Mトリア貯蔵建屋 制御建屋 分析建屋 出入管理建屋 主排気筒管理建屋 緊急時対策建屋 ウラン脱硝建屋 K/A・M/A混合酸化物貯蔵建屋 低レベル廃棄物処理建屋 K/A・M/A混合酸化物貯蔵建屋 第1軽油貯槽 第2軽油貯槽 重油貯槽 関連する潤道)	-	-	<火災区域構造物> 名称、種類、主要寸法、材料
18	放射性物質を含む有機溶媒を内包する機器で加温を行う機器は、化学的制限値(リードゲンの引火点74℃)を設定し、化学的制限値を超えて加温することがないよう、溶媒の温度を監視して、温度高により警報を発するとともに、自動で加温を停止する設計とする。	運用要求 機能要求②	計測制御設備 安全保護回路 溶媒回収設備 溶媒再生系 分離・分配系 ウラン精製設備 プルトニウム精製設備 溶媒回収設備 溶媒再生系 ウラン精製系 溶媒回収設備 溶媒再生系 プルトニウム精製系	設計方針(発生防止) 基本方針(火災防護計画)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
22	使用済有機溶媒の蒸発及び蒸留を行う機器は、有機溶媒へ着火するおそれのない可燃領域外で有機溶媒の処理を行う設計とともに、廃ガスには不活性ガス(窒素)を注入して排気する設計とする。	機能要求②	計測制御設備 溶媒回収設備 溶媒処理系	設計方針(発生防止)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
24	外部ヒータを適切に制御するとともにその内部温度を測定し、運転状態を監視し、温度高により外部ヒータ加熱及び溶媒供給を停止する設計とする。	機能要求②	計測制御設備 廃溶媒処理系	設計方針(発生防止)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
25	廃溶媒処理系の熱分解ガスを燃焼する装置は、その内部温度を測定し、燃焼状態を監視し、温度低により熱分解装置への廃溶媒供給を停止する設計とする。	機能要求②	計測制御設備 廃溶媒処理系	設計方針(発生防止)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
29		機能要求②	計測制御設備 安全保護回路 分配設備 ウラン精製設備 プルトニウム精製設備 酸回収設備 第2酸回収系 高レベル廃液処理設備 高レベル廃液濃縮系	設計方針(発生防止)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
32	また、その他再処理設備の附属施設の圧縮空気設備から空気を供給(水素排気)する設計とする。	機能要求②	安全圧縮空気系 溶解設備 清浄・計量設備 分離設備 分配設備 分離建屋一時貯留処理設備 プルトニウム精製設備 精製建屋一時貯留処理設備 溶媒回収設備 溶媒再生系 分離・分配系 ウラン・プルトニウム混合脱硝設備 溶液系 高レベル廃液濃縮系 高レベル濃縮廃液貯蔵系 不溶解残渣廃液貯蔵系 共用貯蔵系 高レベル廃液ガラス固化設備	設計方針(発生防止)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
35		機能要求②	計測制御設備 安全保護回路 還元ガス供給系	設計方針(発生防止)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
97	(1) 消火設備の消火剤の容量消火設備は、想定される火災の性質に応じた十分な容量として、消防法施行規則、又は試験により確認した消火剤容量を配備する設計とする。	機能要求② 評価要求	火災防護設備 消火設備 (ハロゲン化物消火設備) 二酸化炭素消火設備 ハロゲン化物消火設備(局所) (ケープルトレイ消火設備、電気盤・制御盤消火設備) 消火水供給設備 消火水槽(AZ) 防火水槽(AZ) 電動駆動消火ポンプ(AZ))	設計方針(火災の消火) 評価方法(火災の消火) 評価(火災の消火)	○	-	-	○	【機能要求②】 火災防護設備 消火設備 (消火水供給設備)	<タンク> 名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数、取付箇所 <配管> 名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ、材料 <ポンプ・原動機> 名称、種類、容量、出力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数、取付箇所	-	○	【機能要求②】 火災防護設備 消火設備 (ハロゲン化物消火設備) 二酸化炭素消火設備 ハロゲン化物消火設備(局所) (ケープルトレイ消火設備、電気盤・制御盤消火設備) (前処理建屋 分離建屋 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 非常用電源建屋 高レベル廃液ガラス固化建屋)は最終回次に申請する。) )	【機能要求②】 火災防護設備 消火設備 (ハロゲン化物消火設備) 二酸化炭素消火設備 ハロゲン化物消火設備(局所) (ケープルトレイ消火設備、電気盤・制御盤消火設備) 防火水槽(AZ) 防火水槽(AZ))	【機能要求②】 火災防護設備 消火設備 (ハロゲン化物消火設備) 二酸化炭素消火設備 ハロゲン化物消火設備(局所) (ケープルトレイ消火設備、電気盤・制御盤消火設備) 防火水槽(AZ) 防火水槽(AZ))	-	-	<タンク・ポンベ> 名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数、取付箇所 <配管> 名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ、材料 <ポンプ・原動機> 名称、種類、容量、出力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数、取付箇所		
98	消火水供給系の水源は、消防法施行令及び危険物の規制に関する規則に基づくとともに、2時間の最大放水量に対し十分な容量を有する設計とする。また、緊急時対策建屋の水源は、消防法施行令に基づくとともに、2時間の最大放水量に対し十分な容量を有する設計とする。	機能要求②	火災防護設備 消火設備 (消火水貯槽 ろ過水貯槽) 消火水槽(AZ) 防火水槽(AZ))	設計方針(火災の消火)	-	-	-	○	【機能要求②】 火災防護設備 消火設備 (消火水貯槽 ろ過水貯槽)	<タンク> 名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数、取付箇所	-	○	【機能要求②】 火災防護設備 消火設備 (消火水貯槽 ろ過水貯槽)	【機能要求②】 火災防護設備 消火設備 (消火水貯槽(AZ) 防火水槽(AZ))	-	-	<タンク> 名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数、取付箇所			



項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	第1 Gr			第2 Gr (E施設共用関連)			第2 Gr (主要建屋SA設備等)			第3 Gr						
					説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更①)	申請対象設備 (2項変更②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更③)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項変更②)	申請対象設備 (2項変更④)	申請対象設備 (別設工認① 第2ニューディレイ建 屋に係る施設)	申請対象設備 (別設工認② 海洋放出管切り離し工 事)	仕様表
99	(2) 消火設備の系統構成 a. 消防用水供給系の多重性又は多様性 消防用水供給系の水源として、ろ過水貯槽（廃棄物管理施設、MOX燃料加工施設と共用（以下同じ。））及び消防用水貯槽（廃棄物管理施設、MOX燃料加工施設と共用（以下同じ。））を設置し、多重性を有する設計とする。 緊急時対策建屋の消防用水供給系の水源は、消火水槽、建屋近傍に防火水槽を設置し、多重性を有する設計とする。 消防用水系の消火ポンプは、必要量を送水可能な電動機駆動消火ポンプ（廃棄物管理施設、MOX燃料加工施設と共用（以下同じ。））に加え、ディーゼル駆動消火ポンプ（廃棄物管理施設、MOX燃料加工施設と共用（以下同じ。））を1台ずつ設置することで、多様性を有する設計とする。同時に、消火配管内を加压状態に保持するため、機器の単一故障を想定し、圧力調整用消火ポンプ（廃棄物管理施設、MOX燃料加工施設と共用（以下同じ。））を2基設ける設計とする。 また、緊急時対策建屋の消火ポンプは電動駆動消火ポンプを2台設置することで、多重性を有する設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	火災防護設備 消火設備 (消防用水貯槽 ろ過水貯槽 消火水槽 (AZ) 防火水槽 (AZ) 電動機駆動消火ポンプ ディーゼル駆動消火ポンプ 電動機駆動消火ポンプ (AZ))	設計方針 (火災の消火)	○	—	○	—	○	—	○	—	○	—	—	—	—	—	—	—
127	a. 3時間以上の耐火能力を有する隔壁等による分離 系統分離し配置している最重要設備となる安重機能を有する機器等は、火災耐久試験により3時間以上の耐火能力を確認した、隔壁等で系統間を分離する設計とする。	設置要求 機能要求② 評価要求	火災防護設備 火災影響軽減設備 (火災区域構造物) 耐火隔壁	設計方針 (影響軽減) 評価方法 (影響軽減) 評価 (影響軽減)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
128	b. 水平距離6m以上の離隔距離の確保、火災感知設備及び自動消火設備の設置による分離 互いに相違する系列の最重要設備は、水平距離間には仮置きするものを含め可燃性物質が存在しないようし、系列間を6m以上の離隔距離により分離する設計とし、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置することで系統間を分離する設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	火災防護設備 火災感知設備 火災防護設備 消火設備 (ハロゲン化物消火設備)	設計方針 (影響軽減) (第2回以降)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
129	c. 1時間耐火隔壁による分離、火災感知設備及び自動消火設備の設置による分離 互いに相違する系列の最重要設備を1時間の耐火能力を有する隔壁で分離し、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置することで系統間を分離する設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求② 評価要求	1時間耐火隔壁 火災防護設備 火災感知設備 火災防護設備 消火設備 (ハロゲン化物消火設備 (局所) (ケープルトレイ消火設備、 電気盤・制御盤消火設備))	設計方針 (影響軽減) 評価方法 (影響軽減) 評価 (影響軽減)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—
131	b. 制御室床下コンクリートビッドの影響軽減対策 制御室床下コンクリートビッドに関しては、敷設する互いに相違する系列のケーブルについては、1時間以上の耐火能力を有する分離板又は隔壁で分離する設計とする。 また、固有の信号を発生する異なる種類の火災感知器を組み合わせて設置し、火災の発生場所が特定できる設計とする。 制御室からの手動操作により早期の起動が可能な固定式ガス消火設備を設置する設計とする。 なお、最重要設備には該当しないが使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設の制御室についても同等の設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求② 評価要求	1時間耐火隔壁 (分離板) 火災防護設備 火災感知設備 火災防護設備 消火設備 (ハロゲン化物消火設備 (床下消火設備 (手動)))	設計方針 (影響軽減) 評価方法 (影響軽減) 評価 (影響軽減)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—

## 別紙 1-2

申請対象設備の抽出作業結果 (MOX)

11 条：火災等による損傷の防止

29 条：火災等による損傷の防止

1. 申請対象設備リスト
2. 申請対象設備抽出結果 (火災防護設備 窒素消火装置)
3. 申請対象設備抽出結果 (火災防護設備 二酸化炭素消火装置)
4. 申請対象設備抽出結果 (火災防護設備 グローブボックス消火装置)

## 申請対象設備リスト

11 条：火災等による損傷の防止

29 条：火災等による損傷の防止

申請対象設備リスト

「番号」については、他条文等の整理を踏まえ、申請対象設備リスト完本時に通し番号を設定することとする。

番号	施設区分		設備区分					機器名称	機種	基本設計方針 (機能要求②) 紐付け番号	エビデンス 紐付け番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	S A区分	兼用 (主従)	共用 (主従)
	加工施設 本体	成形施設	—	—	—	—	—	燃料加工建屋	遮蔽設備 建物・構築物（火災区域構造物） 建物・構築物（施設外漏えい防止堰）	11条/29条-6 11条/29条-126	—	—	1	新設	非安重※ ※一部の工程 室は安重	—	—	—	
	加工施設 本体	成形施設	ペレット加工工程	焼結設備	—	—	—	焼結炉内部温度高による過加熱防止回路	計装/放管設備 (インターロック) 計装/放管設備 (計測装置)	11条/29条-25	今後実施 (設計中)	燃料加工建屋	1式	3	新設	安重	—	—	
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	消火用水貯槽	容器	11条/29条-96 11条/29条-98 11条/29条-99	今後実施 (再処理の作業結果展開)	(再処理)	1	4	新設	非安重	—	再処理 (MOX従)	
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	ろ過水貯槽	容器	11条/29条-96 11条/29条-98 11条/29条-99	今後実施 (再処理の作業結果展開)	(再処理)	1	4	新設	非安重	—	再処理 (MOX従)	
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	電動機駆動消火ポンプ	ポンプ	11条/29条-100	今後実施 (再処理の作業結果展開)	(再処理)	1	4	新設	非安重	—	再処理 (MOX従)	
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	ディーゼル駆動消火ポンプ	ポンプ	11条/29条-100	今後実施 (再処理の作業結果展開)	(再処理)	1	4	新設	非安重	—	再処理 (MOX従)	
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1 窒素ガス貯蔵容器	容器	11条/29条-96 11条/29条-127 11条/29条-130	系統_窒素消火装置_機器_1-1	燃料加工建屋	12	2	新設	非安重	—	—	
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1 窒素ガス加圧容器	容器	11条/29条-96 11条/29条-127 11条/29条-130	系統_窒素消火装置_機器_1-2	燃料加工建屋	2	2	新設	非安重	—	—	
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-2 窒素ガス貯蔵容器	容器	11条/29条-96 11条/29条-127 11条/29条-130	系統_窒素消火装置_機器_2	燃料加工建屋	12	2	新設	非安重	—	—	
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-3 窒素ガス貯蔵容器	容器	11条/29条-96 11条/29条-127 11条/29条-130	系統_窒素消火装置_機器_3	燃料加工建屋	12	2	新設	非安重	—	—	
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-4 窒素ガス貯蔵容器	容器	11条/29条-96 11条/29条-127 11条/29条-130	系統_窒素消火装置_機器_4	燃料加工建屋	12	2	新設	非安重	—	—	
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-5 窒素ガス貯蔵容器	容器	11条/29条-96 11条/29条-127 11条/29条-130	系統_窒素消火装置_機器_5	燃料加工建屋	14	2	新設	非安重	—	—	
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-6 窒素ガス貯蔵容器	容器	11条/29条-96 11条/29条-127 11条/29条-130	系統_窒素消火装置_機器_6	燃料加工建屋	12	2	新設	非安重	—	—	
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-7 窒素ガス貯蔵容器	容器	11条/29条-96 11条/29条-127 11条/29条-130	系統_窒素消火装置_機器_7	燃料加工建屋	12	2	新設	非安重	—	—	
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-8 窒素ガス貯蔵容器	容器	11条/29条-96 11条/29条-127 11条/29条-130	系統_窒素消火装置_機器_8	燃料加工建屋	12	2	新設	非安重	—	—	
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1 窒素ガス貯蔵容器	容器	11条/29条-96 11条/29条-127 11条/29条-130	系統_窒素消火装置_機器_9-1	燃料加工建屋	11	2	新設	非安重	—	—	
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1 窒素ガス加圧容器	容器	11条/29条-96 11条/29条-127 11条/29条-130	系統_窒素消火装置_機器_9-2	燃料加工建屋	2	2	新設	非安重	—	—	
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-2 窒素ガス貯蔵容器	容器	11条/29条-96 11条/29条-127 11条/29条-130	系統_窒素消火装置_機器_10	燃料加工建屋	14	2	新設	非安重	—	—	
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-3 窒素ガス貯蔵容器	容器	11条/29条-96 11条/29条-127 11条/29条-130	系統_窒素消火装置_機器_11	燃料加工建屋	14	2	新設	非安重	—	—	



申請対象設備リスト

番号	施設区分		設備区分				機器名称	機種	基本設計方針 (機能要求②) 紐付け番号	エビデンス 紐付け番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設 備	消火設備	—												
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設 備	消火設備	—	—	GB 消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4 窒素ガス貯蔵容器	容器	11条29条-96 11条29条-97	系統_グローブボックス消火 装置_機器_12	燃料加工建屋	3	2	新設	安重	—	—
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設 備	消火設備	—	—	主配管 (常設) (グローブボックス消火装 置)	主配管	11条29条-96 11条29条-97	系統_グローブボックス消火 装置_配管_1~45	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—
	その他加工 設備の附属 施設	—	非常用設備	火災防護設 備	消火設備	—	—	防火水槽	容器	11条29条-98	今後実施 (設計中)	屋外	1式	3	新設	非安重	—	—
	その他加工 設備の附属 施設	—	実験設備	小規模試験 設備	—	—	—	小規模焼結処理装置内部温度高による過加 熱防止回路	計装/放管設備 (インターロック) 計装/放管設備 (計測装置)	11条29条-25	今後実施 (設計中)	燃料加工建屋	1式	3	新設	安重	—	—

### 申請対象設備抽出結果

施 設	その他の加工施設
設 備	非常用設備 火災防護設備 消火設備
機 器	窒素ガス消火装置





18-2	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4 窒素ガス加圧容器	容器	GU-201	燃料加工建屋	1	2	新設	非安重	—	—	—	技連PM-0100-1445-079 R0 参照
------	--------------	---	-------	--------	------	---	---	--------	---------------------------------	----	--------	--------	---	---	----	-----	---	---	---	-----------------------------

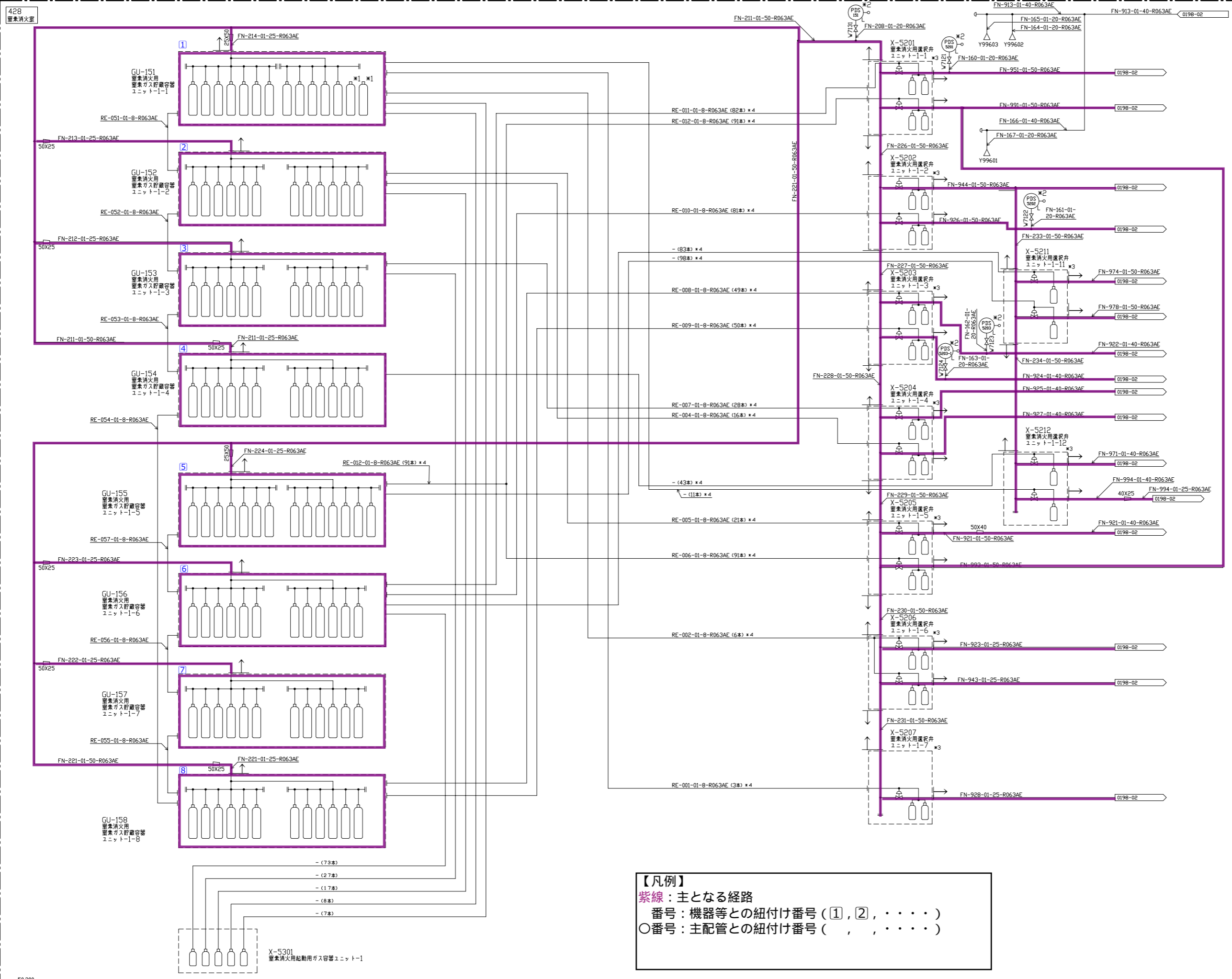
	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	
【対象機器】	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	グローブボックス消火装置
【主たる機能】	室内消火							

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	D B区分	S A区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考	
1	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1, -1-2, -1-3, -1-4, -1-5, -1-6, -1-7, -1-8 ～ 選択弁ユニットX-5201 ～ 選択弁ユニットX-5202 ～ 選択弁ユニットX-5203 ～ 選択弁ユニットX-5204 ～ 選択弁ユニットX-5205 ～ 選択弁ユニットX-5206 ～ 選択弁ユニットX-5207	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
2	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5201 ～ 127ペレット加工第2室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
3	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5201, X-5205 ～ 404排風機室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
4	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5202 ～ (選択弁ユニットX-5213～X-5214～X-5215), (選択弁ユニットX-5211～X-5212)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
5	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5213 ～ 302分析第1室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
6	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5214 ～ 312燃料棒解体室, 322燃料棒加工第3室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
7	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5215 ～ 307ペレット立会室, 317ウラン粉末準備室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
8	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5211 ～ 313分析第2室, 314燃料棒加工第1室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
9	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5212 ～ 202貯蔵容器受入第1室, 104貯蔵容器受入第2室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
10	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5202 ～ 120ペレット加工第3室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
11	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5203 ～ (114点検第4室～113ペレット・スクラップ貯蔵室～112点検第3室), 116ペレット加工第4室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
12	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5204 ～ 119ペレット一時保管室, 135北第2制御盤室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
13	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5205 ～ 204制御第1室 ～ フリーアクセスフロア	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
14	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5206 ～ 133ダンパ駆動用ポンプ第2室, (324制御第4室～フリーアクセスフロア)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
15	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5207 ～ 136南第2制御盤室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
16	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-5212 ～ 414選別作業室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称（許可）	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	D B区分	S A区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考	
17	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1, -2-2, -2-3, -2-4, -2-5, -2-6 ～ (選択弁ユニットX-6201～X-6202～X-6203～X-6209), (選択弁ユニットX-6204～選択弁ユニットX-6205～選択弁ユニットX-6206～選択弁ユニットX-6207～選択弁ユニットX-6208)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
18	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-6201, X6209 ～ 404排風機室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—		
19	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-6201 ～ 選択弁ユニットX-6211 ～ 315燃料棒加工第2室, 409排気フィルタ第2室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—		
20	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-6202 ～ 321分析第3室, (109点検第1室～110粉末一時保管室～129点検第2室)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—		
21	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-6203 ～ 126ペレット加工第1室, 125粉末調整第5室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—		
22	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-6204 ～ 102原料受払室, 108粉末調整第1室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—		
23	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-6205 ～ 111粉末調整第6室, 319スクラップ処理室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—		
24	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-6206 ～ 117粉末調整第3室, 118粉末調整第7室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—		
25	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-6207 ～ 121粉末調整第4室, 115粉末調整第2室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—		
26	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	選択弁ユニットX-6208 ～ 156ダンパ駆動用ポンベ第1室, 153北第3制御盤室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—		
27	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3-1, -3-2, -3-3 ～ 428窒素消火室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—		
28	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	窒素消火装置	窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4 ～ 522中央監視室フリーアクセスフロア	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—		

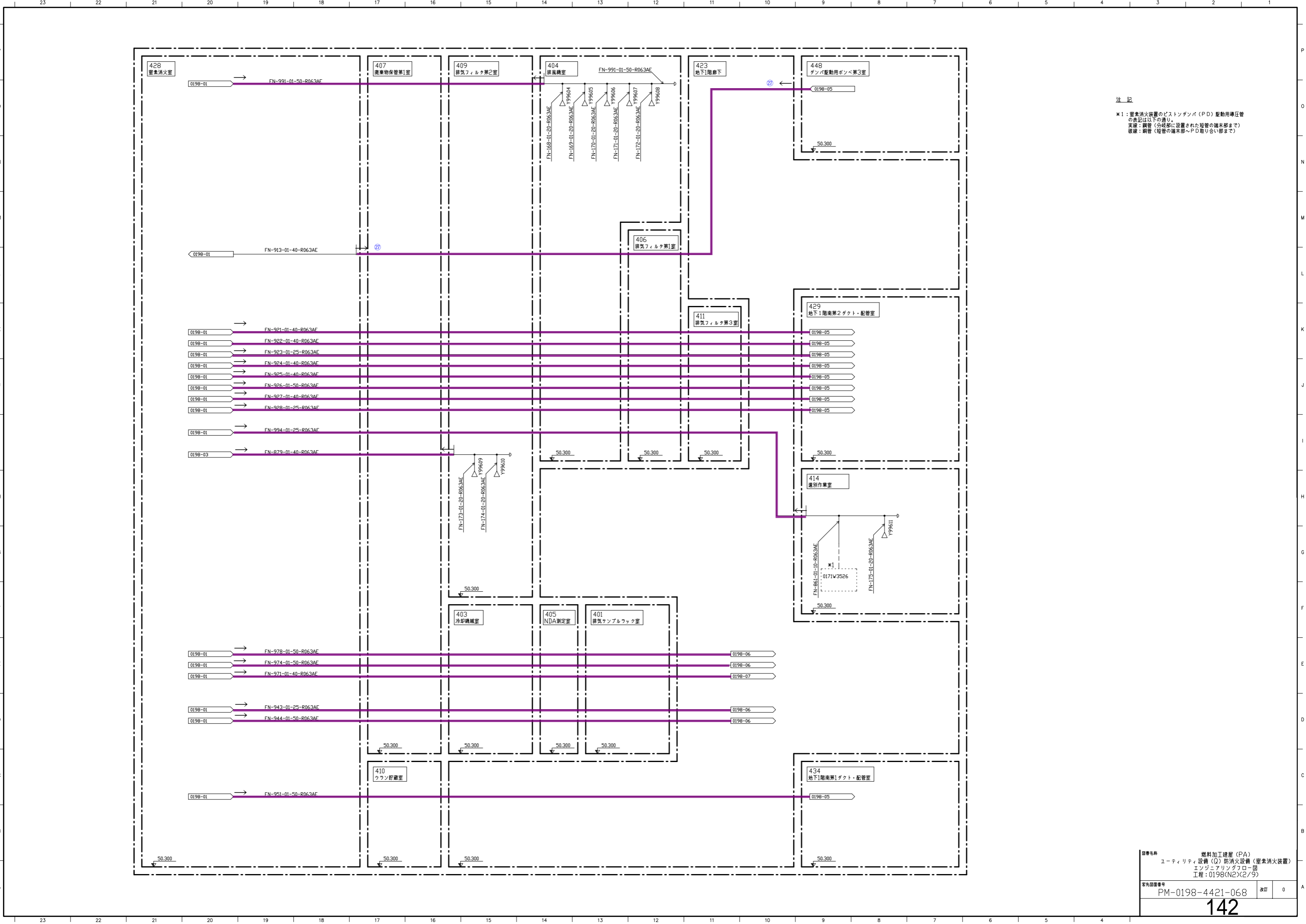


注記

- \*1: 窒素ガス加圧容器
- \*2: 放出完了信号用
- \*3: 選択弁後流に放出信号用圧力スイッチあり。
- \*4: 起動用ガス配管等の導圧配管を示す  
例: RE-\*\*\*-01-8-R063AE (\*\*本) \*5  
尚、銅管の場合は「-」、(\*\*本)は貯蔵容量開放本数

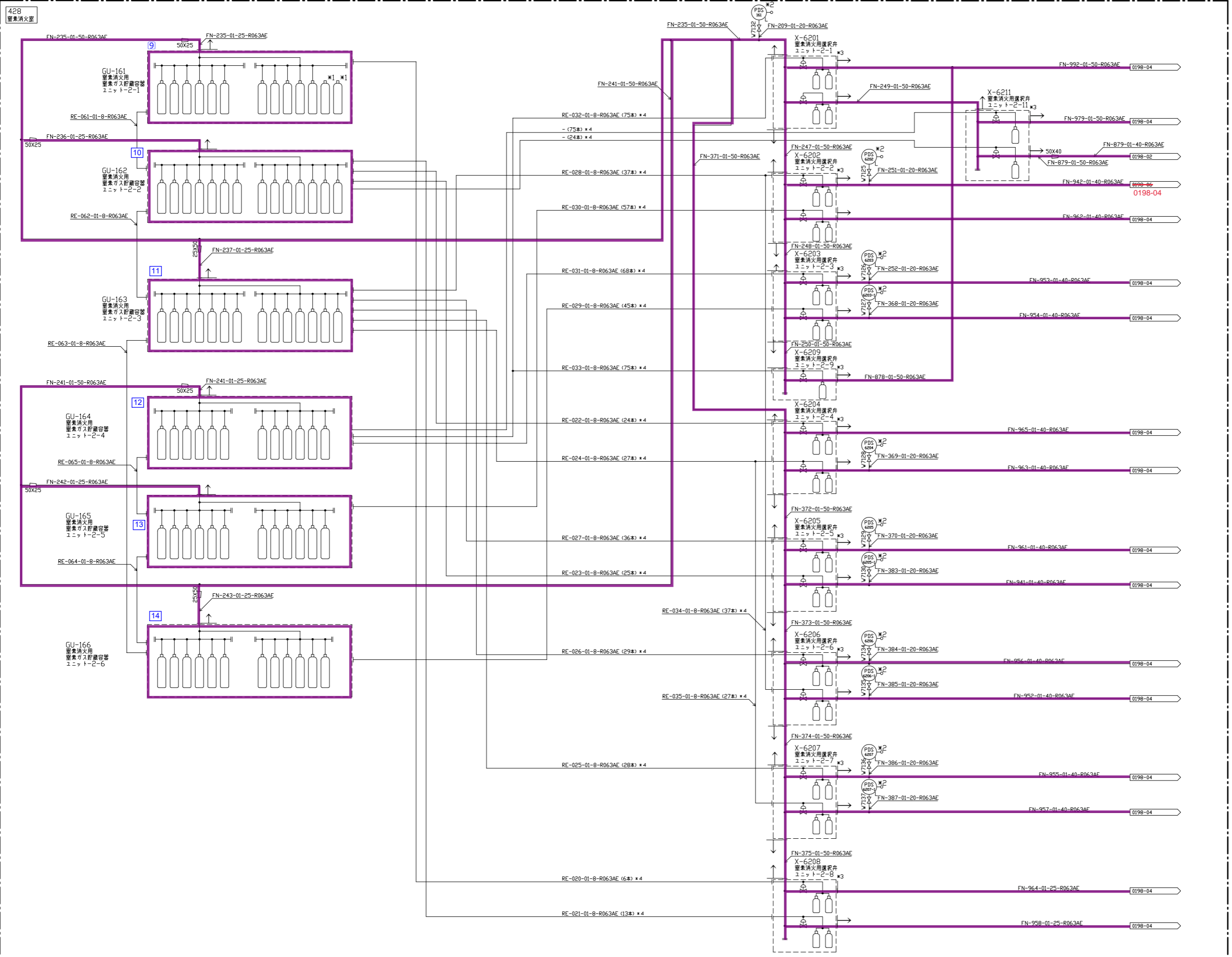
**【凡例】**  
 紫線: 主となる経路  
 番号: 機器等との紐付け番号 (①, ②, ……)  
 ○番号: 主管管との紐付け番号 ( , ……)

図名: 燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 新消防設備 (窒素消火装置) エンジニアリングフロー図 工程: 0198(N2)(1/9)  
 図号: PM-0198-4421-061 改訂: 5



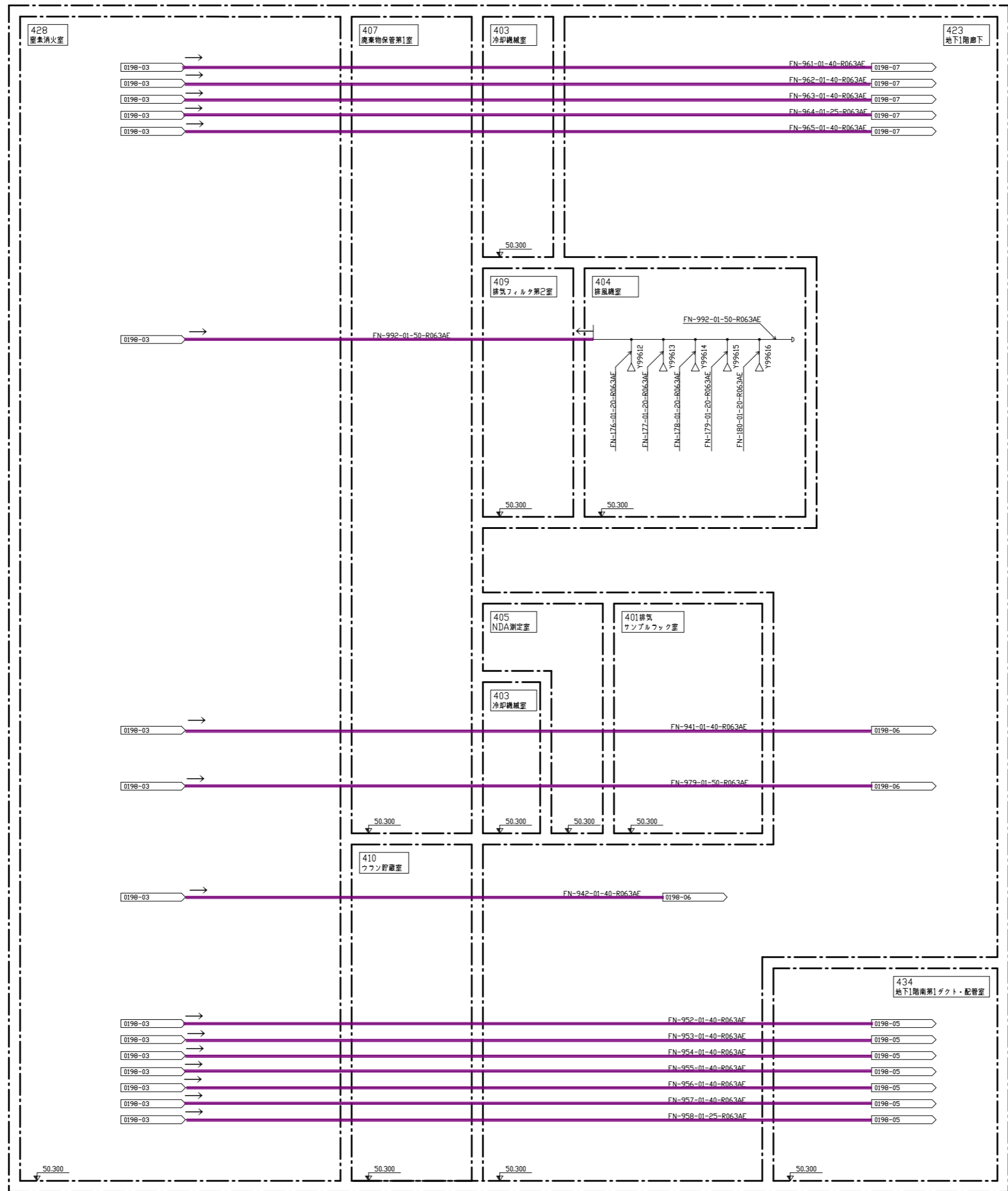
注記  
 ※1：室素消火装置のピストンポンプ（PD）駆動用導圧管の表記は以下の通り。  
 実設：鋼管（分岐部に設置された短管の端部まで）  
 破線：鋼管（短管の端部～PD取り合い部まで）

図書名称	燃料加工建屋（PA） ユーティリティ設備（Q）新消火設備（室素消火装置） エンジニアリングフォロー업 工程：0198(N2)X(2/9)		
図号	PM-0198-4421-068	改訂	0



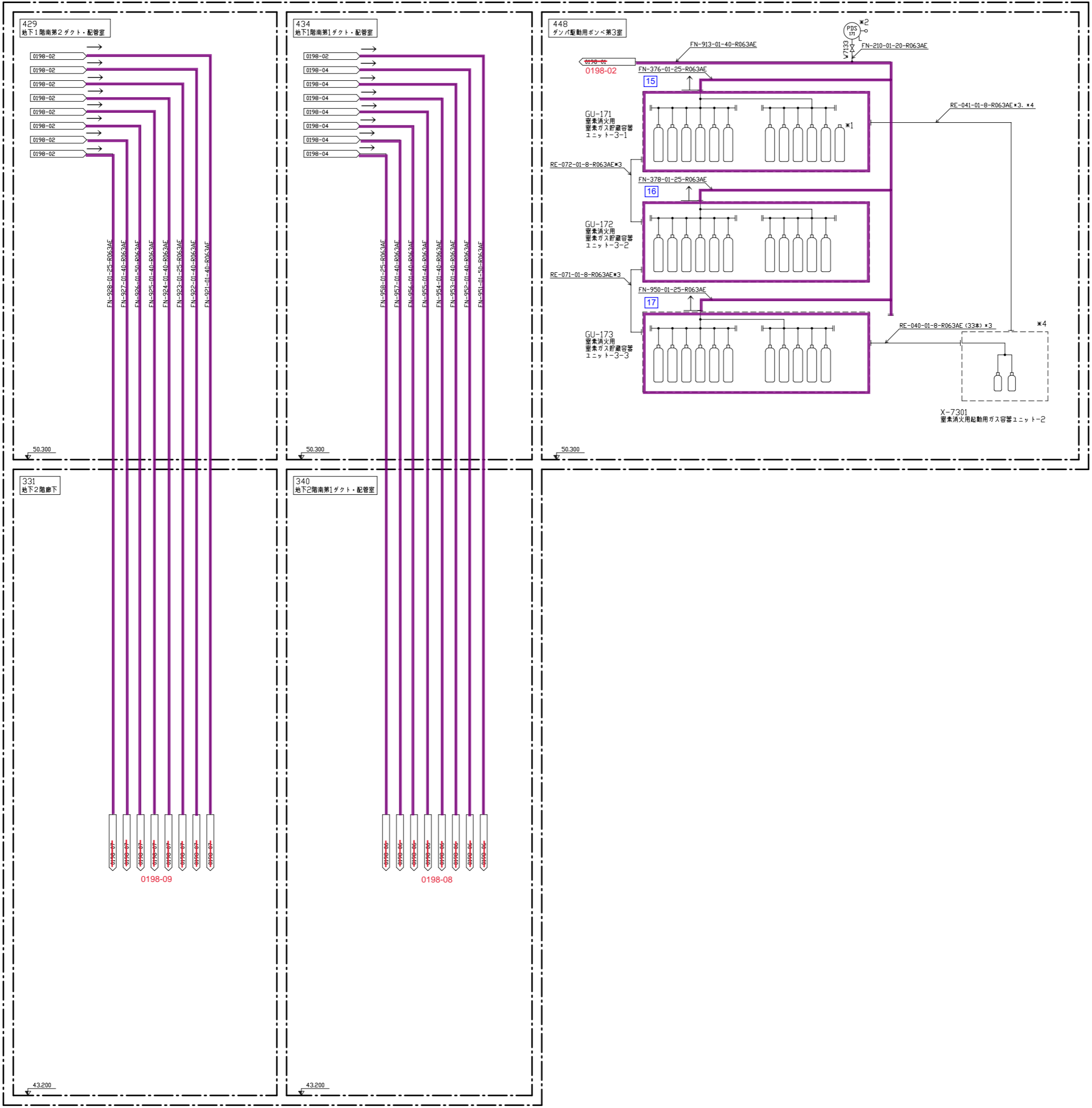
- 注記
- \*1: 窒素ガス加圧容器
  - \*2: 放出完了信号用
  - \*3: 選択弁後流に放出信号用圧力スイッチあり。
  - \*4: 起動用ガス配管等の漏圧配管を示す  
例: RE-\*\*\*-01-8-R063AE (\*\*\*本) \*5  
尚、銅管の場合は「-」。(\*\*\*本)は貯蔵容量開放本数

図名	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 消防火設備 (窒素消火装置) エンジニアリングフロー図 工程: 0198(N2)(3/9)		
図番	PM-0198-4421-062	改訂	5



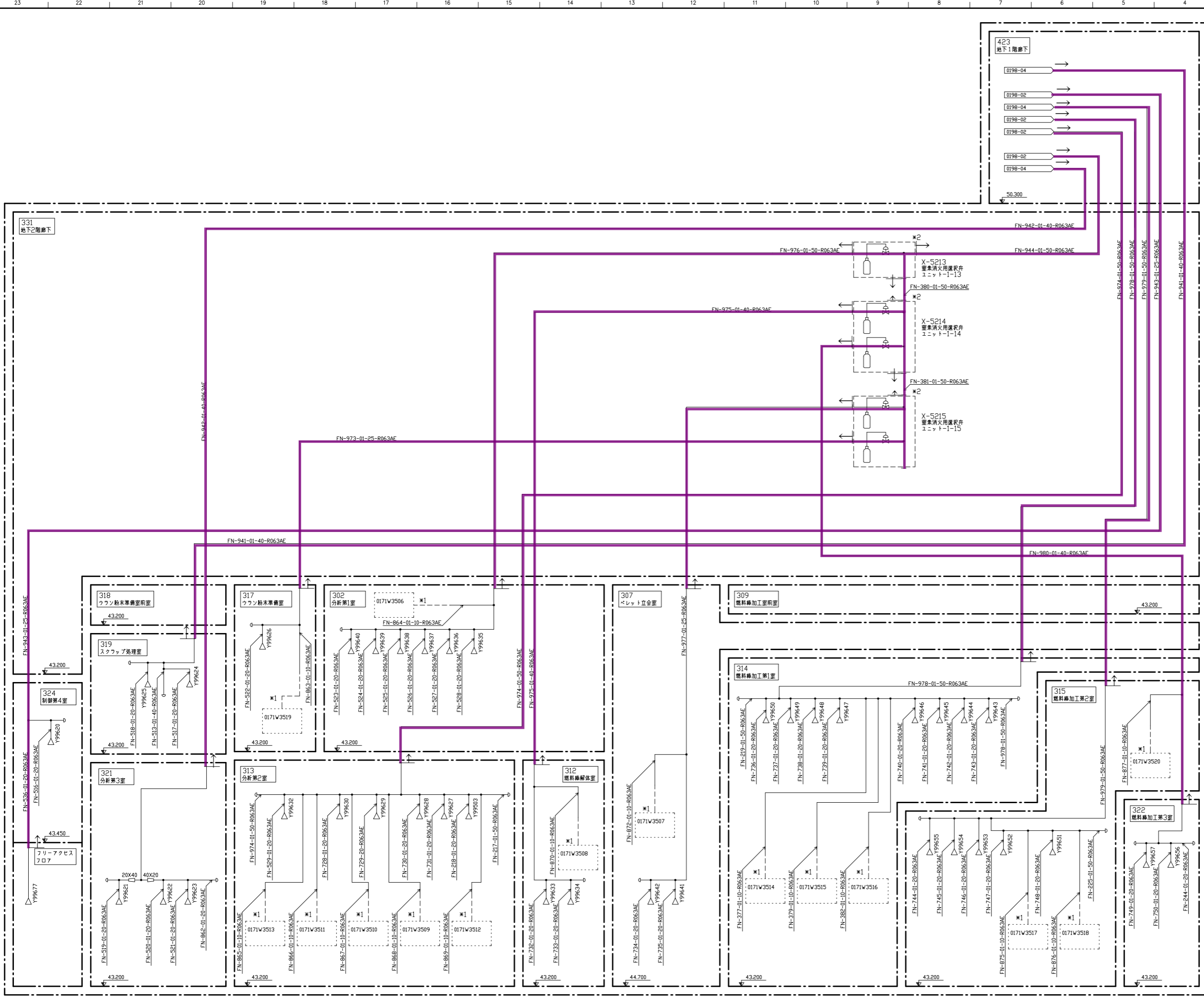
図書名称	燃料加工建屋 (PA) エーティリティ設備 (Q) 新消火設備 (室兼消火装置) エンジニアリングタワー部 工程: 0198(N2)(4/9)		
図書番号	PM-0198-4421-069	改訂	0





- 注記
- \*1: 窒素ガス加圧容器
  - \*2: 放気完了信号用
  - \*3: 起動用ガス配管等の導圧配管を示す  
例: RE-\*\*\*-01-8-R063AE (\*\*本) \*3  
尚、鋼管の場合は「-」. (\*\*本) は貯蔵容器開放本数
  - \*4: ・窒素消火用起動用ガス容器ユニット内に  
放出信号用圧力スイッチあり。  
・当該配管はその圧力スイッチ用の導圧配管。

図書名称	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 新消火設備 (窒素消火装置) エンジニアリングタワー屋 工程: 0198(N2)X(5/9)		
客先図番	PM-0198-4421-063	改訂	6
145			

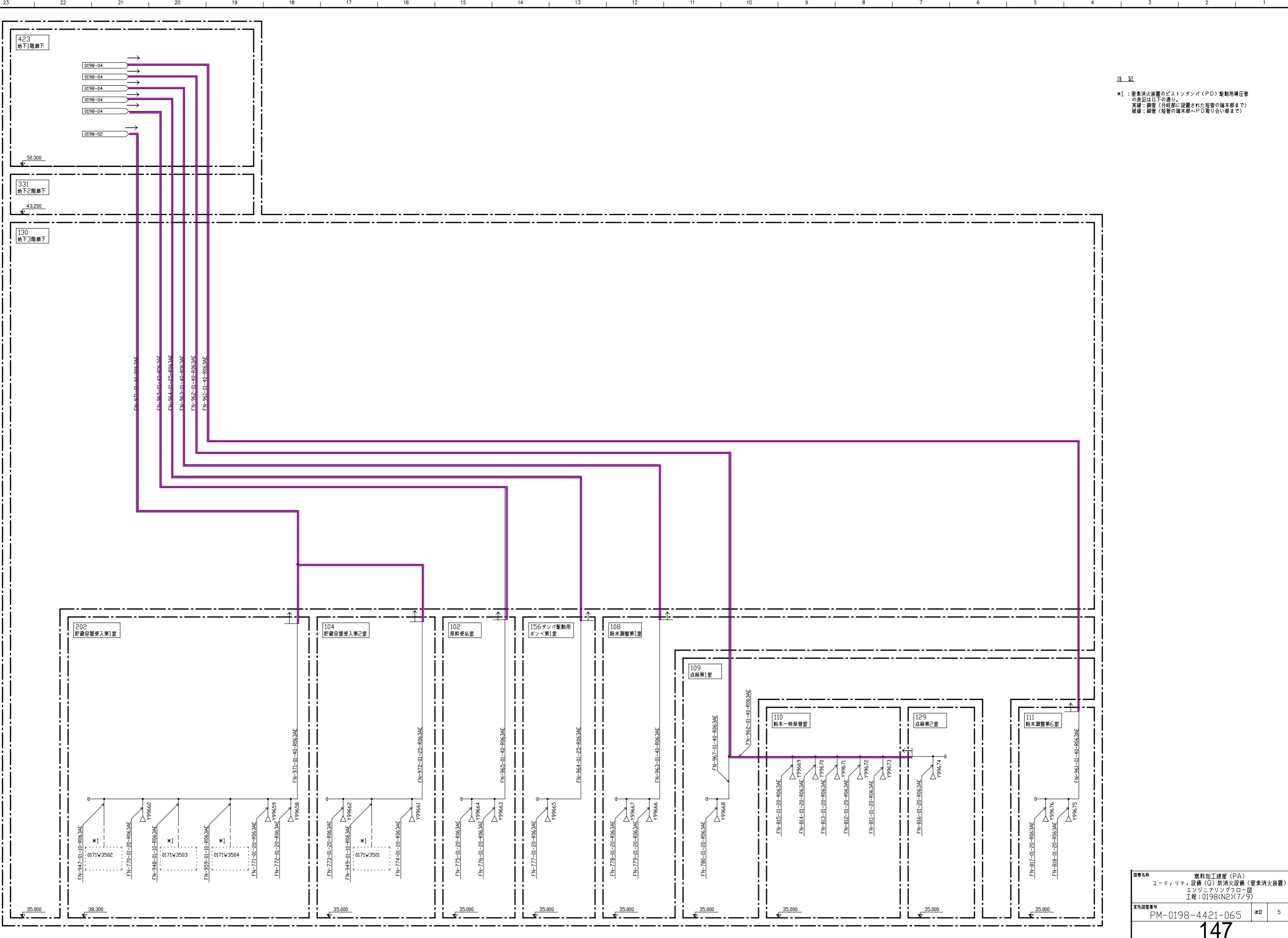


注 記

※1: 窒素消火装置のピストンポンプ (PD) 駆動用専圧管の表記は以下の通り。  
 実線: 副管 (分岐部に設置された短管の継手部まで)  
 破線: 副管 (短管の継手部へPD取り合い部まで)

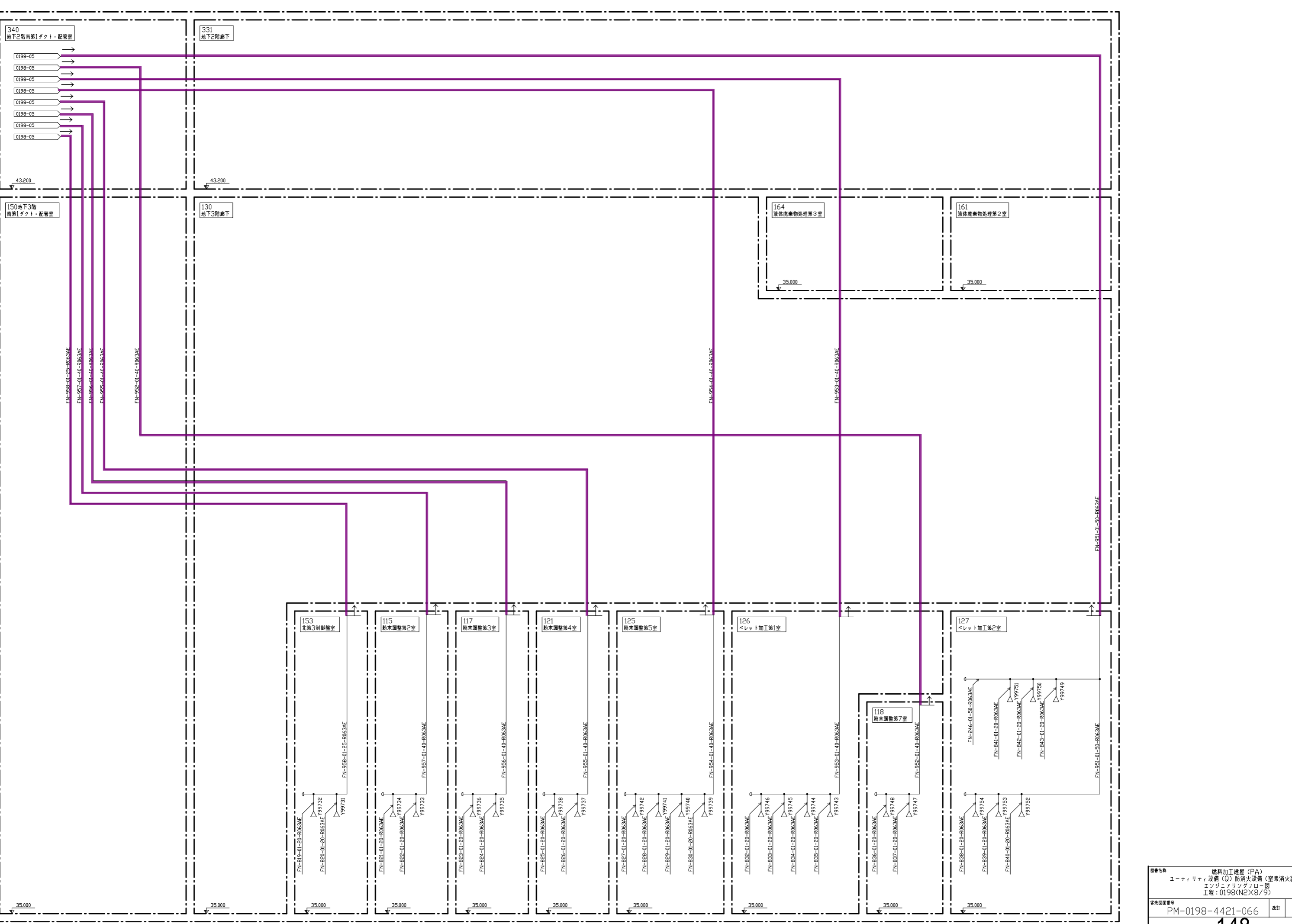
※2: 選流弁後流に放出専用圧カスイッチあり。

図名	燃料加工棟 (PA)
ユーティリティ設備 (Q) 新消火設備 (窒素消火装置)	
エンジニアリングフロー図	
工程: 0198(N)2(6/9)	
図番	PM-0198-4421-064
改訂	6

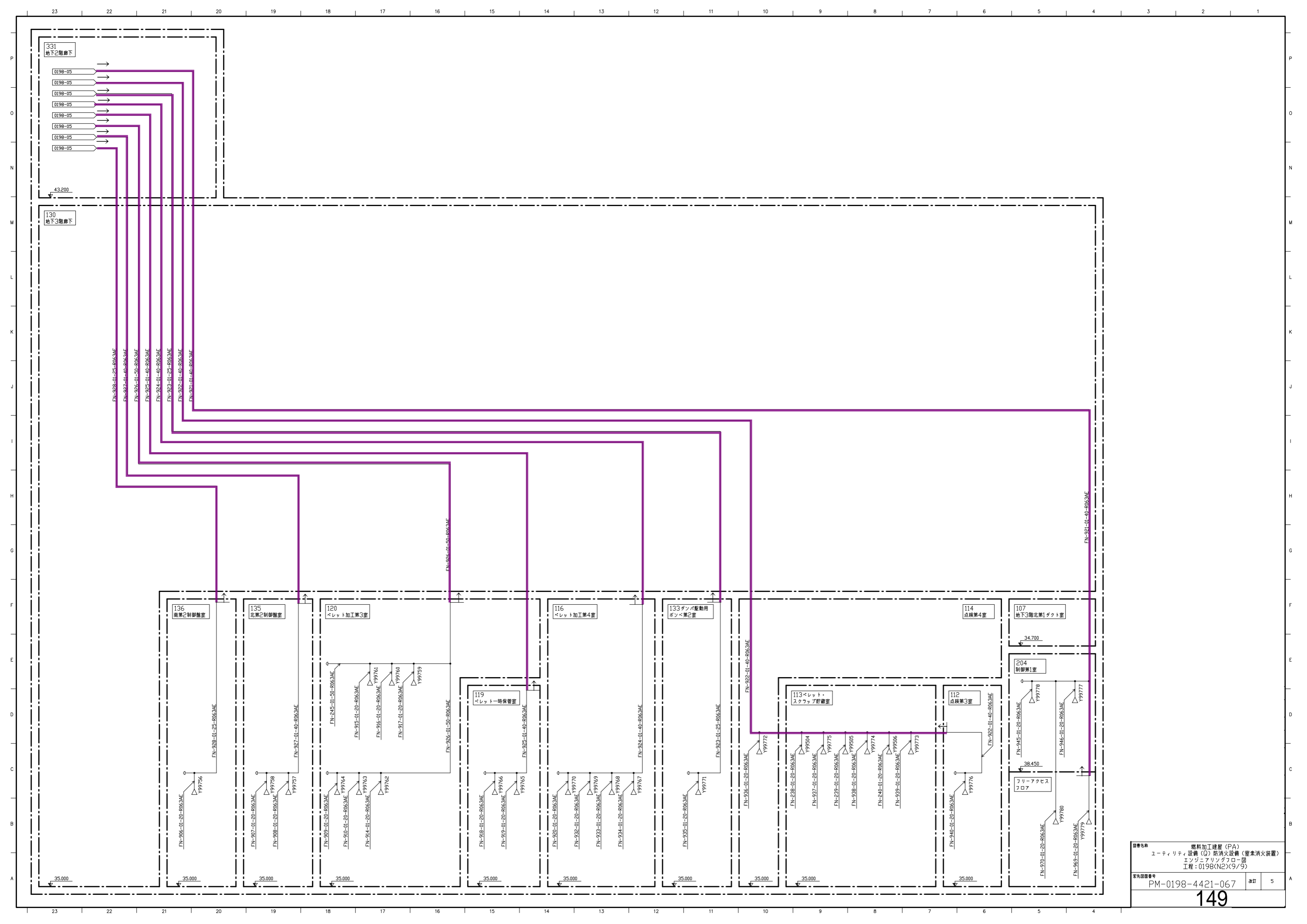


注記  
 \*1: 窒素消火装置のピストンダンパ(PD)駆動用導圧管の表記は以下の通り  
 実線: 鋼管(分岐部に設置された短管の端部まで)  
 破線: 銅管(短管の端部~PD取り合い部まで)

図書名称	燃料加工棟屋 (PA)		
	ユーティリティ設備 (Q) 新消火設備 (窒素消火装置)		
	エンジニアリングタワー部		
	工程: 0198(N2)(7/9)		
図書番号	PM-0198-4421-065	改訂	5



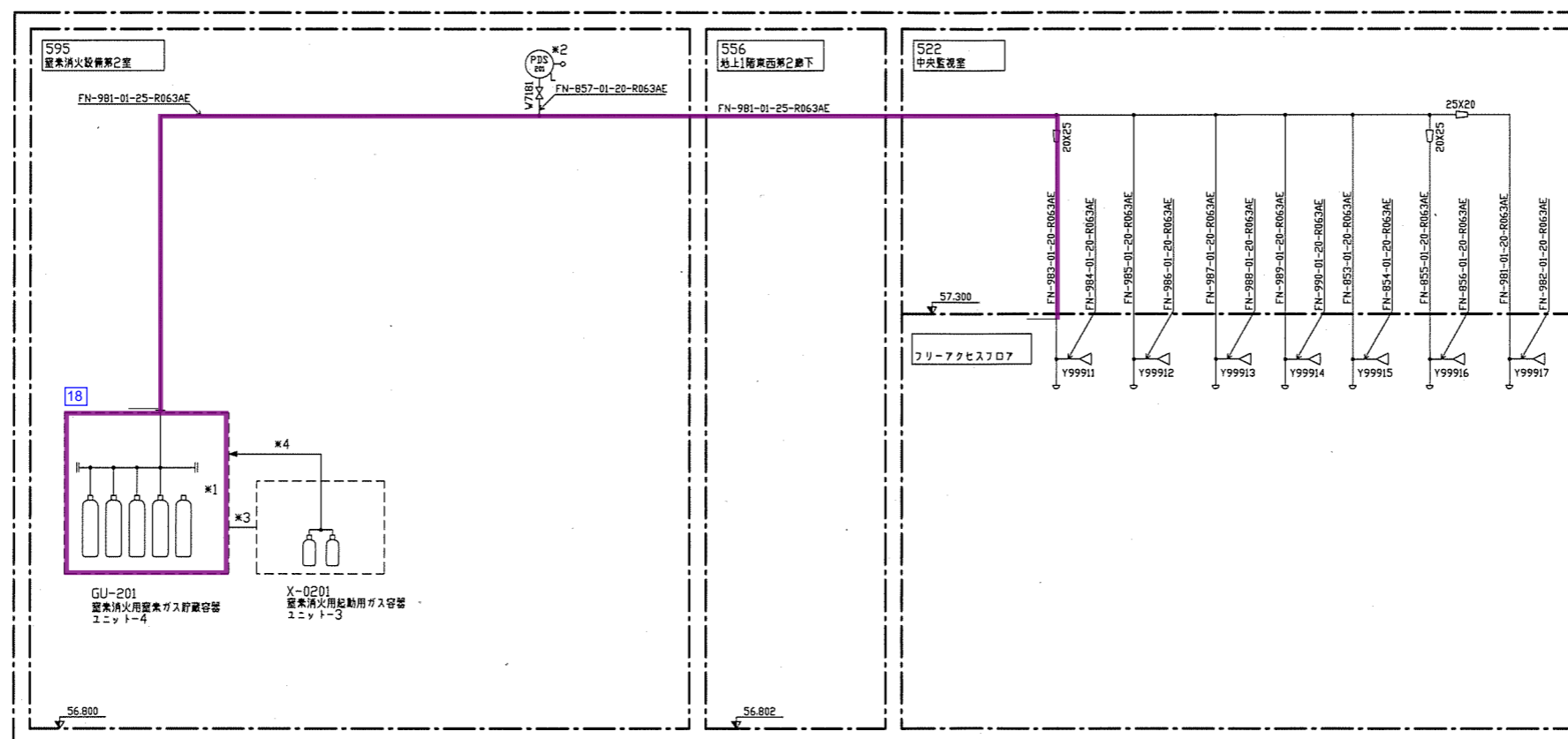
図書名称	燃料加工棟屋 (PA)		
	ユーティリティ設備 (Q) 新消火設備 (密着消火装置)		
	エンジニアリングフロー図		
	工程 : 0198(N2)(8/9)		
図号	PM-0198-4421-066	改訂	5



図書名称	燃料加工棟屋 (PA)		
	ユーティリティ設備 (Q) 新消火設備 (蓄兼消火装置)		
	エンジニアリングタワー部		
	工程 : 0198(N2)(9/9)		
図号	PM-0198-4421-067	改訂	5

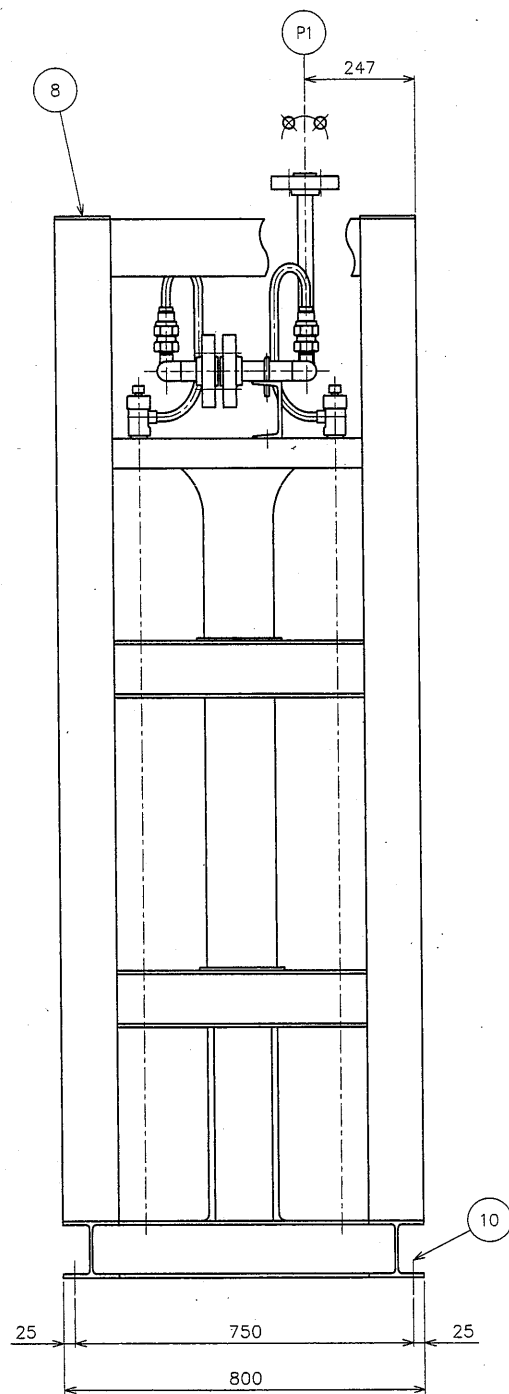
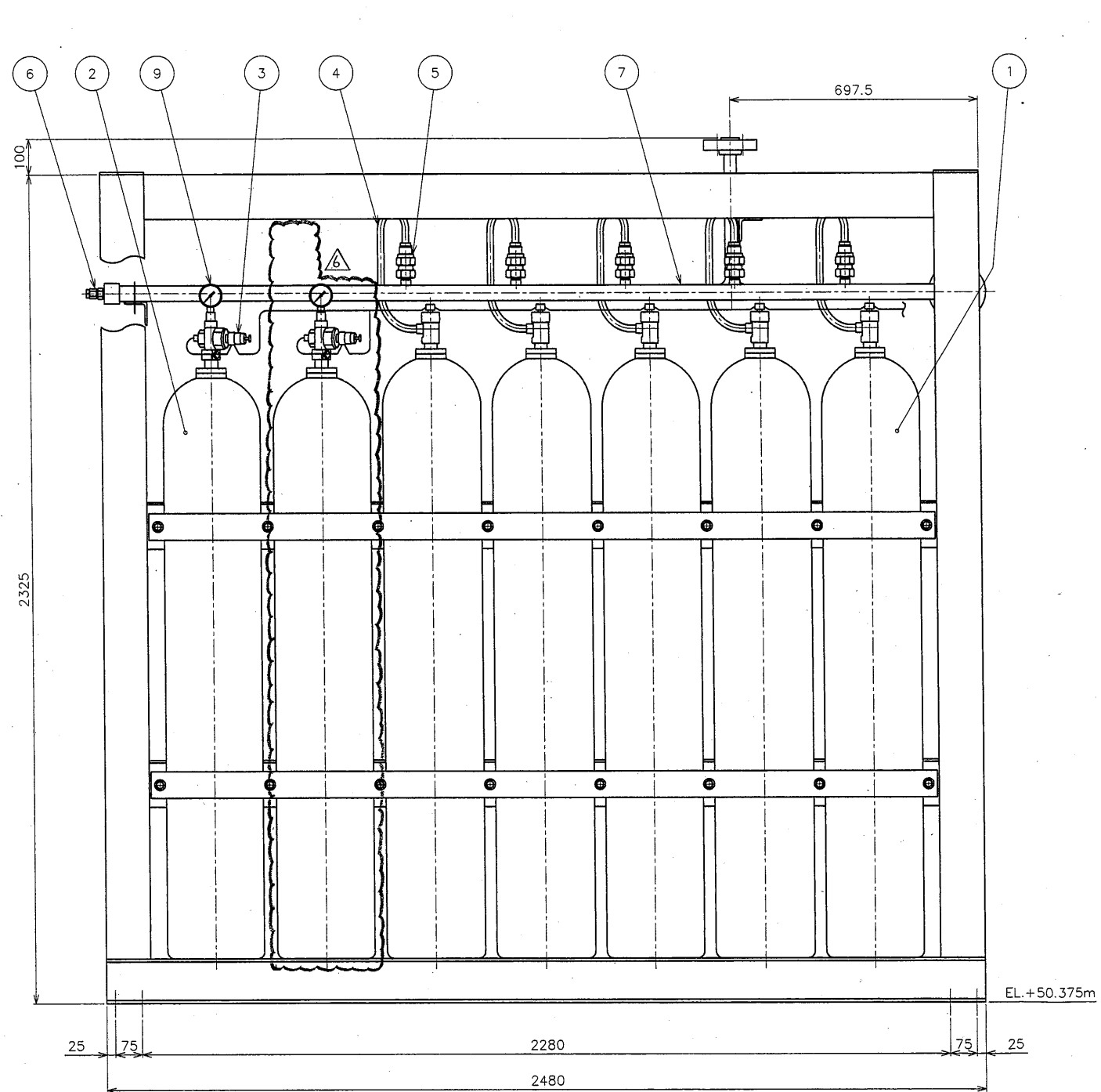
注記

- \*1: 窒素ガス加圧容器
- \*2: 放出完了作専用
- \*3: 窒素消火用起動用ガス容器ユニット内に放出専用圧力スイッチあり。当該配管は圧力スイッチ用の導圧配管
- \*4: 起動用ガスの導圧配管を示す。



図名 燃料加工建屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q)  
 防火設備 (窒素消火装置 (中央監視室床下用))  
 エンジニアリングフロア図  
 工程: 0198(N2<FL>) (1/1)

図番 PM-0198-4421-070 改訂 HRC



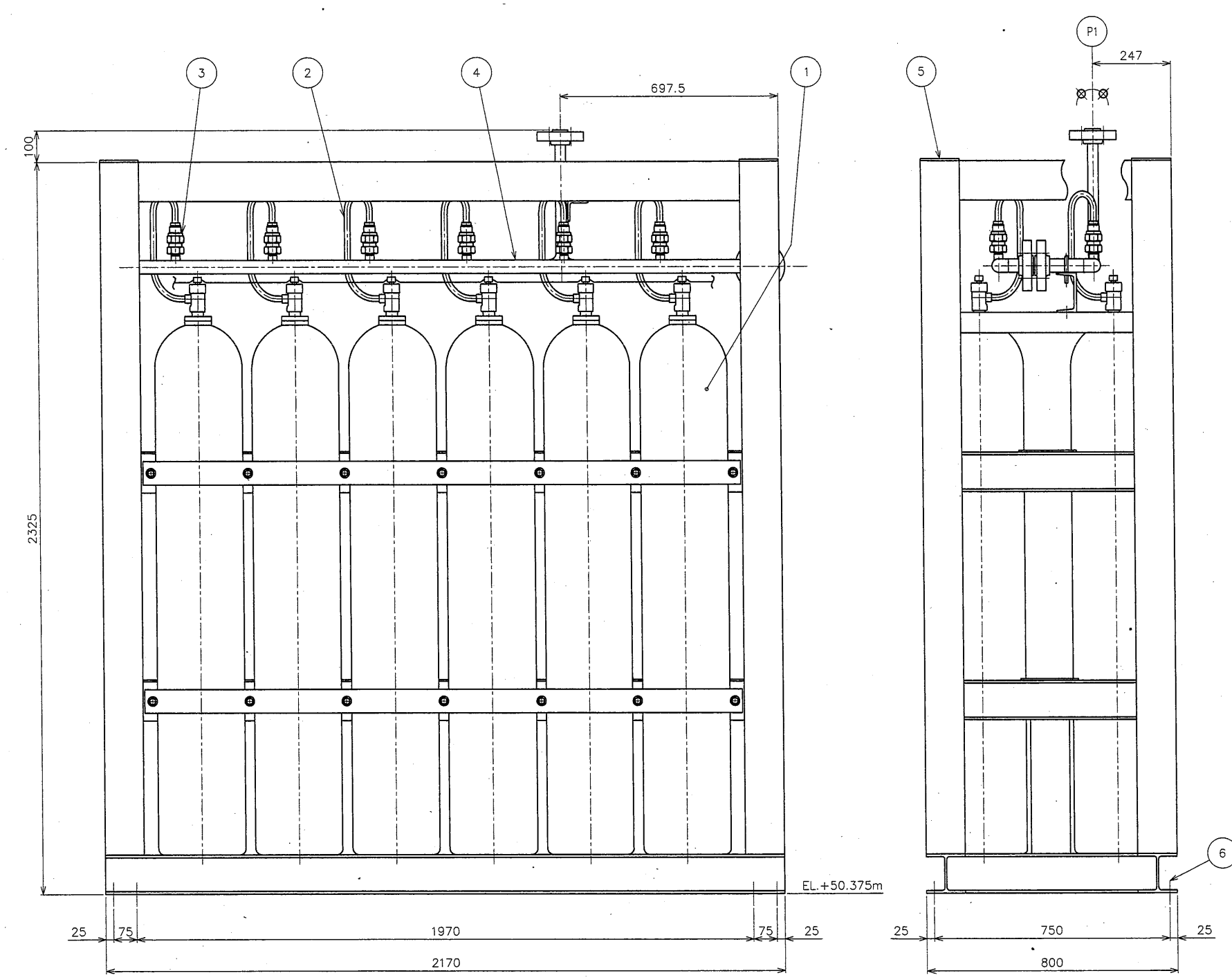
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 10.6
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	百斤申請用	C
品質重要度クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約3760
建屋区分		PA
設置場所		差 428
適用法規		消防法 高圧ガス保安法
基数		基 1

注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

品番	名称	材料	数量	単位	合計	備考
10	器具ボルト・ナットM16	SS400	8	組		
9	圧力計	SPCD	2	個		
8	組棒	SS400 STKR400	1	組		
7	集合管	SUS304TP	1	組		
6	配管用安全装置	C3771	1	個		
5	連結管用オリフィス	C3771	12	個		
4	連結管	C1220T	12	個		
3	容器弁開放装置	C3771	2	個		
2	窒素ガス加圧容器	クロムモリブデン鋼	2	個		
1	窒素ガス貯蔵容器	クロムモリブデン鋼	12	個		

日本原燃株式会社殿  
 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 窒素消火装置  
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1外形図  
 (0198-GU-151)



目録表		
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 10.6
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
耐震クラス	官庁申請用	C
必要耐震度クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3450
建屋区分		PA
設置場所		428
適用法規		消防法 高圧ガス保安法
基数		1

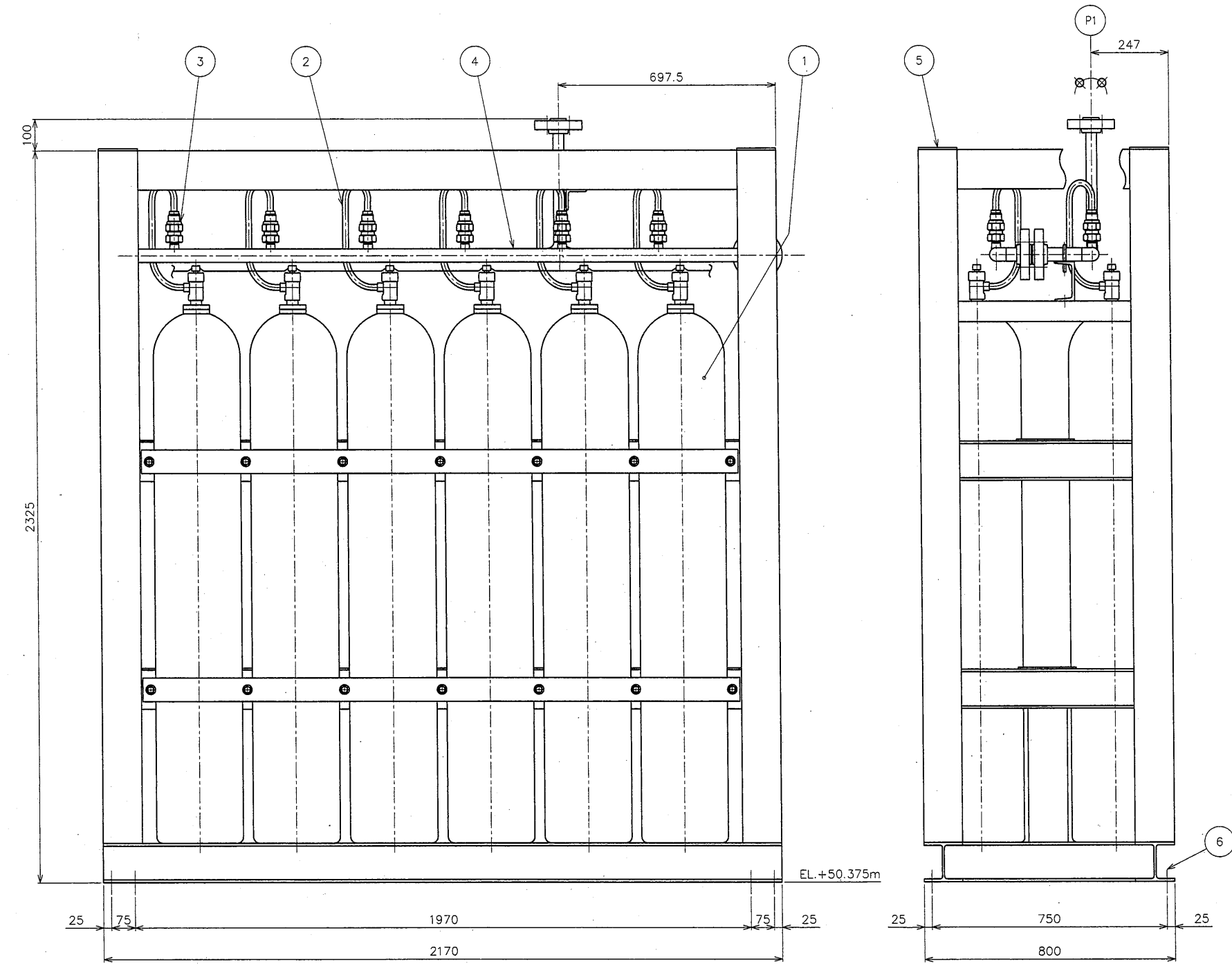
注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

子分	子分	番号	名称	材料	試片	重量	個数	重量	備	事
		6	取付ボルト・ナットM16	SS400			8組			
		5	組棒	SS400 STKR400			1組			
		4	集合管	SUS304TP			1組			
		3	連結管用オリフィス	C3771			12			
		2	連結管	C1220T			12			
		1	窒素ガス貯蔵容器	クロムシリコン鋼			12			

日本原燃株式会社  
 MOX燃料工場  
 防火設備 (Q)  
 窒素消火装置  
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-2外形図  
 (0198-GU-152)





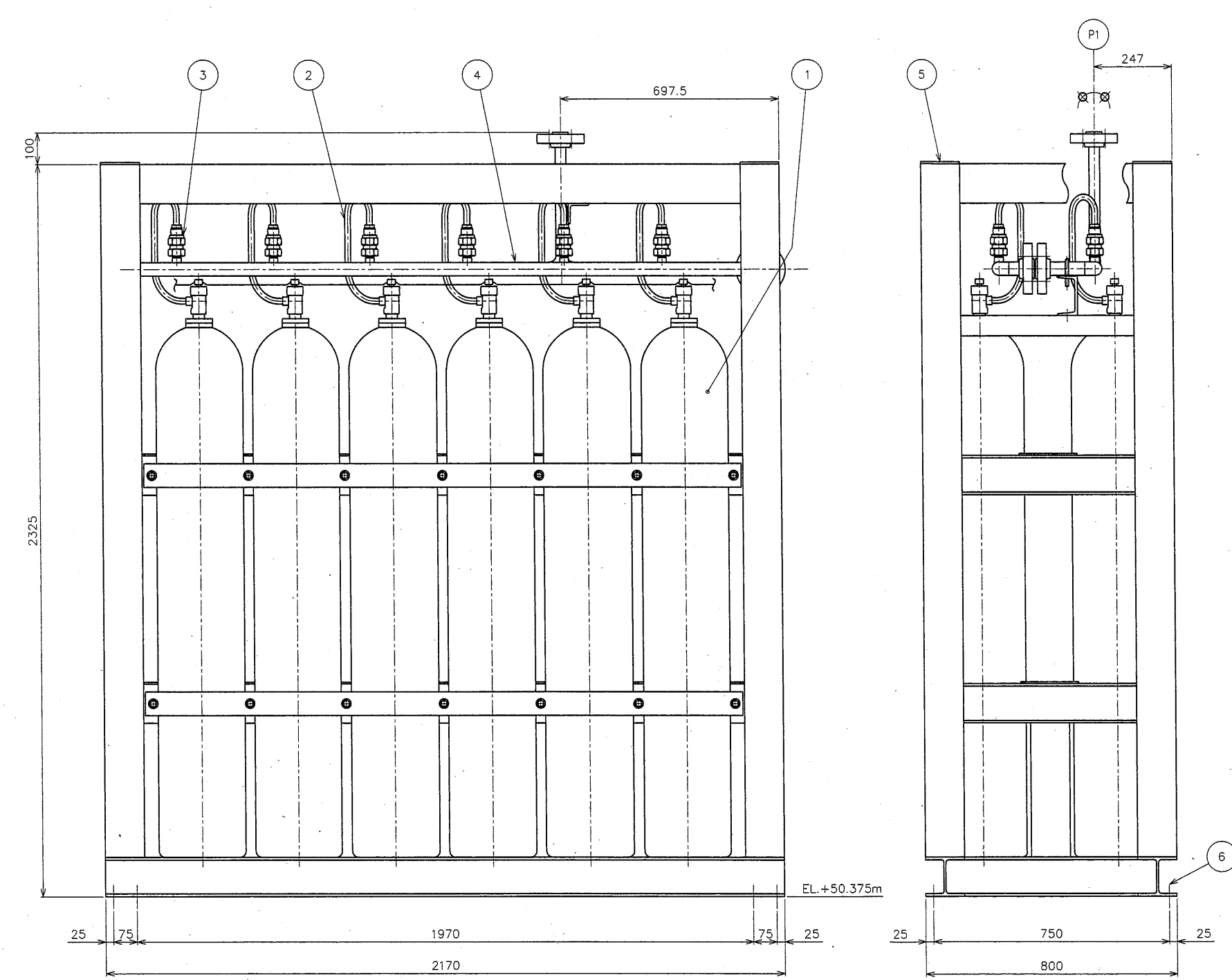
最高使用圧力	MPa	10.8	
最高使用温度	℃	40	
運転圧力	通常	MPa	10.6
	最大	MPa	10.8
運転温度	通常	℃	常温
	最大	℃	40
耐震クラス	設計用	-	S
	百斤申請用	-	C
品質管理度クラス	-	2	
流体の種類	-	窒素	
質量	kg	約 3450	
積層区分	-	PA	
設置場所	-	428	
適用法規	-	消防法	
	-	高圧ガス保安法	
基数	基	1	

注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

品名	数量	材質	単位	重量(kg)	備考
6 締付ボルト・ナットM16	8組	SS400	組		
5 組棒	1組	SS400 STKR400	組		
4 集合管	1組	SUS304TP	組		
3 連結管用オリフィス	12	C3771	個		
2 連結管	12	C1220T	個		
1 窒素ガス貯蔵容器	12	クロムモリブチン鋼	個		

日本原燃株式会社殿  
 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 窒素消火装置  
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-3外形図  
 (0198-GU-153)



要目表		
最高使用圧力	M P a	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	M P a 10.6
	最大	M P a 10.8
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	C
品質管理度クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3450
建屋区分		PA
設置場所		室
適用法規		消防法
		高圧ガス保安法
基数	基	1

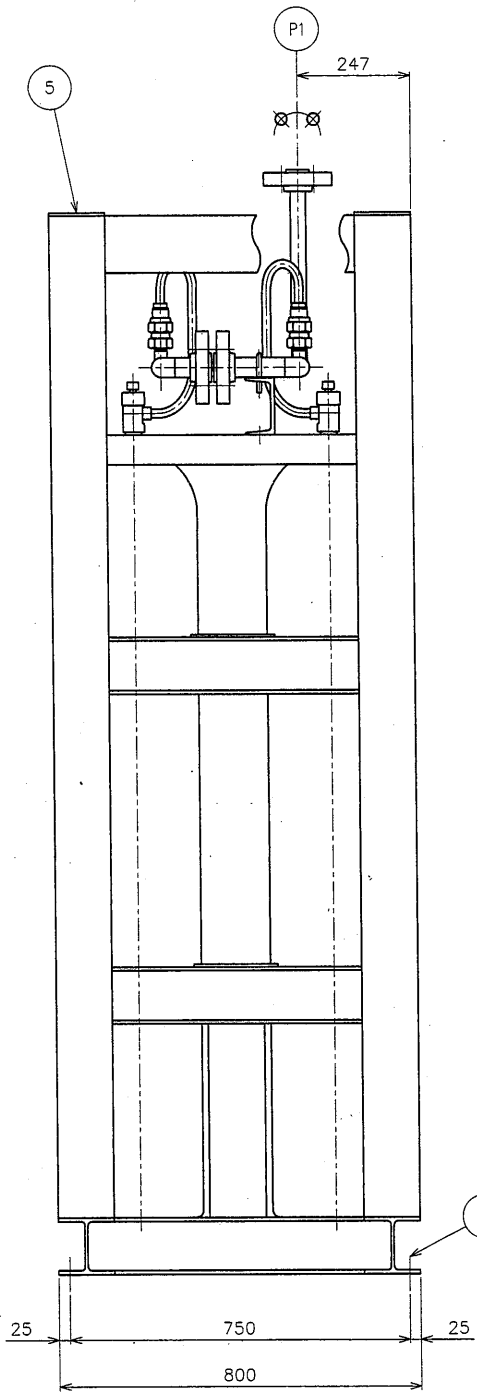
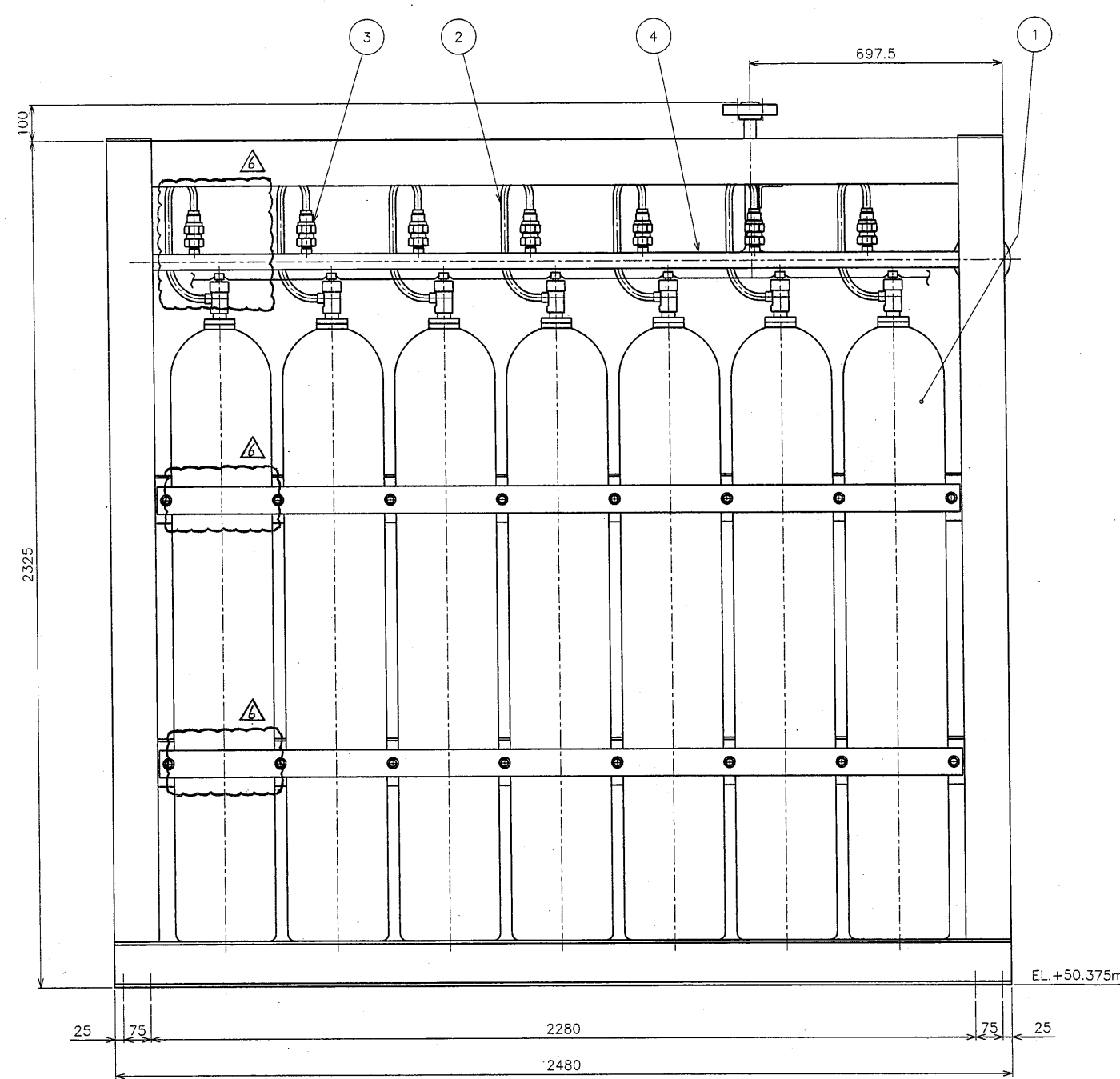
注 記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

字	分	子	分	名	材	料	数	子	分	重	量	備	考
		6		振付ボルト・ナットM16	SS400		8	組					
		5		組棒	SS400 STKR400		1	組					
		4		集合管	SUS304TP		1	組					
		3		連結管用オリフィス	C3771		12						
		2		連結管	C1220T		12						
4		1		窒素ガス貯蔵容器	クロムモリブデン鋼		12						

日本原燃株式会社

MOX燃料工場  
 防火設備 (Q)  
 窒素消火装置  
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-4外形図  
 (0198-GJ-154)



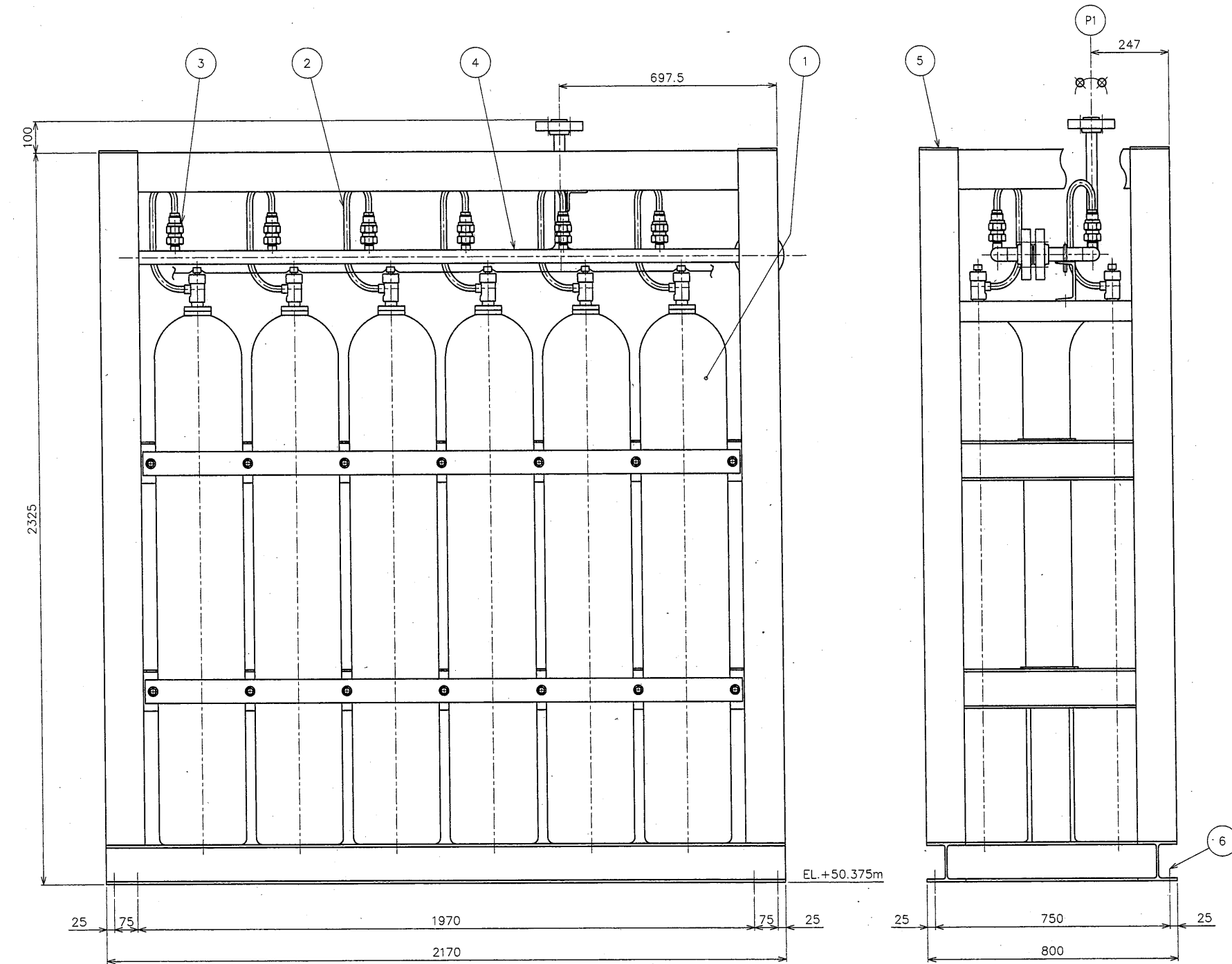
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 10.6
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	巨庁申請用	C
品質管理度クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約3870
種別区分		PA
設置場所		釜
適用法規		消防法
		高圧ガス保安法
基数	基	1

注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

品番	名称	材質	数量	単位	重量(kg)	備考
6	据付ボルト・ナットM16	SS400	8組			
5	組棒	SS400 STKR400	1組			
4	集合管	SUS304TP	1組			
3	連結管用オリフィス	C3771	14			
2	連結管	C1220T	14			
1	窒素ガス貯蔵容器	クロムモリブデン鋼	14			

日本原燃株式会社  
 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 窒素消火装置  
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-5外形図  
 (0198-GU-155)



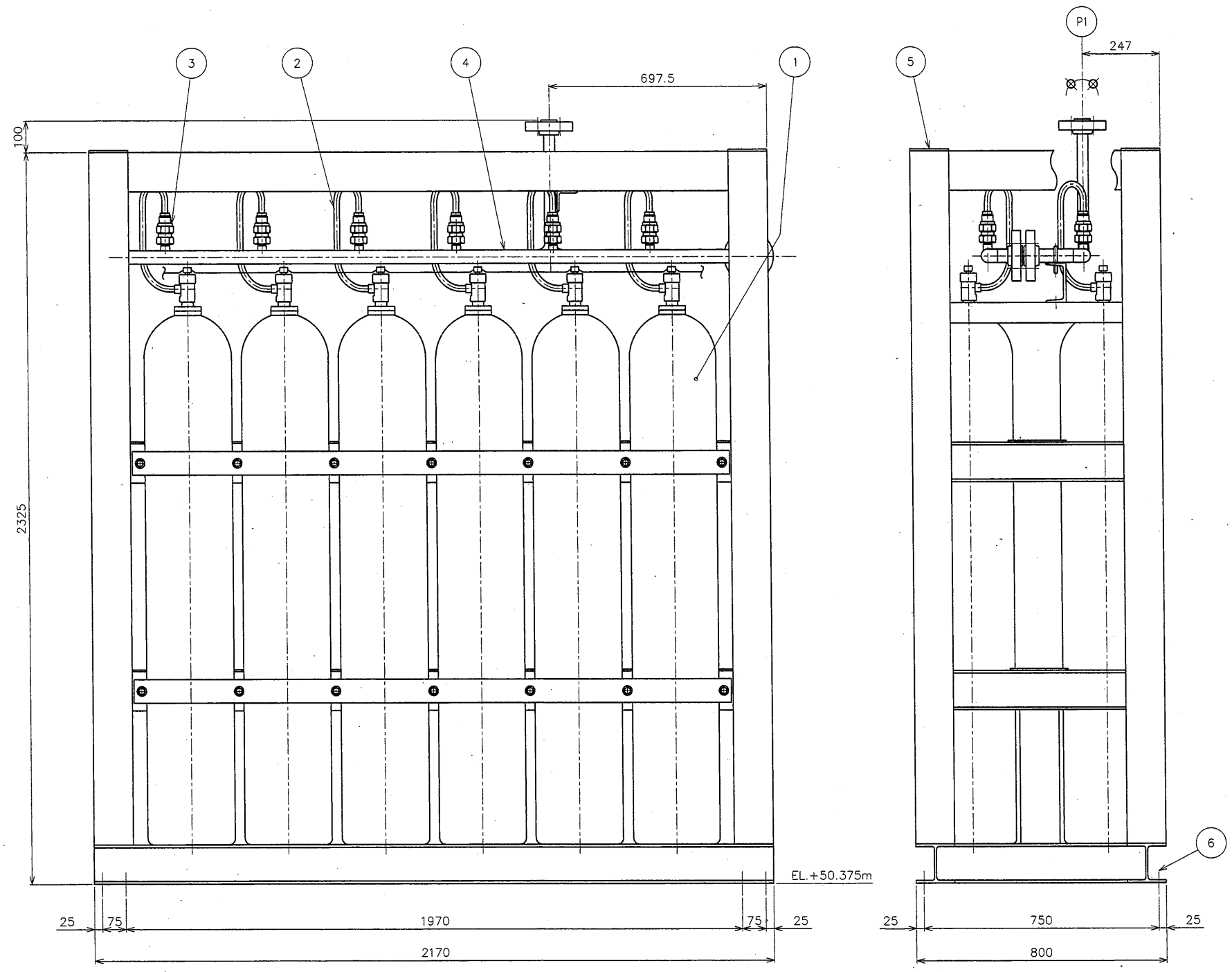
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 10.6
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	C
品質管理クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3450
建屋区分		PA
設置場所		428
適用法規		消防法 高圧ガス保安法
基数	基	1

注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

品名	数量	材質	単位	重量(kg)	備考
6 配付ボルト・ナットM16	8組	SS400	組		
5 組棒	1組	SS400 STKR400	組		
4 集合管	1組	SUS304TP	組		
3 連結管用オリフィス	12	C3771	個		
2 連結管	12	C1220T	個		
1 窒素ガス貯蔵容器	12	クロムモリブデン鋼	個		

日本原燃株式会社  
 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 窒素消火装置  
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-6外形図  
 (0198-GU-156)



要 目 表

最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 10.6
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	②
品質重要度クラス		②
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3450
建屋区分		PA
設置場所		室内
適用法規		消防法 高压ガス保安法
基数		1

注 記  
(1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

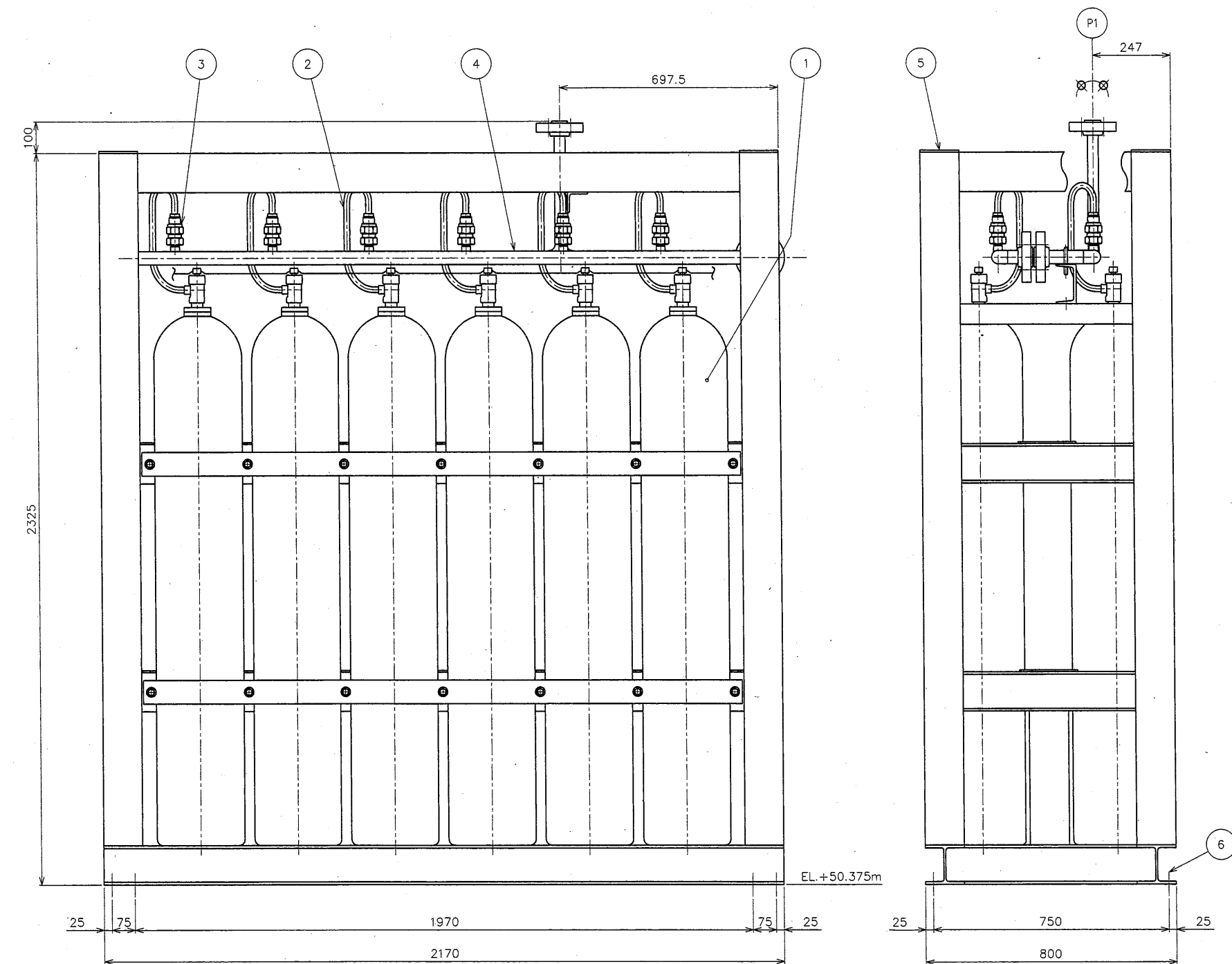
管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

		6	配付ボルト・ナットM16	SS400	8組	
		5	組棒	SS400 STKR400	1組	
		4	集合管	SUS304TP	1組	
		3	連結管用オリフイス	C3771	12	
		2	連結管	C1220T	12	
		1	窒素ガス貯蔵容器	クロムモリブデン鋼	12	

子 分	子 分	子 分	子 分	名 称	材 料	試 験 片	試 験 数	試 験 重 量 (kg)	備 考	記 事

日本原燃株式会社

MOX燃料工場  
防火設備 (Q)  
窒素消火装置  
窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-7外形図  
(0198-GU-157)



要目表

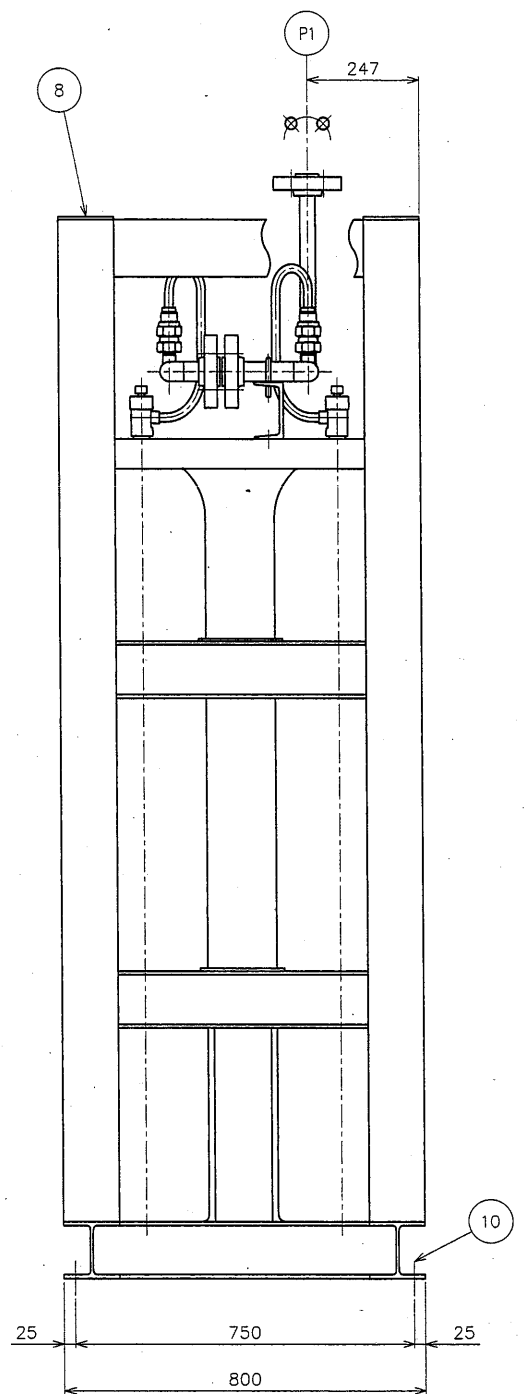
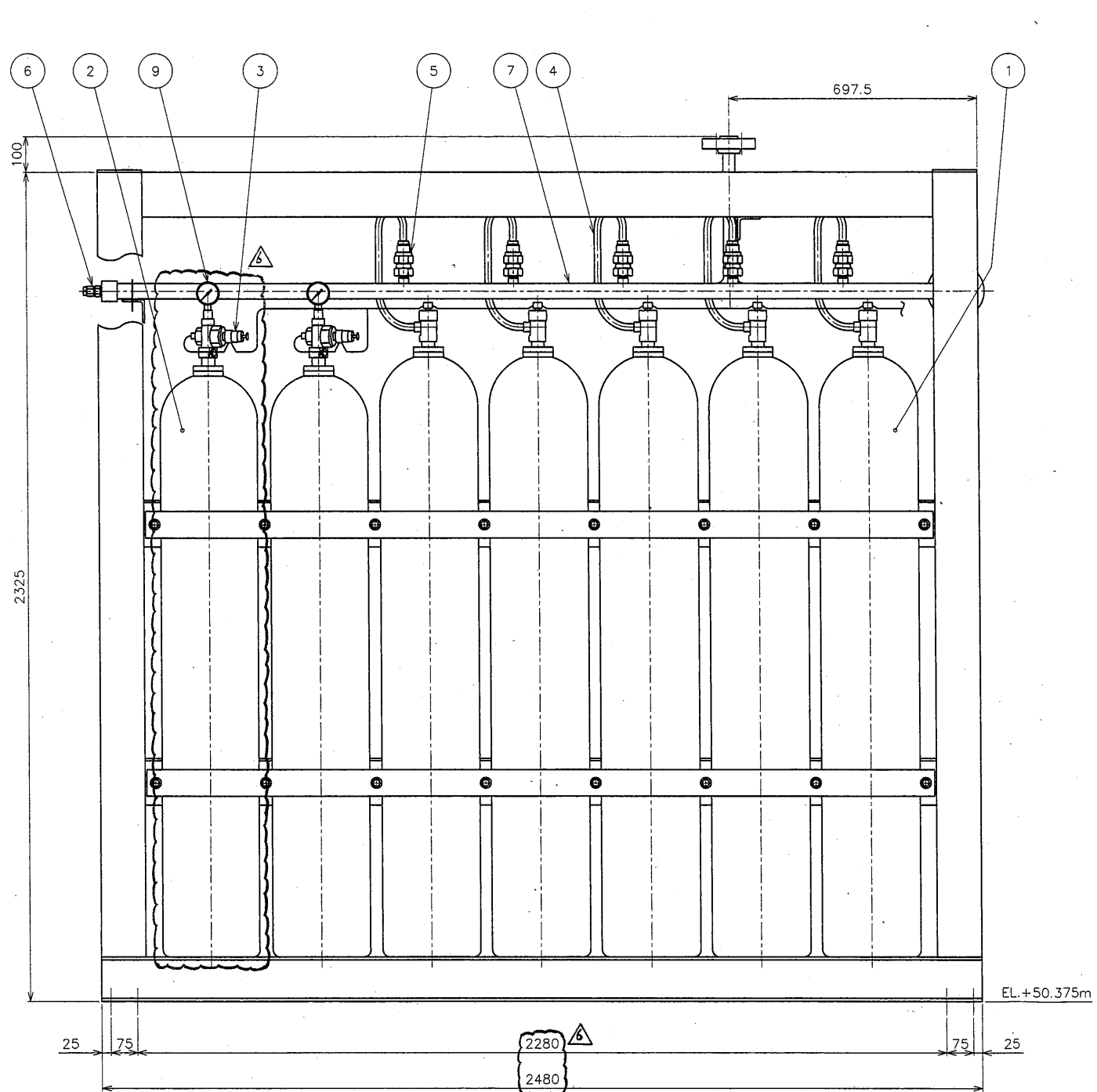
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 10.6
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	5
	官庁申請用	2
品質管理クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3450
建屋区分		PA
設置場所		42B
適用法規		消防法 高圧ガス保安法
基数		1

注 記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

品番	品名	材 料	試 験 片	数	1個あたりの重量(kg)	備 考
6	振付ボルト・ナットM16	SS400		8組		
5	組棒	SS400 STKR400		1組		
4	集合管	SUS304TP		1組		
3	連結管用オリフィス	C3771		12		
2	連結管	C1220T		12		
1	窒素ガス貯蔵容器	コロムビアチタン製		12		

日本原燃株式会社殿  
 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 窒素消火装置  
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-8外形図  
 (0198-GJ-158)



要目表

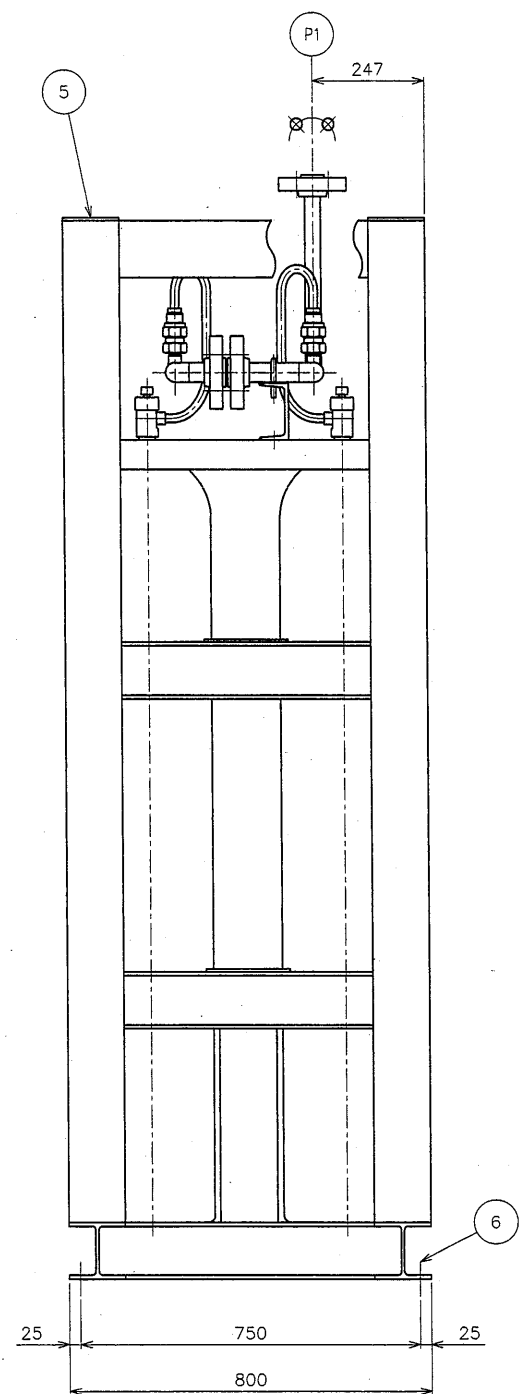
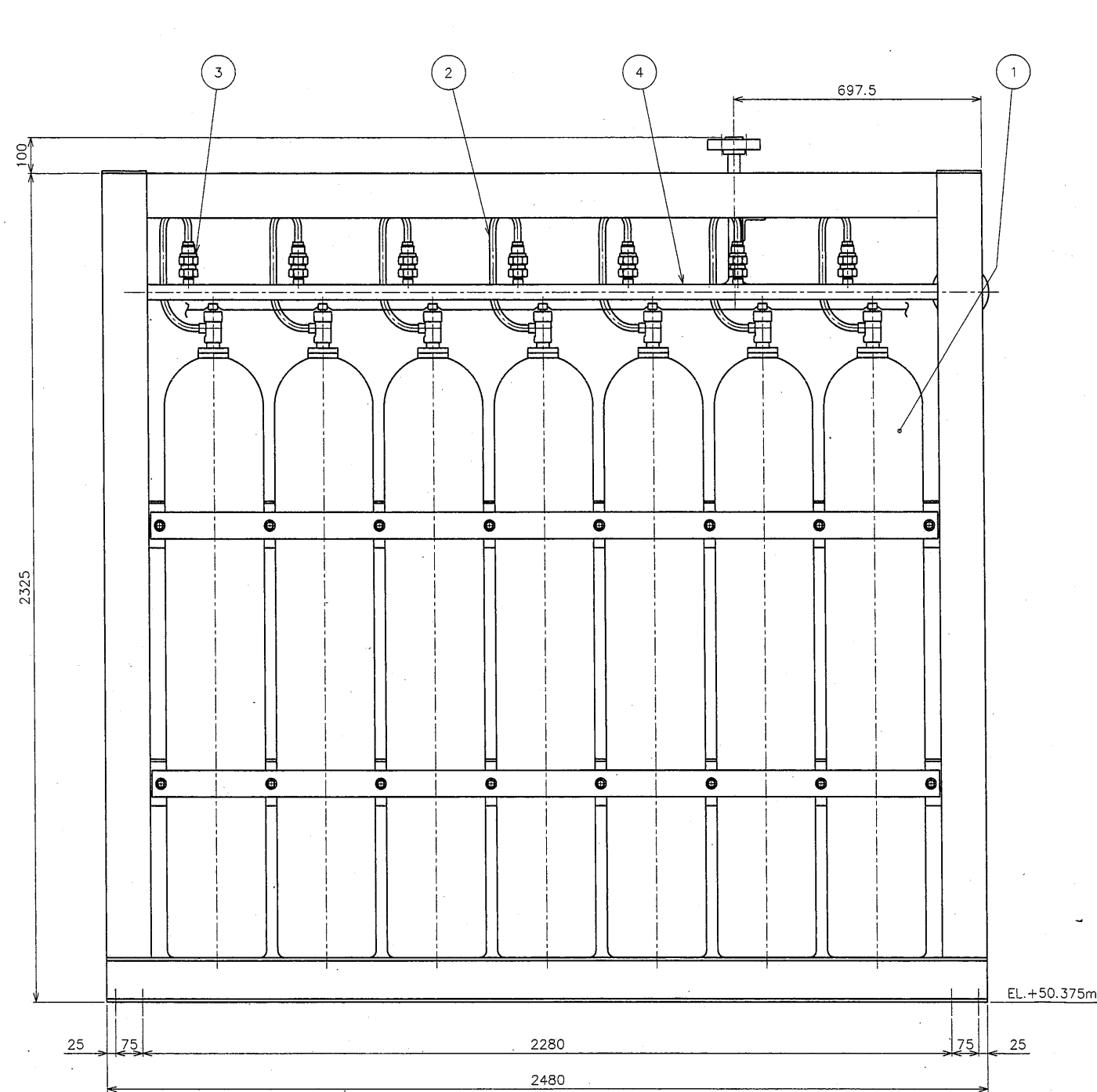
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 10.6
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	C
品質管理クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約3600
建屋区分		PA
設置場所		室 428
適用法規		消防法 高圧ガス保安法
差数		1

注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

品番	名称	材料	数量	単位	重量 (kg)	備考
10	附件ボルト・ナットM16	SS400	8組			
9	圧力計	SPCD	2			
8	組件	SS400 STKR400	1組			
7	集合管	SUS304TP	1組			
6	配管用安全装置	C3771	1			
5	連結管用オリフイス	C3771	11			
4	連結管	C1220T	11			
3	容器弁開放装置	C3771	2			
2	窒素ガス加圧容器	クロムモリブデン鋼	2			
1	窒素ガス貯蔵容器	クロムモリブデン鋼	11			

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

日本原燃株式会社  
 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 窒素消火装置  
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1外形図  
 (0198-GU-161)



最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常 MPa	10.6
	最大 MPa	10.8
運転温度	通常 ℃	常温
	最大 ℃	40
耐震クラス	設計用	S
	許容申渡用	C
品質重要度クラス	-	2
流体の種類	-	窒素
質量	kg	約 3870
建屋区分	-	PA
設置場所	差	42B
適用法規	-	消防法 高圧ガス保安法
基数	差	1

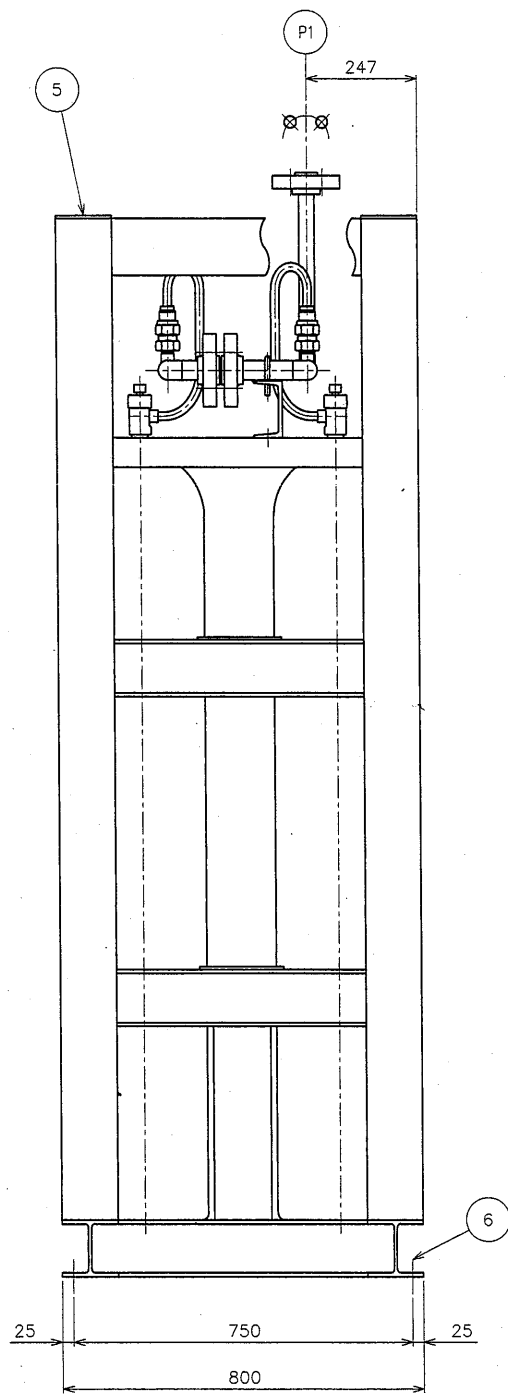
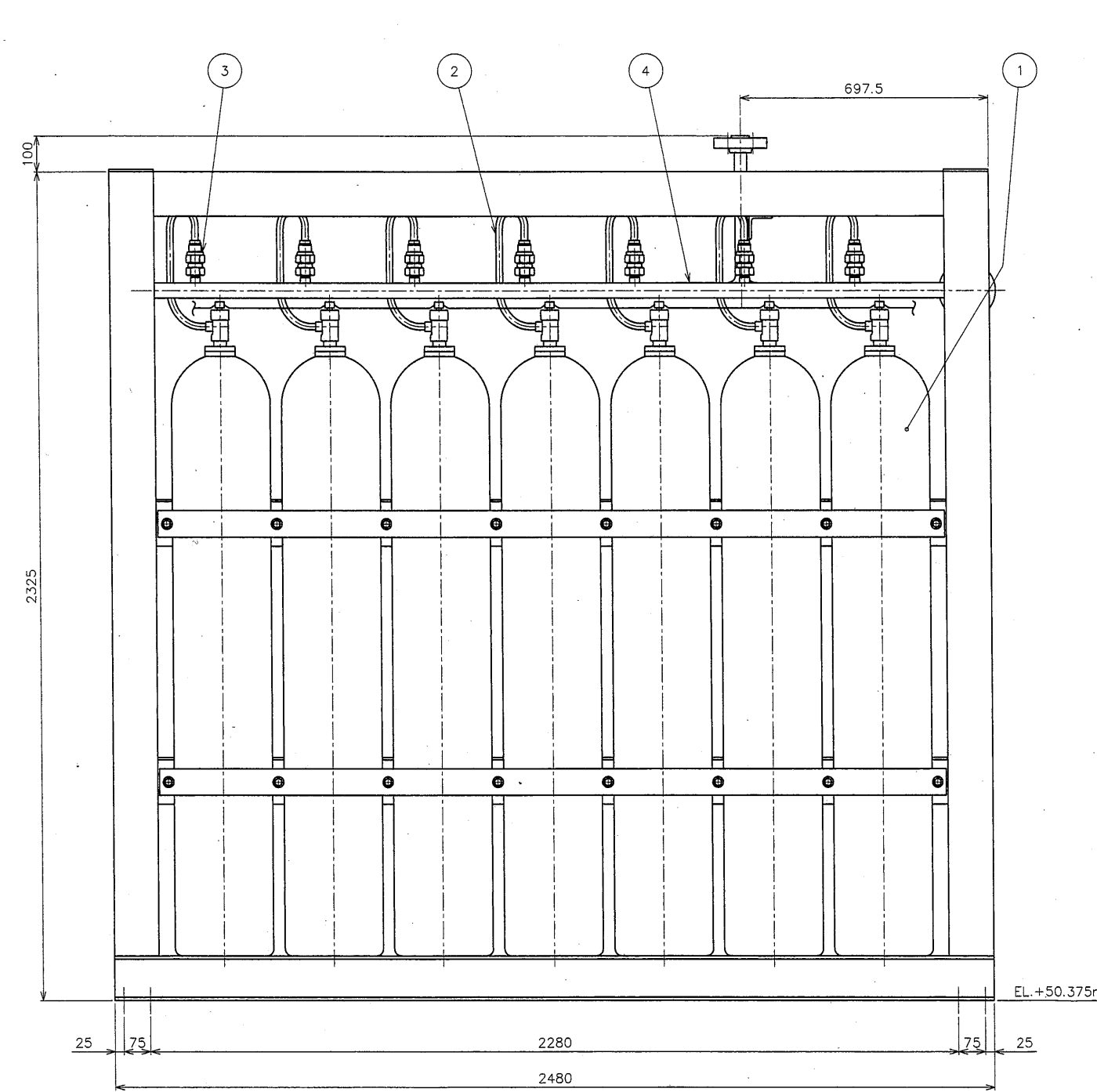
注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

予	常	常	備	名	材	料	数	予	1	計	記
分	分	分	分	称	質	種	量	個	個	量	事
				6 取付ボルト・ナットM16	SS400		8組				
				5 組棒	SS400 STKR400		1組				
				4 集合管	SUS304TP		1組				
				3 連結管用オリフィス	C3771		14				
				2 連結管	C1220T		14				
				1 窒素ガス貯蔵容器	クロムコバルト鋼		14				

日本原燃株式会社殿  
 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 窒素消火装置  
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-2外形図  
 (0198-GU-162)





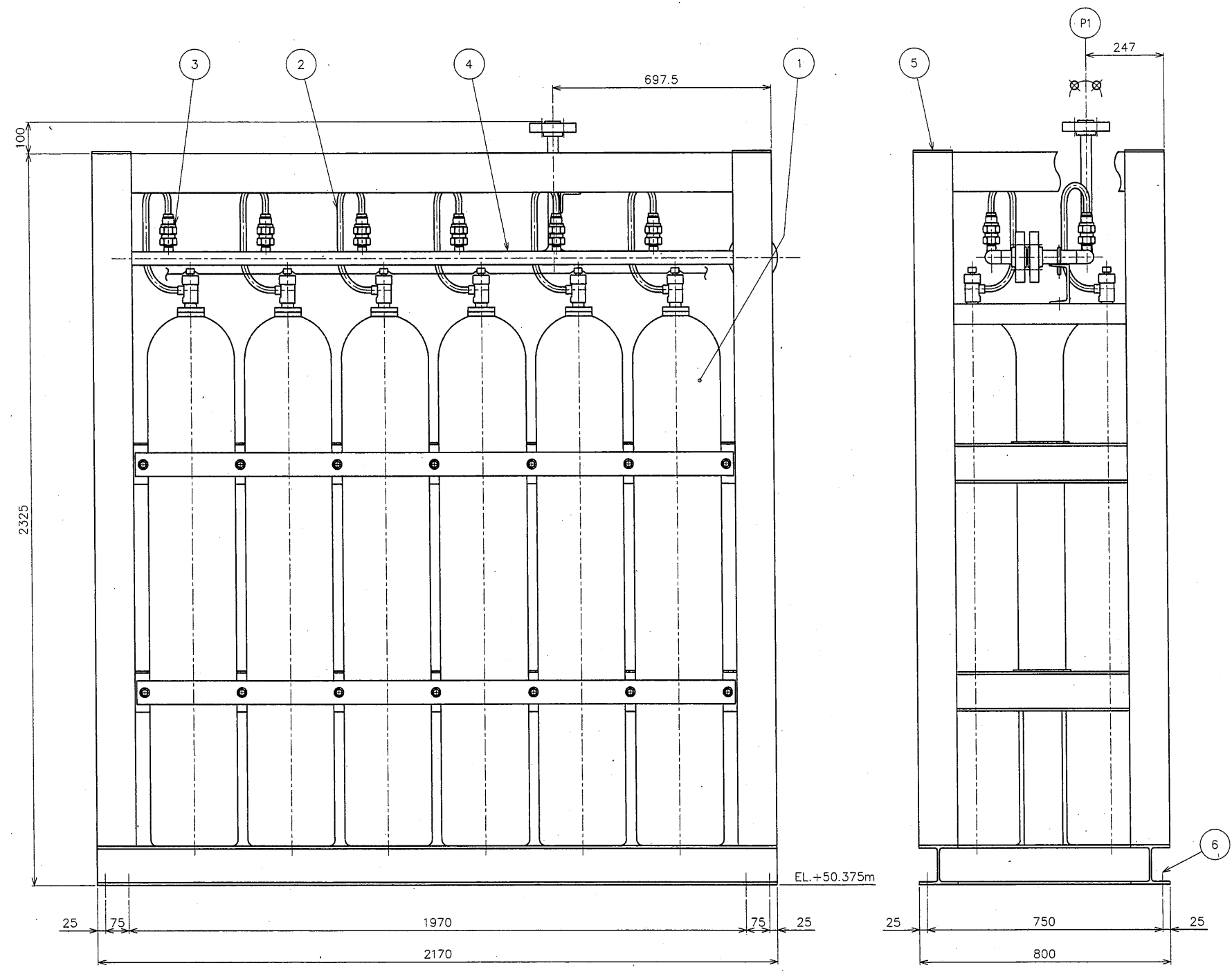
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常 MPa	10.6
	最大 MPa	10.8
運転温度	通常 ℃	常温
	最大 ℃	40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	C
品質重要度クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3870
建屋区分		PA
設置場所		428
適用法規		消防法 高圧ガス保安法
基数		1

注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500lb-25A RF	SUSF304	

子分	子分	子分	書名	材料	試験片	数量	1個重量	合計重量(kg)	備考
			6	露付ボルト・ナットM16	SS400	8組			
			5	組棒	SS400 STKR400	1組			
			4	集合管	SUS304TP	1組			
			3	連結管用オリフィス	C3771	14			
			2	連結管	C1220T	14			
			1	窒素ガス貯蔵容器	コルムシリブデン鋼	14			

日本原燃株式会社殿  
 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 窒素消火装置  
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-3外形図  
 (0198-GJ-163)



要目表		
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 10.6
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	C
品質重要度クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3450
建屋区分		PA
設置場所	至	428
適用法規		消防法 高圧ガス保安法
差枚	基	1

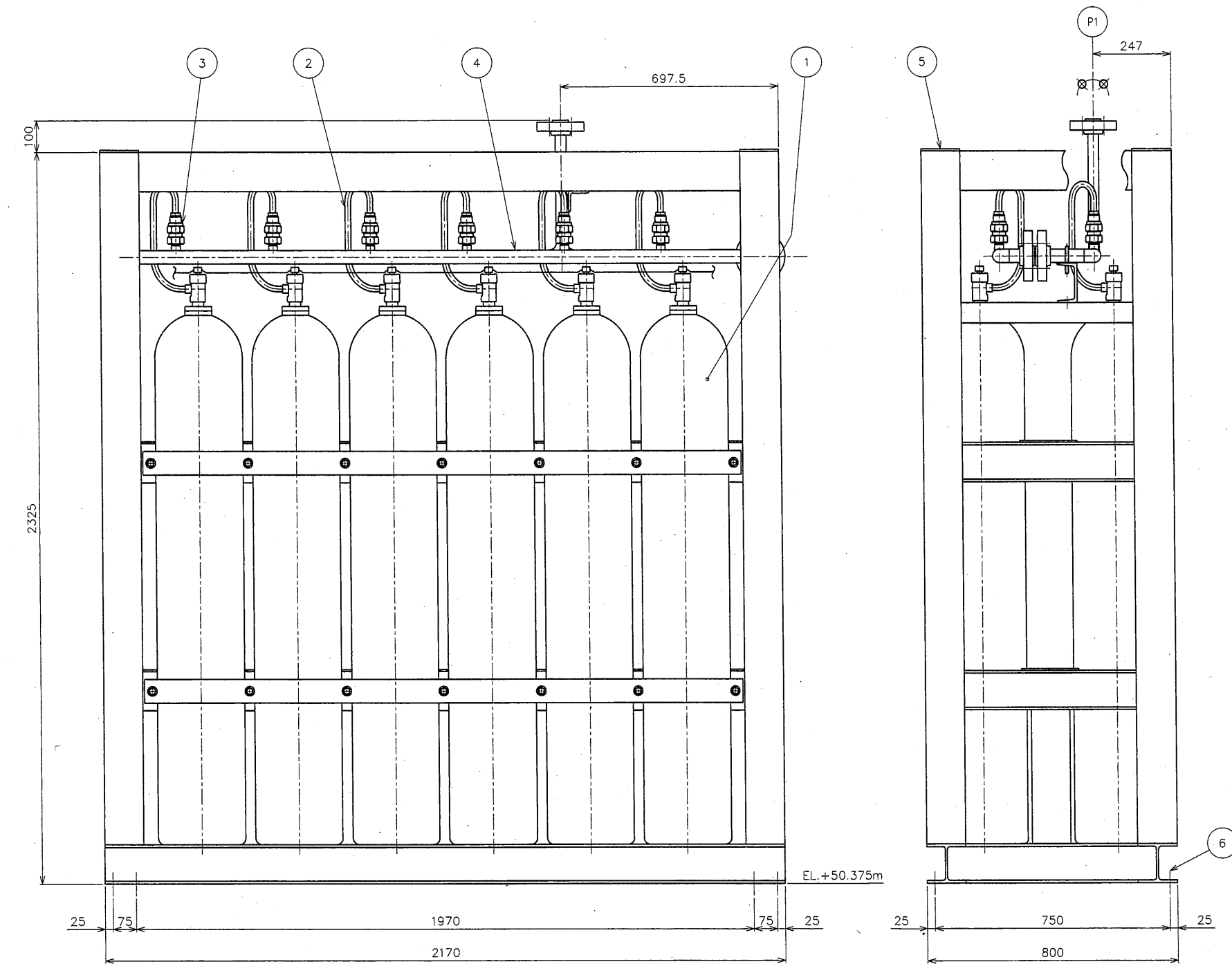
注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

6	密付ボルト・ナットM16	SS400	8組			
5	組棒	SS400 STKR400	1組			
4	集接管	SUS304TP	1組			
3	連結管用オリフィス	C3771	12			
2	連結管	C1220T	12			
1	窒素ガス貯蔵容器	鋼製	12			

予備	標準	数量	名称	材料	仕様	1個	合計	備考
分	分					重量	重量	

日本原燃株式会社殿  
 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 窒素消火装置  
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-4外形図  
 (0198-CU-164)



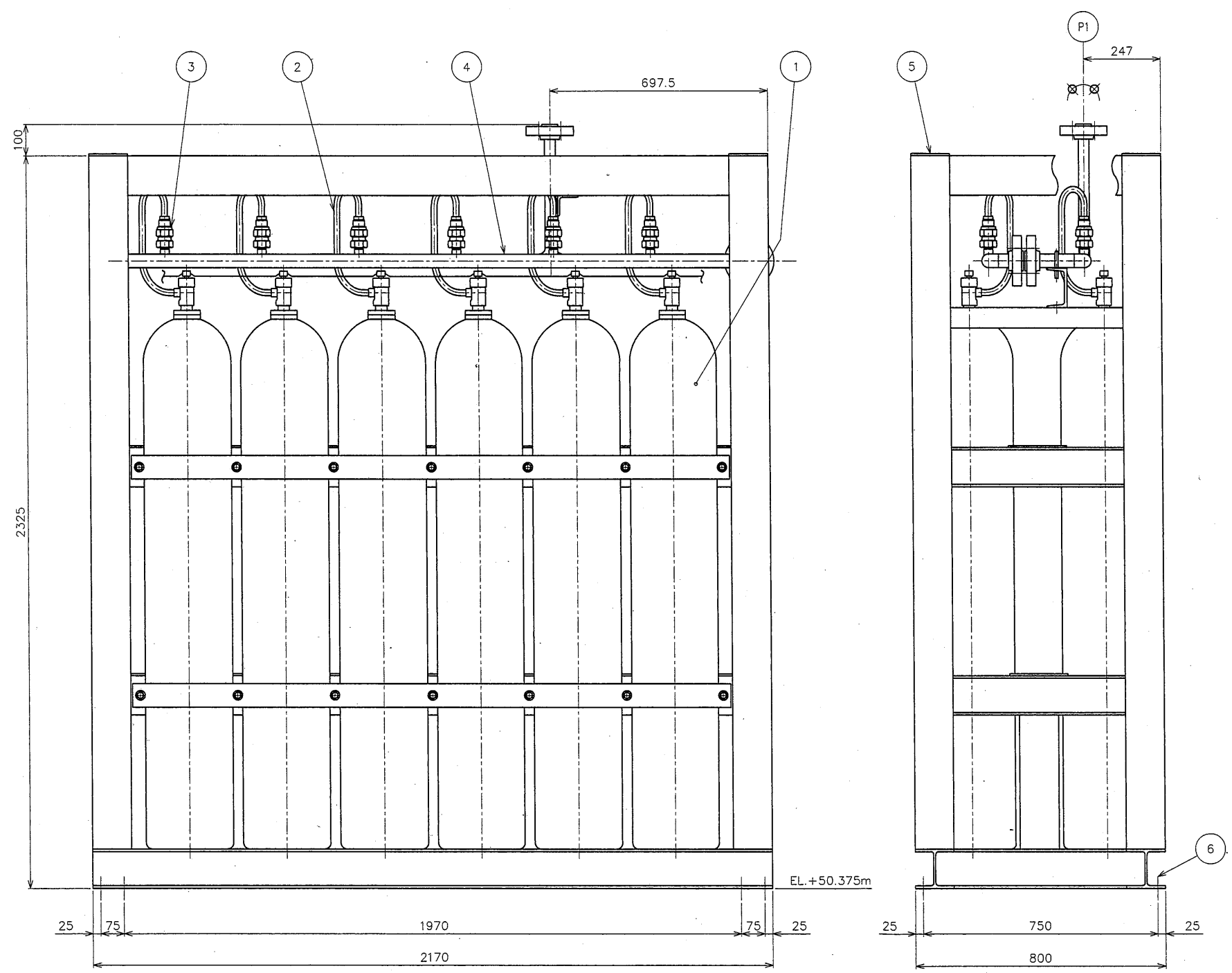
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 10.6
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	百斤申請用	C
品質要求クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3450
建屋区分		PA
設置場所		428
適用法規		消防法 高圧ガス保安法
基数		1

注記  
(1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500lb-25A RF	SUSF304	

番号	名称	材質	数量	単位	重量 (kg)
6	垂付ボルト・ナットM16	SS400	8	組	
5	組棒	SS400 STKR400	1	組	
4	集合管	SUS304TP	1	組	
3	連結管用オリフィス	C3771	12		
2	連結管	C1220T	12		
1	窒素ガス貯蔵容器	クォリテチタン	12		

日本原燃株式会社  
 MOX燃料工場  
 防火設備 (Q)  
 窒素消火装置  
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-5外形図  
 (0198-CU-165)



要目表		
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常 MPa	10.6
	最大 MPa	10.8
運転温度	通常 ℃	常温
	最大 ℃	40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	C
品質信頼度クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3450
建層区分		PA
設置場所		至
適用法規		消防法 高圧ガス保安法
基数	基	1

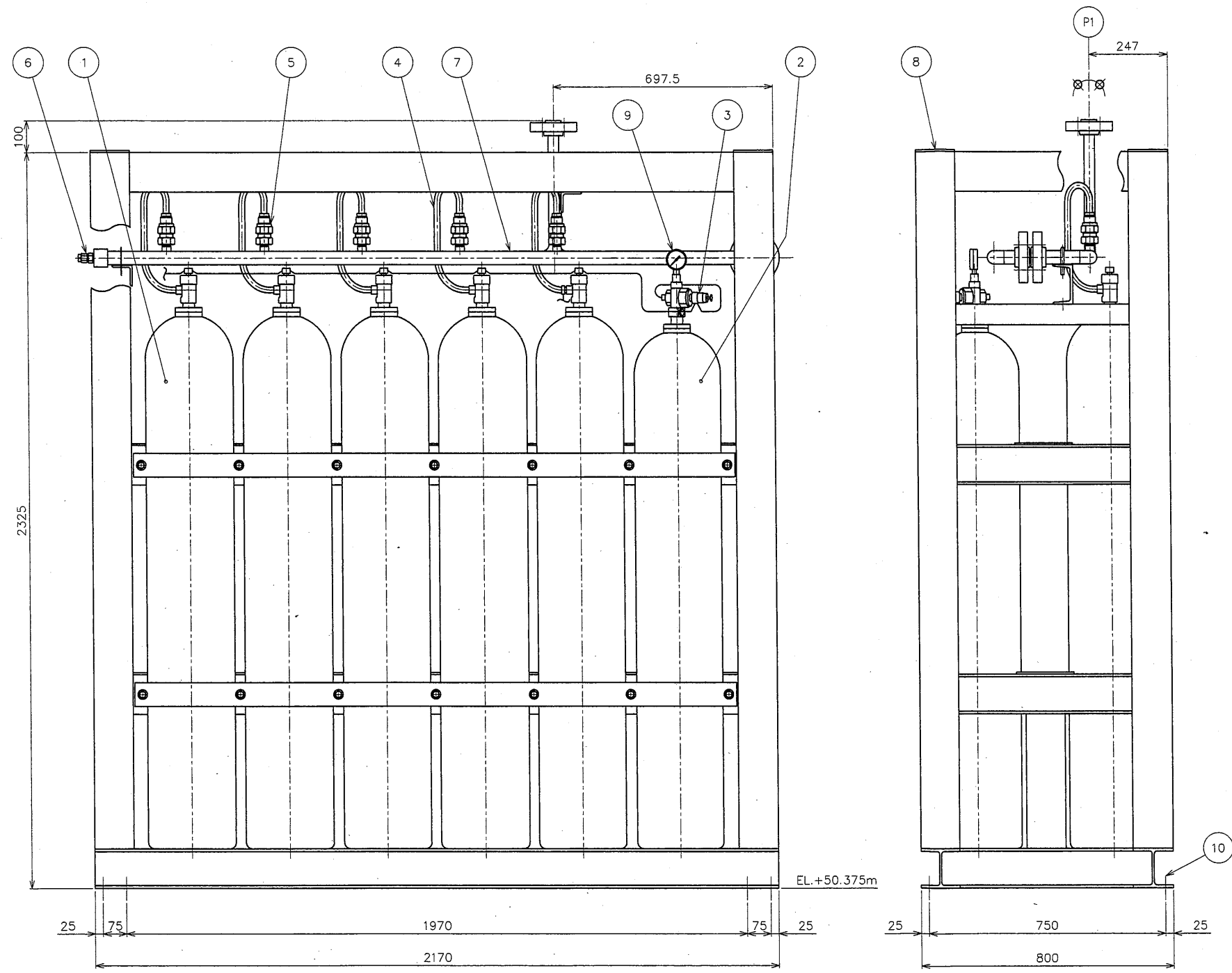
注記  
(1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500lb-25A RF	SUSF304	

6	据付ボルト・ナットM16	SS400	8組				
5	組棒	SS400 STKR400	1組				
4	集合管	SUS304TP	1組				
3	連結管用オリフィス	C3771	12				
2	連結管	C1220T	12				
1	窒素ガス貯蔵容器	クロムシリコン鋼	12				

日本原燃株式会社 敬啓

14 MOX燃料工場  
防火設備 (Q)  
窒素消火装置  
窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-6外形図  
(0198-GU-166)



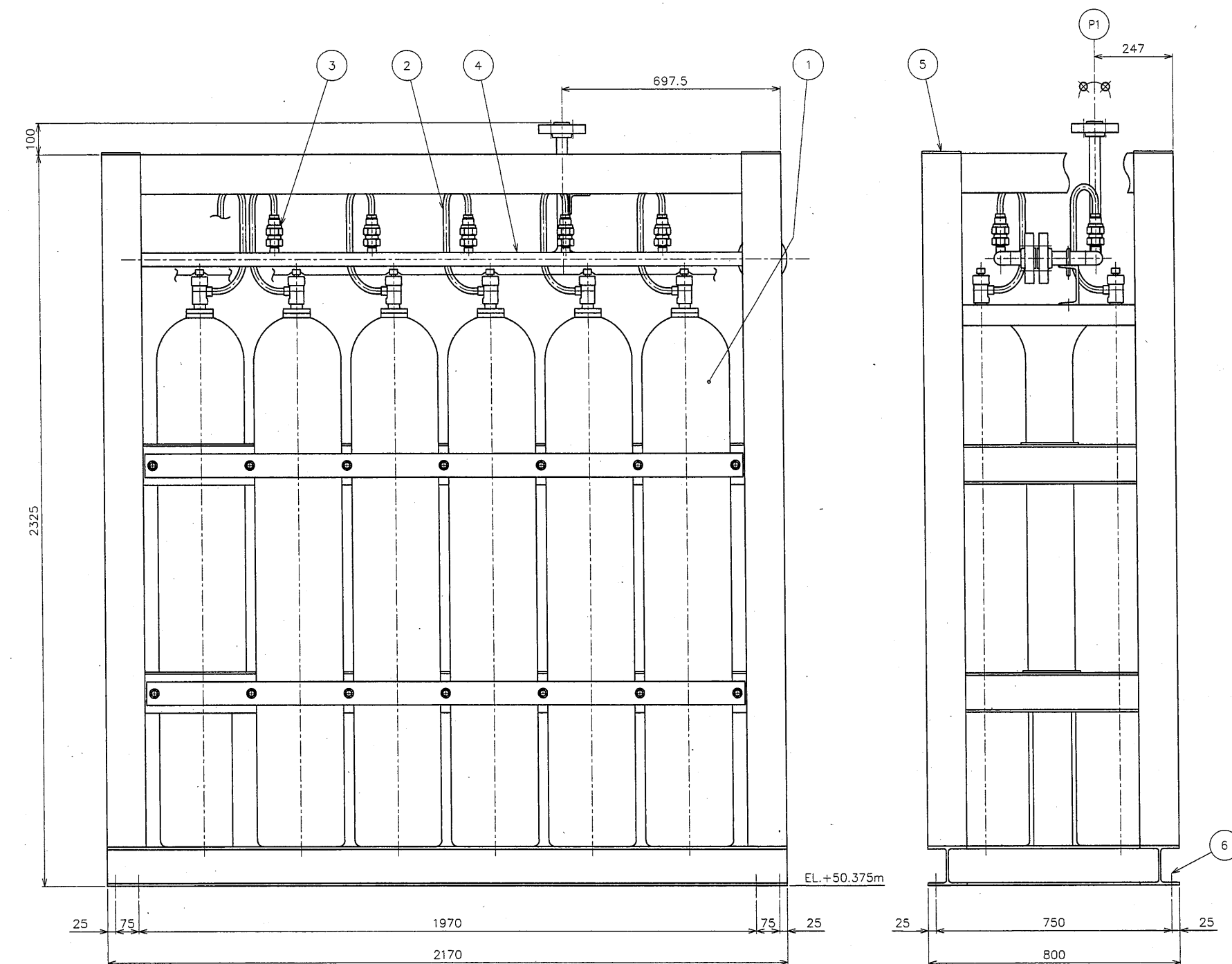
要目表		
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 10.6
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	C
品質管理度クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3390
建屋区分		PA
設置場所		448
適用法規		消防法 高圧ガス保安法
基数	基	1

注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

品番	名称	材質	数量	単位	重量(kg)	備考
10	継付ボルト・ナットM16	SS400	8	組		
9	圧力計	SPCD	1	個		
8	組棒	SS400 STKR400	1	組		
7	集合管	SUS304TP	1	組		
6	配管用安全装置	C3771	1	個		
5	連結管用オリフイス	C3771	11	個		
4	連結管	C1220T	11	個		
3	容器弁開放装置	C3771	1	個		
15-2	窒素ガス加圧容器	クロムニッケル鋼	1	個		
15-1	窒素ガス貯蔵容器	クロムニッケル鋼	11	個		

日本原燃株式会社  
 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 窒素消火装置  
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3-1外形図  
 (0198-GU-171)



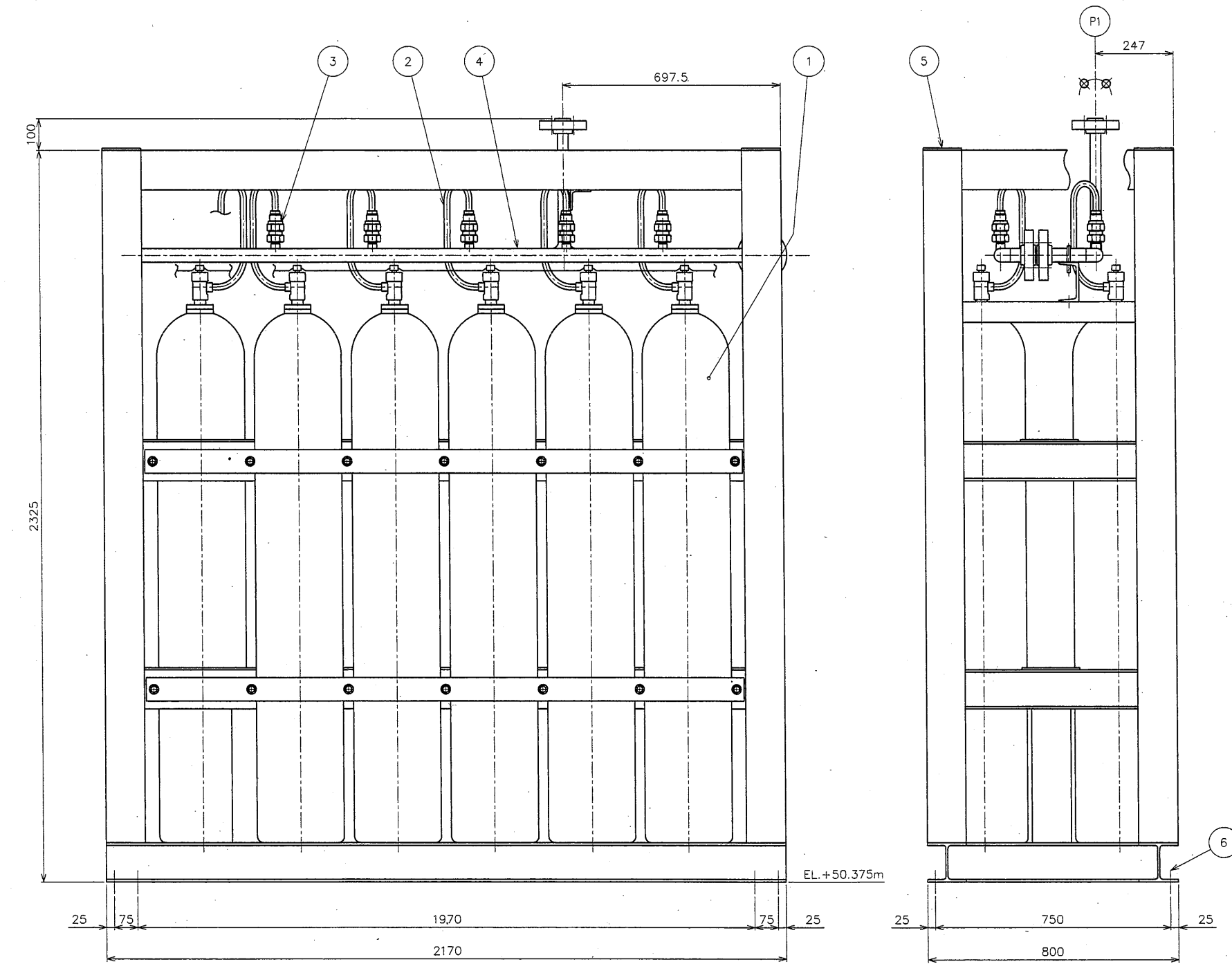
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常 MPa	10.6
	最大 MPa	10.8
運転温度	通常 ℃	常温
	最大 ℃	40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	C
品質重要度クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3280
建屋区分		PA
設置場所		448
適用法規		消防法 高圧ガス保安法
差数		1

注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

予備分	標準分	書名	材料	仕様	数量	1個重	合計重	単位	備考
		6	隠付ボルト・ナットM16	SS400	8組				
		5	組棒	SS400 STKR400	1組				
		4	兼合管	SUS304TP	1組				
		3	連結管用オリフィス	C3771	11				
		2	連結管	C1220T	11				
16		1	窒素ガス貯蔵容器	カロムリブレン	11				

日本原燃株式会社  
 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 窒素消火装置  
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3-2外形図  
 (0198-GU-172)



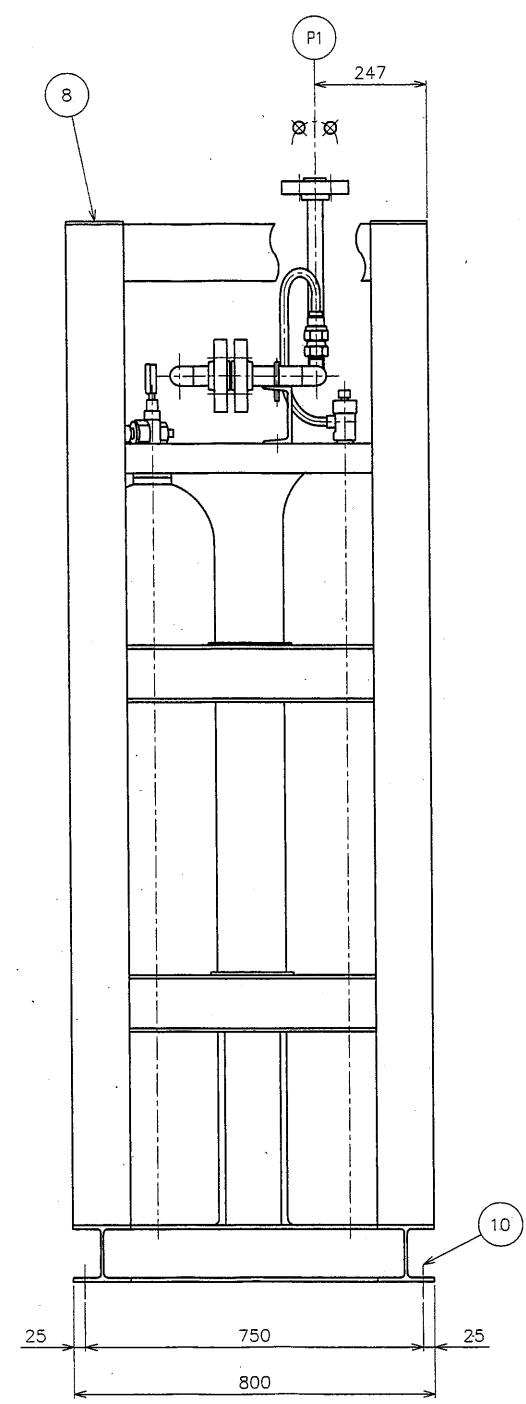
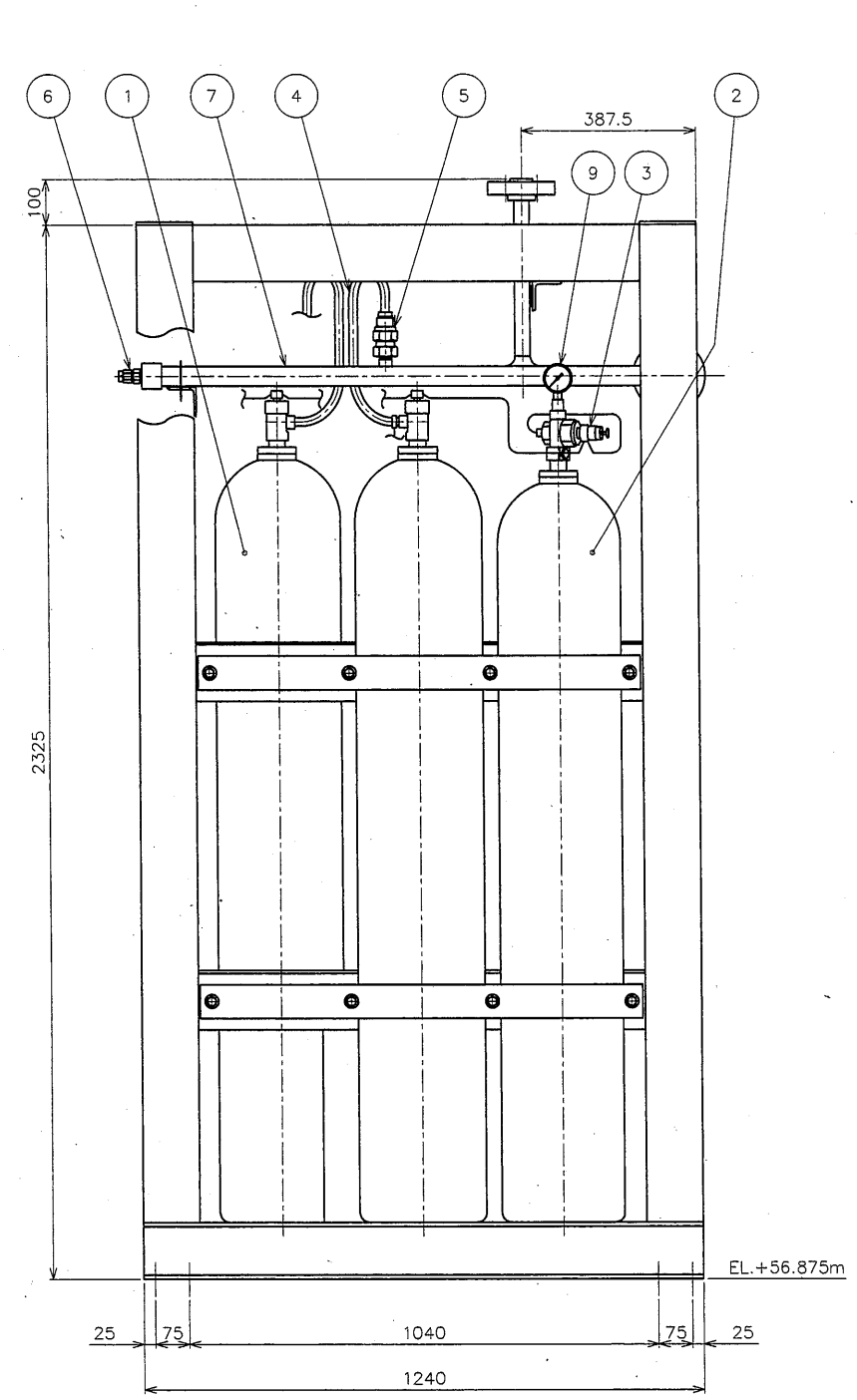
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 10.6
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	C
品質重要度クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3280
設置区分		PA
設置場所		44B
適用法規		消防法 高圧ガス保安法
基数		1

注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

子番号	子番号	子番号	名称	材料	数量	1個当たりの重量(kg)	合計重量(kg)	備考
		6	取付ボルト・ナットM16	SS400	8組			
		5	継棒	SS400 STKR400	1組			
		4	集合管	SUS304TP	1組			
		3	連結管用オリフィス	C3771	11			
		2	連結管	C1220T	11			
		1	窒素ガス貯蔵容器	クォムモリブジン鋼	11			

日本原燃株式会社殿  
 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 窒素消火装置  
 窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3-3外形図  
 (0198-CU-173)



最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常 MPa	10.6
	最大 MPa	10.8
運転温度	通常 ℃	常温
	最大 ℃	40
耐震クラス	設計用	C (Ss)
	管庁申請用	C
品質重要度クラス		2
流体の種類		窒素
質量	kg	約 1910
建設区分		PA
設置場所		595
適用法規		
基致	基	1

注記  
(1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

数量	名称	材料	仕様	単位	重量 (kg)	備考
8組	10 接付ボルト・ナットM16	SS400				
1	9 圧力計	SPCD				
1組	8 組件	SS400 STKR400				
1組	7 集合管	SUS304TP				
1	6 配管用安全装置	C3771				
4	5 連結管用オリフィス	C3771				
4	4 連結管	C1220T				
1	3 容積弁開放装置	C3771				
1	2 窒素ガス加圧容器	クロムモリブデン鋼				
4	1 窒素ガス貯蔵容器	クロムモリブデン鋼				

日本原燃株式会社  
MOX燃料工場  
防火設備 (Q)  
窒素消火装置 (中央監視室床下用)  
窒素消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4外形図  
(Q198-GU-201)



### 申請対象設備抽出結果

施 設	その他の加工施設
設 備	非常用設備 火災防護設備 消火設備
機 器	二酸化炭素消火装置

	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	
【対象機器】	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置
【主たる機能】	室内消火							

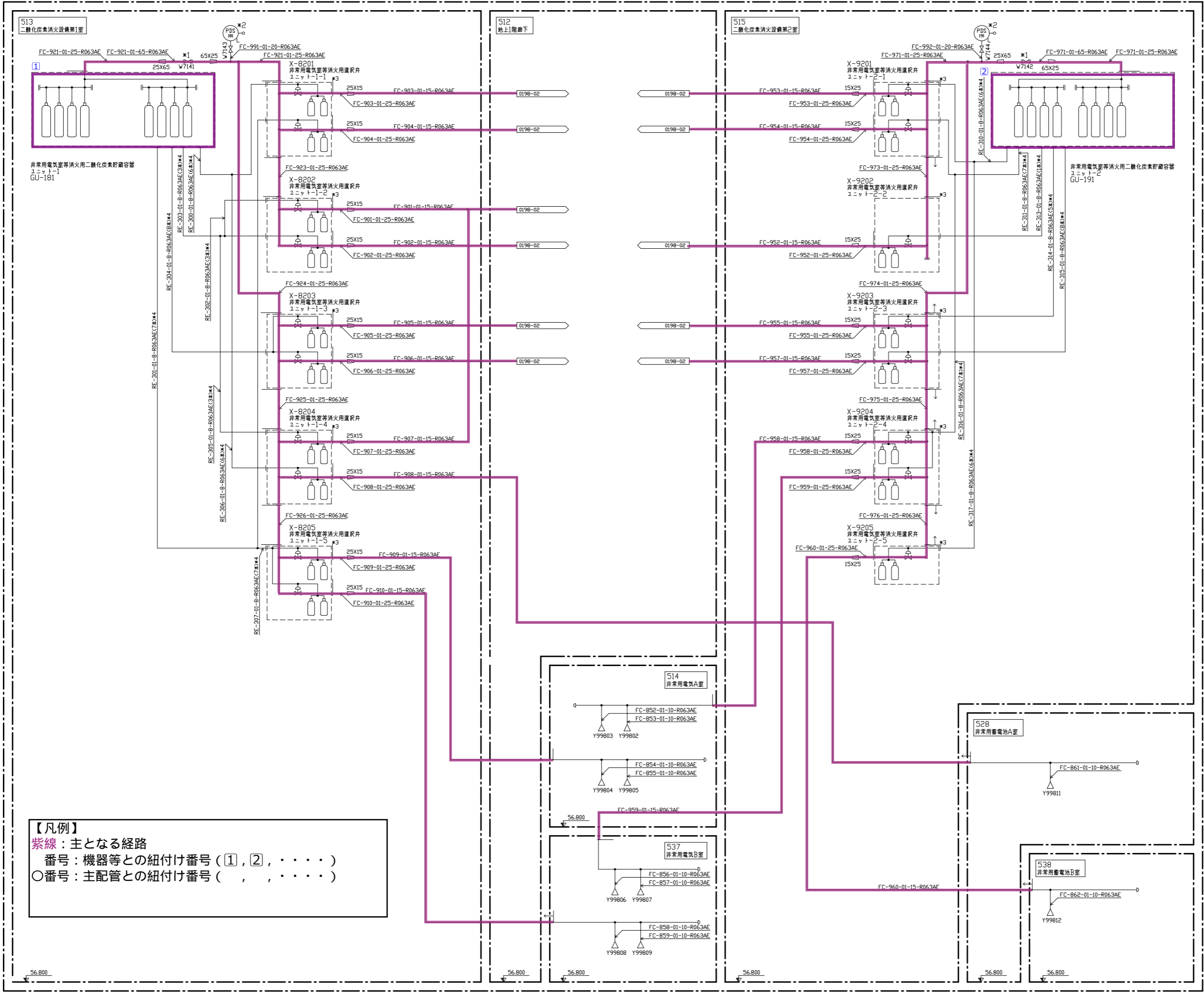
【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	機器番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
1	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置 非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-1 二酸化炭素貯蔵容器	容器	GU-181	燃料加工建屋	8	2	新設	非安重	—	—	—	技連PM-0100-1445-085 R0 参照
2	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置 非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-2 二酸化炭素貯蔵容器	容器	GU-191	燃料加工建屋	8	2	新設	非安重	—	—	—	技連PM-0100-1445-085 R0 参照
3	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置 非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-1 二酸化炭素貯蔵容器	容器	GU-001	燃料加工建屋	14	2	新設	非安重	—	—	—	
4	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置 非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-2 二酸化炭素貯蔵容器	容器	GU-002	燃料加工建屋	14	2	新設	非安重	—	—	—	

	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	
【対象機器】	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置
【主たる機能】	室内消火							

【主配管等の名称整理】

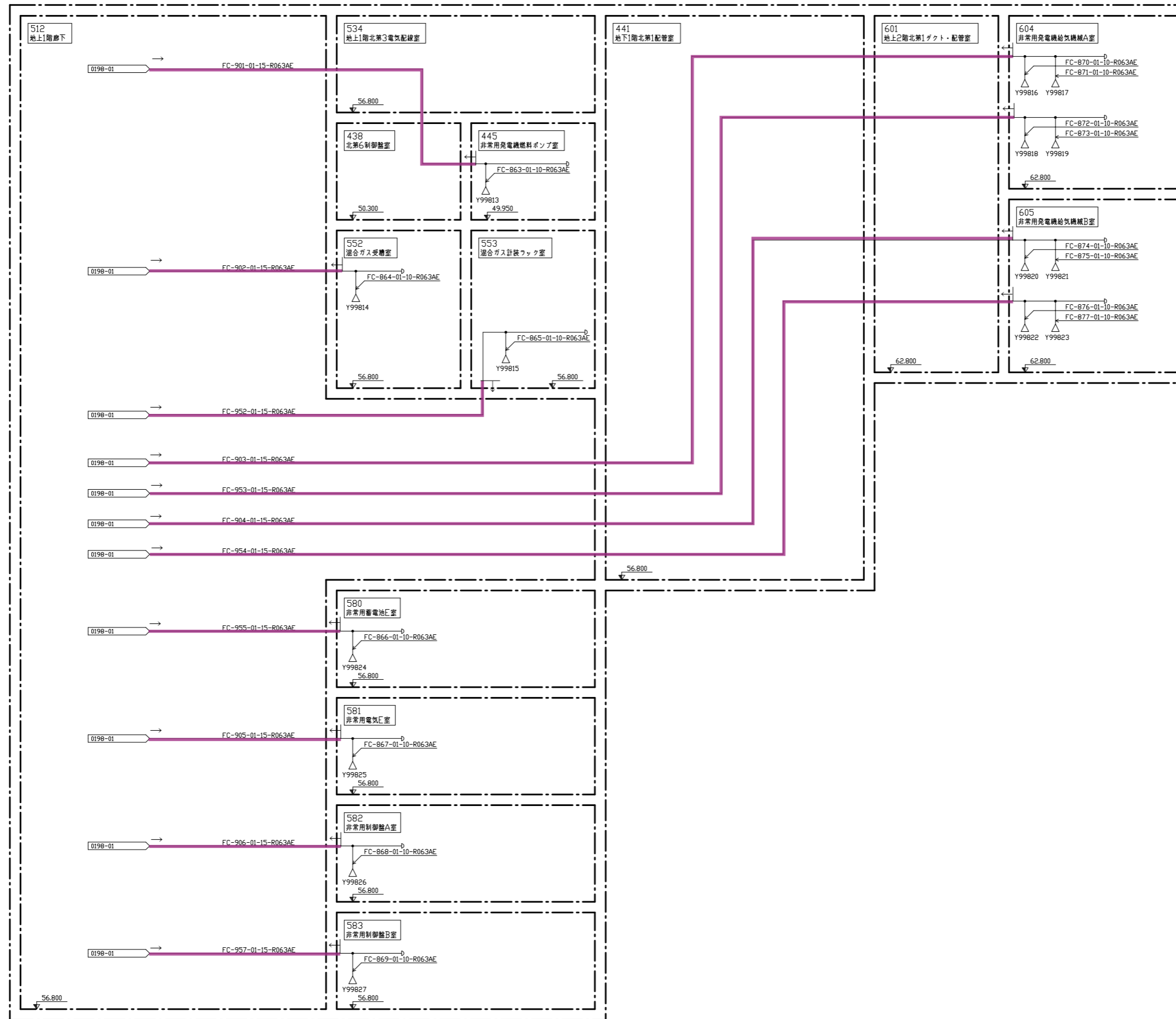
紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	D B区分	S A区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考
1	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-1 ～ (選択弁ユニットX-8201～X-8202), (選択弁ユニットX-8203～X-8204～X-8205)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—
2	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-8201 ～ 604非常用発電機給気機械A室, 605非常用発電機給気機械B室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—
3	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-8202, X-8204 ～ 445非常用発電機燃料ポンプ室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—
4	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-8202 ～ 552混合ガス受槽室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—
5	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-8203 ～ 581非常用電気E室, 582非常用電気A室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—
6	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-8204 ～ 528非常用蓄電池A室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—
7	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-8205 ～ 514非常用電気A室, 537非常用電気B室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—
8	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-2 ～ (選択弁ユニットX-9201～X-9202), (選択弁ユニットX-9203～X-9204～X-9205)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—
9	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-9201 ～ 604非常用発電機給気機械A室, 605非常用発電機給気機械B室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—
10	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-9202 ～ 553混合ガス計装ラック室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—
11	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-9203 ～ 580非常用蓄電池E室, 583非常用制御盤B室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—
12	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-9204 ～ 514非常用電気A室, 537非常用電気B室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—
13	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	選択弁ユニットX-9205 ～ 538非常用蓄電池B室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—
14	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-1 ～ 526非常用発電機A室 ～ 527非常用発電機A制御室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—
15	その他加工設備の附属施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	二酸化炭素消火装置	非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-2 ～ 535非常用発電機B室 ～ 536非常用発電機B制御室	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—



注 記  
 ※1: 点検用閉弁  
 ※2: 放出完了信号用  
 ※3: 選択弁後流に放出信号用圧力スイッチあり。  
 ※4: 起動用導圧配管を示す。  
 例: RE-\*\*\*-01-8-R063AE(\*\*\*本)×4  
 (\*\*本)は、貯蔵容器開放本数を示す。

**【凡例】**  
 紫線: 主となる経路  
 番号: 機器等との紐付け番号 ( ①, ②, … )  
 ○番号: 主配管との紐付け番号 ( , , … )

図名	燃料加工建屋 (PA) エネルギーテ、設備 (Q) 防火設備 (二酸化炭素消火装置 (非常用電気室等) ) エンジニアリングフロー図 工程: 0198(CD2)X1/2		
図番	PM-0198-4421-081	改訂	3

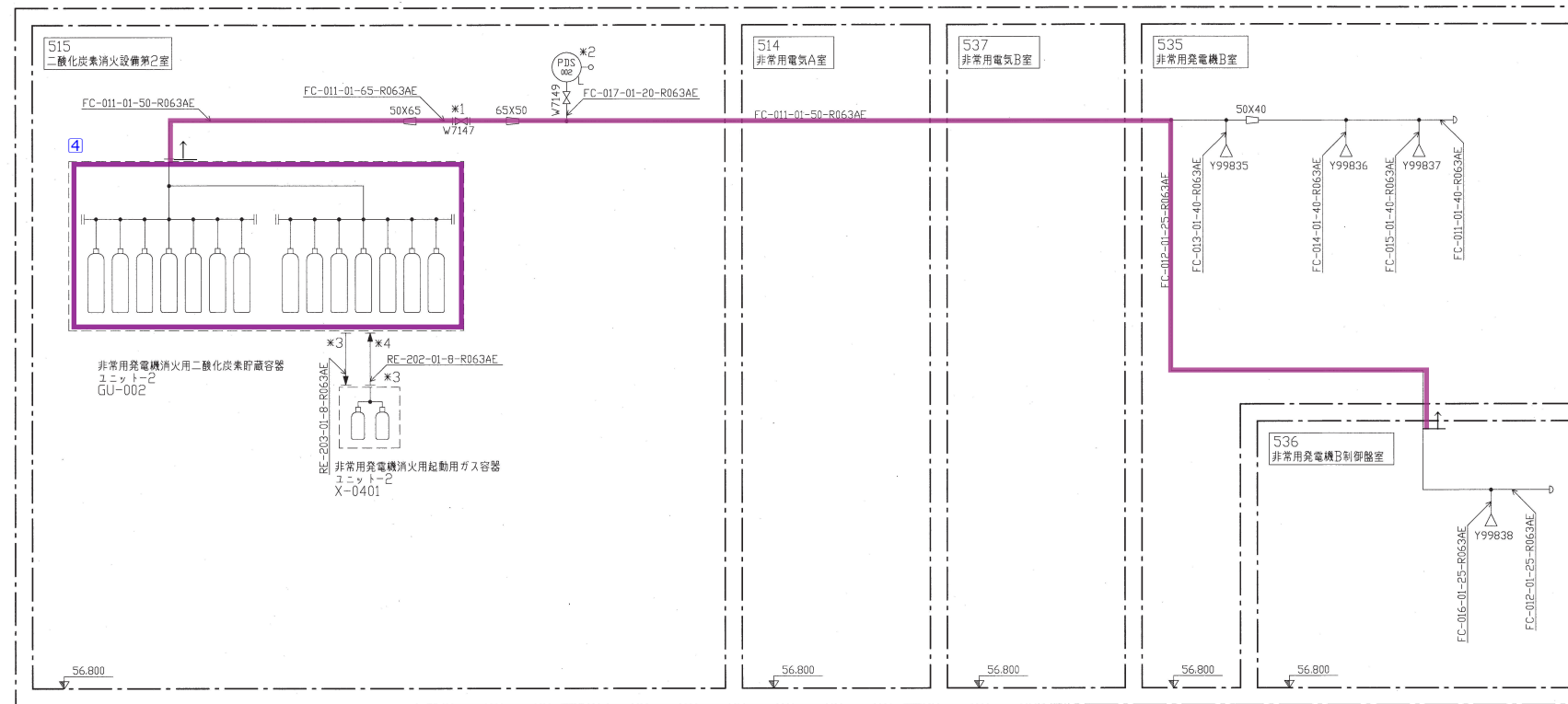
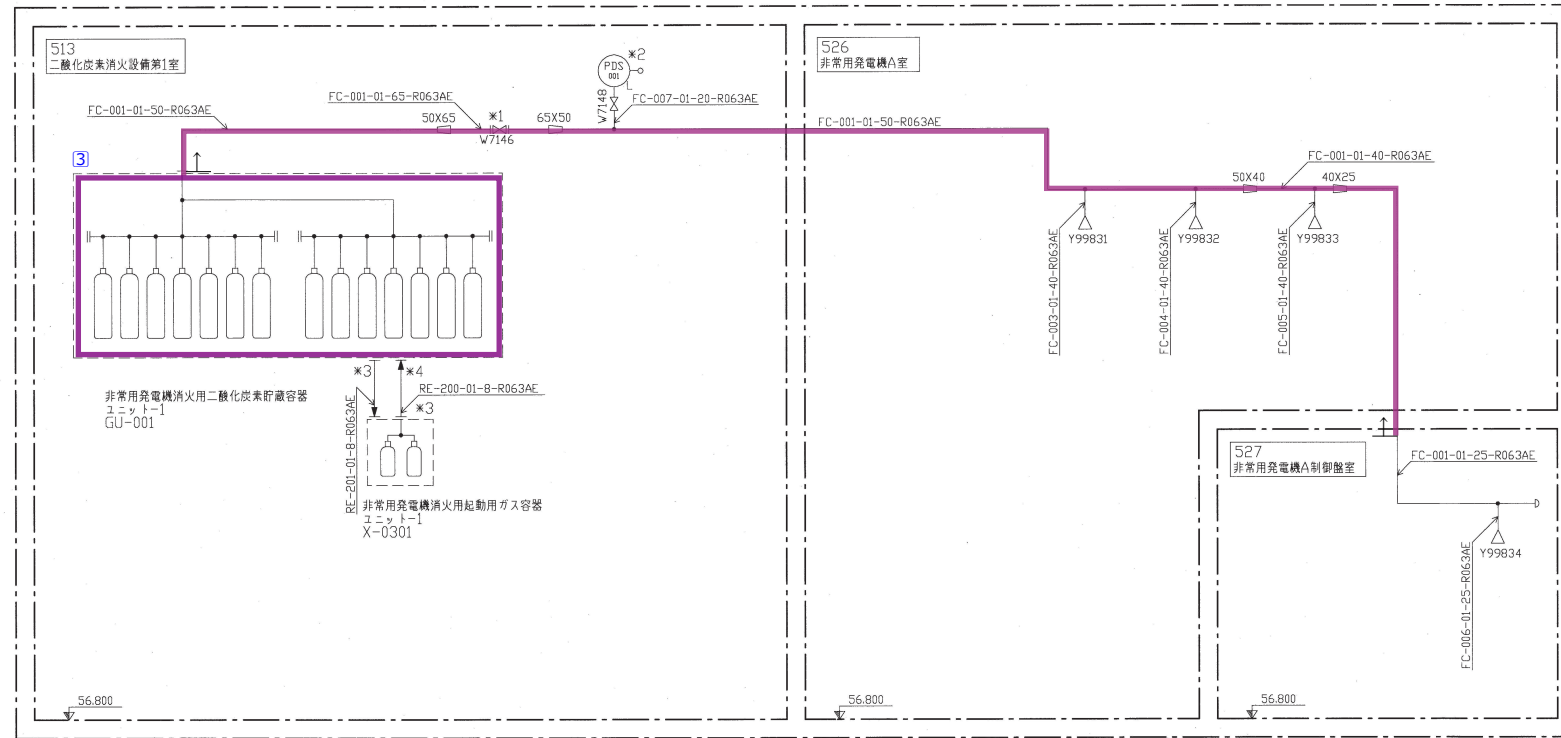


図名 燃料加工建屋 (PA) エネルギーリテ、設備 (Q)  
 防火設備 (二酸化炭素消火装置 (非常用電気室等用))  
 エンジニアリングフロー図  
 工程: 0198(C02)X(2/2)

図番 173  
 改訂 3

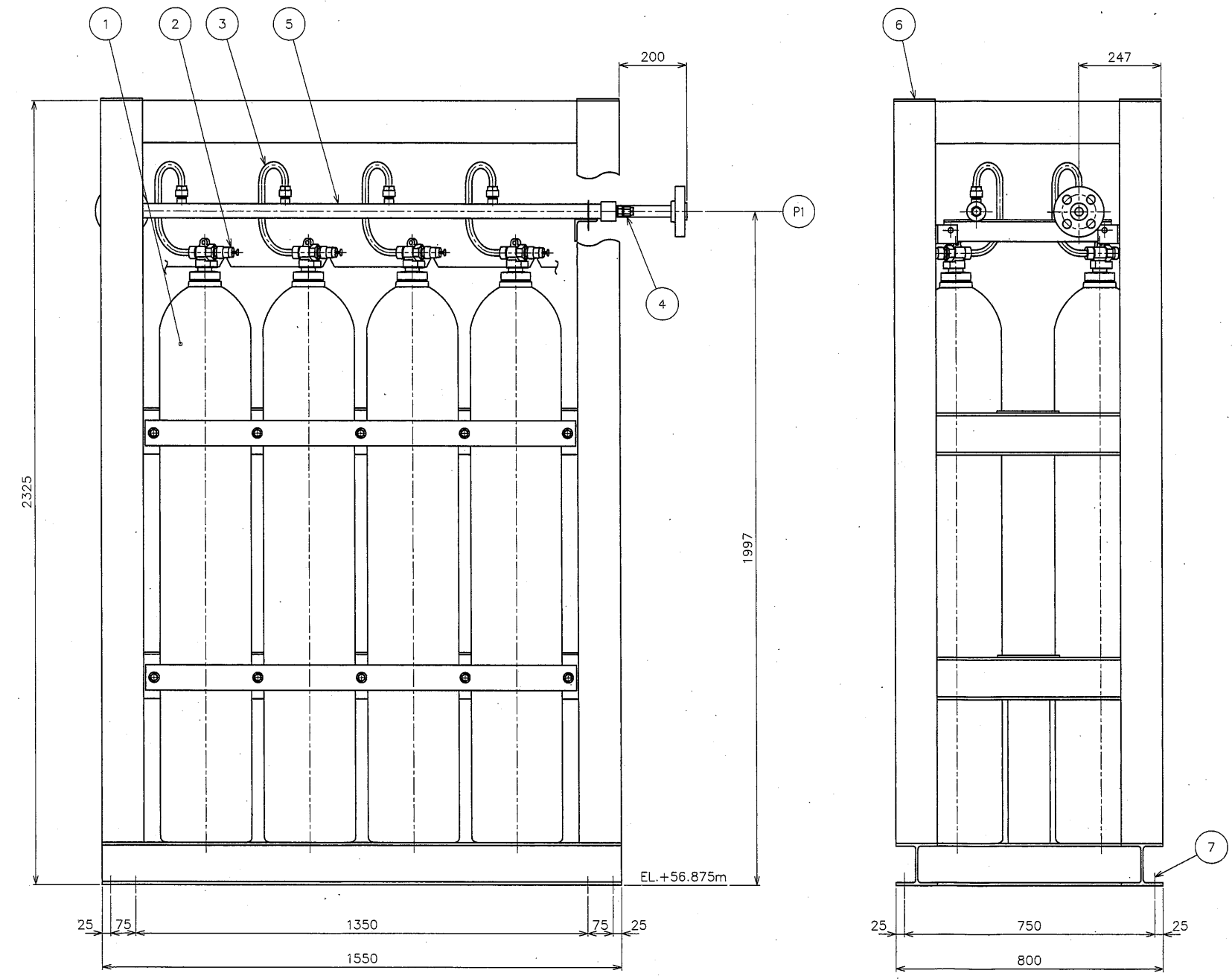
注記

- \*1: 点検用閉止弁
- \*2: 放出完了信号用
- \*3: 非常用発電機消火用起動用ガス容器ユニット内に放出信号用圧力スイッチあり。当該配管は圧力スイッチ用の導圧配管
- \*4: 起動用ガスの導圧配管を示す。



図名	燃料加工建屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (二酸化炭素消火装置 (非常用発電機用)) エンジニアリングフロー図		
工程	0198(C02GT) (1/1)		
客先図面番号	PM-0198-4421-083	改訂	4

要目表		
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 9.3
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
品質管理クラス	官庁申請用	C2
液体の種類		二酸化炭素
質量	kg	約 2590
建屋区分		PA
設置場所		釜
適用法規		
基数	基	1



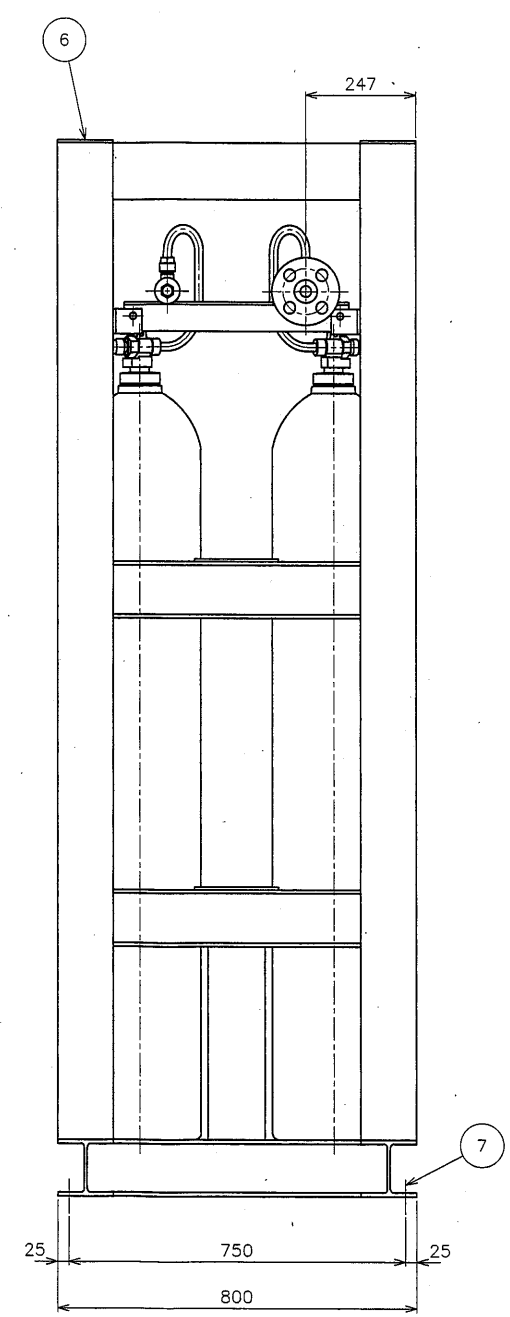
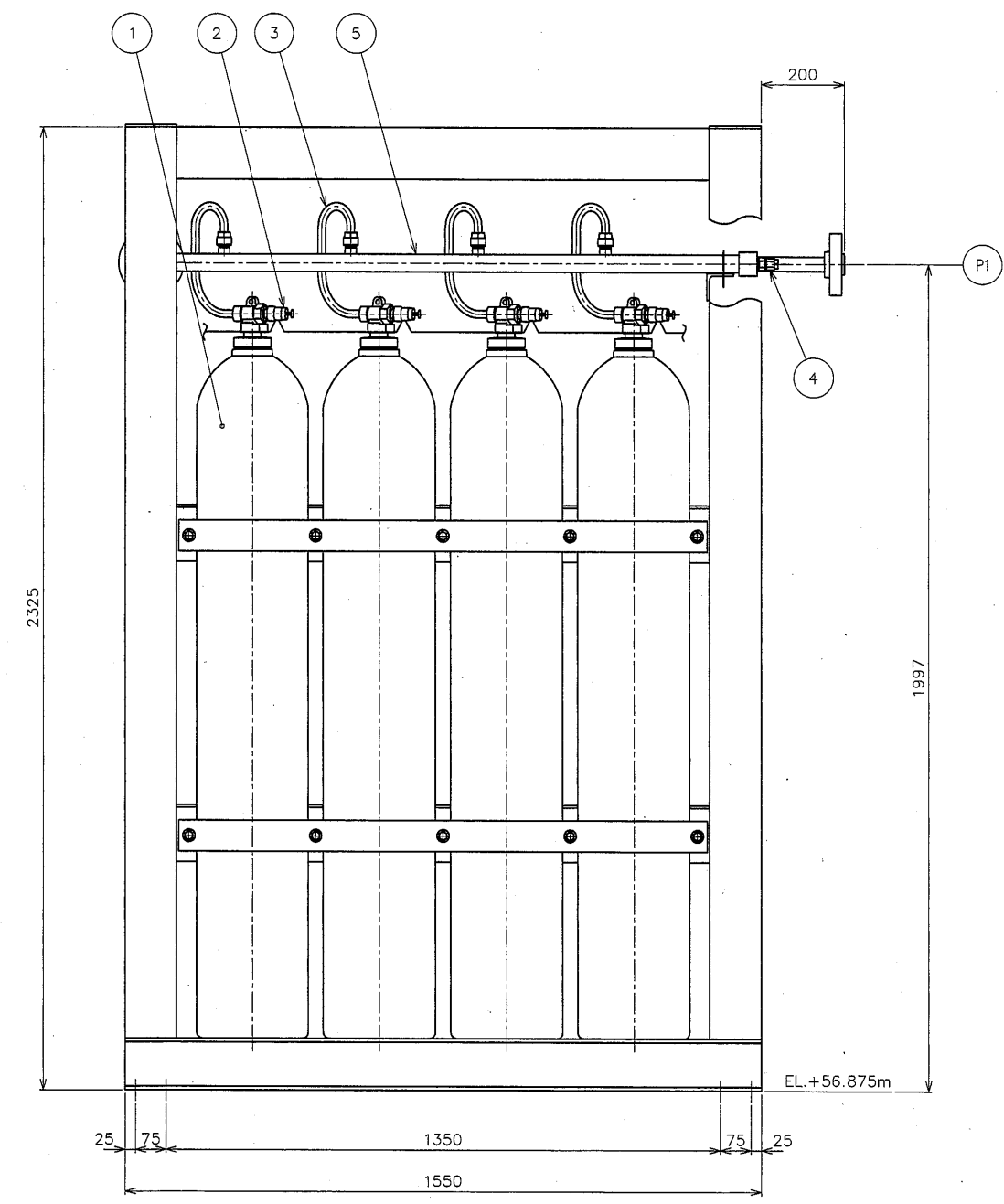
管台No.	管台名称	数量	液体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	二酸化炭素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

予備	予備	番号	名称	材料	仕様	数量	単位	備	注	記	事
		7	継手ボルト・ナットM16	SS400		8組					
		6	組棒	SS400 STKR400		1組					
		5	集合管	SUS304TP		1組					
		4	配管用安全装置	C3771		1					
		3	連結管	C1220T		8					
		2	容器弁開放装置	C3771		8					
		1	二酸化炭素貯蔵容器	クロムシリコン鋼		8					

日本原燃株式会社殿  
 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 二酸化炭素消火装置 (非常用電気室等用)  
 非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-1外形図  
 (0198-GU-181)

最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 9.3
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	①
品質重要度クラス		②
流体の種類		二酸化炭素
質量	kg	約 2590
建屋区分		PA
設置場所		室 515
適用法規		-
基数	基	1



管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	二酸化炭素	JPI 1500Lb-25A RF	SUSF304	

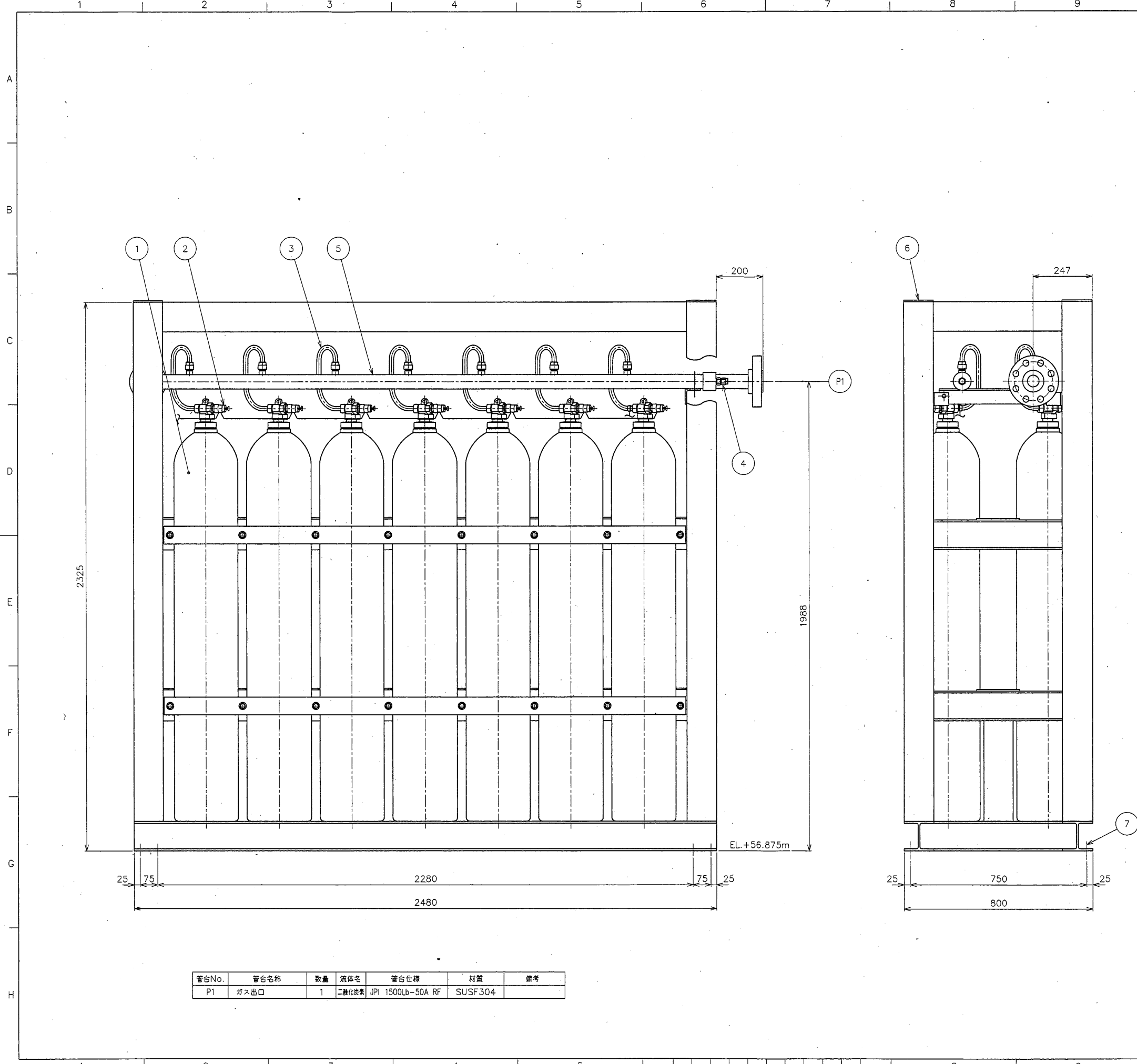
注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

品番	名称	材質	数量	単位	備考
7	密付ボルト・ナットM16	SS400	8組		
6	組棒	SS400 STKR400	1組		
5	集合管	SUS304TP	1組		
4	配管用安全装置	C3771	1		
3	連結管	C1220T	8		
2	容器弁閉装置	C3771	8		
② 1	二酸化炭素貯蔵容器	クロムモリブデン鋼	8		

日本原燃株式会社 殿

MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 二酸化炭素消火装置 (非常用電気室等用)  
 非常用電気室等消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-2別図  
 (0198-GU-191)





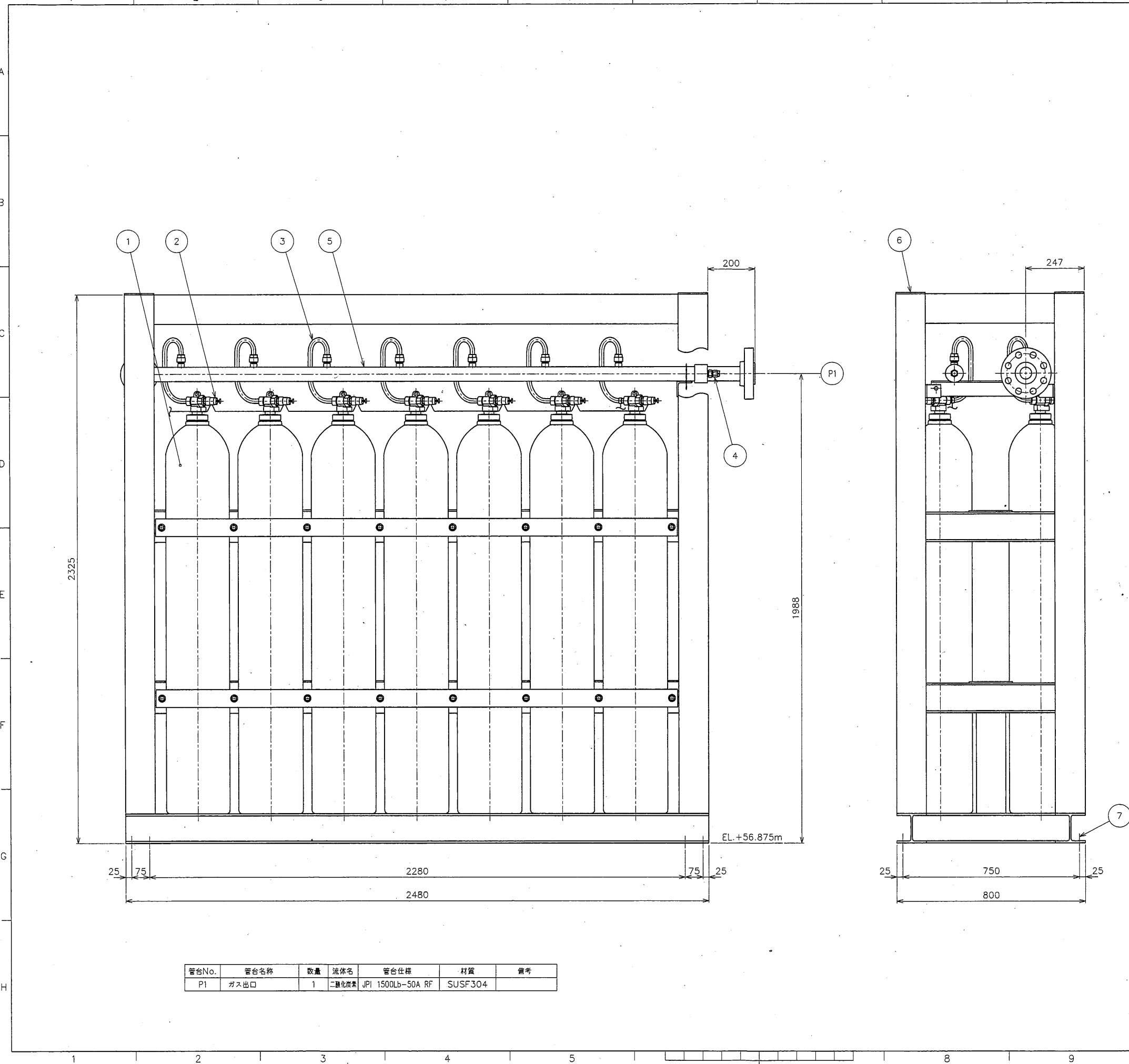
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 9.3
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	C2
品質重要度クラス		2
流体の種類		二酸化炭素
質量	kg	約 3890
経路区分		PA
設置場所		513
適用法規		消防法
基数	基	1

注記  
(1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

7	締付ボルト・ナットM16	SS400	8組		
6	組棒	SS400 STKR400	1組		
5	集合管	SUS304TP	1組		
4	配管用安全装置	C3771	1		
3	連結管	C1220T	14		
2	容器弁開放装置	C3771	14		
1	二酸化炭素貯蔵容器	クロム・ニッケル鋼	14		

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	二酸化炭素	JPI 1500Lb-50A RF	SUSF304	

日本原燃株式会社  
MOX燃料工場  
防火設備(Q)  
二酸化炭素消火装置(非常用発電機用)  
非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-1外形図  
(0198-GU-001)



要目表		
最高使用圧力	MPa	10.8
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 9.3
	最大	MPa 10.8
運転温度	通常	常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	②
品質重要度クラス		②
流体の種類		二酸化炭素
質量	kg	約 3890
設置区分		PA
設置場所		産
適用法規		消防法
基数	基	1

注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

番号	名称	材料	仕様	数量	単位	重量 (kg)
7	継付ボルト・ナットM16	SS400		8	組	
6	組棒	SS400 STKR400		1	組	
5	集合管	SUS304TP		1	組	
4	配管用安全装置	C3771		1	個	
3	連結管	C1220T		14	個	
2	容器弁開放装置	C3771		14	個	
1	二酸化炭素貯蔵容器	クハモリブチン鋼		14	個	

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	二酸化炭素	JPI 1500Lb-50A RF	SUSF304	

日本原燃株式会社  
 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 二酸化炭素消火装置(非常用発電機用)  
 非常用発電機消火用二酸化炭素貯蔵容器ユニット-2外形図  
 (0198-GU-002)

### 申請対象設備抽出結果

施 設	その他の加工施設
設 備	非常用設備 火災防護設備 消火設備
機 器	グローブボックス消火装置

	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	
【対象機器】	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	グローブボックス消火装置
【主たる機能】	グローブボックス内消火							

【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	機器番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考
1	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-111	燃料加工建屋	14	2	新設	安重	—	—	—
2	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-2 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-112	燃料加工建屋	14	2	新設	安重	—	—	—
3	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-3 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-113	燃料加工建屋	14	2	新設	安重	—	—	—
4	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-4 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-114	燃料加工建屋	14	2	新設	安重	—	—	—
5	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-5 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-115	燃料加工建屋	2	2	新設	安重	—	—	—
6	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-121	燃料加工建屋	14	2	新設	安重	—	—	—
7	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-2 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-122	燃料加工建屋	14	2	新設	安重	—	—	—
8	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-3 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-123	燃料加工建屋	14	2	新設	安重	—	—	—
9	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-4 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-124	燃料加工建屋	14	2	新設	安重	—	—	—
10	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-5 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-125	燃料加工建屋	6	2	新設	安重	—	—	—
11	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-131	燃料加工建屋	9	2	新設	安重	—	—	—
12	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4 窒素ガス貯蔵容器	容器	GU-141	燃料加工建屋	3	2	新設	安重	—	—	—

	施設区分		設備区分				機器名称(許可)
【対象機器】	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置
【主たる機能】	グローブボックス内消火						

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考
1	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-1, -1-2, -1-3, -1-4, -1-5 ～ 減圧装置ユニットX-12 ～ (選択弁ユニットX-1303～X-1302～X-1301), X-1304	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
2	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1301 ～ 回収粉末微粉砕装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-1グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
3	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1301出口分岐部1 ～ 均一化混合装置グローブボックス, 造粒装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-8グローブボックス, 調整粉末搬送装置-9グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
4	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1301出口分岐部2 ～ 一次混合粉末秤量・分取装置グローブボックス, 分析試料採取・詰替装置グローブボックス, 一次混合粉末秤量・分取装置グローブボックス, ウラン粉末秤量・分取装置グローブボックス, 調整粉末搬送装置-6グローブボックス, 調整粉末搬送装置-7グローブボックス-1	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
5	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1301 ～ 添加剤混合装置Aグローブボックス, 添加剤混合装置Bグローブボックス, 添加剤混合粉末搬送装置-3グローブボックス, プレス装置A(粉末取扱部)グローブボックス, プレス装置A(プレス部)グローブボックス, グリーンペレット積込装置Aグローブボックス, プレス装置B(粉末取扱部)グローブボックス, プレス装置B(プレス部)グローブボックス, グリーンペレット積込装置Bグローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
6	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1301 ～ 焼結ポート搬送装置グローブボックス-46(B2F), 小規模研削検査装置グローブボックス, 小規模粉末混合装置グローブボックス, 小規模プレス装置グローブボックス, 資材保管装置グローブボックス, 小規模焼結処理装置グローブボックス, 容器移送装置グローブボックス-1, 容器移送装置グローブボックス-2, 容器移送装置グローブボックス-5, 再生スクラップ搬送装置グローブボックス-2, 再生スクラップ受払装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
7	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1301 ～ 原料MOX粉末秤量・分取装置Aグローブボックス, 原料MOX粉末秤量・分取装置Bグローブボックス, ウラン粉末・回収粉末秤量・分取装置グローブボックス, 予備混合装置グローブボックス, 原料MOX分析試料採取装置グローブボックス, 原料MOX粉末缶取出装置グローブボックス, 原料MOX粉末缶一時保管装置グローブボックス, 原料粉末搬送装置-3グローブボックス-1, 原料粉末搬送装置-3グローブボックス-3, 原料粉末搬送装置-3グローブボックス-4(南側), 原料粉末搬送装置-6グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
8	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1302 ～ 製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-1, 製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-2, 製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-3, ペレット保管容器受渡装置グローブボックス-1	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
9	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1302 ～ スクラップ貯蔵棚グローブボックス-1, スクラップ貯蔵棚グローブボックス-2, スクラップ貯蔵棚グローブボックス-3, スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	D B区分	S A区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
10	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1302 ～ 選択弁ユニットX-1305 ～ 挿入溶接装置(被覆管取扱部)Aグローブボックス、挿入溶接装置(被覆管取扱部)Bグローブボックス、乾燥ボート取出装置Aグローブボックス、乾燥ボート取出装置Bグローブボックス、乾燥ボート搬送装置グローブボックス-7、乾燥ボート搬送装置グローブボックス-9、乾燥ボート搬送装置グローブボックス-10、放射能濃度分析グローブボックス-1、分析液中中和固液分離グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—
11	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1302 ～ 空焼結ボート取扱装置グローブボックス、焼結ボート供給装置Aグローブボックス、焼結ボート供給装置Bグローブボックス、焼結ボート供給装置Cグローブボックス、焼結ボート搬送装置グローブボックス-7、焼結ボート搬送装置グローブボックス-8(南側)、焼結ボート搬送装置グローブボックス-10、焼結ボート搬送装置グローブボックス-11、焼結ボート搬送装置グローブボックス-13、焼結ボート搬送装置グローブボックス-14、焼結ボート搬送装置グローブボックス-18、焼結ボート搬送装置グローブボックス-19(西側)、焼結ボート搬送装置グローブボックス-20(西側)、焼結ボート搬送装置グローブボックス-21(西側)、焼結ボート搬送装置グローブボックス-33、焼結ボート搬送装置グローブボックス-35、焼結ボート搬送装置グローブボックス-37、焼結ボート搬送装置グローブボックス-45、焼結ボート搬送装置グローブボックス-46(B3F)、焼結ボート搬送装置グローブボックス-48、焼結ボート受渡装置グローブボックス-1(南側)、ペレット一時保管棚グローブボックス-1、ペレット一時保管棚グローブボックス-2、ペレット一時保管棚グローブボックス-3、焼結ボート受渡装置グローブボックス-4(北側)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—
12	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1303 ～ 焼結ボート取出装置Aグローブボックス、焼結ボート取出装置Bグローブボックス、焼結ボート取出装置Cグローブボックス、焼結ボート搬送装置グローブボックス-22、焼結ボート搬送装置グローブボックス-23、焼結ボート搬送装置グローブボックス-24、焼結ボート搬送装置グローブボックス-25、焼結ボート搬送装置グローブボックス-31(西側)、	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—
13	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1303 ～ 焼結ペレット供給装置Aグローブボックス、研削装置Aグローブボックス、ペレット検査設備Aグローブボックス、焼結ボート搬送装置グローブボックス-39	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—
14	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1303 ～ 焼結ペレット供給装置Bグローブボックス、研削装置Bグローブボックス、ペレット検査設備Bグローブボックス、焼結ボート搬送装置グローブボックス-41	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—
15	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1304 ～ 研削粉回収装置Aグローブボックス、研削粉回収装置Bグローブボックス、ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1、ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-3、ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-5ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-8、ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-10(空気部)、ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-12(台車部)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—
16	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-1304 ～ 一次混合装置Aグローブボックス、一次混合装置Bグローブボックス、回収粉末処理・混合装置グローブボックス、回収粉末処理・詰替装置グローブボックス、回収粉末処理・詰替装置グローブボックス、調整粉末搬送装置-11グローブボックス(東側)、調整粉末搬送装置-13グローブボックス(東側)、調整粉末搬送装置-14グローブボックス(東側)、調整粉末搬送装置-16グローブボックス(東側)、焼結ボート搬送装置グローブボックス-49、回収粉末容器搬送装置グローブボックス-1、回収粉末容器搬送装置グローブボックス-3、	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称（許可）	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	D B区分	S A区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
17	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1, -2-2, -2-3, -2-4, -2-5 ～ 減圧装置ユニットX-22 ～ 選択弁ユニットX-2301	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
18	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-2301 ～ スクラップ貯蔵棚グローブボックス-4, スクラップ貯蔵棚グローブボックス-5, スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-2	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
19	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-2301 ～ 粉末一時保管装置グローブボックス-1, 粉末一時保管装置グローブボックス-2, 粉末一時保管装置グローブボックス-3, 粉末一時保管装置グローブボックス-4, 粉末一時保管装置グローブボックス-5, 粉末一時保管装置グローブボックス-6, 調整粉末搬送装置-3グローブボックス（東側）, 調整粉末搬送装置-4グローブボックス, 調整粉末搬送装置-11グローブボックス（西側）, 調整粉末搬送装置-13グローブボックス（西側）, 調整粉末搬送装置-14グローブボックス（西側）, 調整粉末搬送装置-16グローブボックス（西側）, 調整粉末搬送装置-19グローブボックス, 調整粉末搬送装置-20グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
20	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-2301 ～ 製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-4, 製品ペレット貯蔵棚グローブボックス-5, ペレット保管容器受渡装置グローブボックス-2, ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-12（リフト）	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
21	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3 ～ 減圧装置ユニットX-32 ～ 選択弁ユニットX-3301 ～ 選択弁ユニットX-3302	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
22	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3301 ～ 小規模焼結炉排ガス処理装置グローブボックス, 再生スクラップ焙焼処理装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
23	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3301 ～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-10（空気部）（北側）	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
24	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3301 ～ 選択弁ユニットX-3305, 選択弁ユニットX-3304	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
25	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3305 ～ 試料溶解・調製装置-2グローブボックス-1, 試料溶解・調製装置-2グローブボックス-2, 試料溶解・調製装置-2グローブボックス-3, 炭素・硫黄・窒素分析装置グローブボックス-1, 炭素・硫黄・窒素分析装置グローブボックス-2, X線回折測定装置グローブボックス, 金相試験装置グローブボックス-1, 金相試験装置グローブボックス-2, 塩素・フッ素分析装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
26	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3305 ～ O/M比測定装置グローブボックス, 水分分析装置グローブボックス, 分配装置グローブボックス, 受払装置グローブボックス, 搬送装置-3グローブボックス-1	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
27	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3305 ～ 試料溶解・調製装置-1グローブボックス-1, 試料溶解・調製装置-1グローブボックス-2, 蛍光X線分析装置グローブボックス, フルトニウム含有率分析装置グローブボックス, 受払・分配装置グローブボックス, 搬送装置-1 グローブボックス-1	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	

【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	D B区分	S A区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
28	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3305 ～ スパイク試料調製装置-1グローブボックス-1, スパイク試料調製装置-1グローブボックス-2, スパイク試料調製装置-2グローブボックス-1, スパイク試料調製装置-2グローブボックス-2, スパイク試料調製装置-3グローブボックス-1, スパイク試料調製装置-3グローブボックス-2, イオン交換装置グローブボックス-1, イオン交換装置グローブボックス-2, スパイキング装置グローブボックス-1, スパイキング装置グローブボックス-2, 質量分析装置B グローブボックス, 質量分析装置C グローブボックス, 質量分析装置D グローブボックス, 質量分析装置E グローブボックス, 搬送装置-2 グローブボックス-3, α線測定装置グローブボックス, γ線測定装置グローブボックス, 試料塗布装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
29	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3305 ～ 放射能濃度分析グローブボックス-2, ろ過・第1活性炭処理グローブボックス, 第2活性炭・吸着処理グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
30	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3304 ～ 蒸発性不純物測定装置A グローブボックス, ICP-質量分析装置グローブボックス, 水素分析装置グローブボックス, ペレット溶解性試験装置グローブボックス-1, ペレット溶解性試験装置グローブボックス-2, プルトニウムスポット検査装置グローブボックス, EPMA分析装置グローブボックス, 液浸密度測定装置グローブボックス, 熱分析装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
31	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3304 ～ 乾燥ポート供給装置Aグローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
32	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3304 ～ ペレット立会検査装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
33	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3304 ～ ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-6, ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-8, ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-10, ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-12, ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-14 (B2F)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
34	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3304 ～ 乾燥ポート供給装置Bグローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
35	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3304 ～ 燃料棒解体装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
36	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3302 ～ 排ガス処理装置Aグローブボックス(下部), 排ガス処理装置Aグローブボックス(上部)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
37	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3302 ～ 排ガス処理装置Bグローブボックス(下部), 排ガス処理装置Bグローブボックス(上部)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
38	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3302 ～ 排ガス処理装置Cグローブボックス(下部), 排ガス処理装置Cグローブボックス(上部)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
39	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-3302 ～ 焼結ポート搬送装置グローブボックス-36, 焼結ポート搬送装置グローブボックス-38, 焼結ポート搬送装置グローブボックス-40, 焼結ポート搬送装置グローブボックス-42	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
40	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4 ～ 減圧装置ユニットX-42 ～ 選択弁ユニットX-4301	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
41	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-4301 ～ (選択弁ユニットX-4302～選択弁ユニットX-4303), 選択弁ユニットX-4307	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
42	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-4307 ～ 固体廃棄物選別装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	

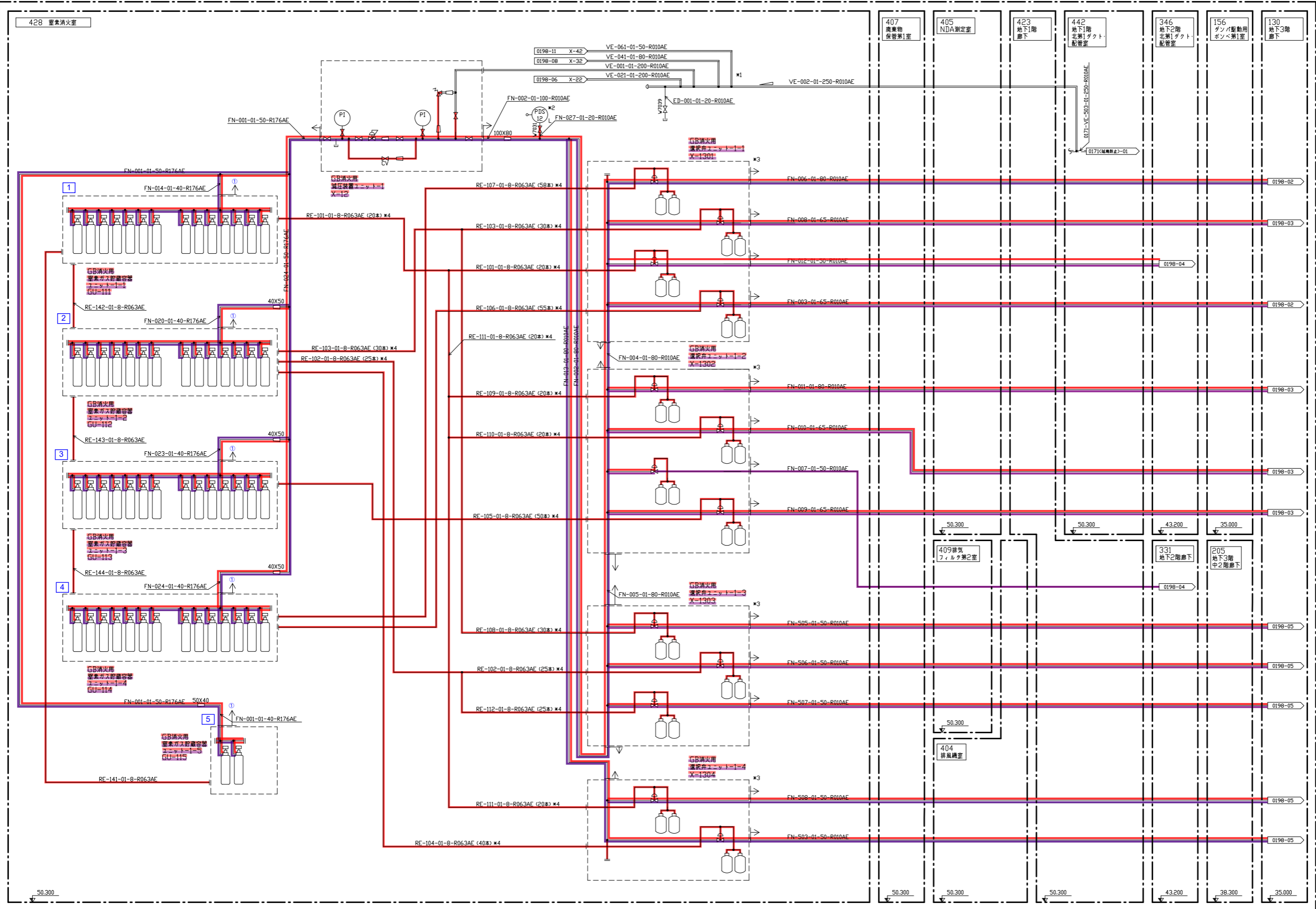


【主配管等の名称整理】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称（許可）	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	D B区分	S A区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
43	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-4302 ～ 溶接試料前処理装置グローブボックス、除染装置Aグローブボックス、乾燥ボート搬送装置グローブボックス-11、乾燥ボート搬送装置グローブボックス-14	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—
44	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-4303 ～ 部材供給装置Aグローブボックス、部材供給装置Bグローブボックス、除染装置Bグローブボックス、収支試料受払装置グローブボックス、収支試料調製装置グローブボックス	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—
45	その他の加工施設	—	非常用設備	火災防護設備	消火設備	—	—	グローブボックス消火装置	選択弁ユニットX-4301 ～ ベレット保管容器搬送装置グローブボックス-14 (B3F)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—

**【凡例】**  
 赤線：安全上重要な施設の範囲  
 紫線：主となる経路  
 番号：機器等との紐付け番号(①, ②, ……)  
 ○番号：主配管との紐付け番号( , , ……)

注記  
 \*1: 各安全弁出口管の250A母管への合流角度は45°以内とする。  
 \*2: 放出完了信号用  
 \*3: 選択弁後流に放出信号用圧力スイッチあり。  
 \*4: 起動用ガス配管等の専圧配管  
 (\*\*本)は貯蔵容器開放数を示す。

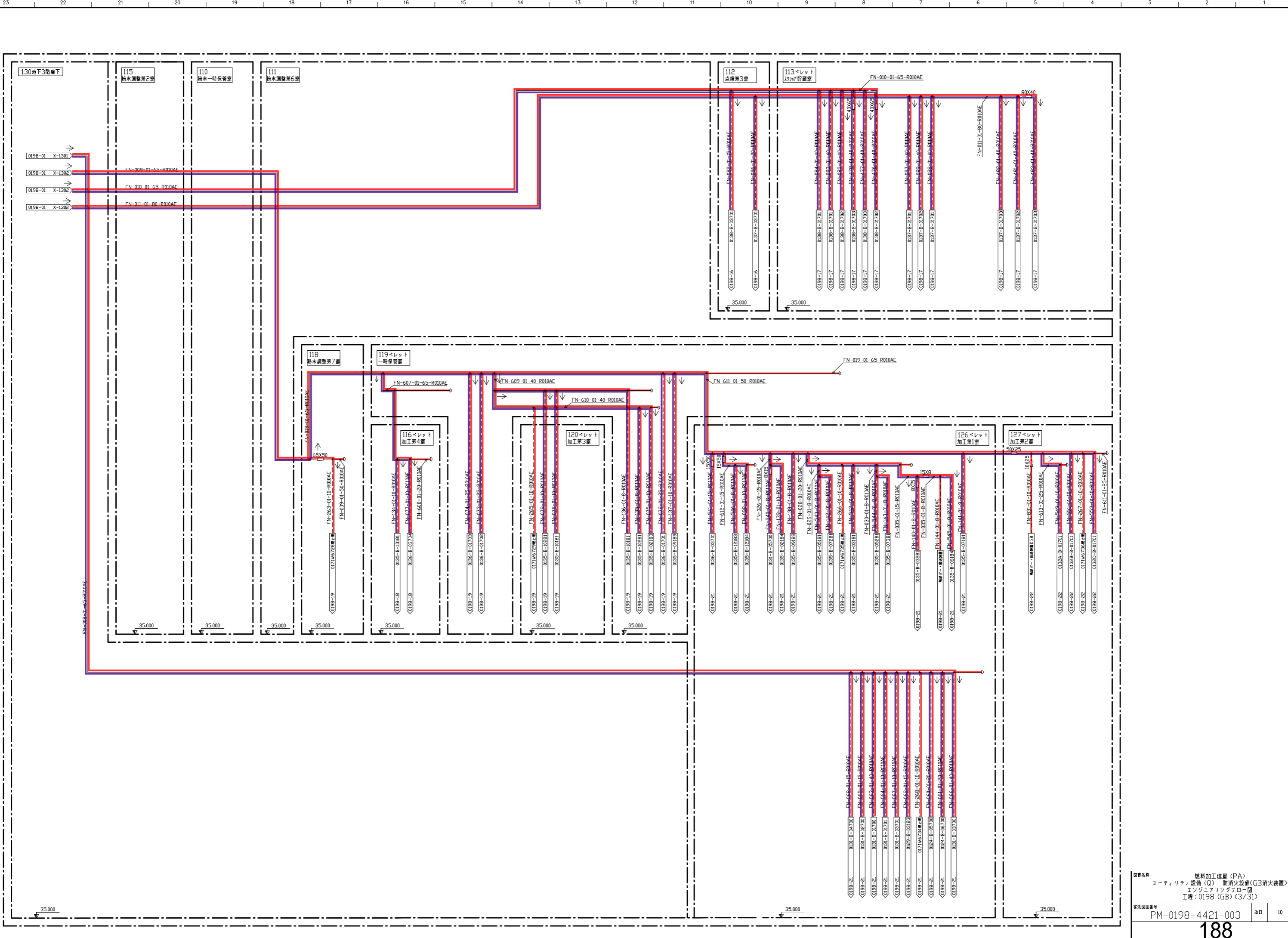


図名: 燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB) 消火装置 エンジニアリングフロー図 工程: 0198 (GB) (1/31)  
 図番: PM-0198-4421-001 改訂: 15

A : 選択弁ユニットX-1301出口分岐部1

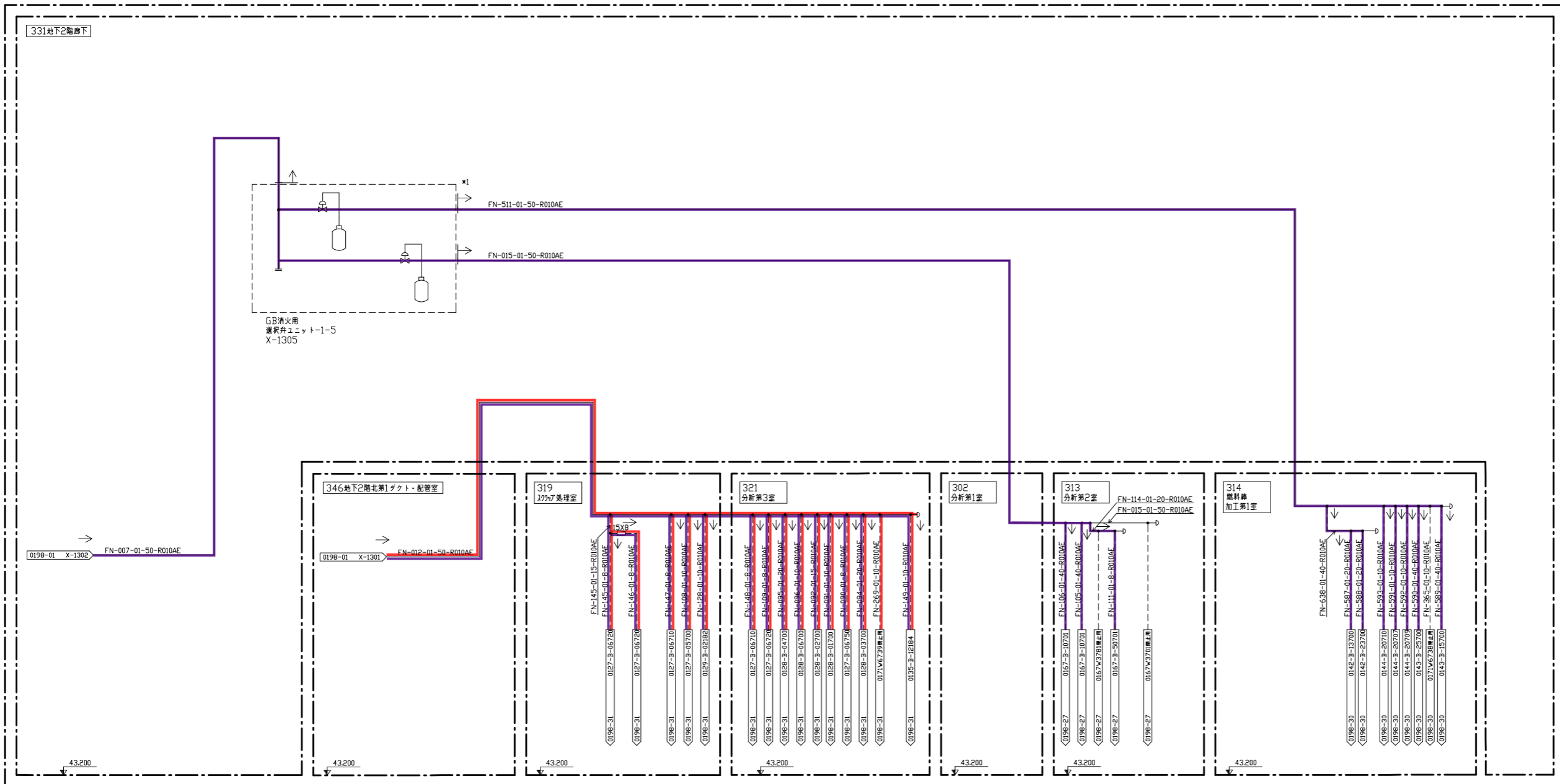
B : 選択弁ユニットX-1301出口分岐部2

図名	燃料加工棟屋 (PA)		
ユーティリティ設備 (Q)	防火設備 (GB) 消防装置		
エンジニアリングフロー図	工程: 0198 (GB) (2/31)		
図面番号	PM-0198-4421-002	改訂	12



図書名称 燃料加工建屋 (PA)  
 ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB) 消防装置  
 エンジニアリングフロア  
 工程: 0198 (GB) (3/31)

図書番号 PM-0198-4421-003 改訂 10

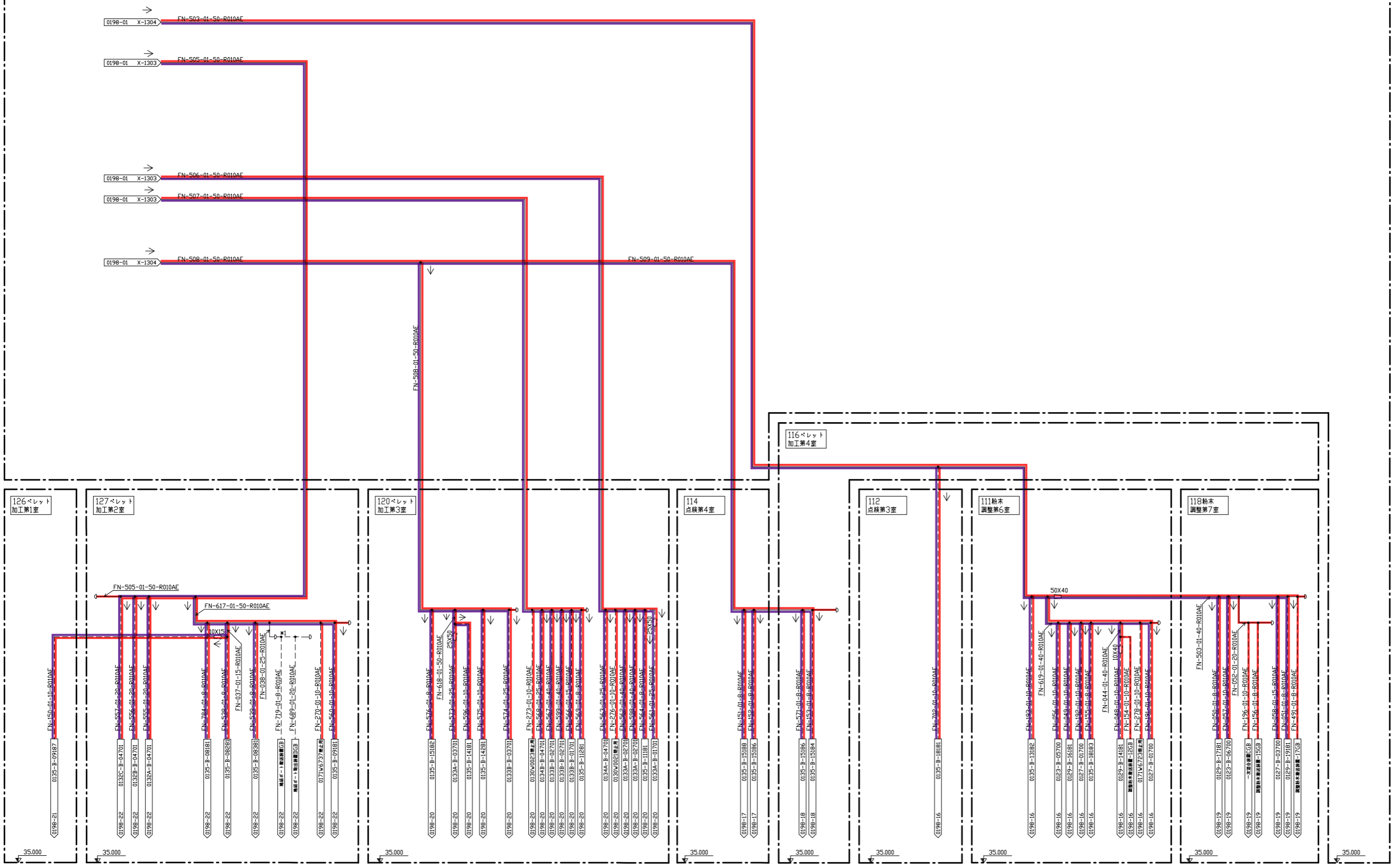


注記  
\*1: 選択弁後流に放出信号用圧力スイッチあり。

図名	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB) 消防装置 エンジニアリングフロー図 工程: 0198 (GB) (4/31)		
客先図番	PM-0198-4421-004	改訂	12
<b>189</b>			

130地下3階廊下

注記  
\*1: 将来設置

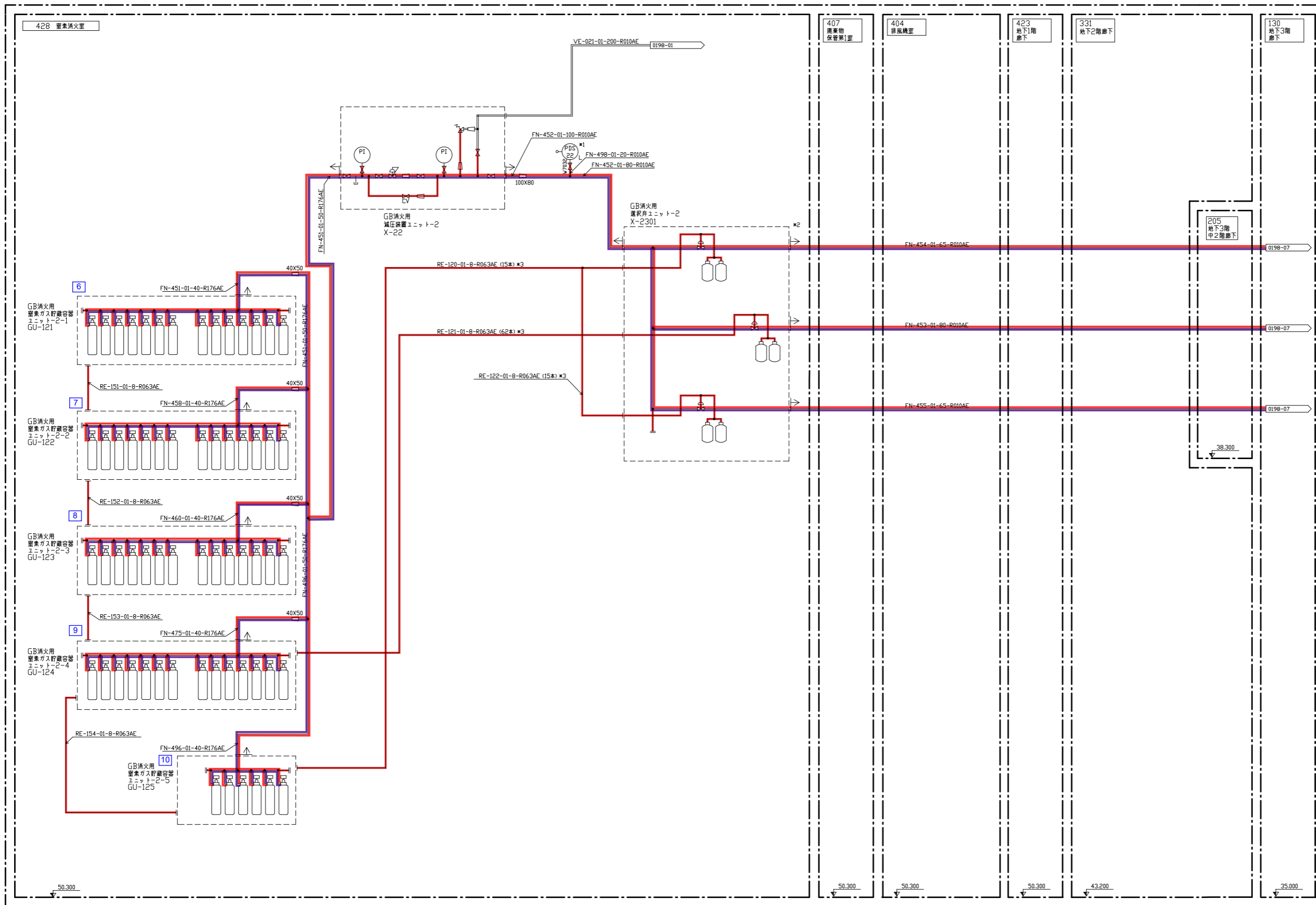


図名 燃料加工種屋 (PA) エネルギー設備 (Q) 防火設備 (GB) 消防装置  
 エンジニアリングフロー図  
 工程: 0198 (GB) (5/31)

※先図参照  
 PM-0198-4421-005 改訂 13

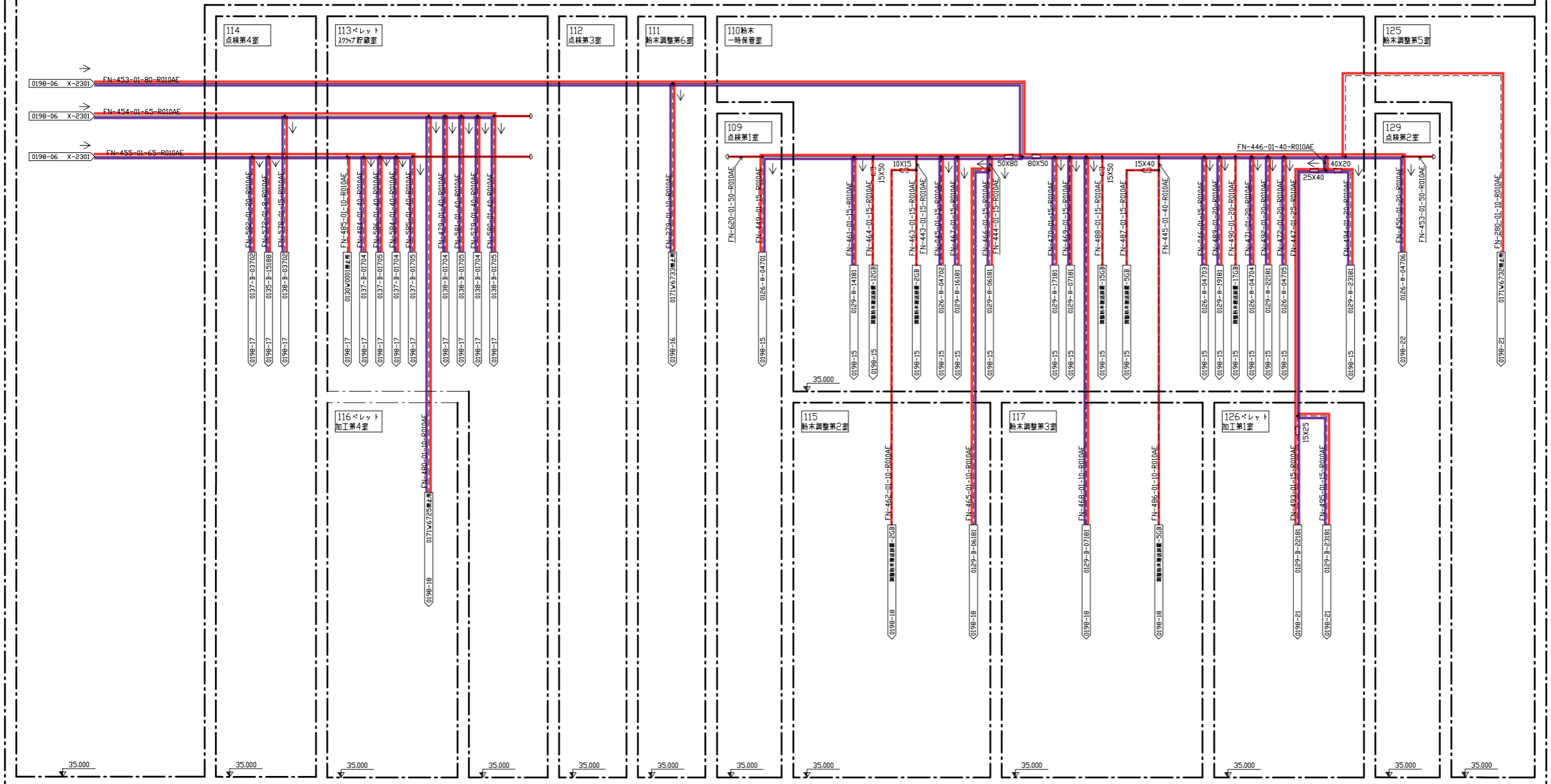
注 記

- \*1: 放出完了信号用
- \*2: 選択弁後流に放出信号用圧力スイッチあり。
- \*3: 起動用ガス配管等の導圧配管  
(\*\*本)は貯蔵容器開放本数を示す。



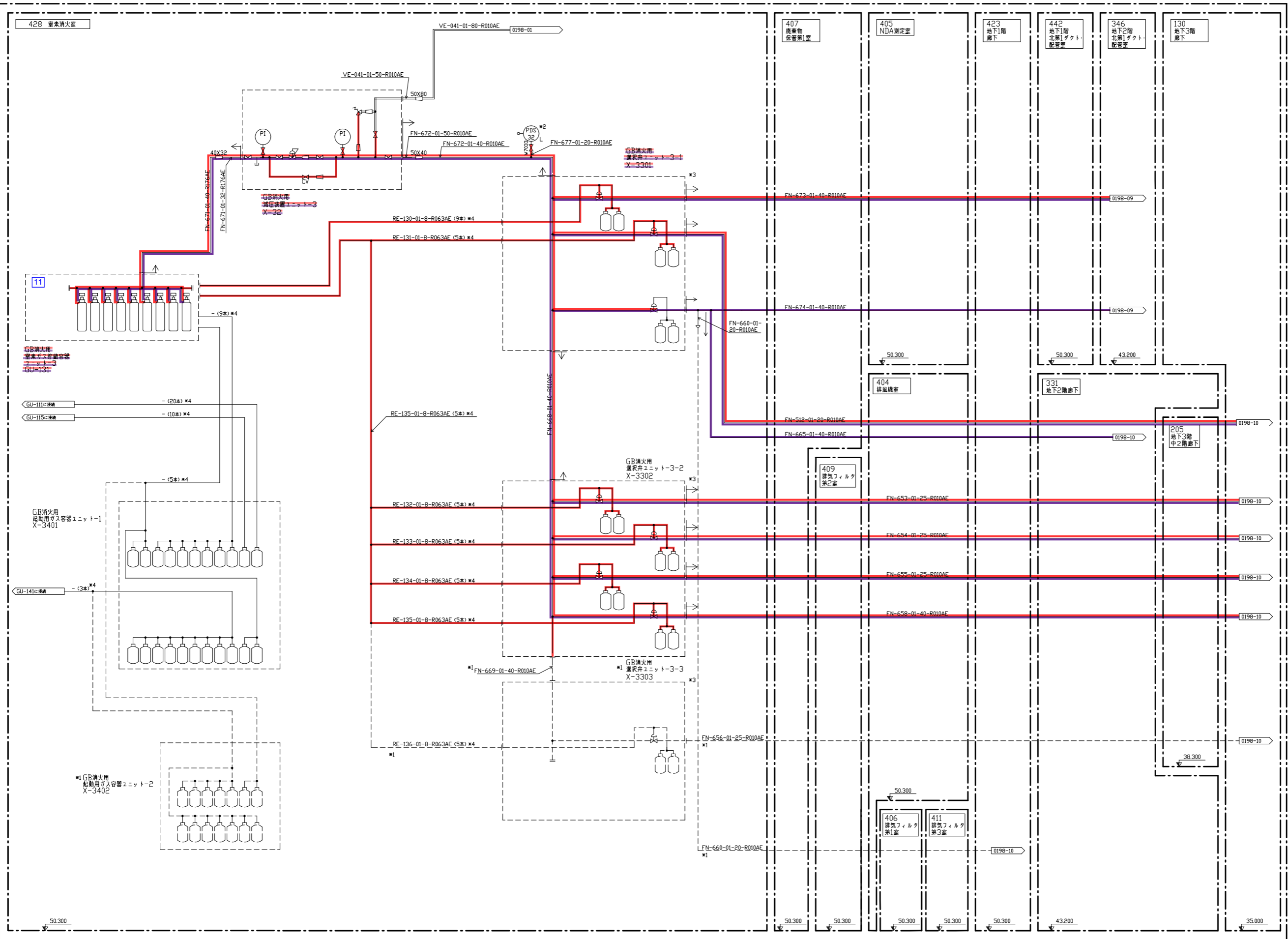
図名	燃料加工棟屋 (PA) 蓄集ガス貯蔵装置 (GB消火装置)		
図号	PM-0198-4421-006		
改訂	13		

130地下3階廊下



図名	燃料加工種番 (PA)		
種番	エーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB) 消防装置		
種番	エンジニアリングフロー図		
種番	工程: 0198 (GB) (7/31)		
種番	PM-0198-4421-007	改訂	10



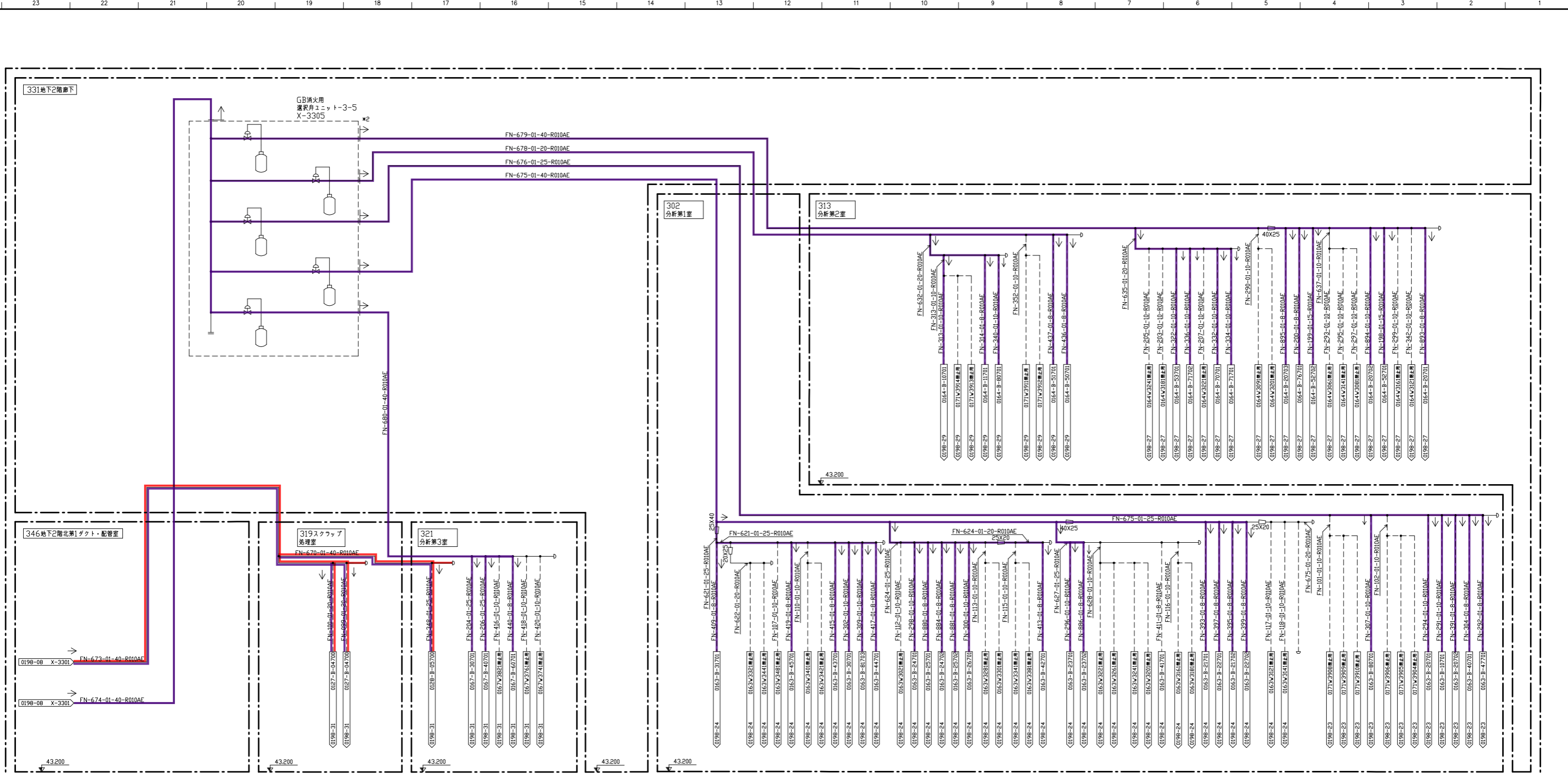


- 注記
- \*1: 将来設置
  - \*2: 放完了係専用
  - \*3: 選定ガス貯蔵後に放出信号用圧カスイッチあり。
  - \*4: 起動用ガス配管等の専任配管  
(\*\*本)は貯蔵容器開放本数を示す。

図名: 燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB消火装置) エンジニアリングフロア 工程: 0198 (GB) (8/31)

※先頭図番号

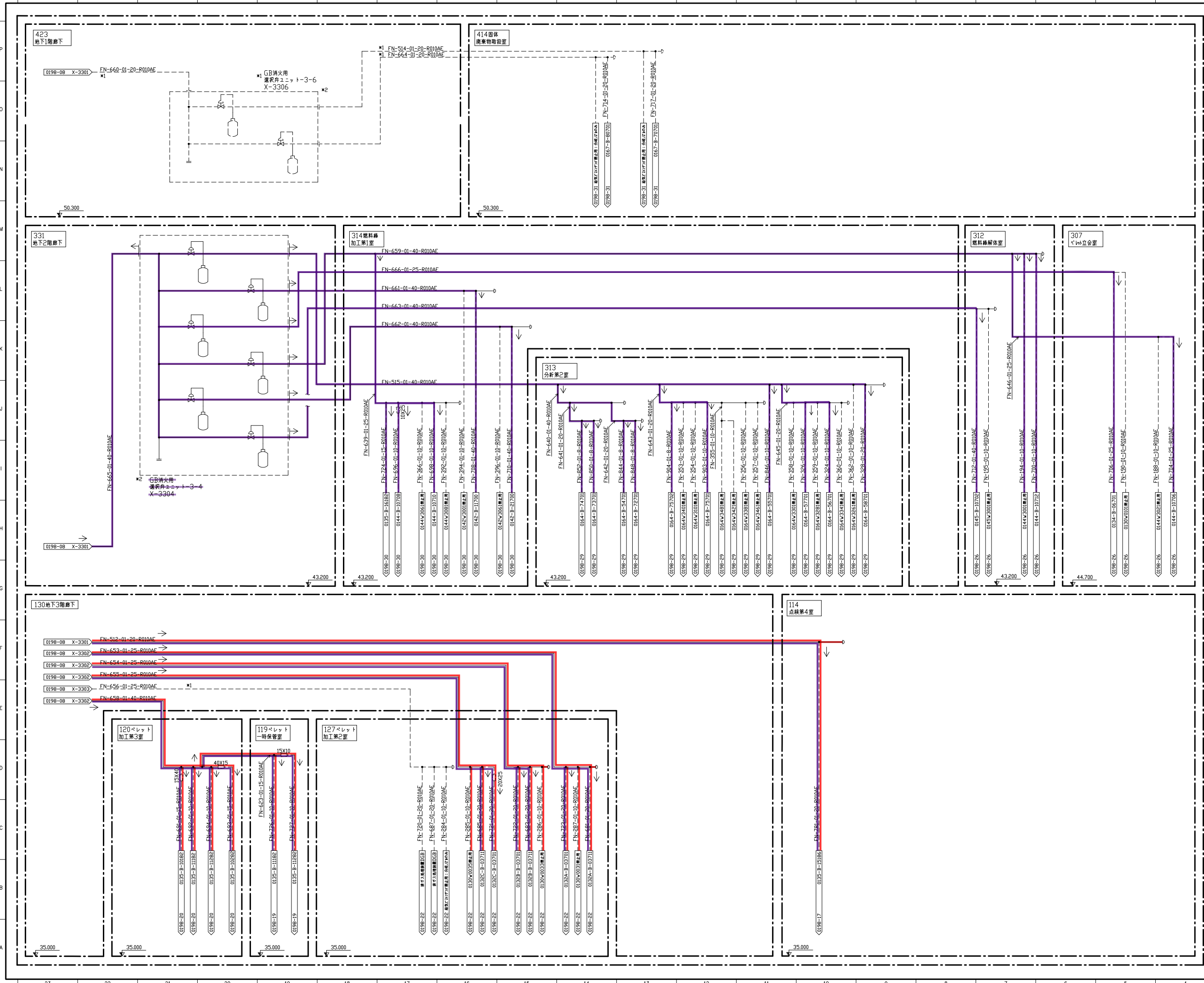
PM-0198-4421-008	改訂	15
------------------	----	----



注記

- ※1: 将来設置
- ※2: 選択弁後流に放出信号用圧力スイッチあり。

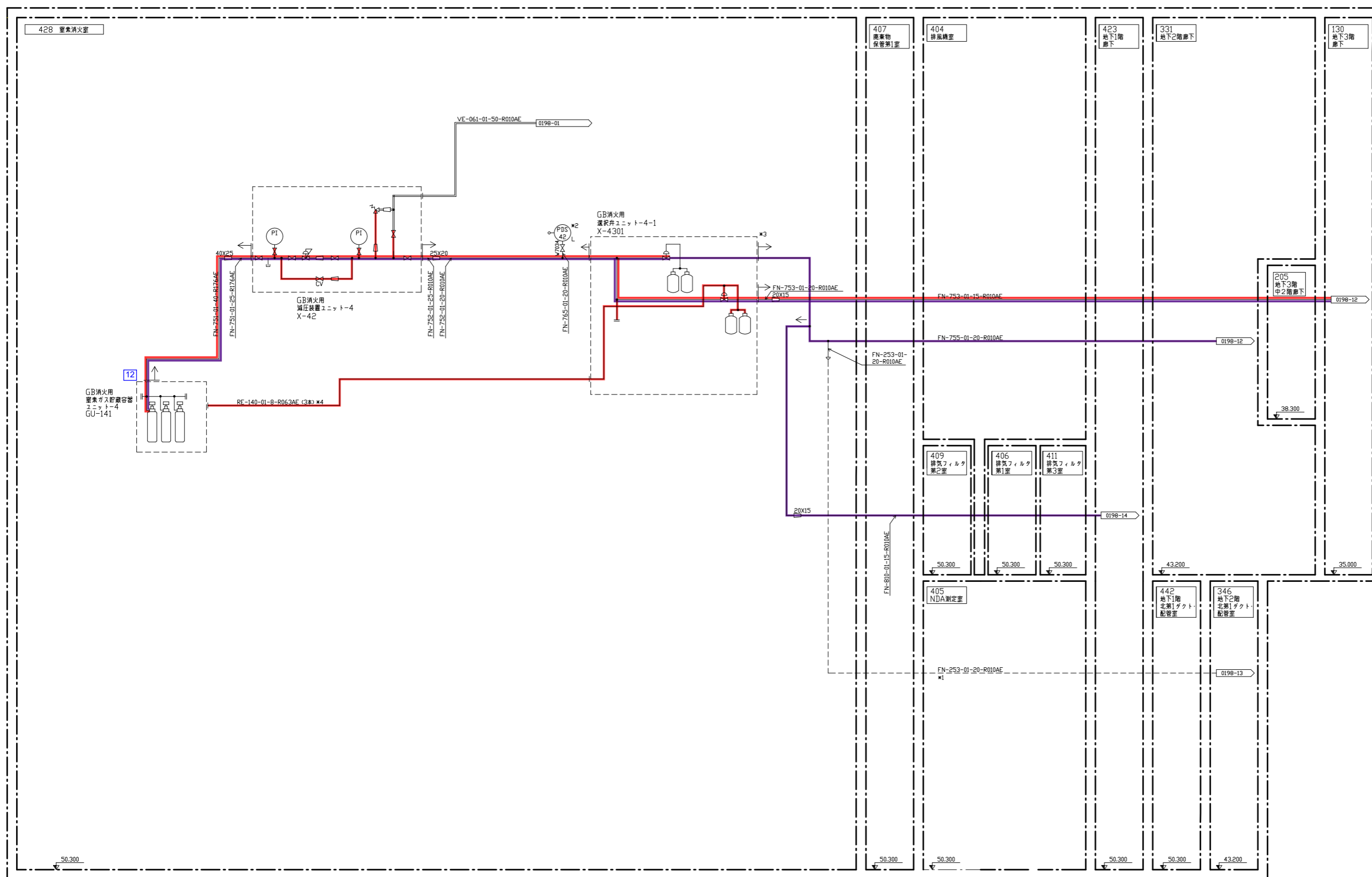
図名	燃料加工建屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB) 消防装置		
※先頭図番	PM-0198-4421-009	改訂	12



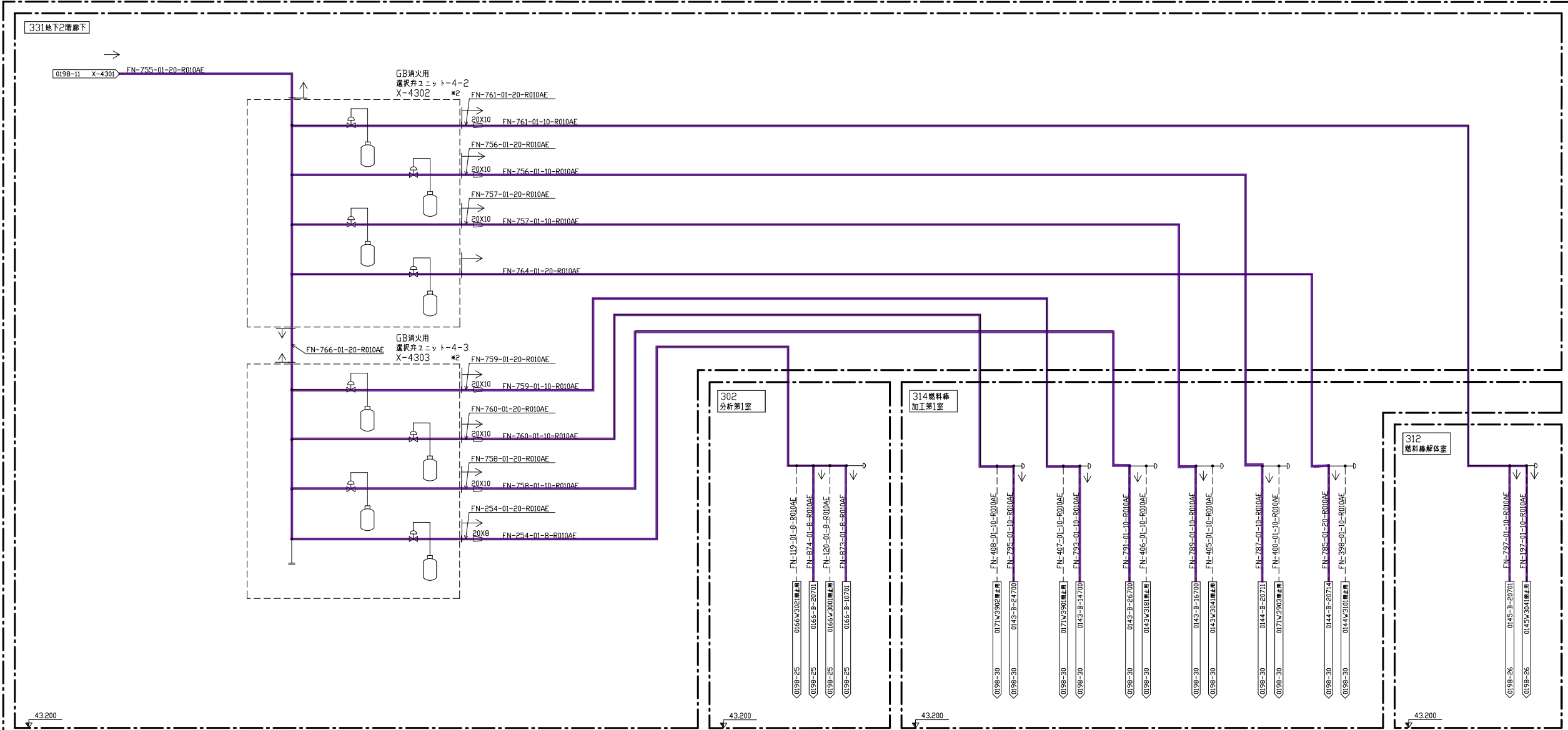
注記  
 \*1 将来設置  
 \*2 選択弁後流に放出信号用圧力スイッチあり。

図名 燃料加工棟屋 (PA)  
 エーティリティ設備 (Q) 消防設備 (GB) 消防装置  
 エンジニアリングフロー図  
 工程: 0198 (GB) (10/31)  
 図面番号 PM-0198-4421-010 表訂 13

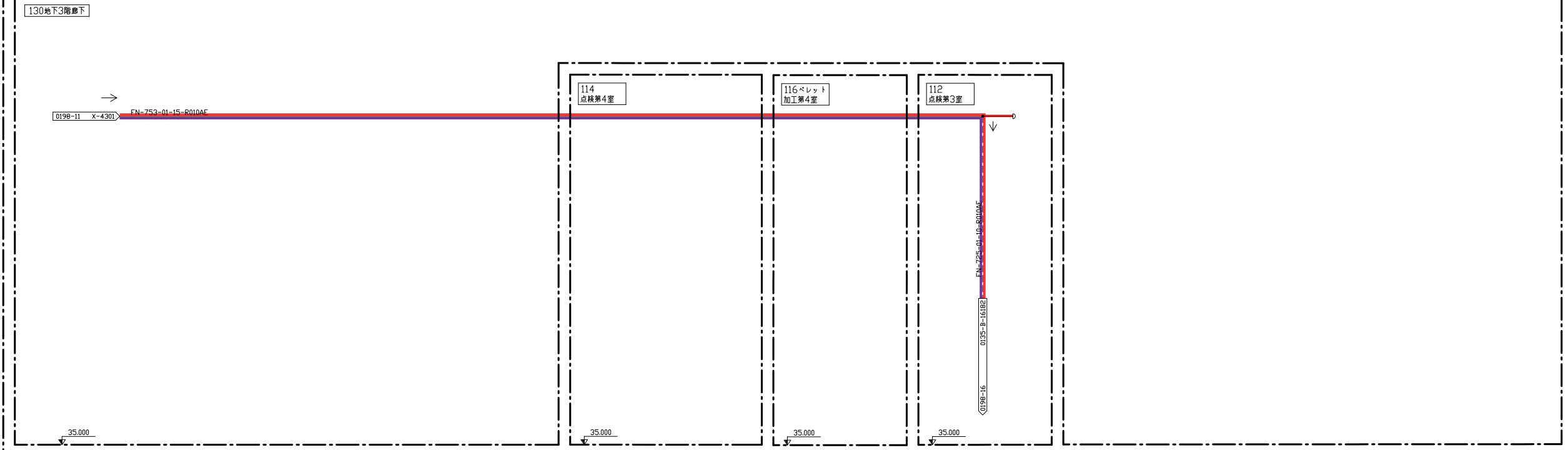
- 注記
- \*1: 将来設置
  - \*2: 放出完了信号用
  - \*3: 選択弁後流に放出信号用圧カスイッチあり。
  - \*4: 起動用ガス配管等の専任配管  
(\*\*本)は貯蔵容量開放本数を示す。



図名	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB消火装置) エンジニアリングフロー図 工程: 0198 (GB) (11/31)		
図番	PM-0198-4421-011	改訂	14
<b>196</b>			



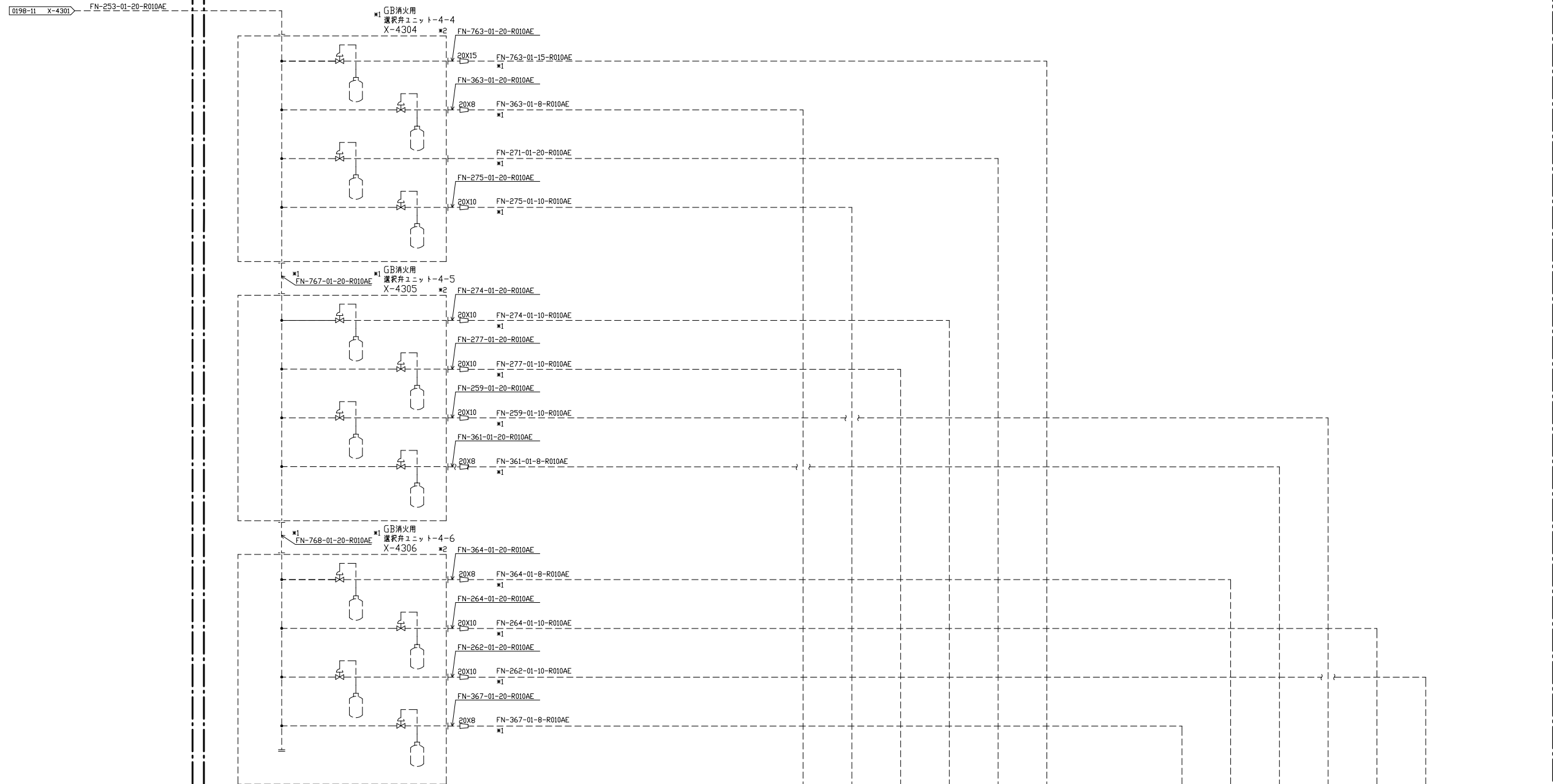
注記  
 ※1 将来設置  
 ※2: 選択弁後流に放出信号用圧力スイッチあり。



図名	燃料加工棟屋 (PA)
内容	ユーティリティ設備 (Q) 消防火設備 (GB消火装置) エンジニアリングタワー 工程: 0198 (GB) (12/31)
図番	PM-0198-4421-012
改訂	13

346  
地下2階  
北第1ダクト配管室

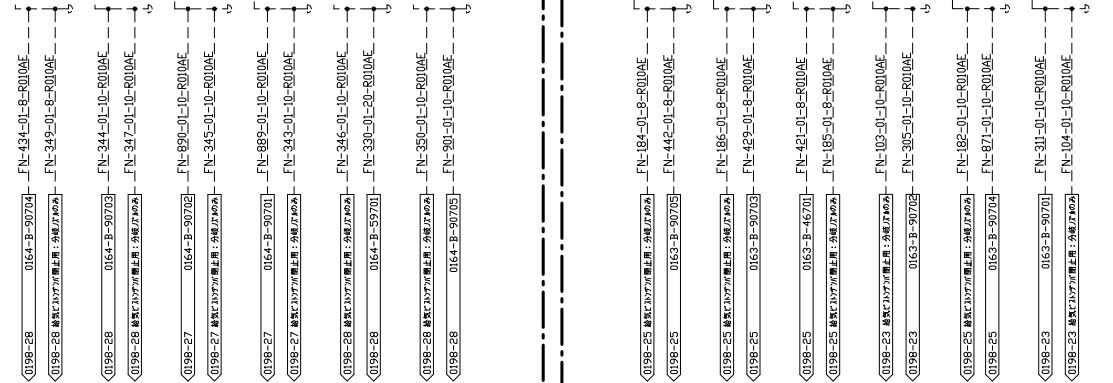
331地下2階廊下



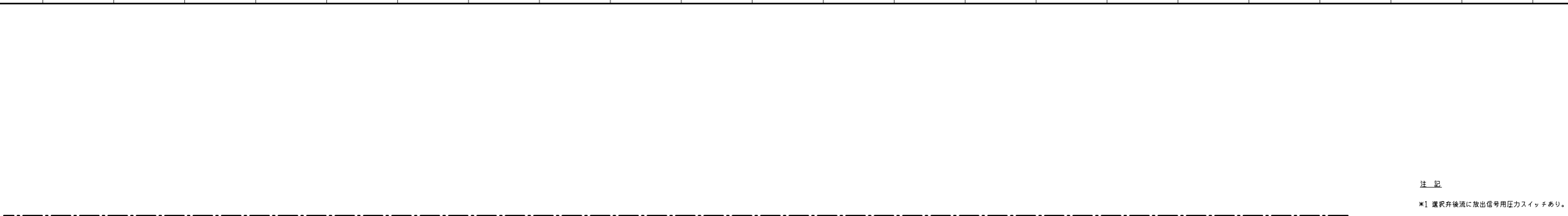
注 記  
 ※1 将来設置  
 ※2 選択弁後流に放出信号用圧力スイッチあり。

302  
分析第1室

313  
分析第2室

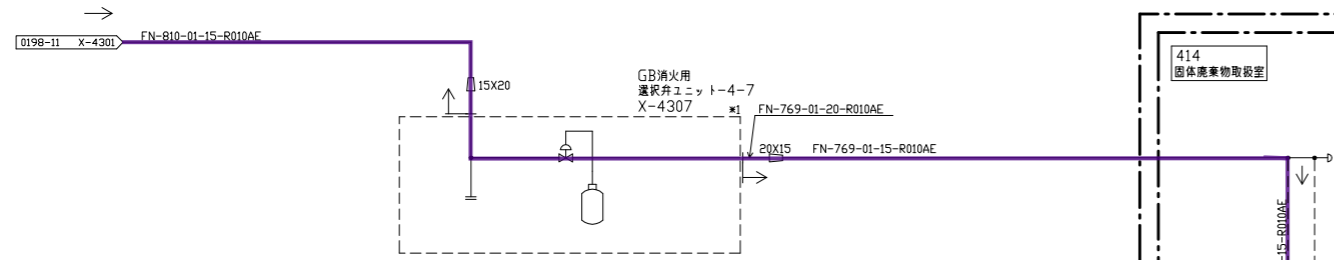


図番名称 燃料加工建屋 (PA)  
 エネルギーリテリ設備 (Q) 消防火設備 (GB消火装置)  
 エン지니어リングフロア内  
 工程: 0198 (GB) (13/31)  
 客先図番番号 PM-0198-4421-013 改訂 11

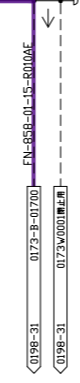


注 記  
\*1 選択弁後流に放出専用圧カスイッチあり。

423  
地下1階廊下



414  
固体廃棄物貯蔵室

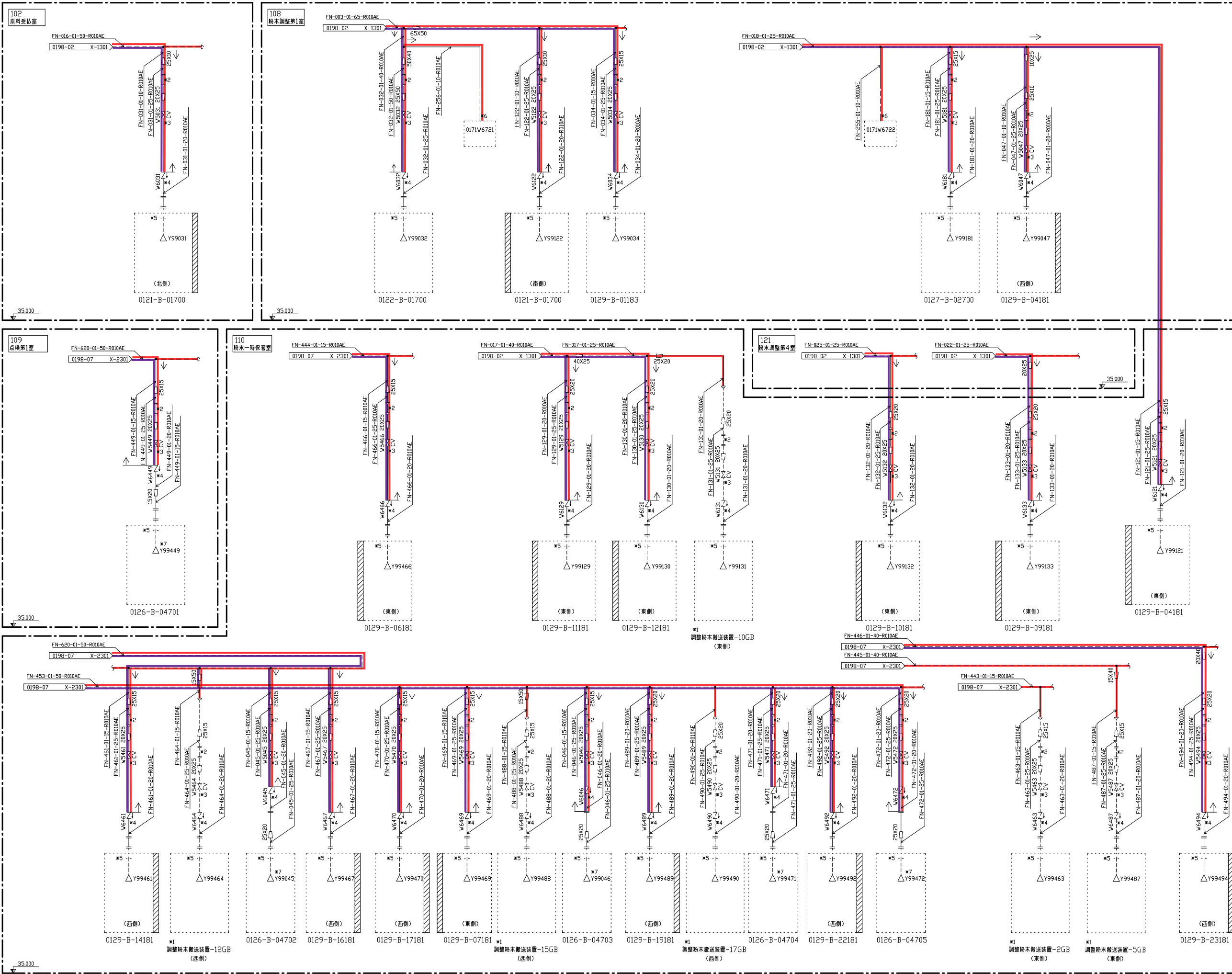


50.300

50.300

図書名称 燃料加工棟屋 (PA)  
ユーティリティ設備 (Q) 消防火設備 (GB消火装置)  
エンジニアリングタワー屋  
工程: 0198 (GB) (14/31)

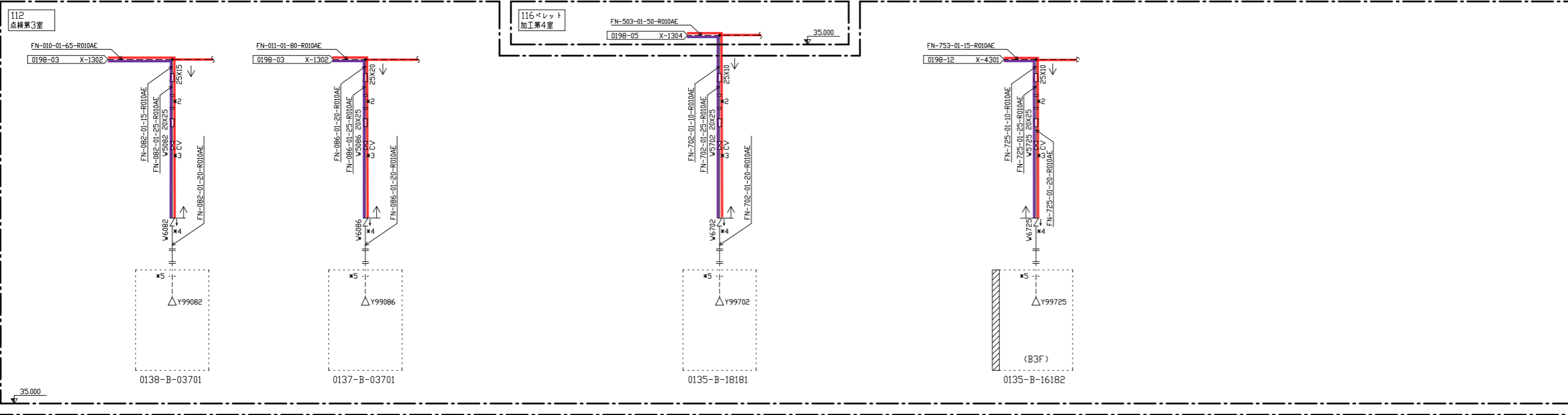
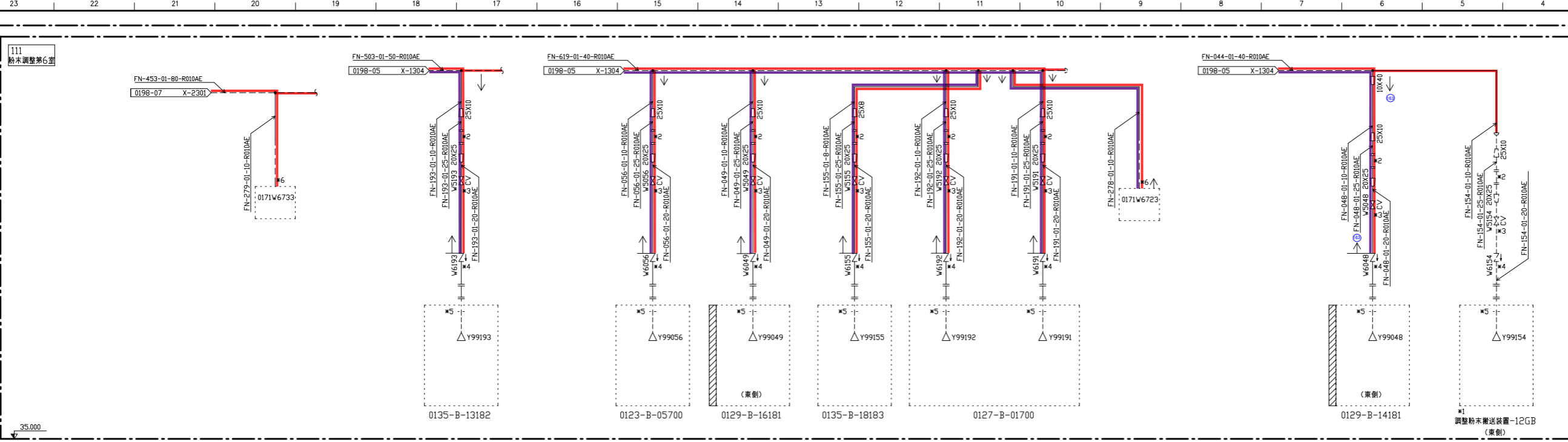
客先図番番号 PM-0198-4421-014 改訂 8



- 注記
- \*1 将来設置
  - \*2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
  - \*3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ(ある場合は)は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
  - \*4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ(ある場合は)は、可能な限りGB近傍に設置すること。
  - \*5 GB給気口の近傍に設置する。
  - \*6 ピストンダンパ用専任配管。  
 実線：SUS管(分岐部～PD近傍の末端部まで)  
 破線：銅管(PD近傍の末端部～PD取り合い部まで)
  - \*7 20Aの噴射ヘッドを設置する。

図名	燃料加工建屋(PA)
内容	ユーティリティ設備(Q) 防火設備(GB消火装置) エンジニアリングフロー図
工程	0198-GB(15/31)
図号	PM-0198-4421-015
表訂	13

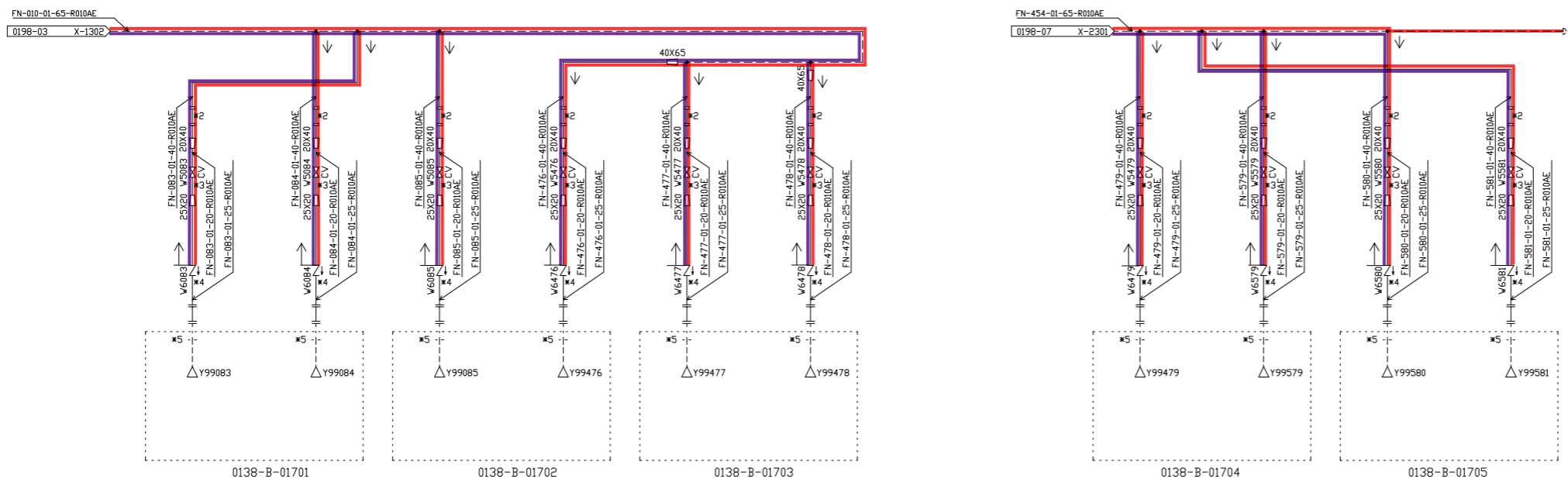
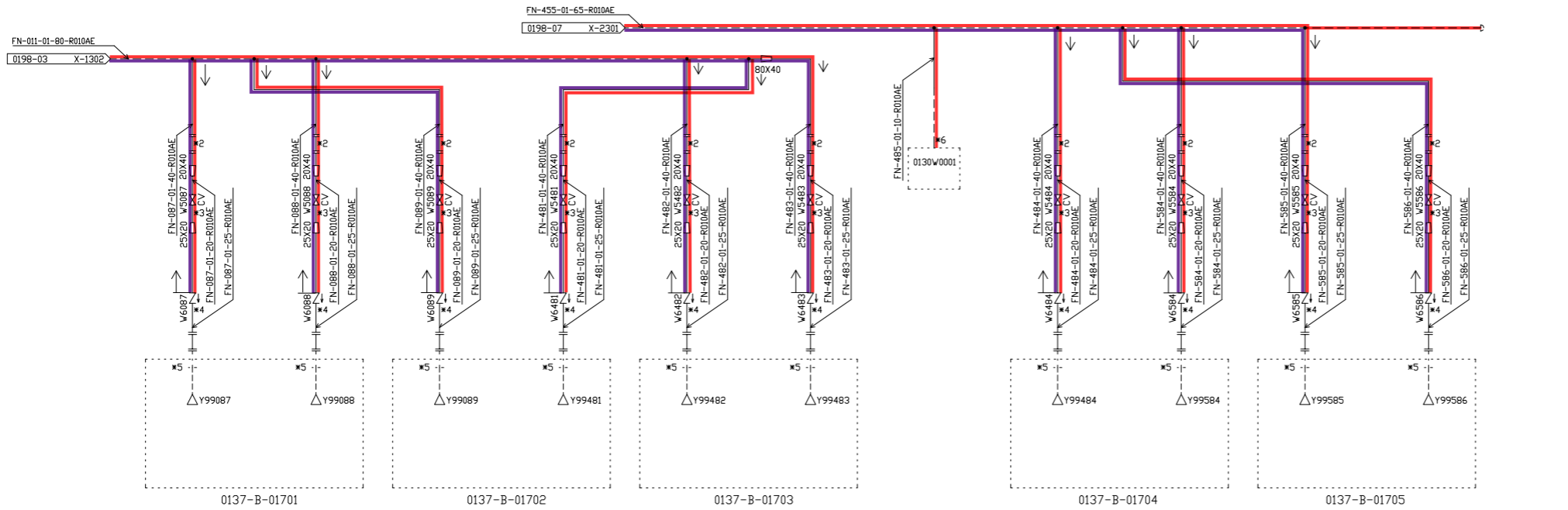




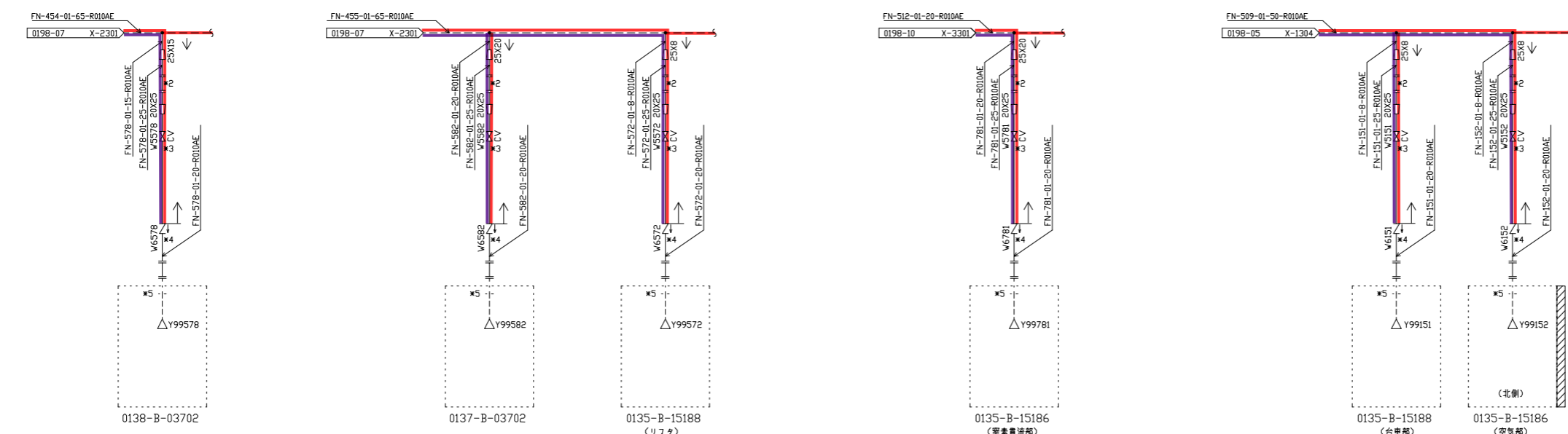
- 注記
- \*1 将来設置
  - \*2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10φ以上、出口側に5φ以上の直管部を設けること。
  - \*3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
  - \*4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
  - \*5 GB給気口の近傍に設置する。
  - \*6 ピストンガンバイ用専任配管。  
実線：SUS管（分岐部～PD近傍の末端部まで）  
破線：鋼管（PD近傍の末端部～PD取り合い部まで）

図書名称	燃料加工種屋 (PA)		
	ユーティリティ設備 (Q) 防消火設備 (GB消火装置)		
	エンジニアリングフロー図		
	工程: 0198 (GB) (16/31)		
※先頭圖書番号	PM-0198-4421-016	改訂	10

113ベレット  
メタン貯蔵室

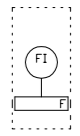


114  
点検第4室



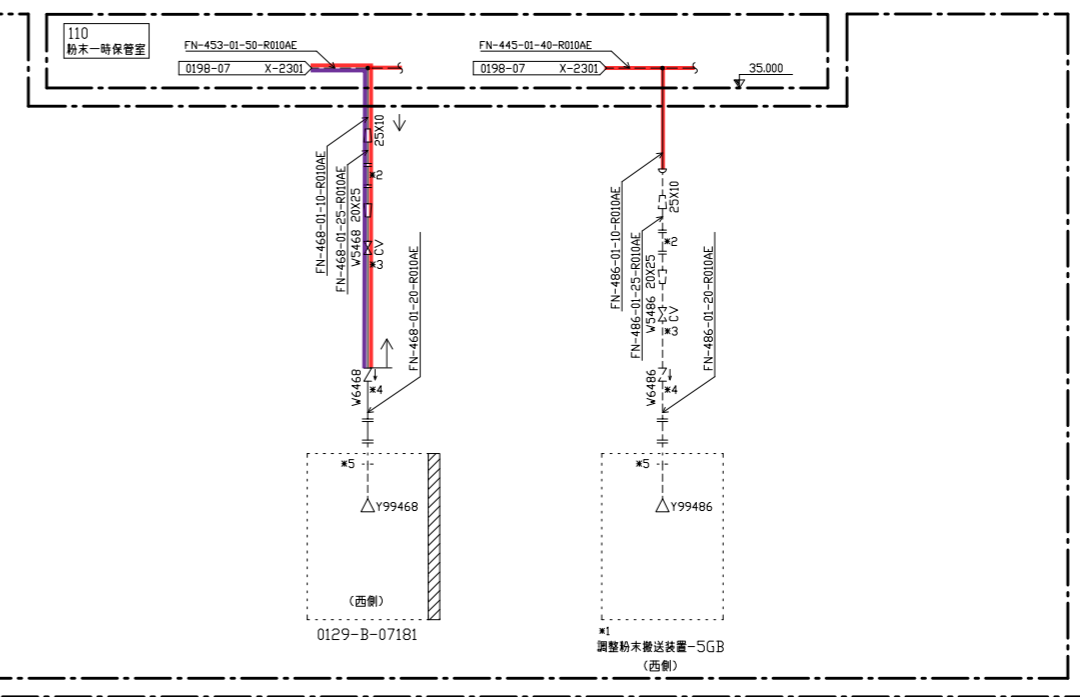
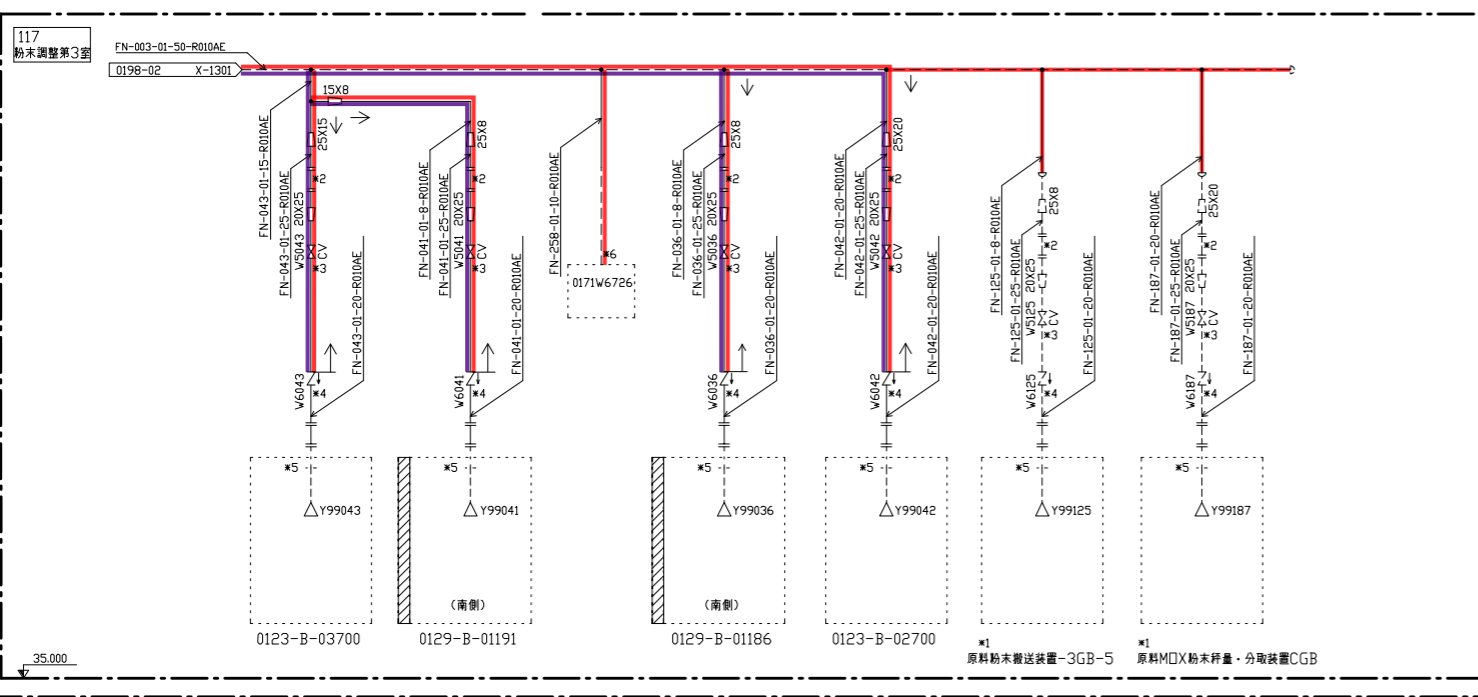
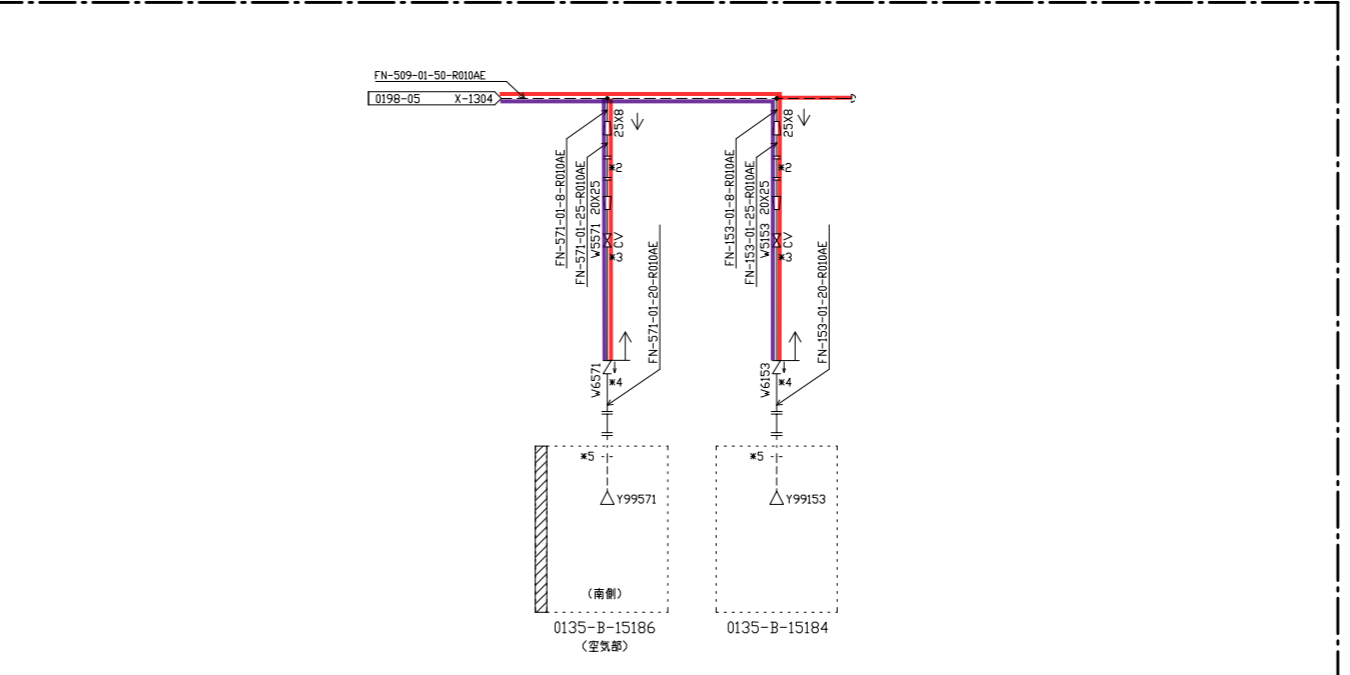
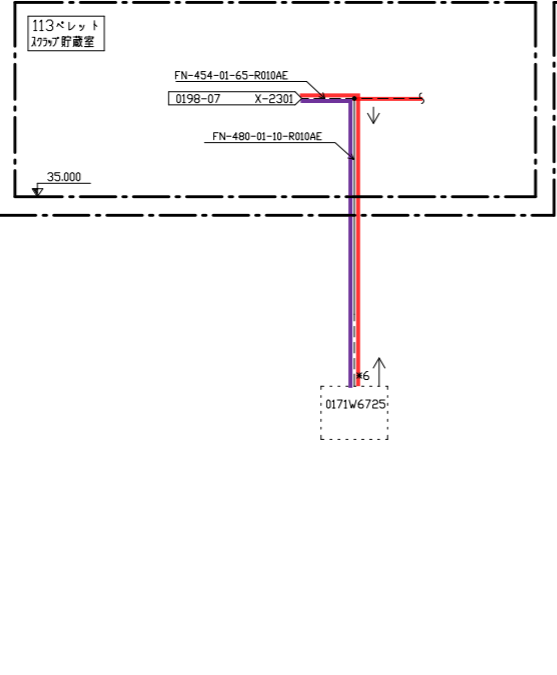
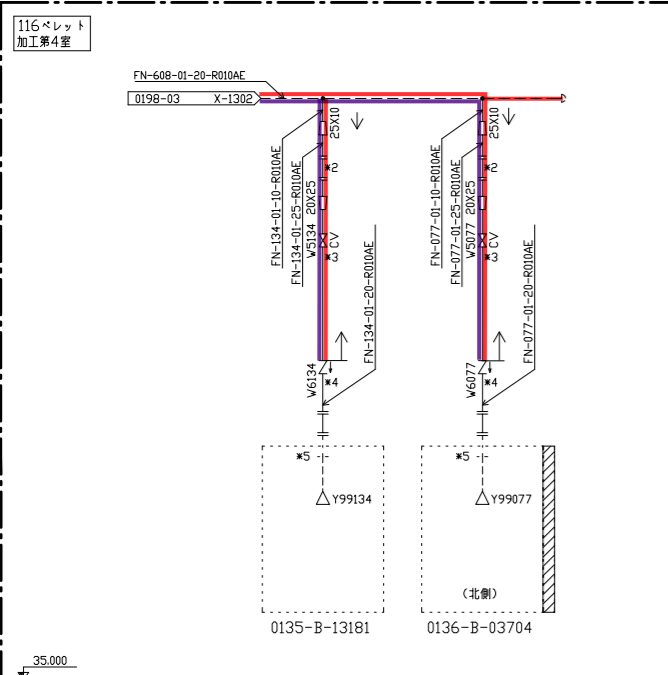
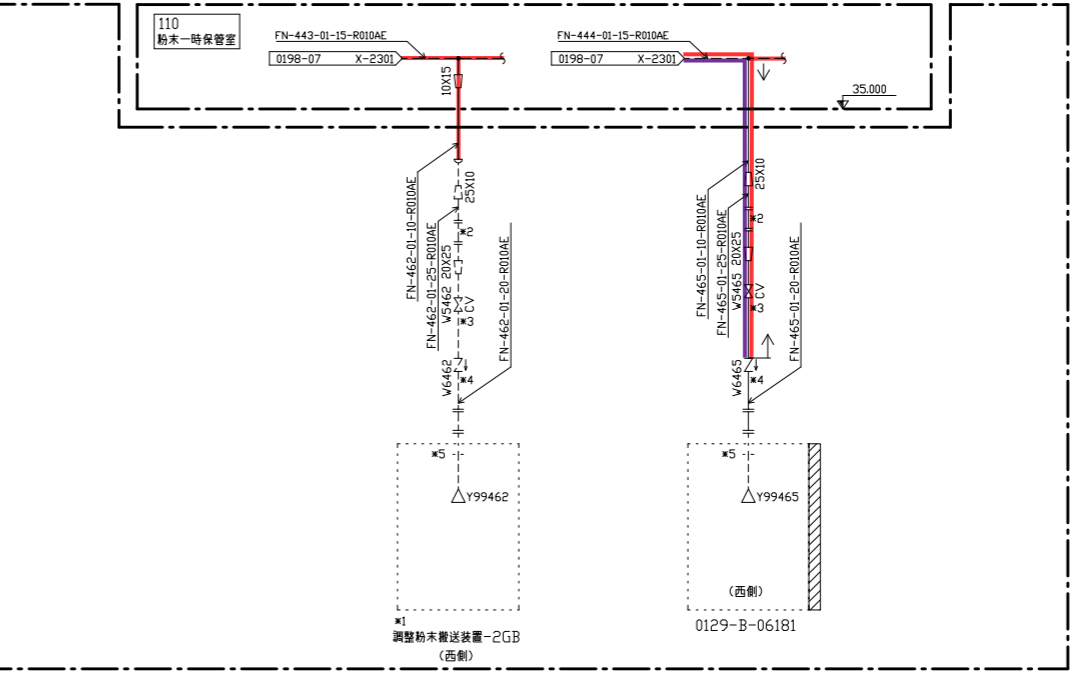
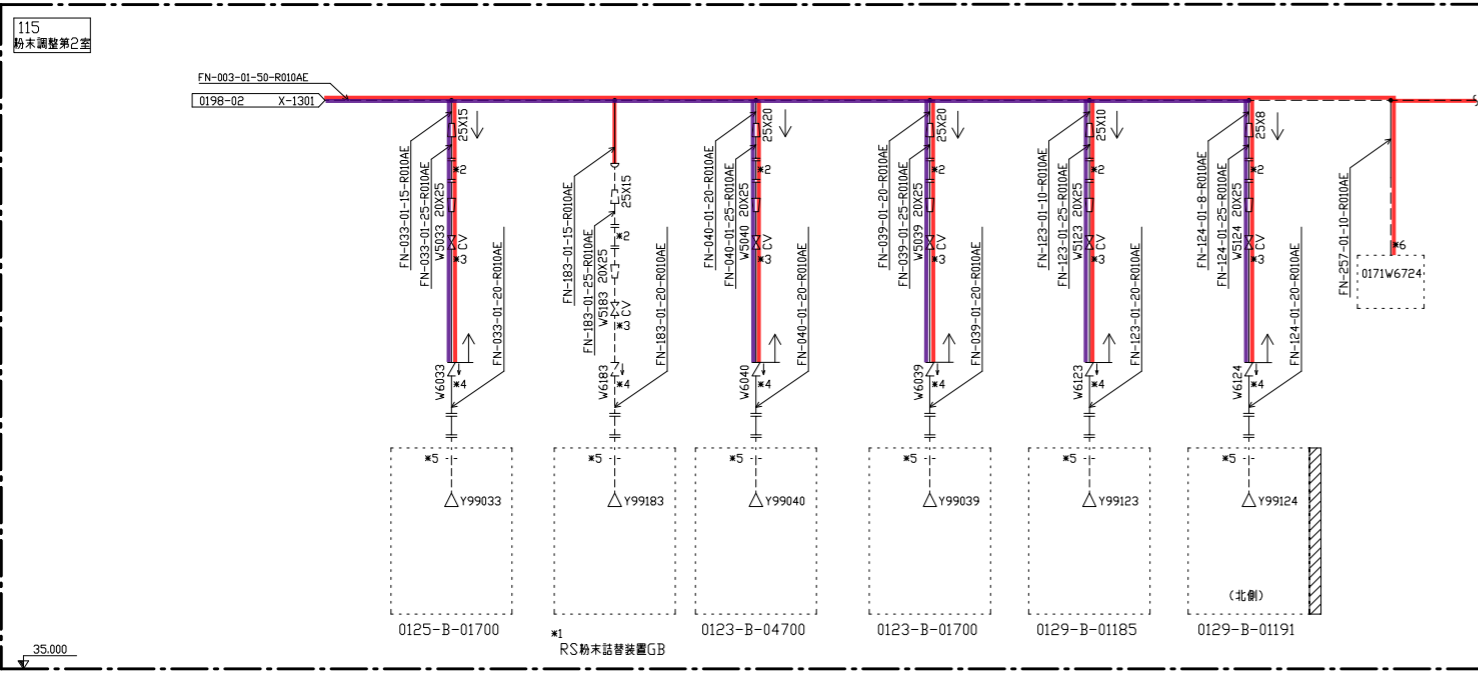
注記

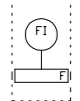
- \*1 将来設置
- \*2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10φ以上、出口側に5φ以上の直管部を設けること。
- \*3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ(ある場合)は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
- \*4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ(ある場合)は、可能な限りGB近傍に設置すること。
- \*5 GB給気口の近傍に設置する。
- \*6 ビストンダンパ用専任配管。  
実線: SUS管(分岐部~PD近傍の末端部まで)  
破線: 銅管(PD近傍の末端部~PD取り合い部まで)



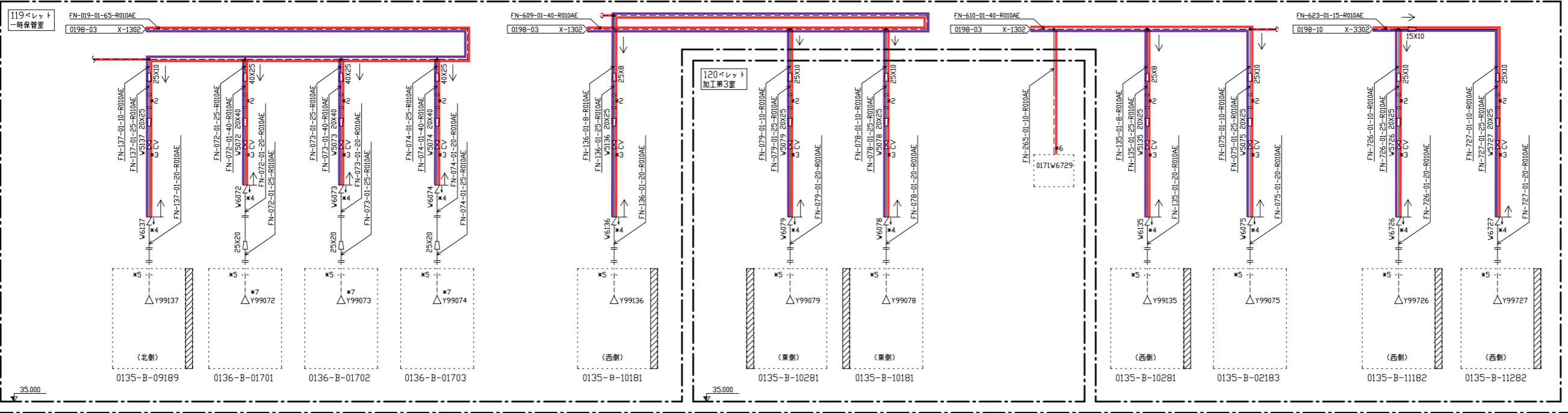
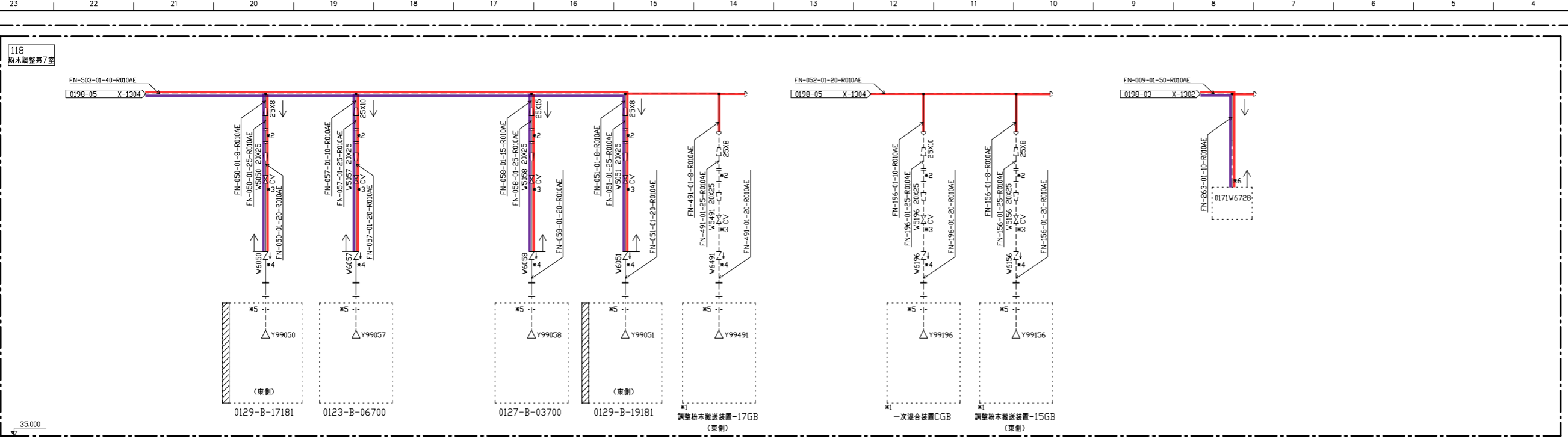
図書名 燃料加工建屋 (PA)  
ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB) 消防装置  
エンジニアリングフロー図  
工程: 0198 (GB) (17/31)

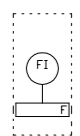
図号 PM-0198-4421-017 改訂 10



- 注記
- \*1 将来設置
  - \*2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は10φ以上、出口側に5φ以上の直管部を設けること。短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の
- 
- \*3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
  - \*4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
  - \*5 GB給気口の近傍に設置する。
  - \*6 ビストンポンプ用導圧配管。  
実線：SUS管（分岐部へP/D近傍の末端部まで）  
破線：銅管（P/D近傍の末端部へP/D取り合い部まで）

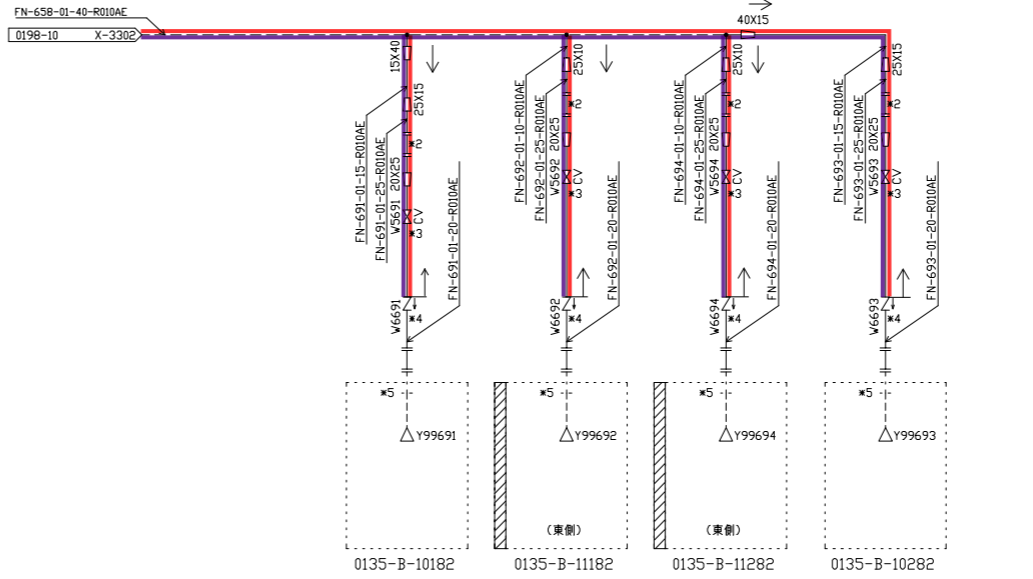
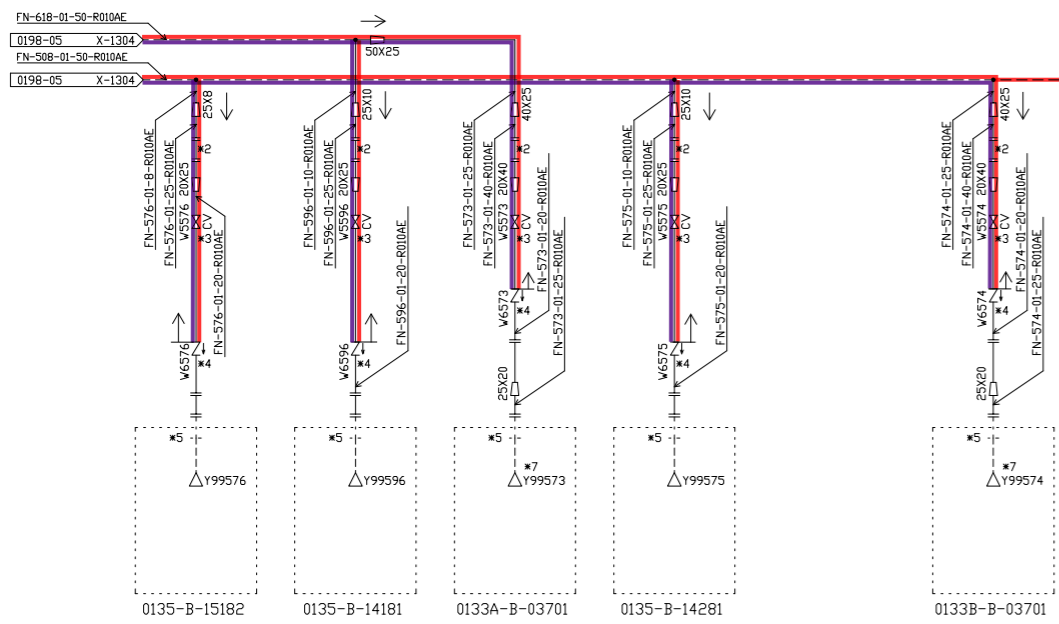
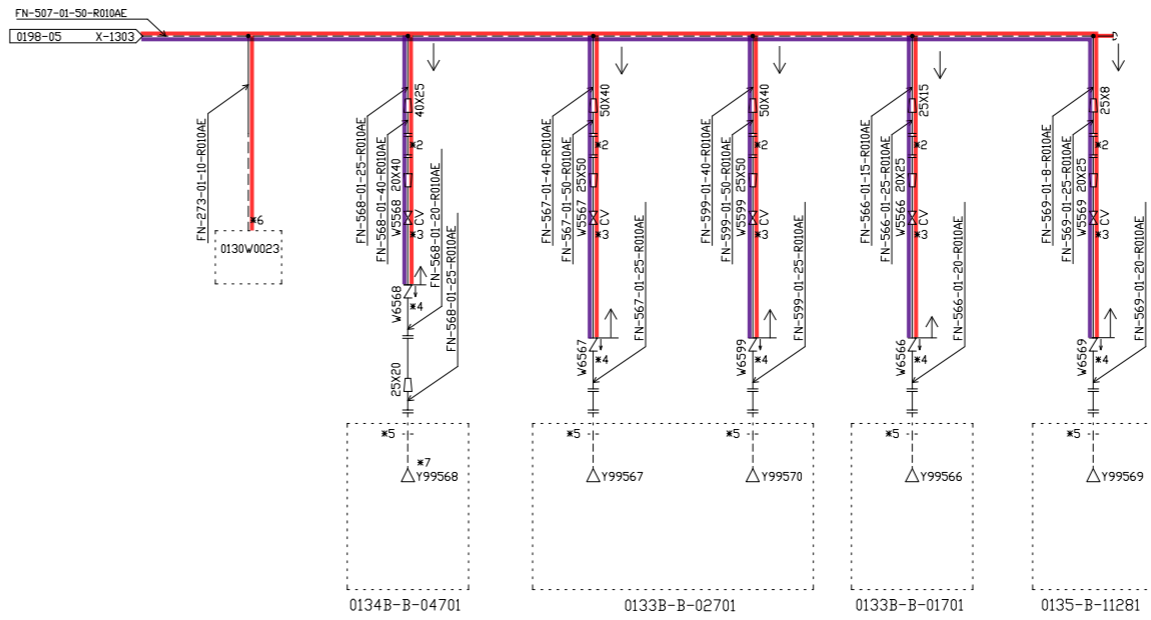
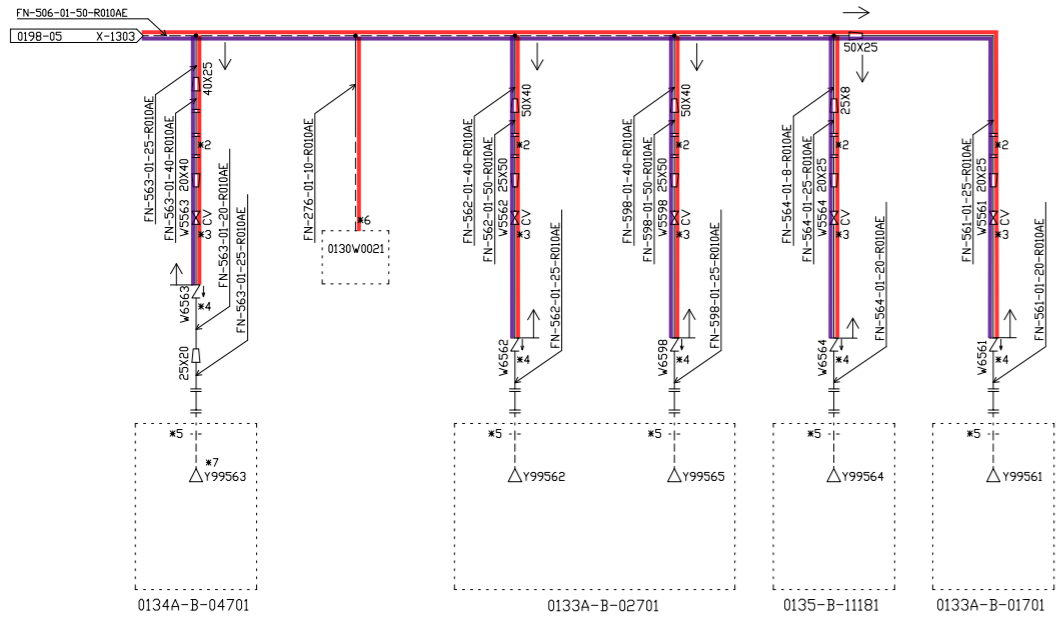
図番名称	燃料加工種番 (PA)
	ユーティリティ設備 (Q) 防消火設備 (GB) 消防装置
	エンジニアリングフロー図
	工程: 0198 (GB) (18/31)
※先頭図番	PM-0198-4421-018
	改訂 10



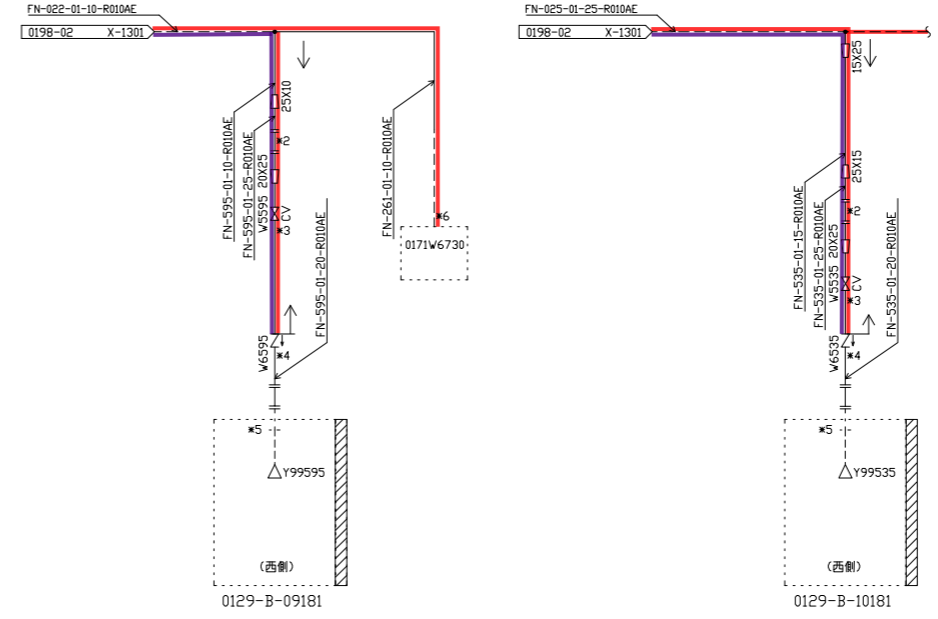
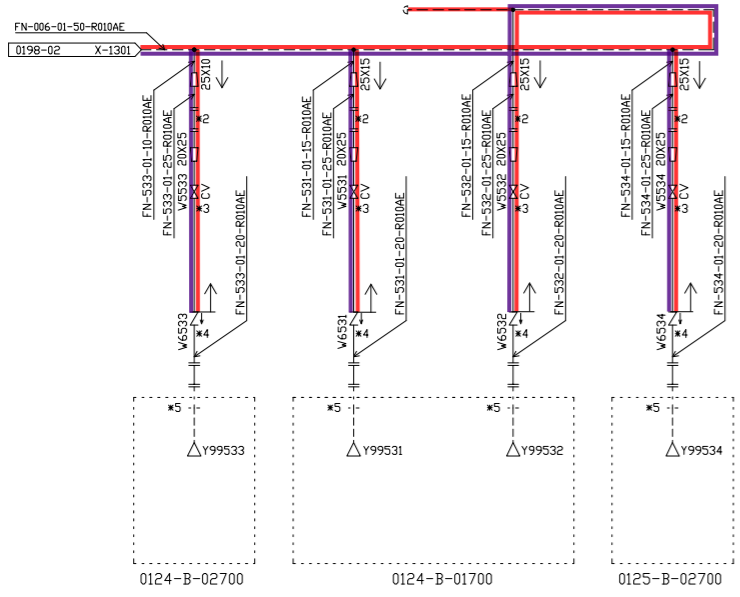
- 注記
- ※1 符表設置
  - ※2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10φ以上、出口側に5φ以上の直管部を設けること。
- 
- ※3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
  - ※4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
  - ※5 GB給気口の近傍に設置する。
  - ※6 ピストンガンパイ専用圧管。  
実線：SUS管（分岐部～PD近傍の末端部まで）  
破線：銅管（PD近傍の末端部～PD取り合い部まで）
  - ※7 20Aの噴射ヘッドを設置する。

図書名称	燃料加工種屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB) 消防装置 エンジニアリングフロー図 工程: 0198 (GB) (19/31)		
※先頭図書番号	PM-0198-4421-019	改訂	12

120ベレット  
加工第3室

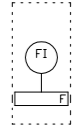


121  
粉末調整第4室



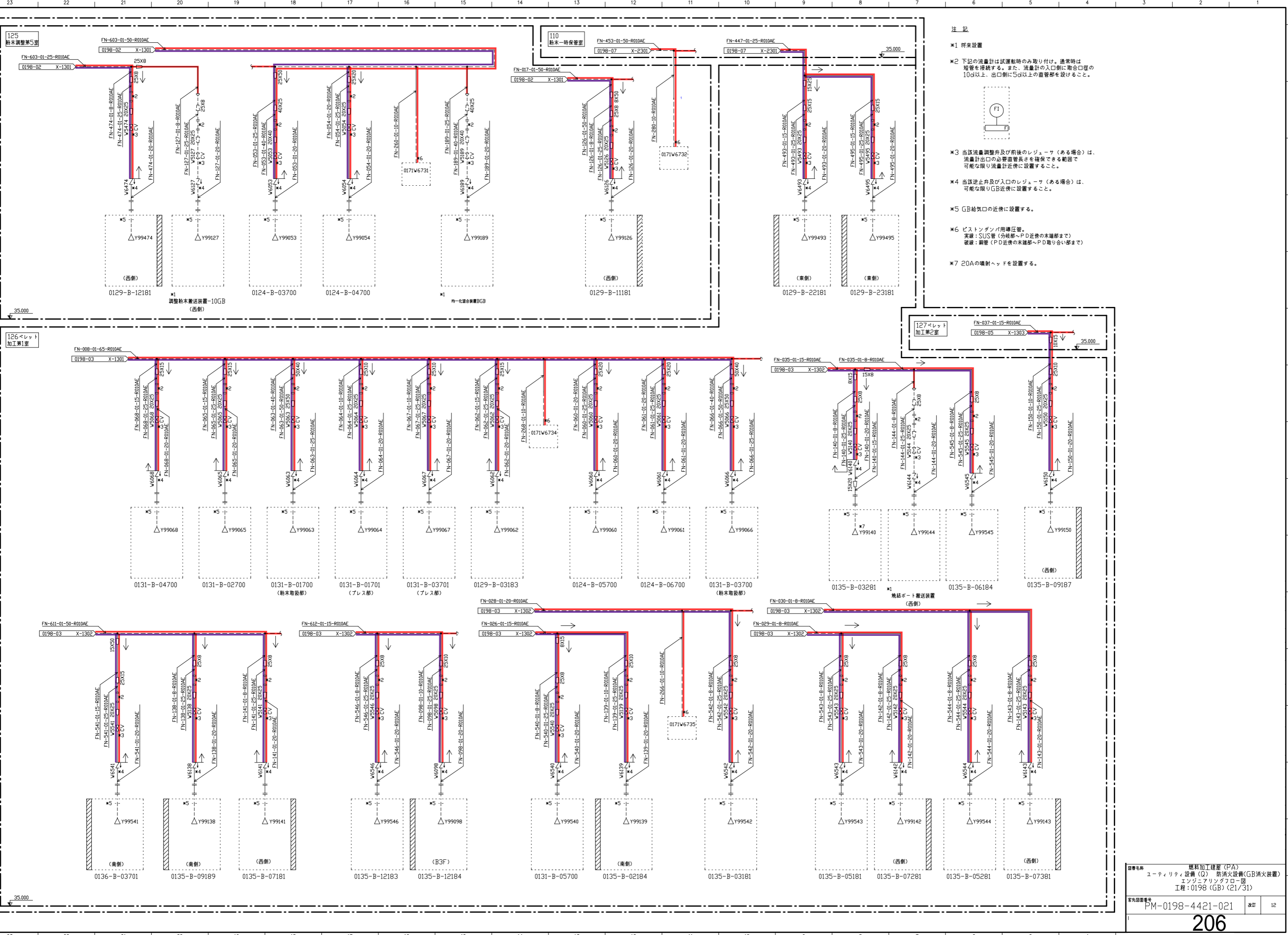
注記

- \*1 符表設置
- \*2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10φ以上、出口側に5φ以上の直管部を設けること。
- \*3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ(ある場合)は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
- \*4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ(ある場合)は、可能な限りGB近傍に設置すること。
- \*5 GB給気口の近傍に設置する。
- \*6 ピストンガン専用導管。  
実線：SUS管(分岐部〜PD近傍の末端部まで)  
破線：銅管(PD近傍の末端部〜PD取り合い部まで)
- \*7 20Aの噴射ヘッドを設置する。

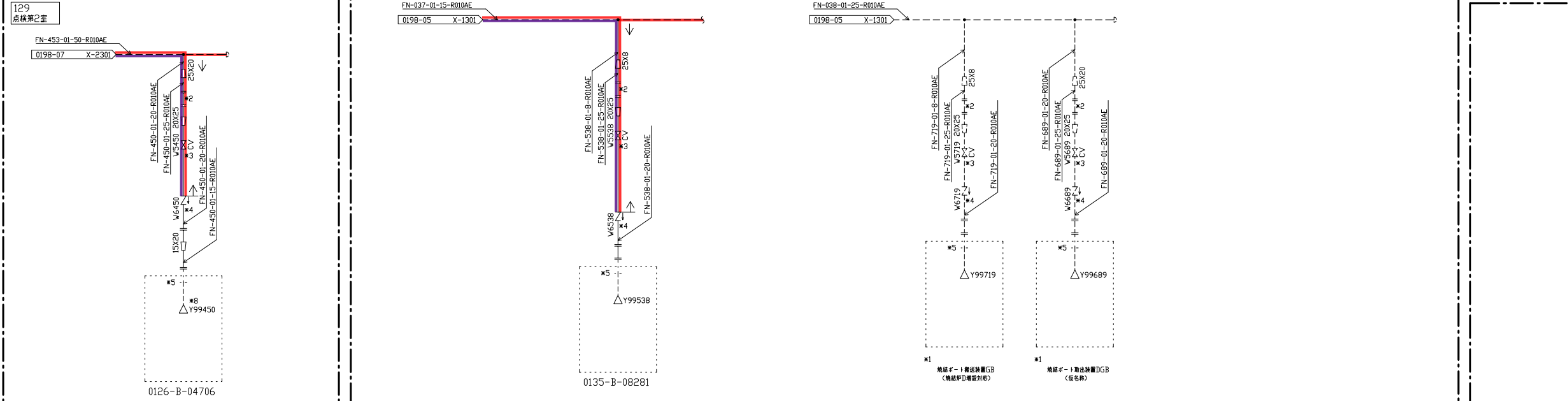
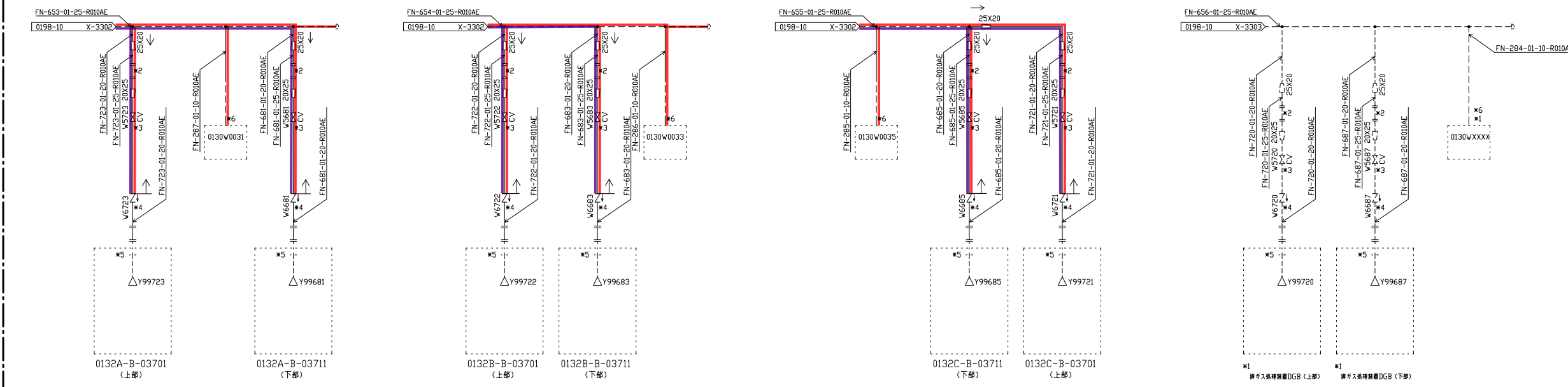
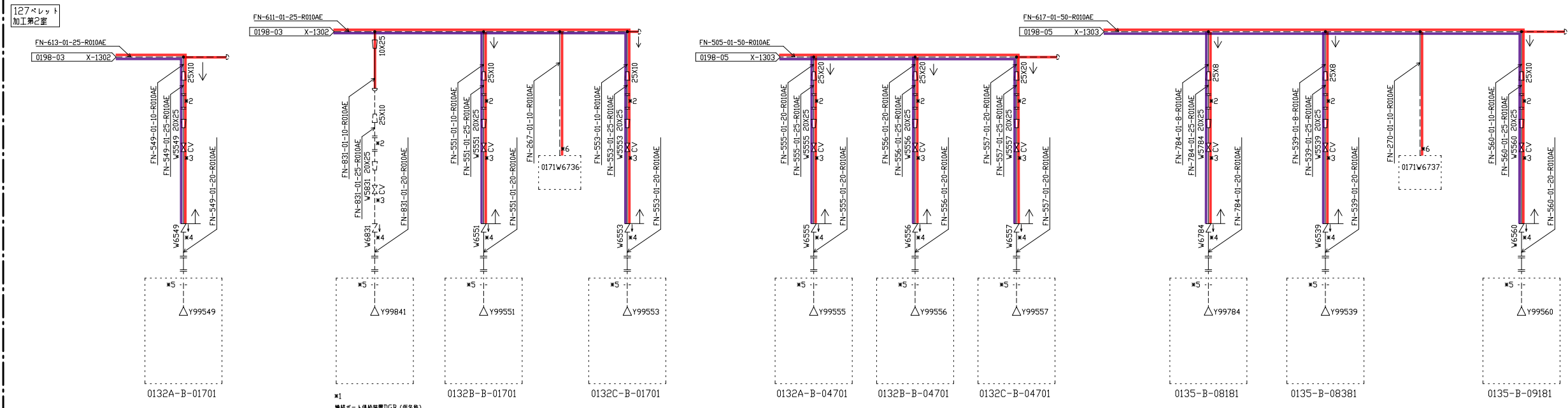


図番名 燃料加工種番 (PA)  
 ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (PA)  
 エンジニアリングフロー図  
 工程: 0198 (GB) (20/31)

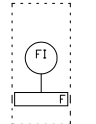
※先頭番号 PM-0198-4421-020 改訂 12



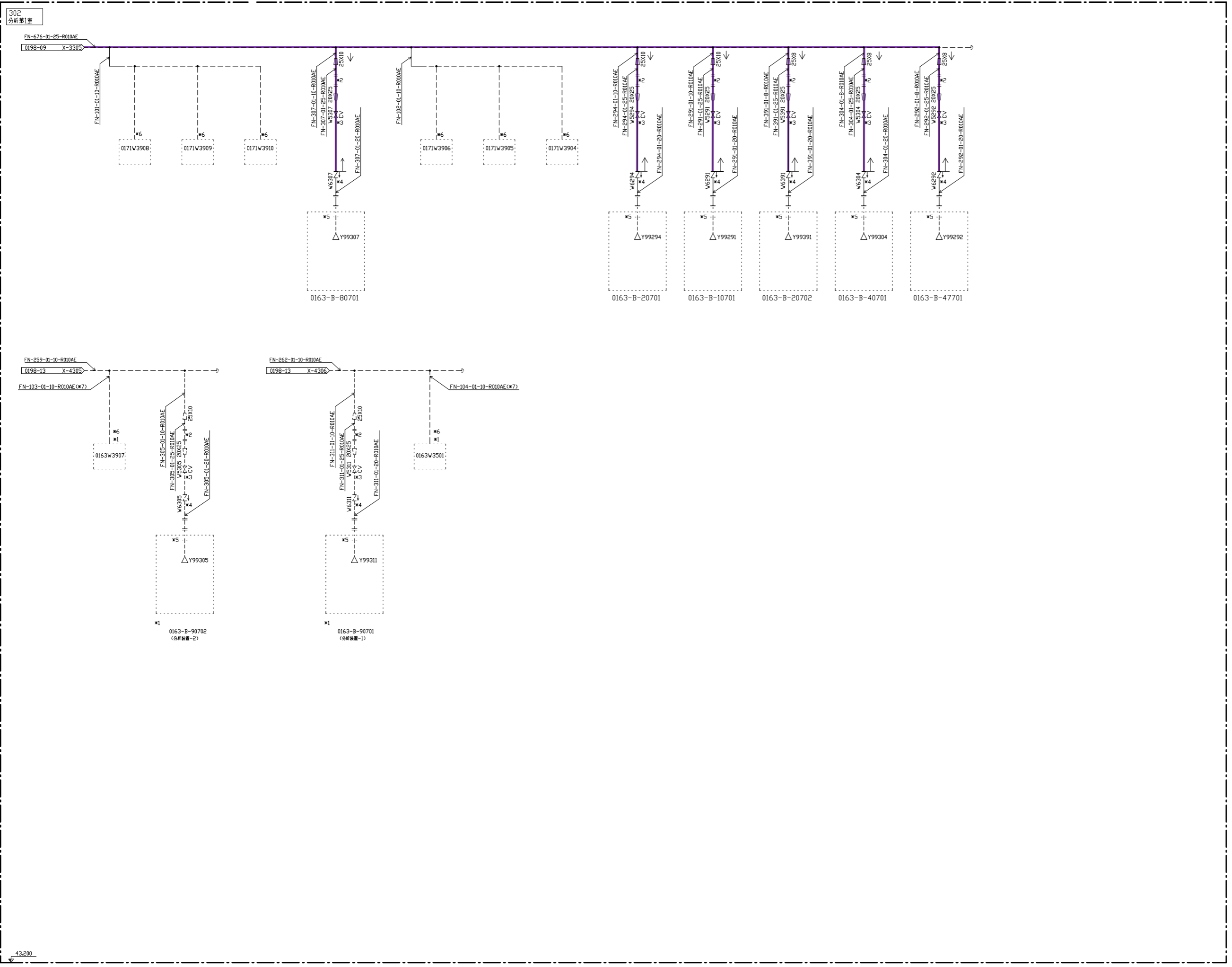
図書名称	燃料加工種屋 (PA)
	ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB消火装置)
	エンジニアリングフロー図
	工程: 0198 (GB) (21/31)
図号	PM-0198-4421-021
改訂	12



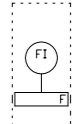
- 注記
- \*1 符表設置
  - \*2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
  - \*3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
  - \*4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合は、可能な限りGB近傍に設置すること。
  - \*5 GB給気口の近傍に設置する。
  - \*6 ピストンダンパ用導圧管。  
実線：SUS管（分岐部～PD近傍の末端部まで）  
破線：銅管（PD近傍の末端部～PD取り合い部まで）
  - \*7 短管部。
  - \*8 20Aの噴射ヘッドを設置する。



図番名称	燃料加工棟屋 (PA)
ユーティリティ設備 (Q)	防火設備 (GB) 消防装置
エンジニアリングフロー図	工程: 0198 (GB) (22/31)
客先図番番号	PM-0198-4421-022
表訂	13

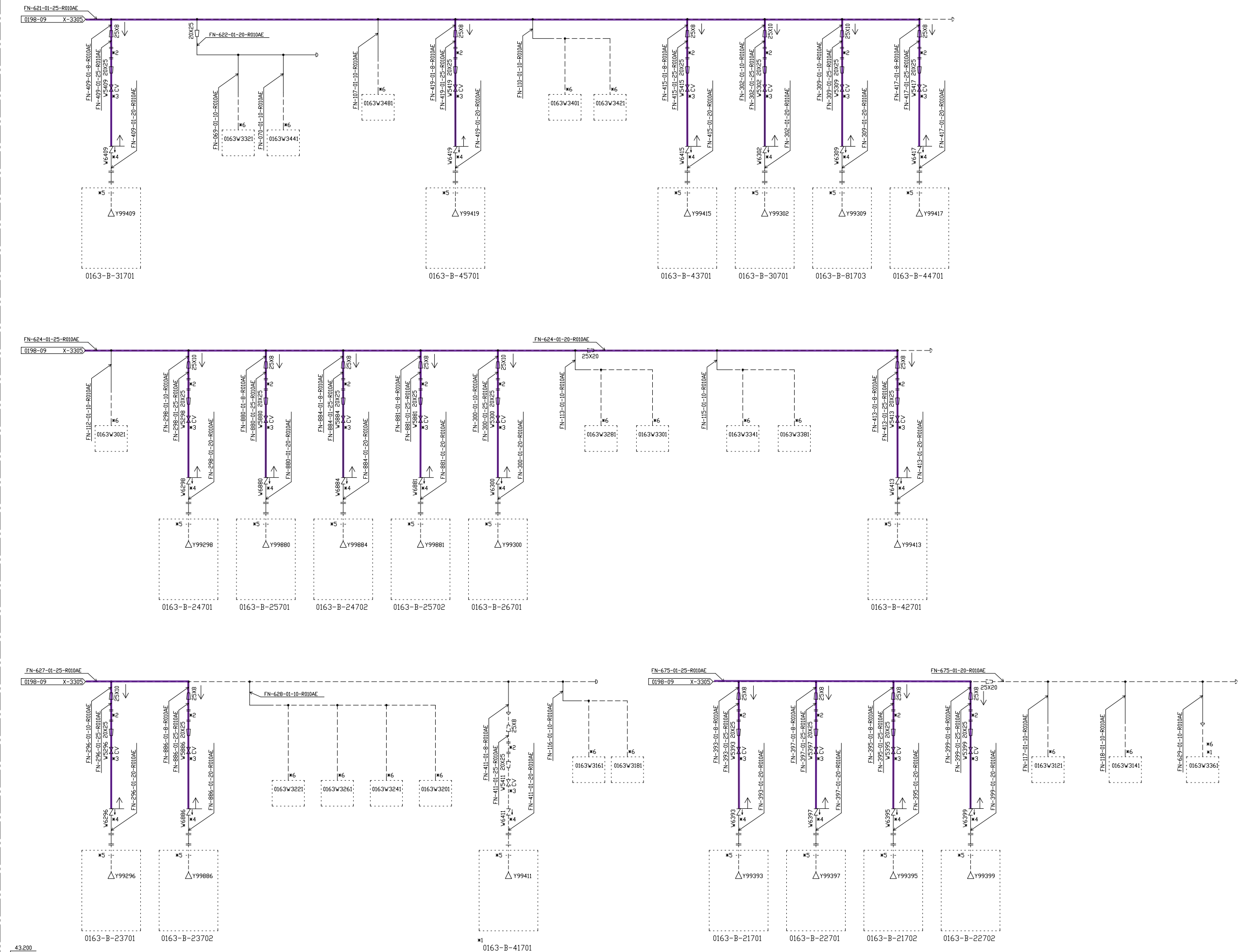


- 注記
- \*1 将来設置
  - \*2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
  - \*3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
  - \*4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
  - \*5 GB給気口の近傍に設置する。
  - \*6 ピストンガン専用導管。  
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）  
破線：銅管（短管の末端部～P D取り合い部まで）
  - \*7 短管部。

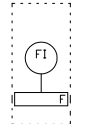




302  
分析第1層

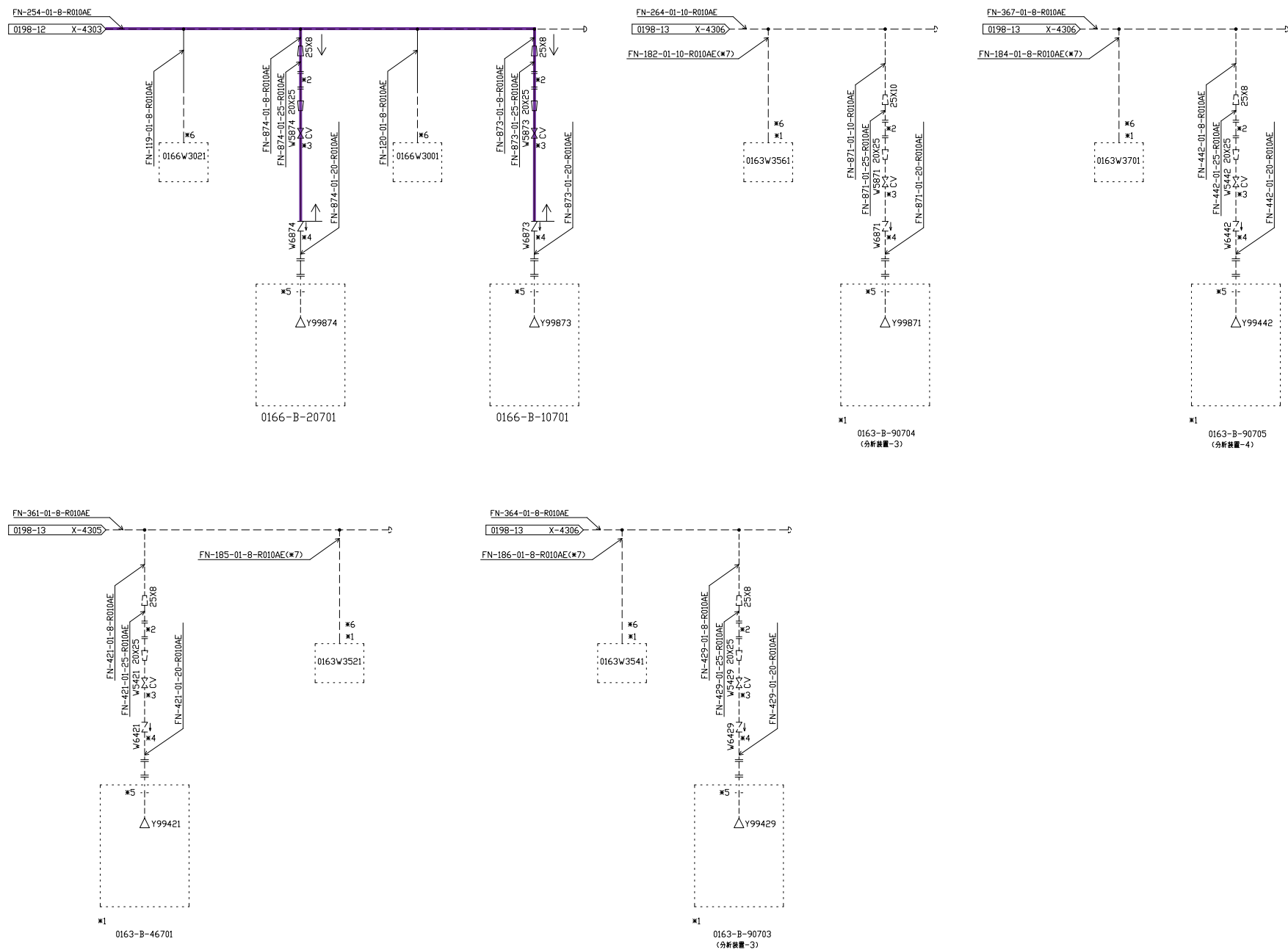


- 注記
- \*1 符表設置
  - \*2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
  - \*3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
  - \*4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
  - \*5 GB給気口の近傍に設置する。
  - \*6 ピストンダンパ用導圧管。  
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）  
破線：銅管（短管の末端部～PD取り合い部まで）



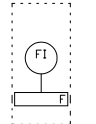
図番名称	燃料加工棟屋（PA） ユーティリティ設備（Q） 防火設備（GB）消火装置） エンジニアリングフロー図 工程：0198（GB）（24/31）
発行図番番号	PM-0198-4421-024
表訂	13

302  
分析第1室



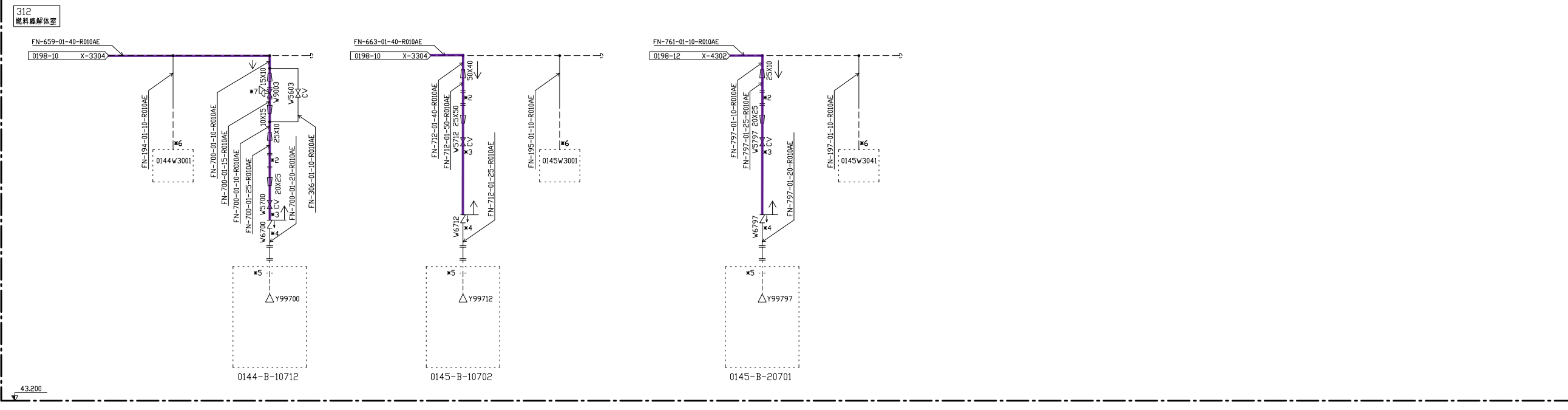
注記

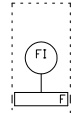
- \*1 符表設置
- \*2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10φ以上、出口側に5φ以上の直管部を設けること。
- \*3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
- \*4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
- \*5 GB給気口の近傍に設置する。
- \*6 ビストンダンパ用導圧管。  
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）  
破線：銅管（短管の末端部～PD取り合い部まで）
- \*7 短管部。



43,200

図番名称	燃料加工棟屋 (PA)		
	ユーティリティ設備 (Q)	防火設備 (GB)	防火設備 (GB)
	エンジニアリングフロー図		
	工程: 0198 (GB) (25/31)		
客先図番	PM-0198-4421-025	改訂	11



- 注記
- \*1 符表設置
  - \*2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
- 
- \*3 当該流量調整弁及び前後のレジュース（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
  - \*4 当該逆止弁及び入口のレジュース（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
  - \*5 GB給気口の近傍に設置する。
  - \*6 ピストンガンバ用導圧管。  
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）  
破線：銅管（短管の末端部～PD取り合い部まで）
  - \*7 非安重GBでGB排気系フィルタ上流にCBDがないものに自力式の圧力調整弁を設置すること。

図書名称	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防消火設備 (GB消火装置) エンジニアリングタワー 工程：0198 (GB) (26/31)		
客先図番	PM-0198-4421-026	改訂	14

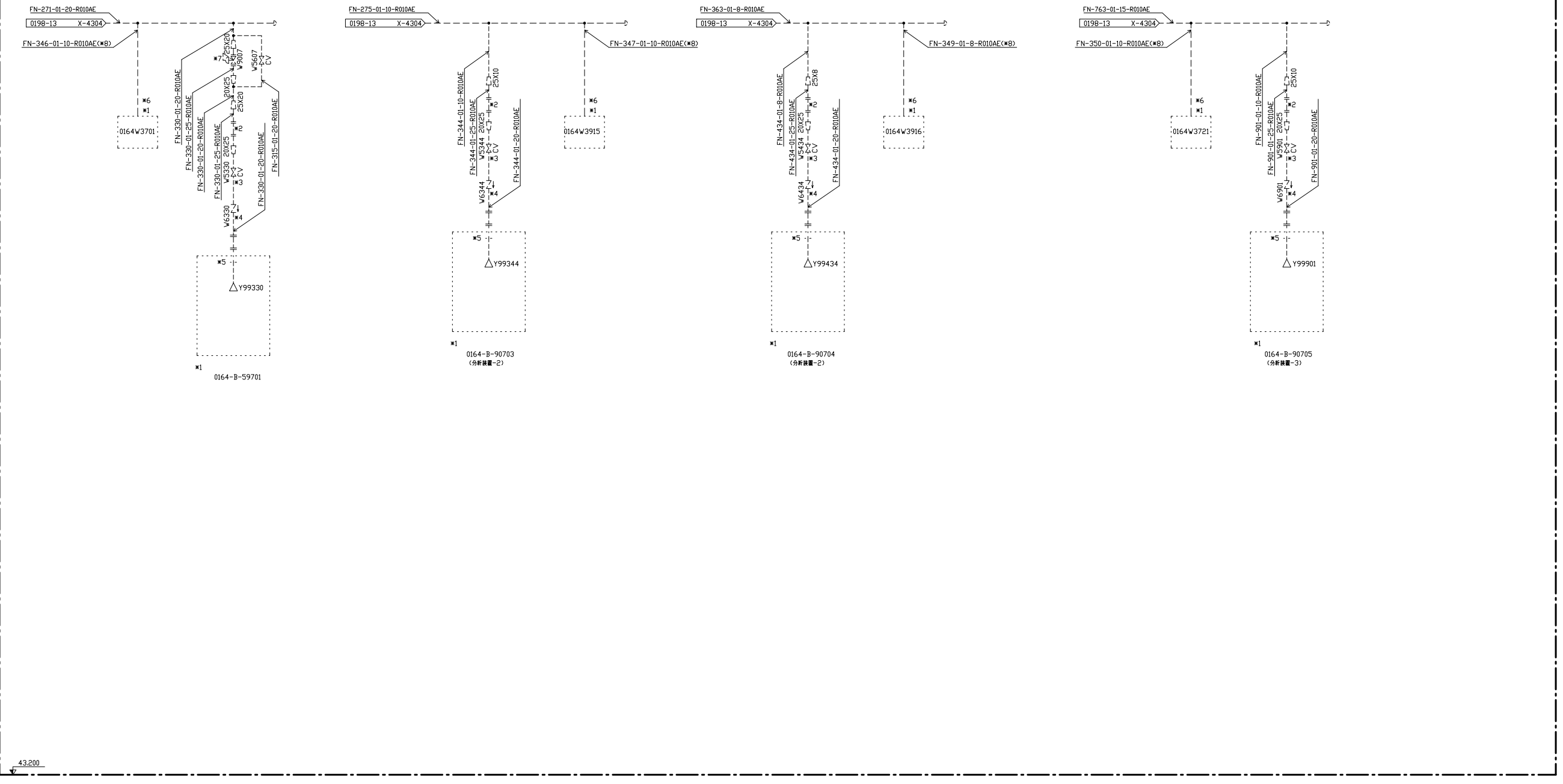


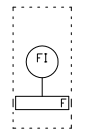
- 注記
- \*1 将来設置
  - \*2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け、通常時は流量計を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
  - \*3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
  - \*4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合は、可能な限りGB近傍に設置すること。
  - \*5 GB給気口の近傍に設置する。
  - \*6 ピストンダンパ用専任管。  
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）  
破線：銅管（短管の末端部～PD取り付け部まで）
  - \*7 非安重GBでGB排気系ファ、ルタ上流にCBDがないものに自力式の圧力調整弁を設置すること。
  - \*8 短管部。



図名	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 消防設備 (GB) 消防装置
エントリ	エンジニアリングフロア 工程: 0198 (GB) (27/31)
※先頭図番	PM-0198-4421-027
改訂	13

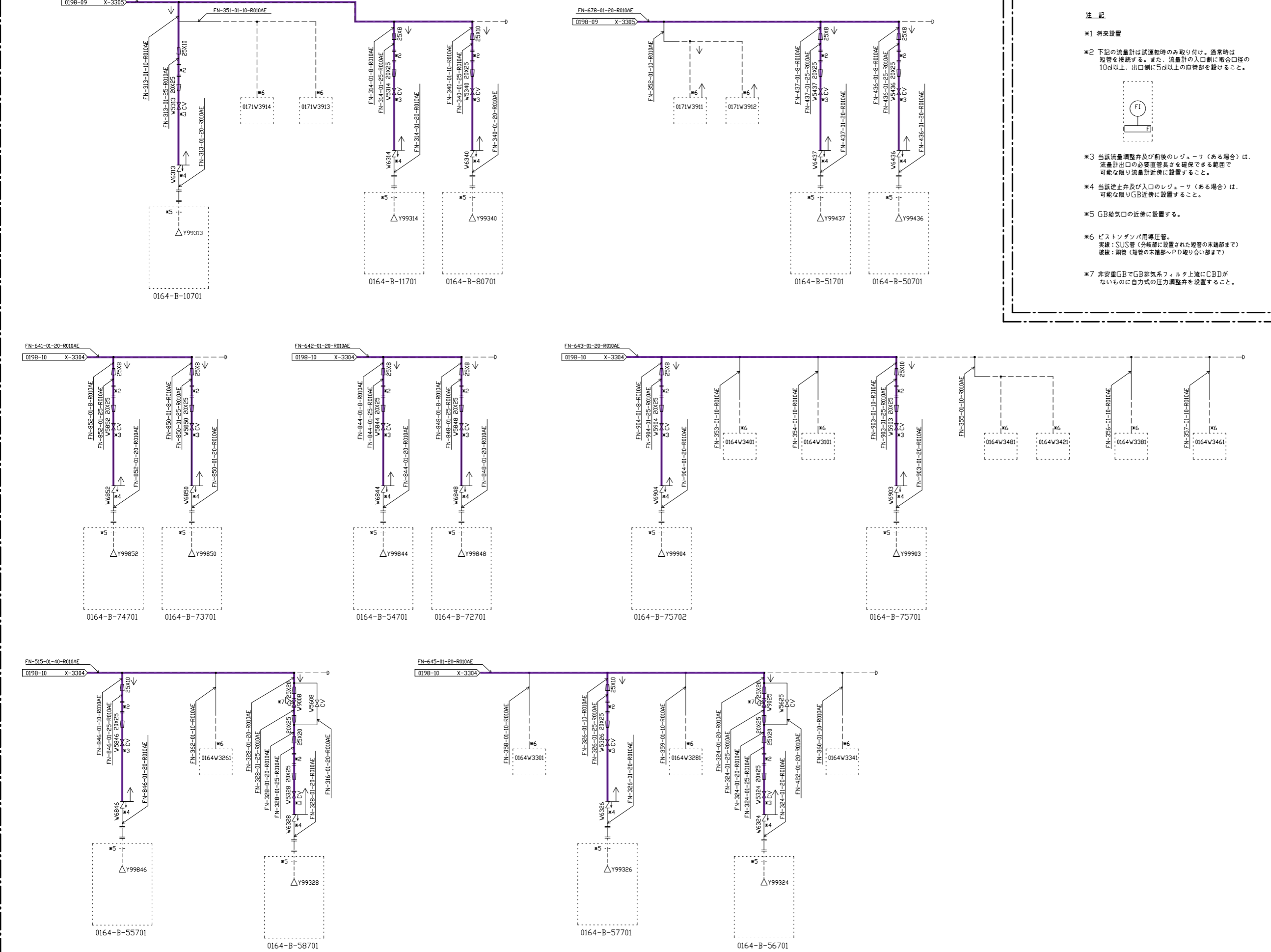
313  
分析装置



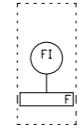
- 注記
- \*1 将来設置
  - \*2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
- 
- \*3 当該流量計調整及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
  - \*4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
  - \*5 GB給気口の近傍に設置する。
  - \*6 ピストンポンプ用導圧管。  
銅管（短管の末端部～PD取り合い部まで）
  - \*7 非安置GBでGB排気系フィルク上流にCBDがないものに自力式の圧力調整弁を設置すること。
  - \*8 短管部。  
SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）

図番名称	燃料加工棟屋 (PA)		
	エーティリティ設備 (Q) 防消火設備 (GB消火装置)		
	エンジニアリングタワー屋		
	工程: 0198 (GB) (28/31)		
客先図番	PM-0198-4421-028	改訂	12
<b>213</b>			

313  
分析第2室

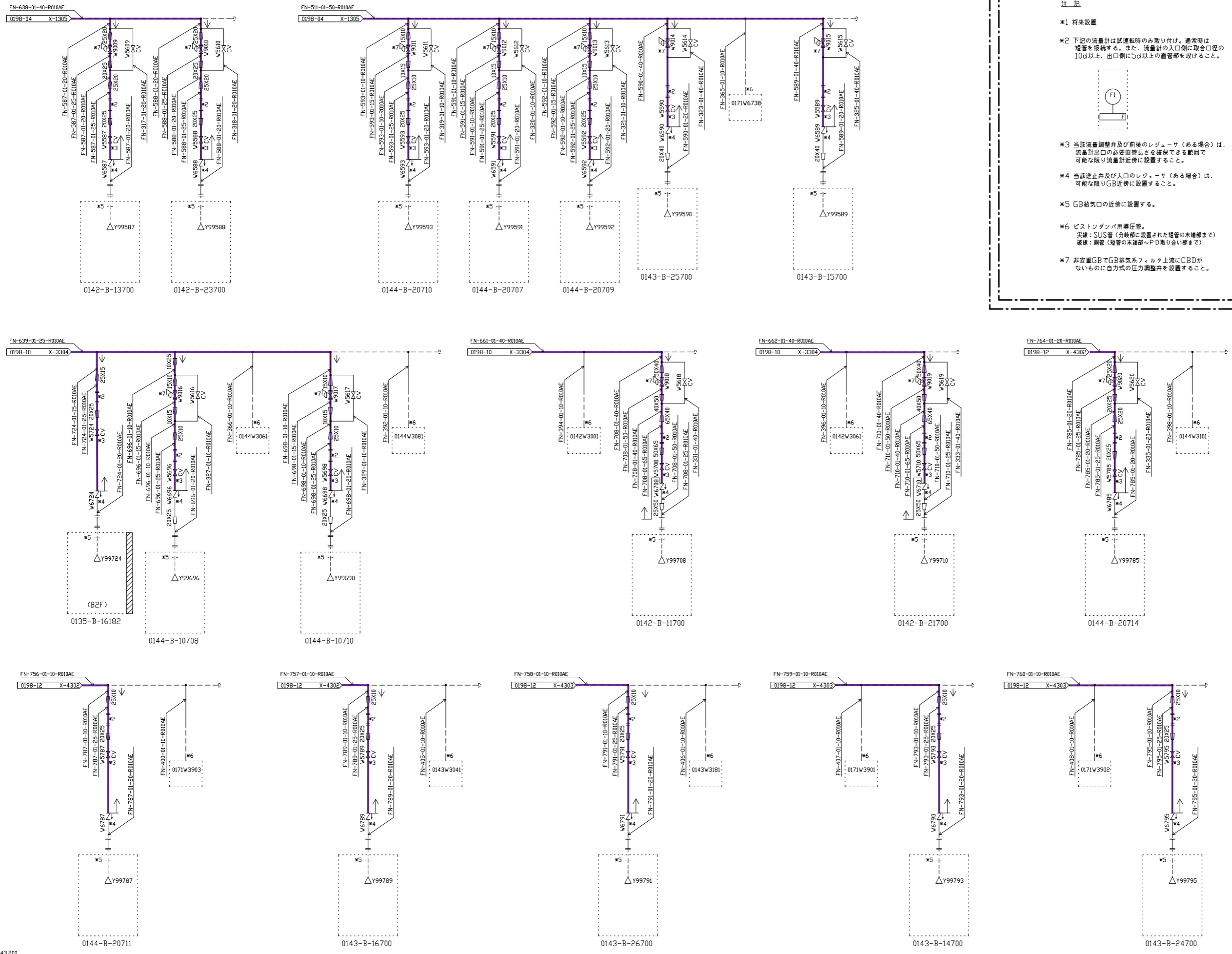


- 注記
- ※1 将来設置
  - ※2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10以上、出口側に5以上の直管部を設けること。
  - ※3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
  - ※4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合は、可能な限りGB近傍に設置すること。
  - ※5 GB給気口の近傍に設置する。
  - ※6 ピストンガン用専圧管。  
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の本端部まで）  
破線：銅管（短管の本端部～PD取り合い部まで）
  - ※7 非安重GBでGB排気系フィルタ上流にCBDがないものに自力式の圧力調整弁を設置すること。



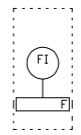
図書名称	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 消防設備 (GB消防装置) エンジニアリングタワー屋 工程: 0198 (GB) (29/31)
※先頭図書番号	PM-0198-4421-029
改訂	改訂
	11

314燃料線  
加工第1巻



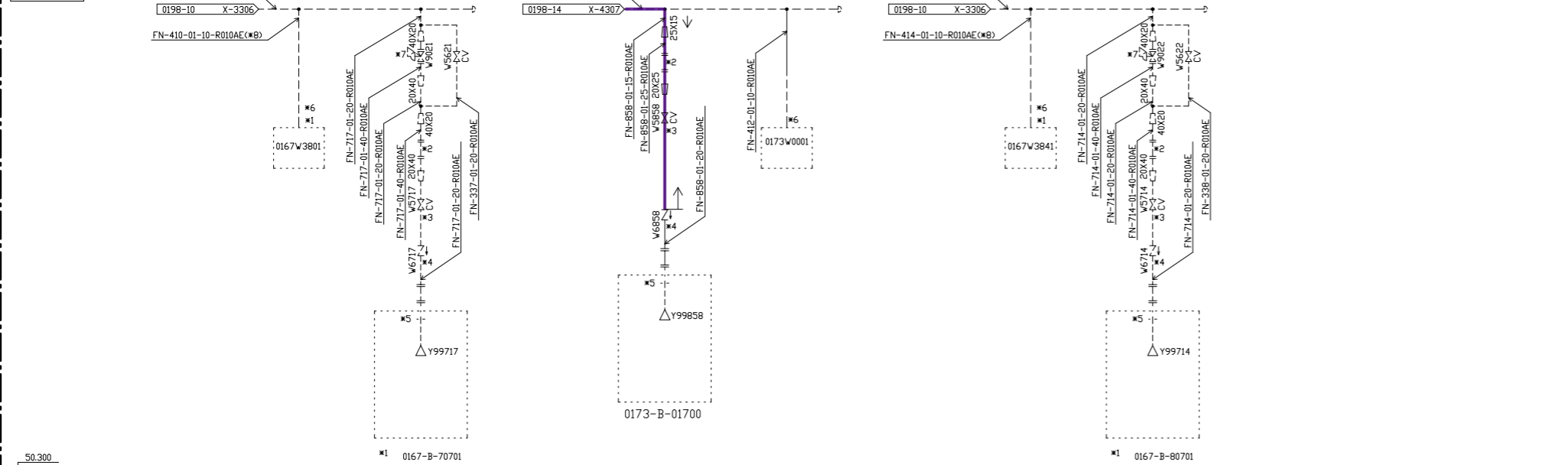
注記

- ※1 将来設置
- ※2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10φ以上、出口側に5φ以上の直管部を設けること。
- ※3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
- ※4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
- ※5 GB給気口の近傍に設置する。
- ※6 ピストンダンパ用導圧管。  
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の先端部まで）  
破線：銅管（短管の先端部～PD取り合い部まで）
- ※7 非安全重GBでGB排気系フィルタ上流にCBDがないものに自力式の圧力調整弁を設置すること。



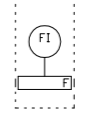
図番名称	燃料加工棟屋 (PA) ユーティリティ設備 (Q) 防火設備 (GB消火装置) エンジニアリングフロア回 工程: 0198 (GB) (30/31)		
※先頭図番	PM-0198-4421-030	改訂	13

414  
固体廃棄物取扱室

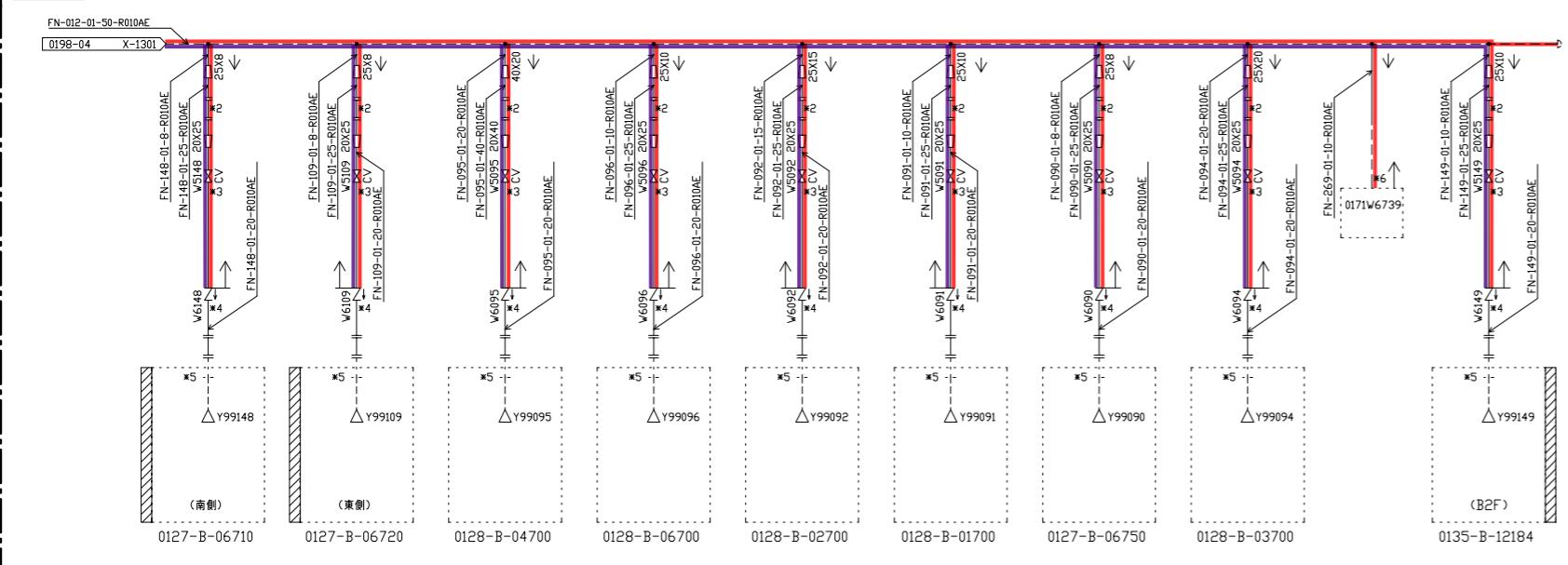


注記

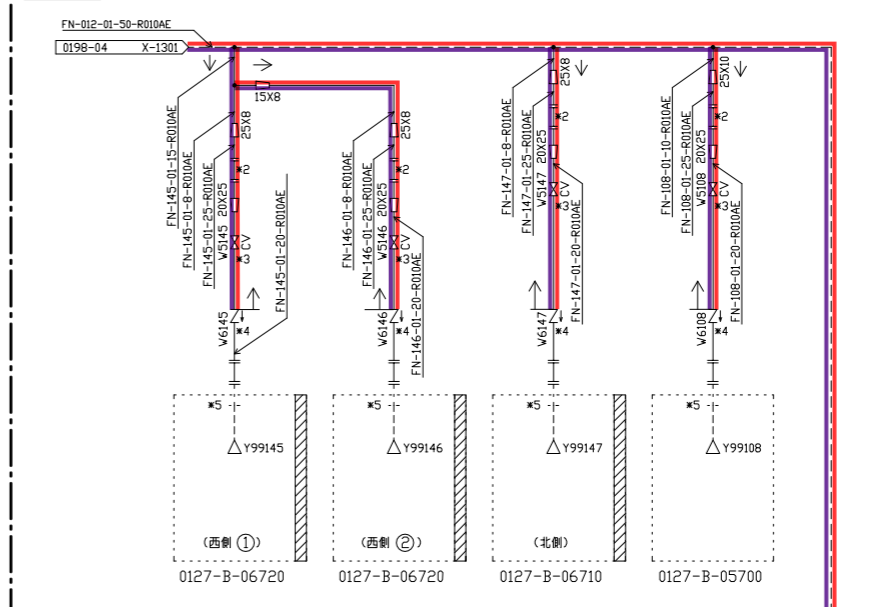
- \*1 将来設置
- \*2 下記の流量計は試運転時のみ取り付け。通常時は短管を接続する。また、流量計の入口側に取合口径の10d以上、出口側に5d以上の直管部を設けること。
- \*3 当該流量調整弁及び前後のレギュレータ（ある場合）は、流量計出口の必要直管長さを確保できる範囲で可能な限り流量計近傍に設置すること。
- \*4 当該逆止弁及び入口のレギュレータ（ある場合）は、可能な限りGB近傍に設置すること。
- \*5 GB給気口の近傍に設置する。
- \*6 ピストンダンパ用圧接管。  
実線：SUS管（分岐部に設置された短管の末端部まで）  
破線：銅管（短管の末端部〜PD取り合い部まで）
- \*7 非防爆GBでGB非気系フィルタ上流にCBDがないものに自力式の圧力調整弁を設置すること。
- \*8 短管部。



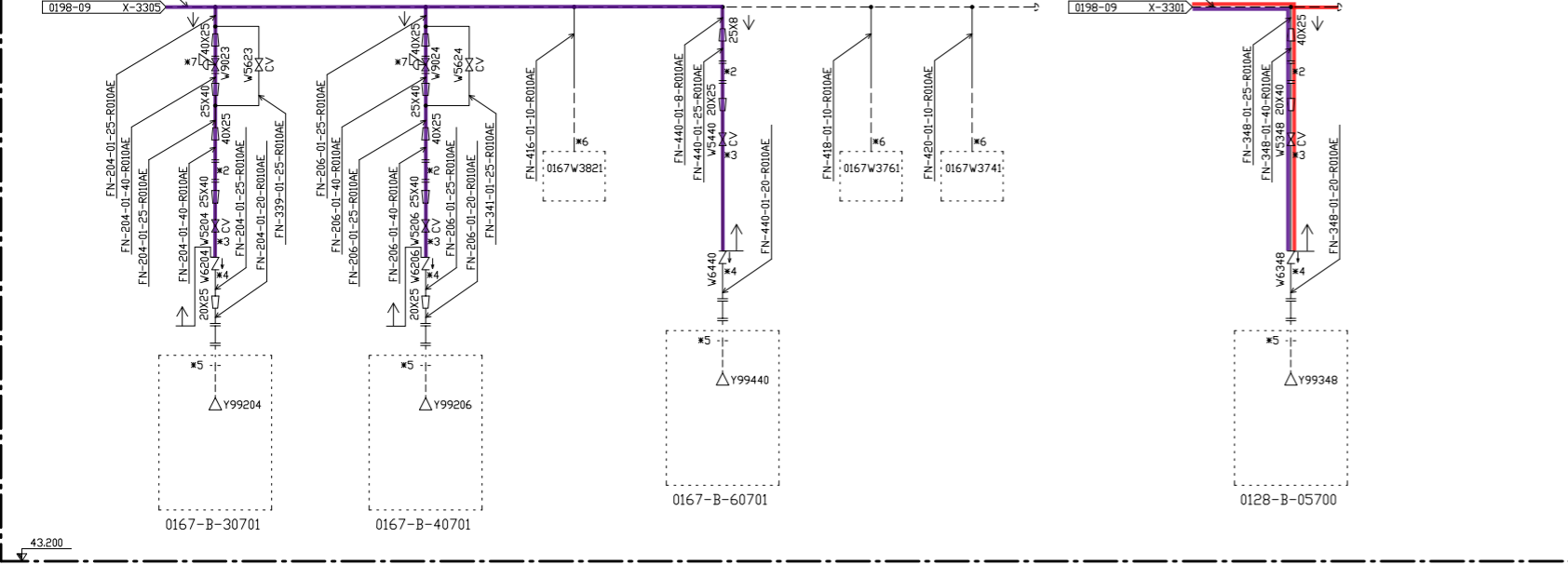
321  
分析第3室



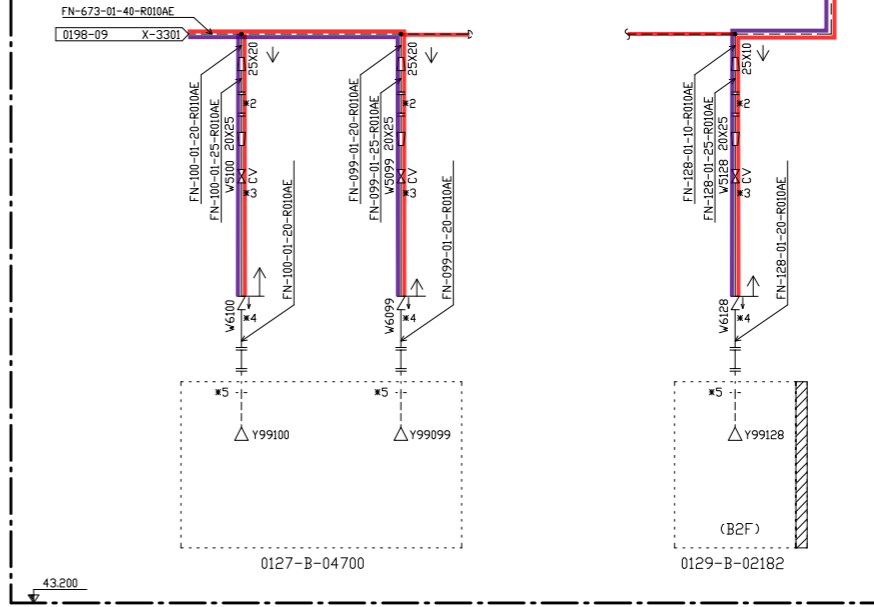
319  
37777処理室



FN-680-01-40-R010AE  
0198-09 X-3305



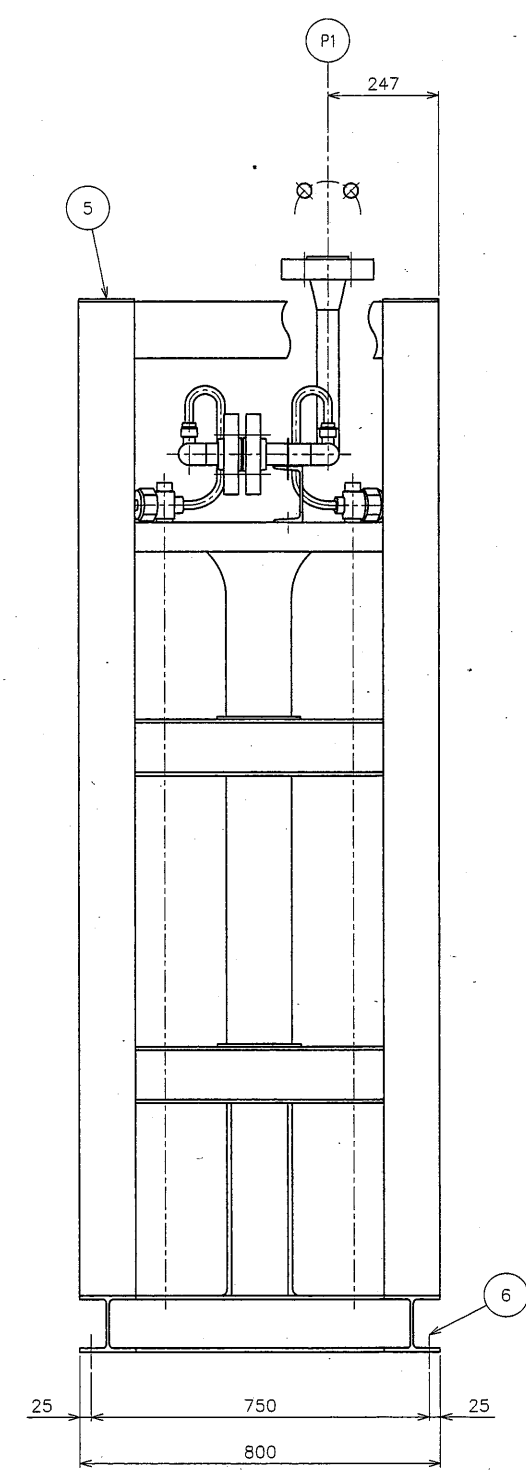
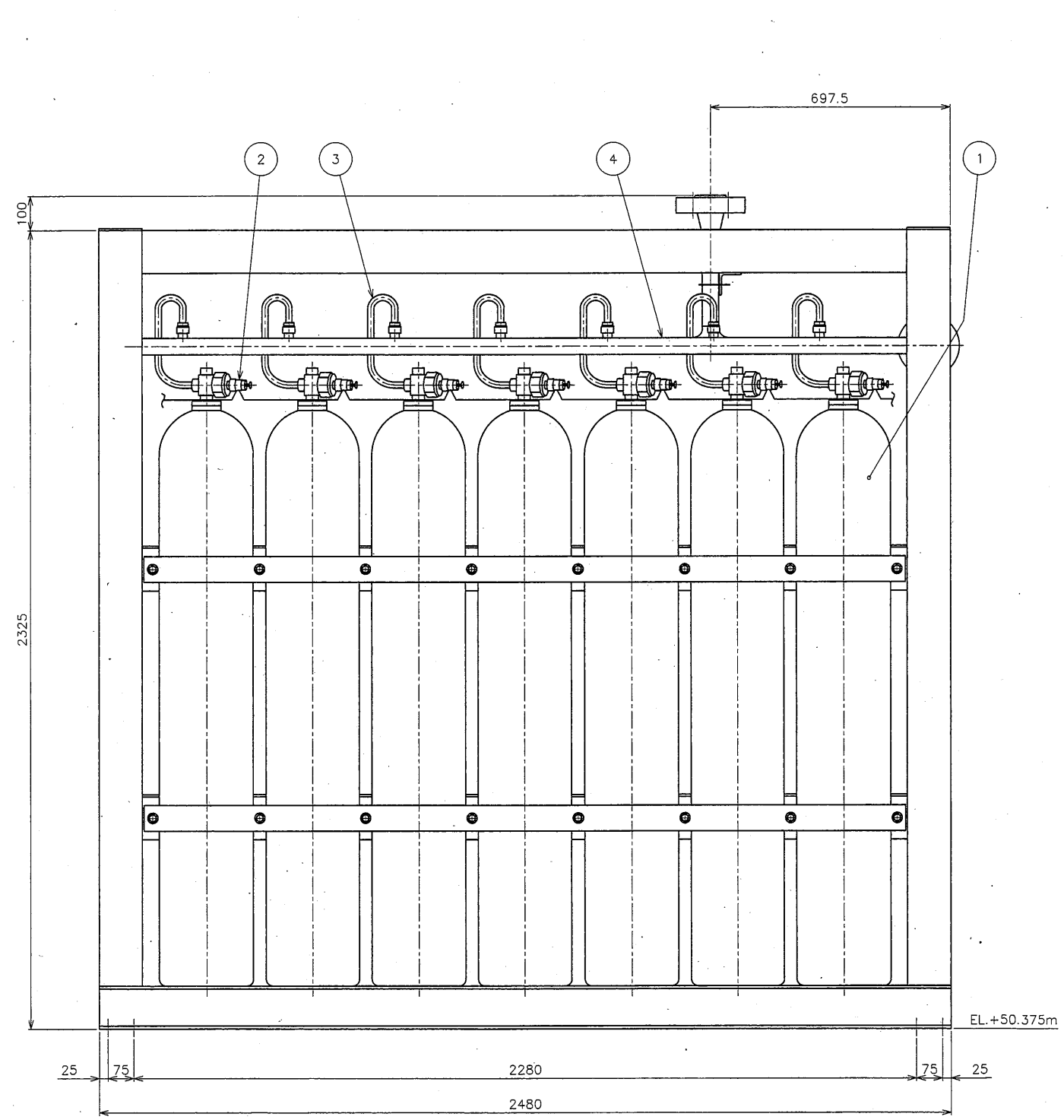
FN-673-01-40-R010AE  
0198-09 X-3301



図番名称 燃料加工棟屋 (PA)  
 ユーティリティ設備 (Q) 消防火設備 (GB) 消防装置  
 エンジニアリングフロア  
 工程: 0198 (GB) (31/31)

※先頭図番号 PM-0198-4421-031 改訂 13





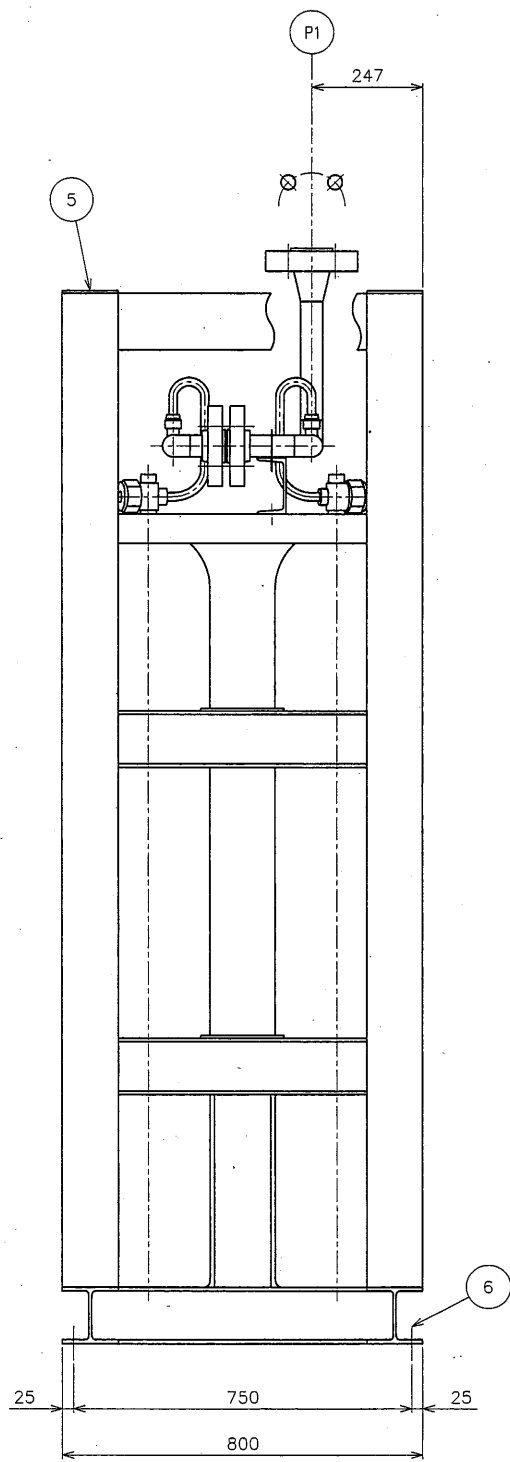
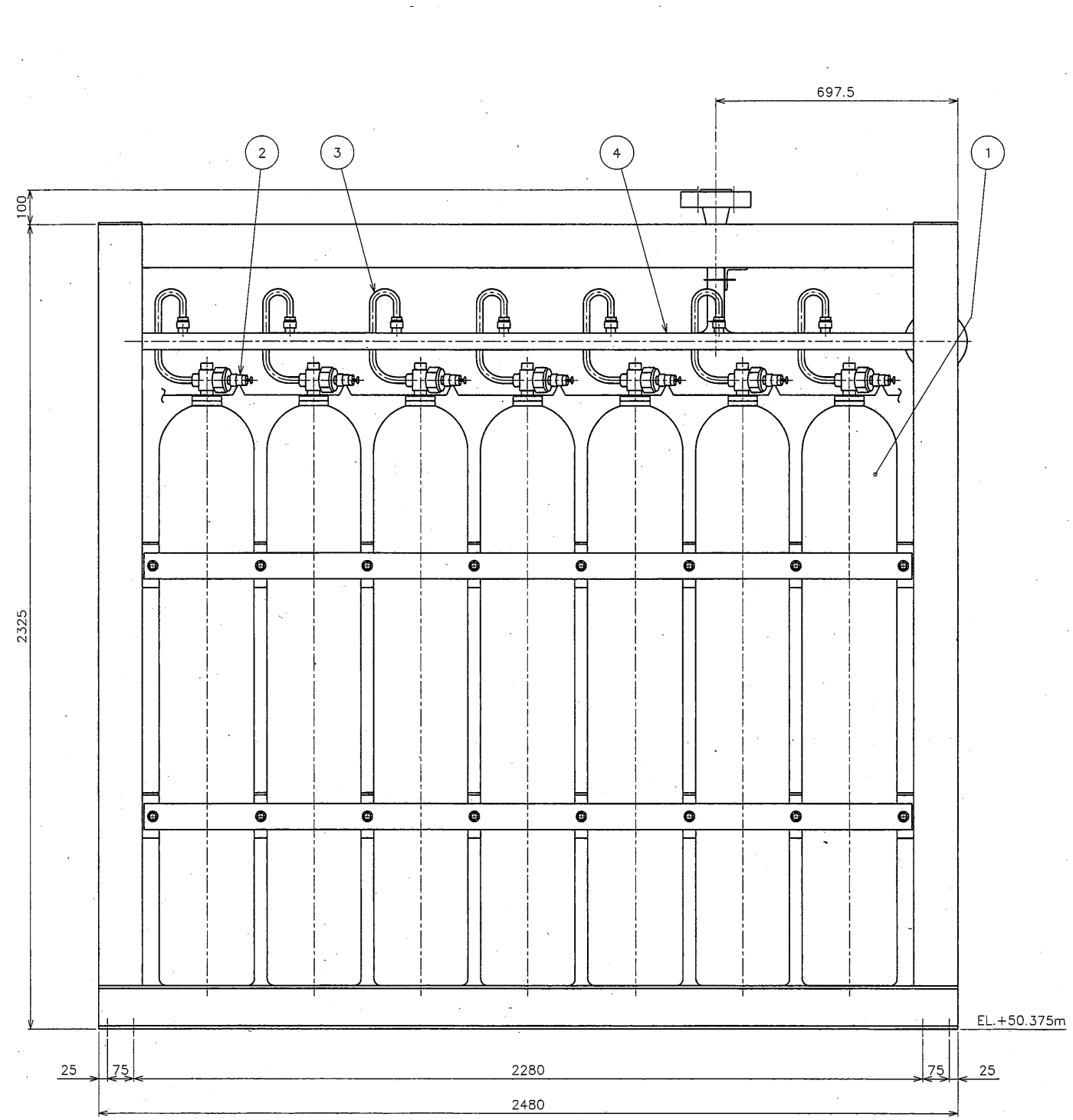
最高使用圧力	MPa	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 14.7
	最大	MPa 15.0
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質管理クラス	-	1
流体の種類	-	窒素
質量	kg	約 3230
建屋区分	-	PA
設置場所	-	室内
適用法規	-	高圧ガス保安法
基数	-	1

注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500lb-40A RF	SUSF304	

予備	標準	数量	名称	材料	試験	予備	1個	合計	重量	備考
分	分				分	分	重量	重量 (kg)		
		8	6 腕付ボルト・ナットM16	SS400						
		1	5 組棒	SS400 STKR400						
		1	4 集合管	SUS304TP						
		14	3 連結管	C1220T						
		14	2 容器弁開放装置	C3771						
		14	1 窒素ガス貯蔵容器	クドムリアチン鋼						

日本原燃株式会社  
 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 GB消火装置  
 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1外形図  
 (0198-GU-111)



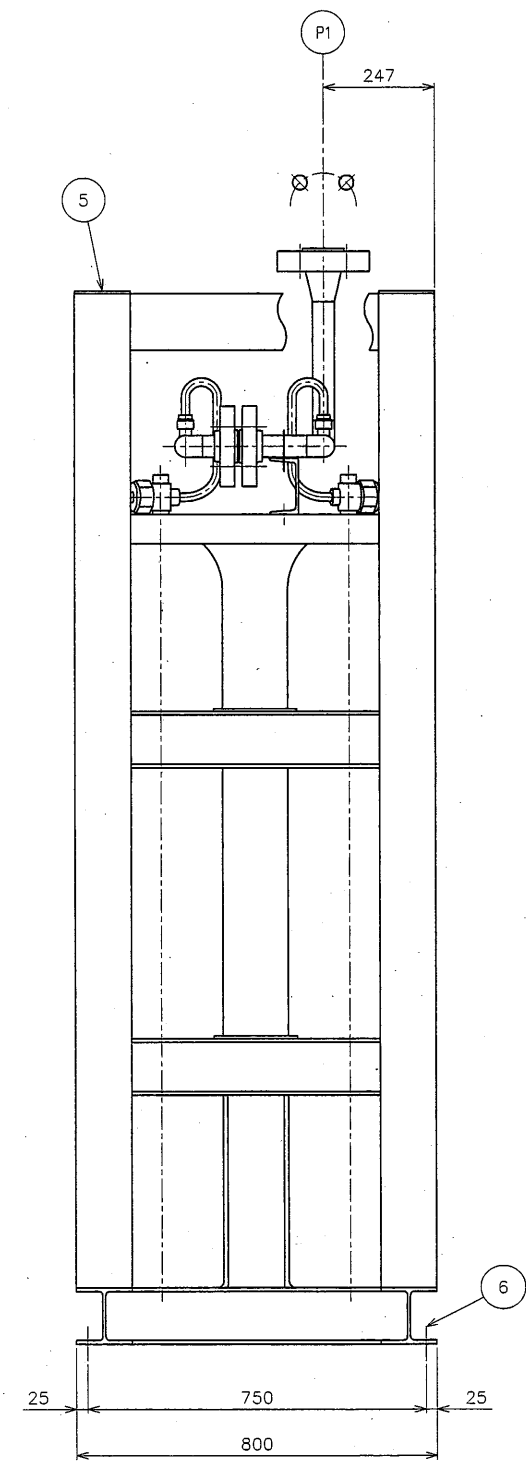
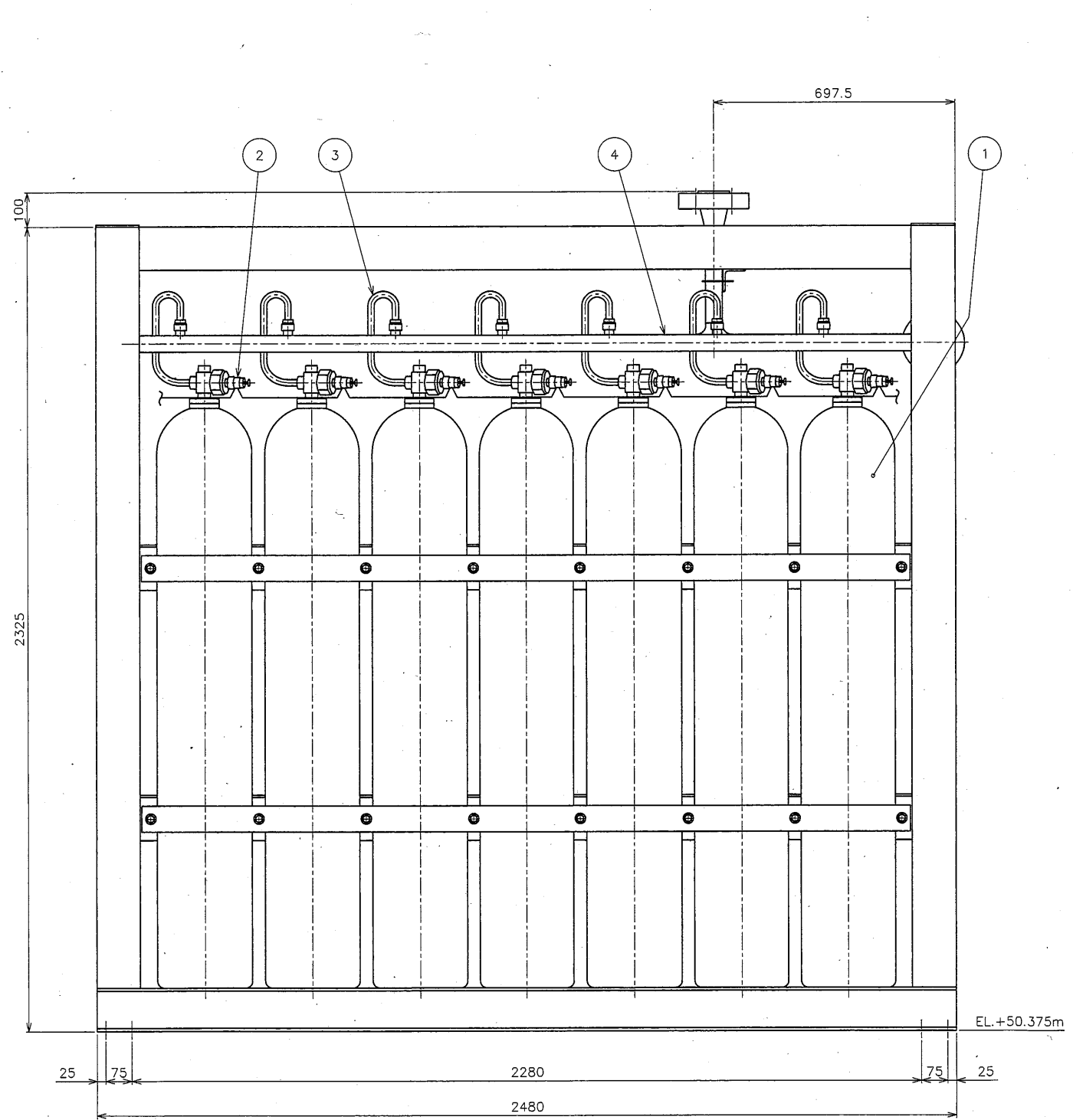
最高使用圧力	MPa	15.0	
最高使用温度	℃	40	
運転圧力	通常	MPa	14.7
	最大	MPa	15.0
運転温度	通常	℃	常温
	最大	℃	40
耐震クラス	設計用	-	S
	官庁申請用	-	S
品質管理度クラス	-	-	1
流体の種類	-	-	窒素
質量	kg	-	約 3230
建屋区分	-	-	PA
設置場所	-	-	蓋
適用法規	-	-	高圧ガス保安法
基数	-	-	基

注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

予備	標準	数量	名称	材料	規格	単位	数量	重量 (kg)	備考
		8	取付ボルト・ナットM16	SS400		組			
		1	組棒	SS400 STKR400		組			
		1	集合管	SUS304TP		組			
		14	連結管	C1220T		個			
		14	容器弁開放装置	C3771		個			
		14	窒素ガス貯蔵容器	クローリフチン		個			

日本原燃株式会社  
 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 GB消火装置  
 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-2外形図  
 (0198-GU-112)



要目表

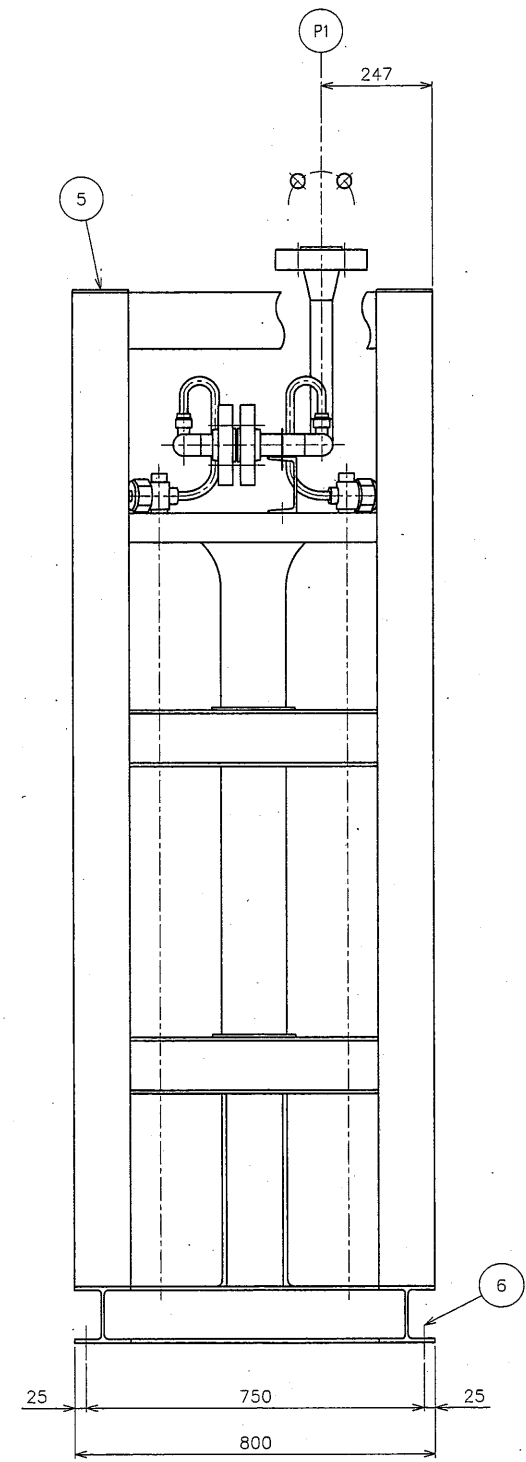
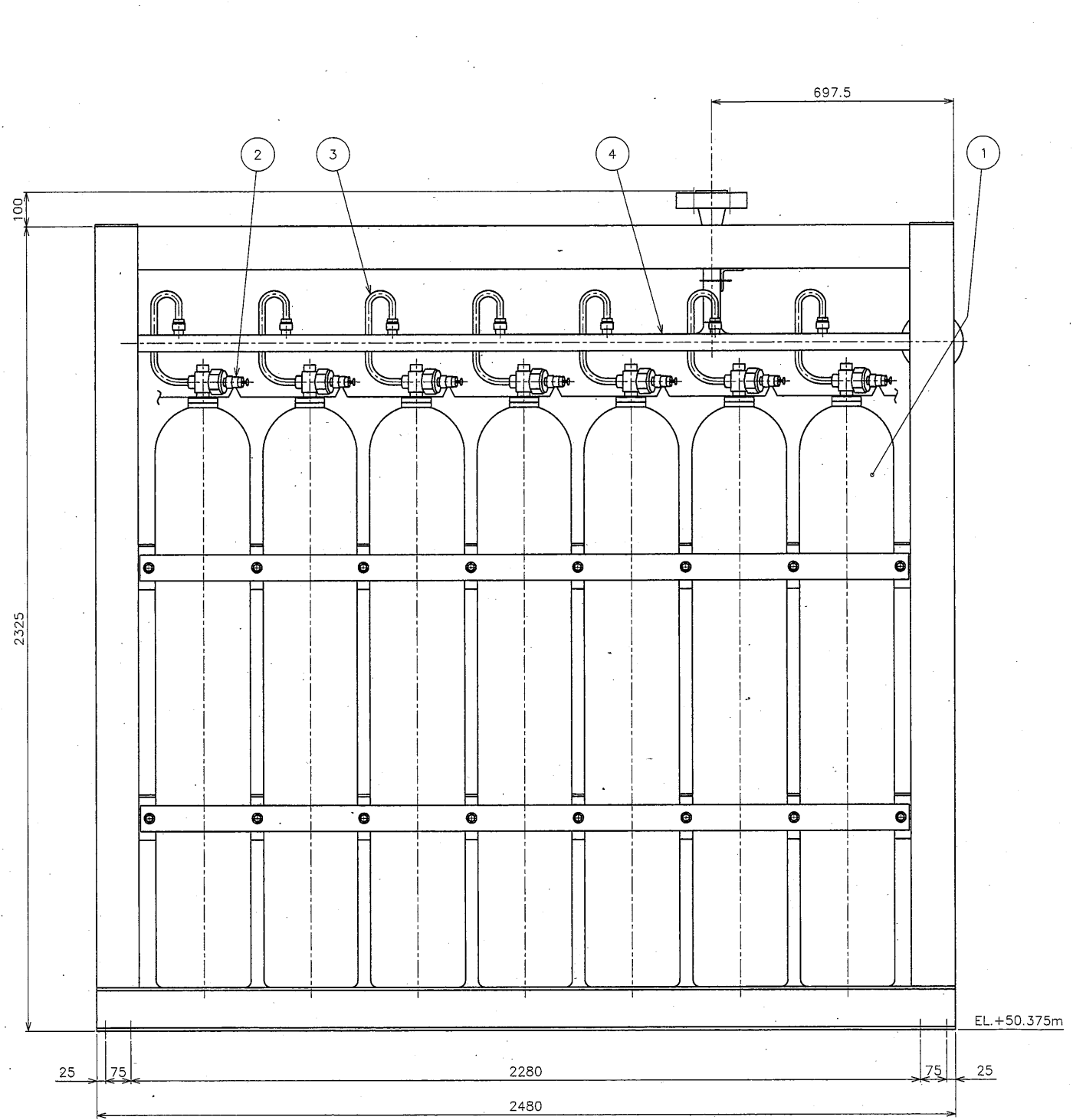
最高使用圧力	MPa	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 14.7
	最大	MPa 15.0
運転温度	通常	常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質管理度クラス	-	1
流体の種類	-	蒸気
質量	kg	約 3230
建屋区分	-	PA
設置場所	-	428
適用法規	-	高圧ガス保安法
基数	基	1

注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	蒸気	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

予備	標準	数量	名称	材料	試料	標準	1個	合計	単位	備考
		8	6 締付ボルト・ナットM16	SS400					8組	
		1	5 組棒	SS400 STKR400					1組	
		1	4 集合管	SUS304TP					1組	
		14	3 連結管	C1220T					14	
		14	2 容器弁開放装置	C3771					14	
		14	1 蒸気ガス貯蔵容器	プロレキゾチン					14	

日本原燃株式会社  
 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 GB消火装置  
 GB消火用蒸気ガス貯蔵容器ユニット-1-3外形図  
 (0198-GU-113)



最高使用圧力	MPa	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 14.7
	最大	MPa 15.0
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質管理度クラス	-	1
流体の種類	-	窒素
質量	kg	約 3230
建屋区分	-	PA
設置場所	室	428
適用法規	-	高圧ガス保安法
基数	基	1

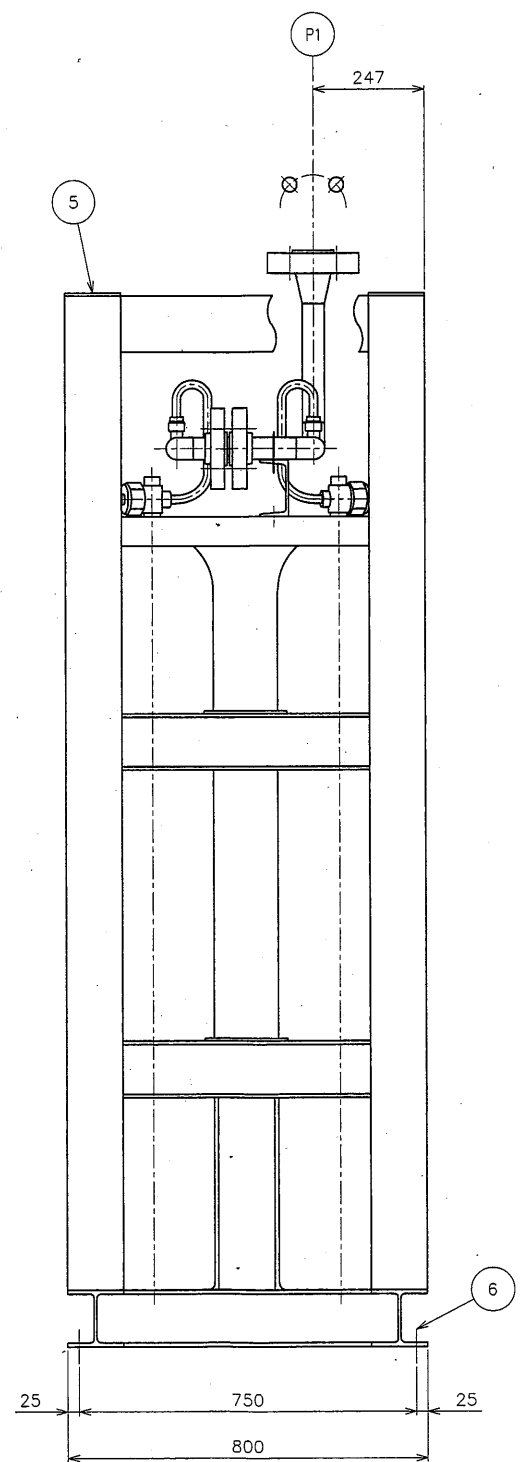
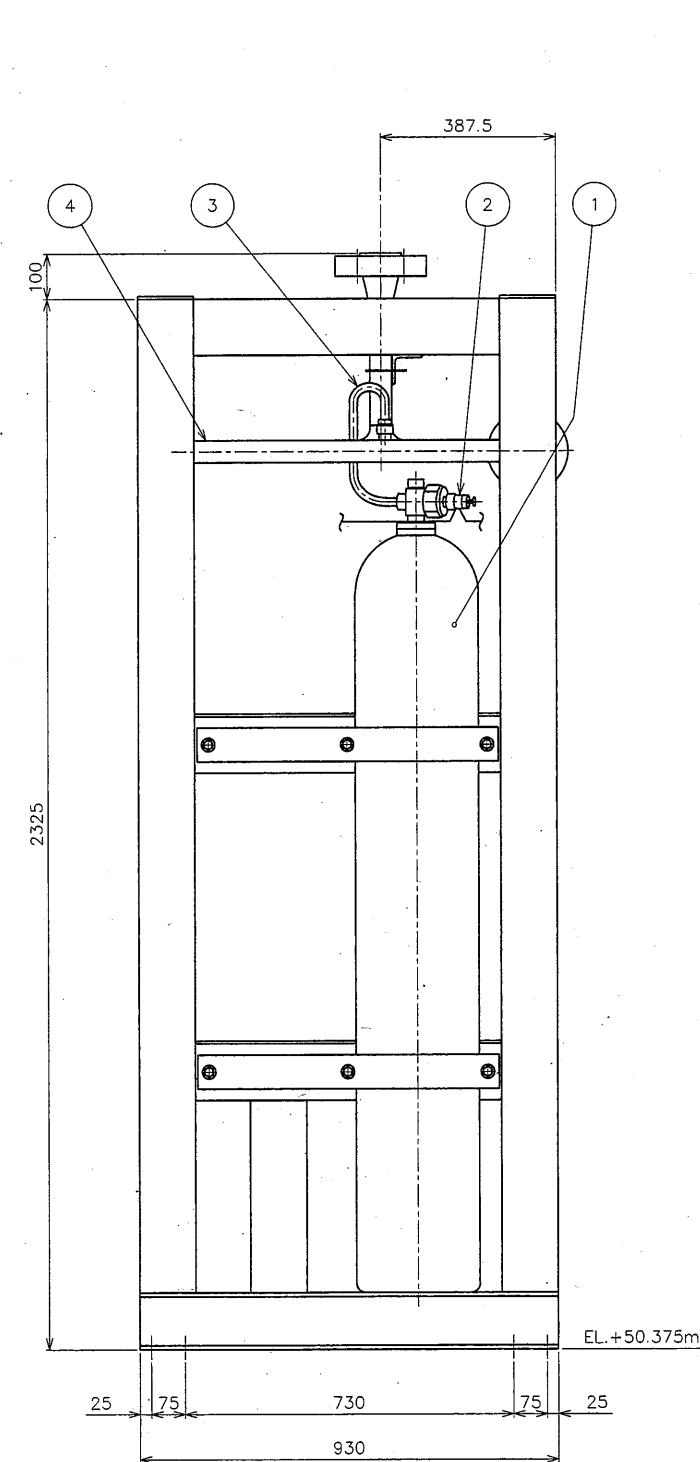
注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

予備	予備	番号	名称	材料	試験片	予備	1個	設計	記事
分	分					1	個	量	
						分	数	分	
		6	密付ボルト・ナットM16	SS400		8	組		
		5	組件	SS400 STKR400		1	組		
		4	集合管	SUS304TP		1	組		
		3	連結管	C1220T		14			
		2	容器弁開放装置	C3771		14			
		1	窒素ガス貯蔵容器	70Lモノブレン		14			

日本原燃株式会社

MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 GB消火装置  
 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-4外形図  
 (0198-GU-114)



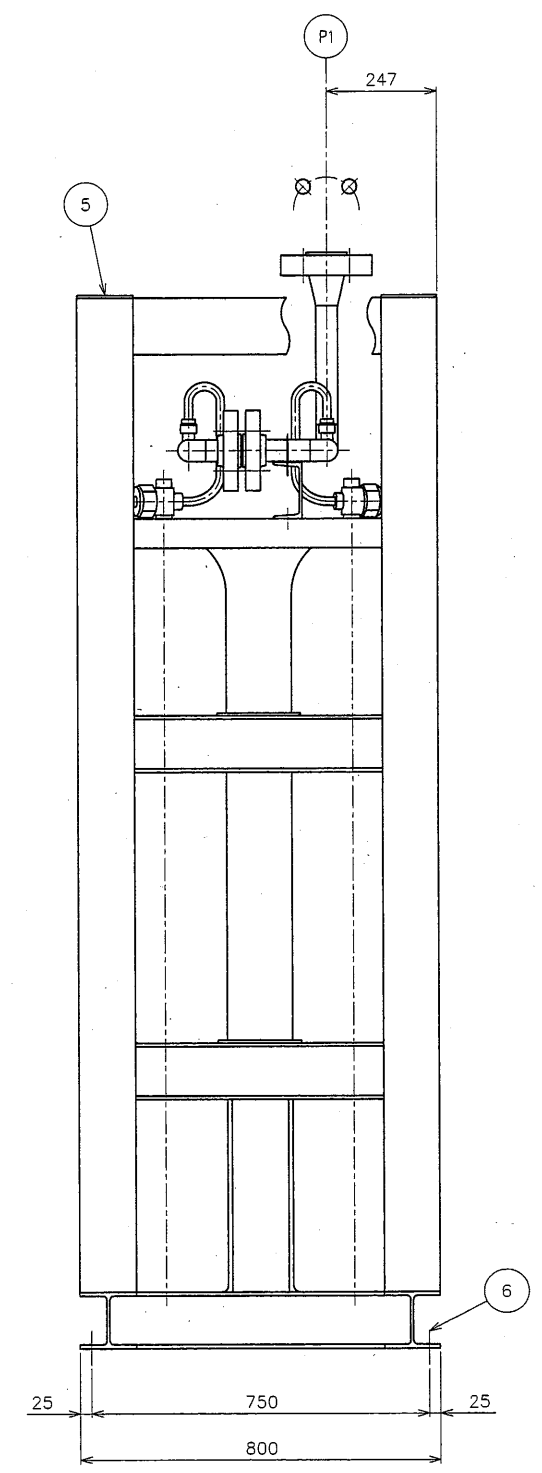
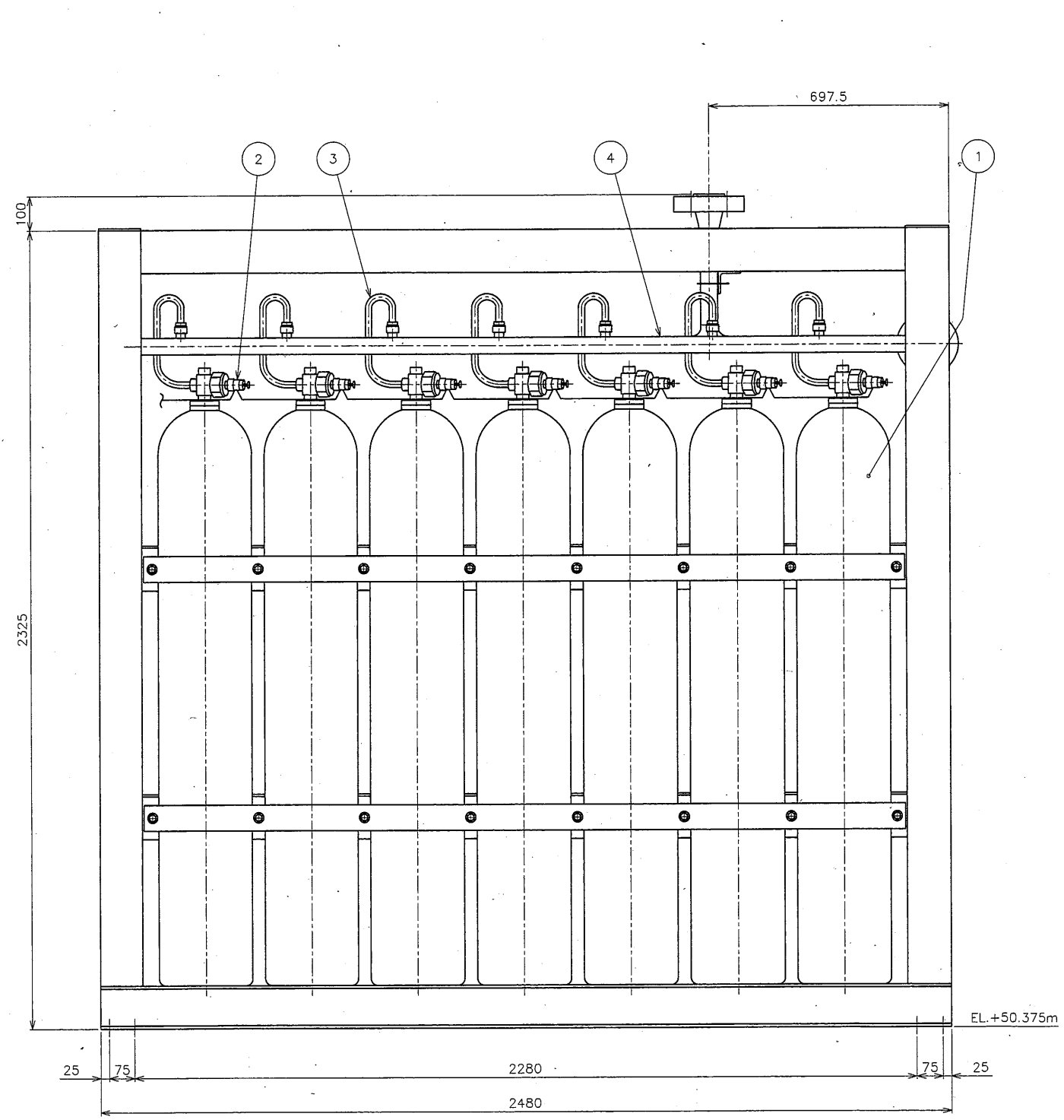
管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

最高使用圧力	MPa	15.0	
最高使用温度	℃	40	
運転圧力	通常	MPa	14.7
	最大	MPa	15.0
運転温度	通常	℃	常温
	最大	℃	40
耐震クラス	設計用	-	S
	官庁申請用	-	S
品質管理クラス	-	1	
流体の種類	-	窒素	
質量	kg	約 1350	
建屋区分	-	PA	
設置場所	-	428	
適用法規	-	高圧ガス保安法	
基数	基	1	

注記  
(1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

部品番号	名称	材料	数量	単位	備考
6	継手ボルト・ナットM16	SS400	8	組	
5	組件	SS400 STKR400	1	組	
4	集合管	SUS304TP	1	組	
3	連結管	C1220T	2	本	
2	容器弁開放装置	C3771	2	本	
1	窒素ガス貯蔵容器	70Lモリブデン鋼	2	本	

日本原燃株式会社殿  
MOX燃料工場  
防火設備(Q)  
GB消火装置  
GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-1-5外形図  
(0198-GU-115)



最高使用圧力	MPa	15.0	
最高使用温度	℃	40	
運転圧力	通常	MPa	14.7
	最大	MPa	15.0
運転温度	通常	℃	常温
	最大	℃	40
耐震クラス	設計用		S
	官庁申請用		S
品質重要度クラス			1
流体の種類			窒素
質量	kg		約 3230
建屋区分			PA
設置場所			差 42B
適用法規			高圧ガス保安法
基数			1

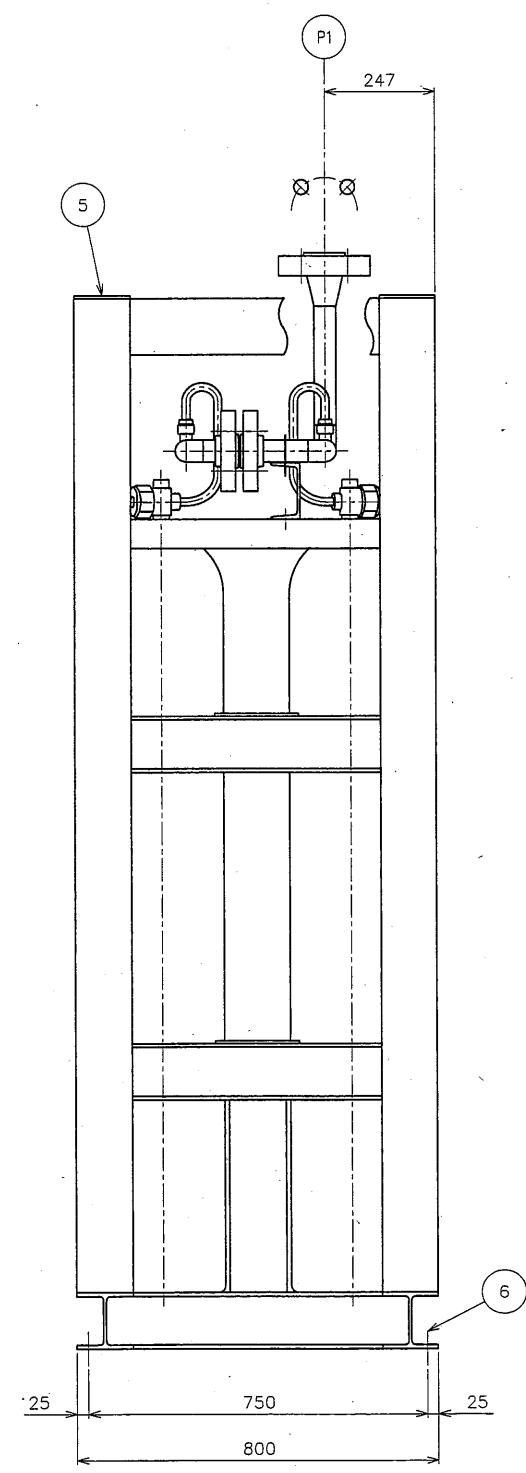
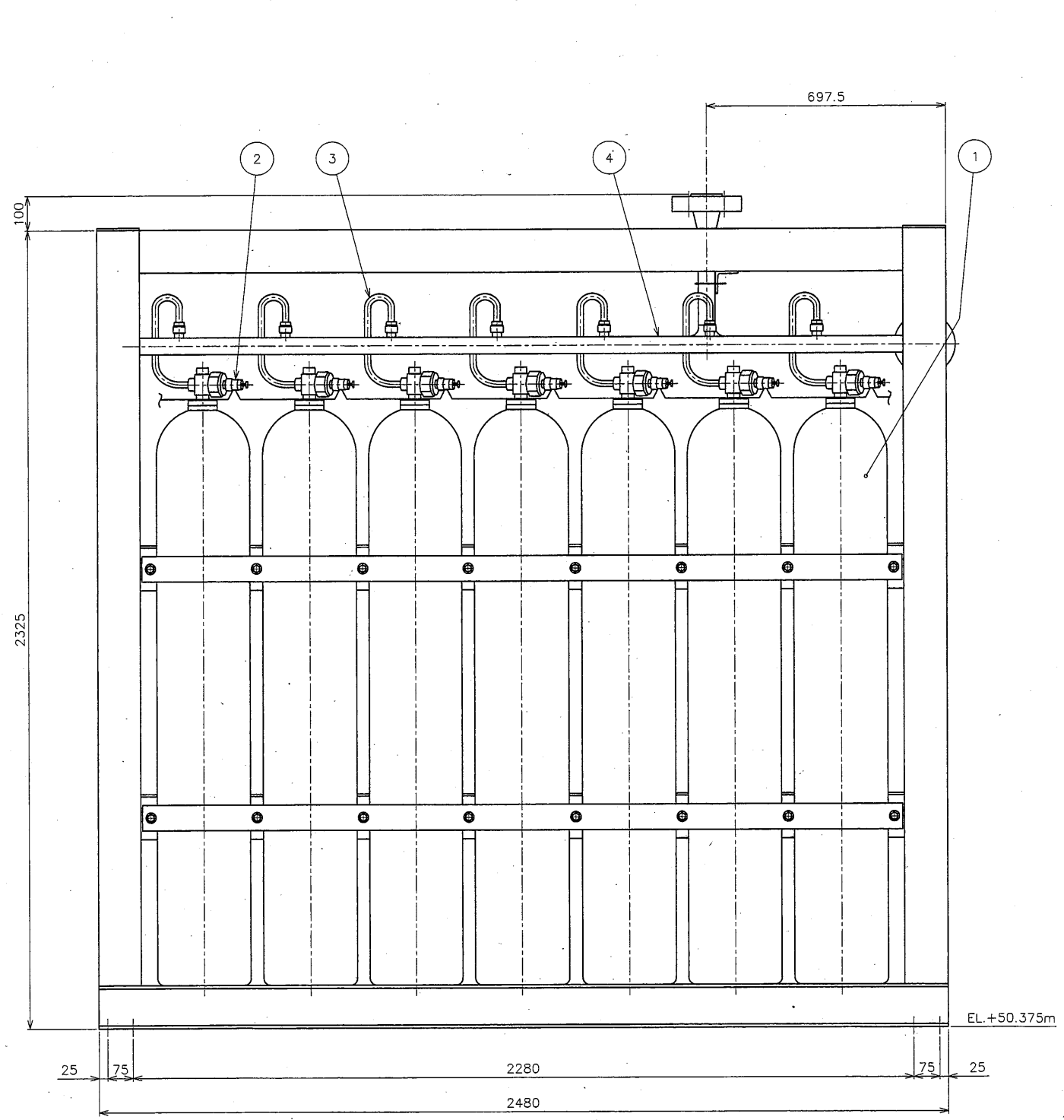
注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

子分	子分	番号	名称	材料	数量	1個重量 (kg)	合計重量 (kg)	備考
		6	締付ボルト・ナットM16	SS400	8組			
		5	組棒	SS400 STKR400	1組			
		4	集合管	SUS304TP	1組			
		3	連結管	C1220T	14			
		2	容器弁開放装置	C3771	14			
		1	窒素ガス貯蔵容器	クロムニッケル鋼	14			

日本原燃株式会社殿

MOX燃料工場  
 防火設備 (Q)  
 GB消火装置  
 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-1外形図  
 (0198-GU-121)



最高使用圧力	MPa	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 14.7
	最大	MPa 15.0
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質管理クラス		1
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3230
積層区分		PA
設置場所		428
適用法規		高圧ガス保安法
画数	基	1

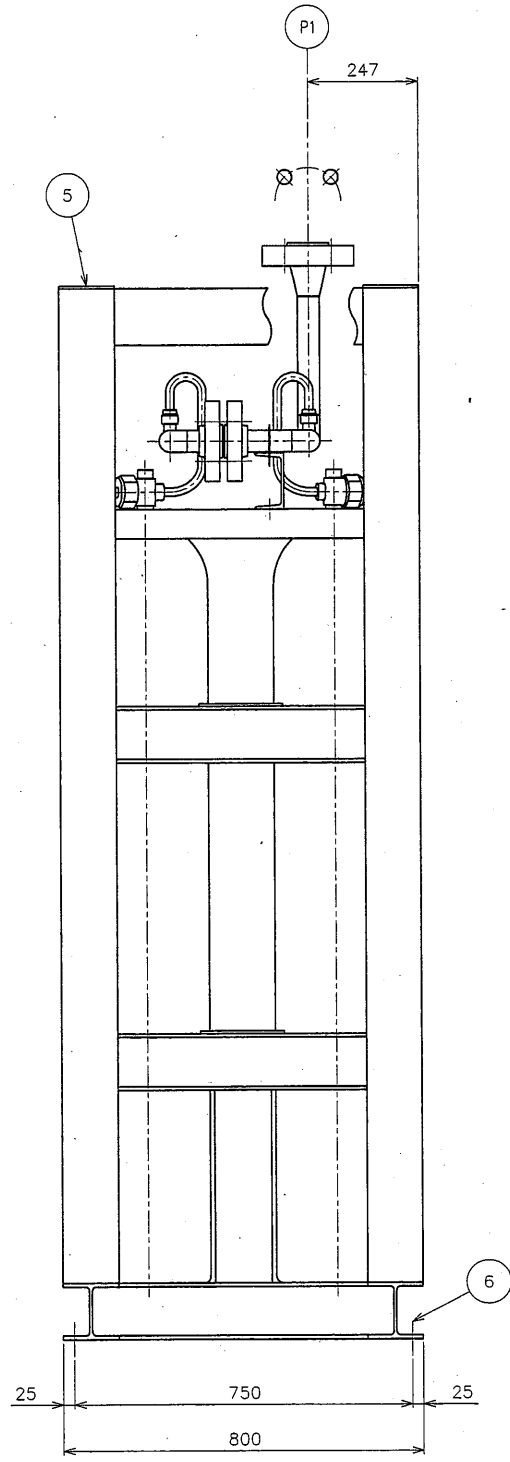
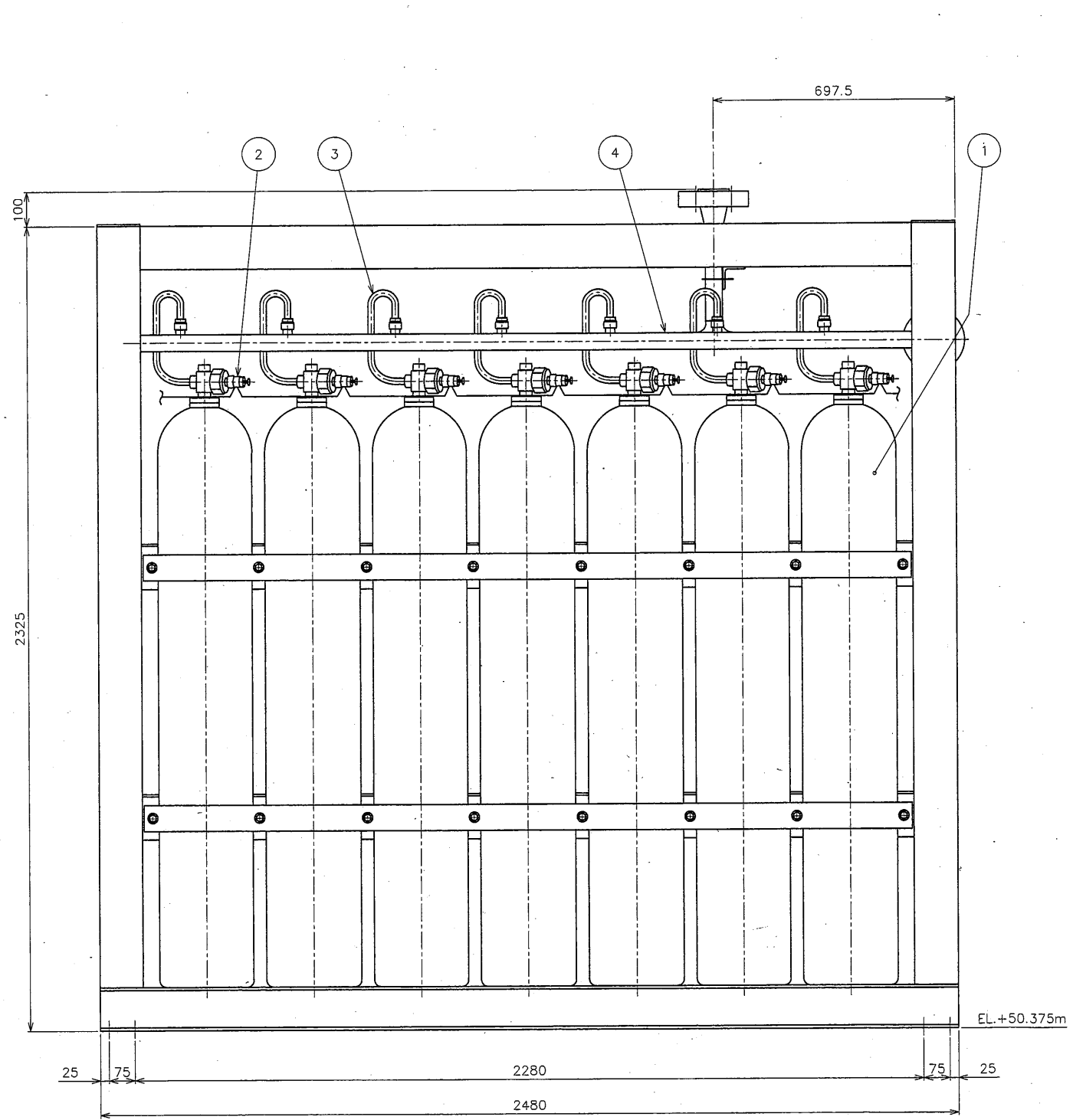
注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

品番	名称	材料	仕様	数量	単位	重量 (kg)	備考
6	配付ボルト・ナットM16	SS400		8	組		
5	組棒	SS400 STKR400		1	組		
4	集合管	SUS304TP		1	組		
3	連結管	C1220T		14			
2	容器弁開放装置	CS771		14			
7	窒素ガス貯蔵容器	クオムエリブジン鋼		14			

日本原燃株式会社殿

MOX燃料工場  
 防火設備 (Q)  
 GB消火装置  
 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-2外形図  
 (0198-GU-122)



最高使用圧力	MPa	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 14.7
	最大	MPa 15.0
運転温度	通常	常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質管理クラス		1
流体の種類		窒素
質量	kg	約 3230
積層区分		PA
設置場所		室内
適用法規		高圧ガス保安法
基数		1

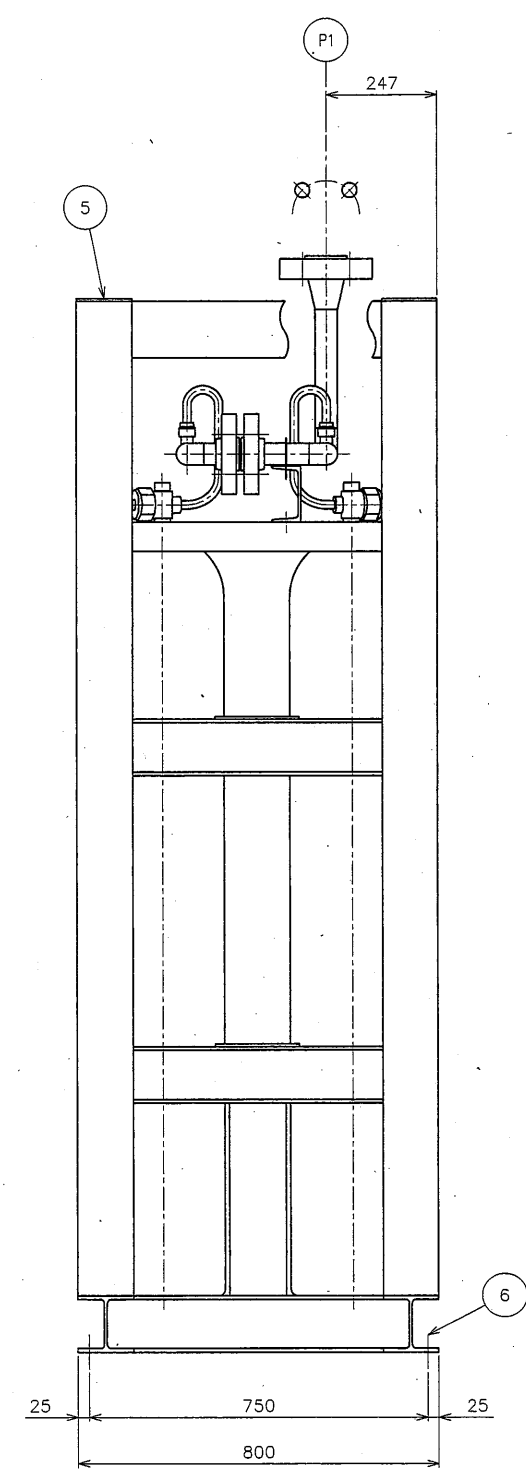
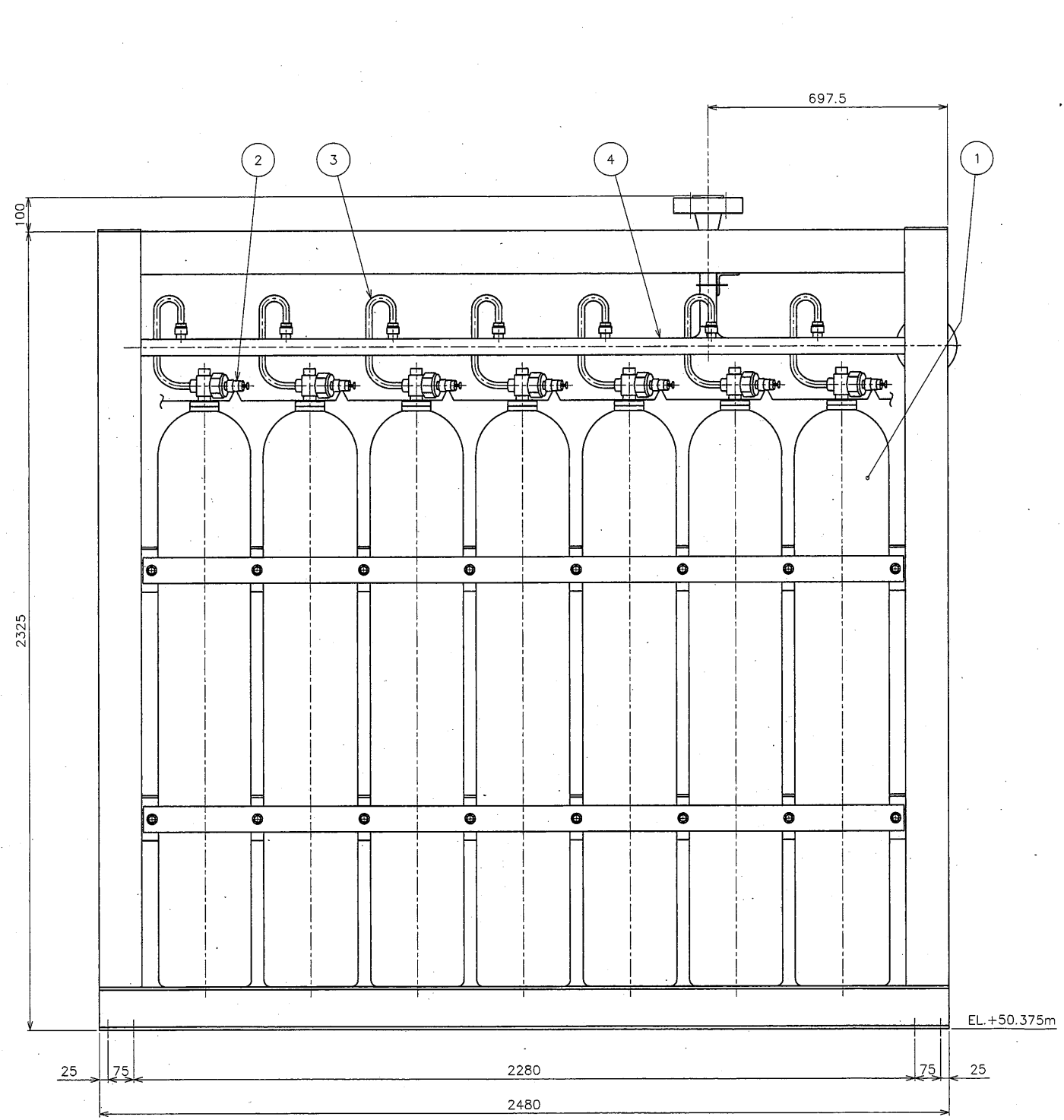
注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500lb-40A RF	SUSF304	

子	子	常	番	名	材	材	子	1	合	記	事
分	分	分	分	称	料	料	個	個	計	号	項
							数	数	重		
									(kg)		
	6			振付ボルト・ナットM16	SS400		8				
	5			組棒	SS400 STKR400		1				
	4			集合管	SUS304TP		1				
	3			連結管	C1220T		14				
	2			容器弁開放装置	C3771		14				
	8			1	窒素ガス貯蔵容器	クハレリブチン鋼	14				

日本原燃株式会社  
 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 GB防火装置  
 GB用火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-3外形図  
 (0198-GU-123)





要目表

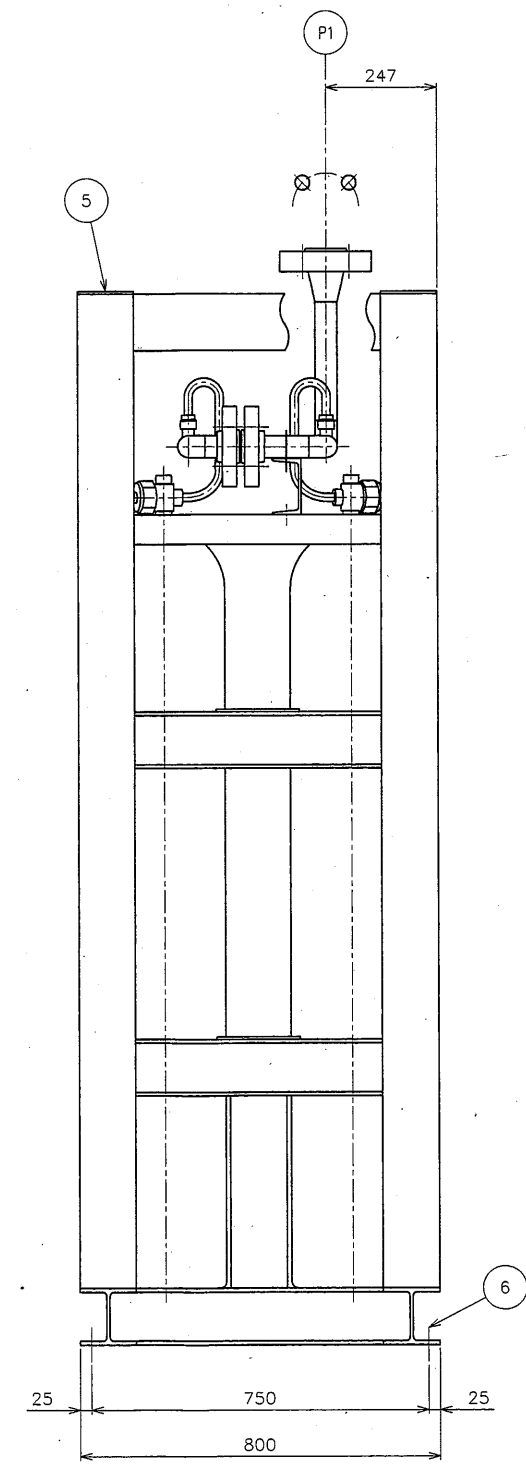
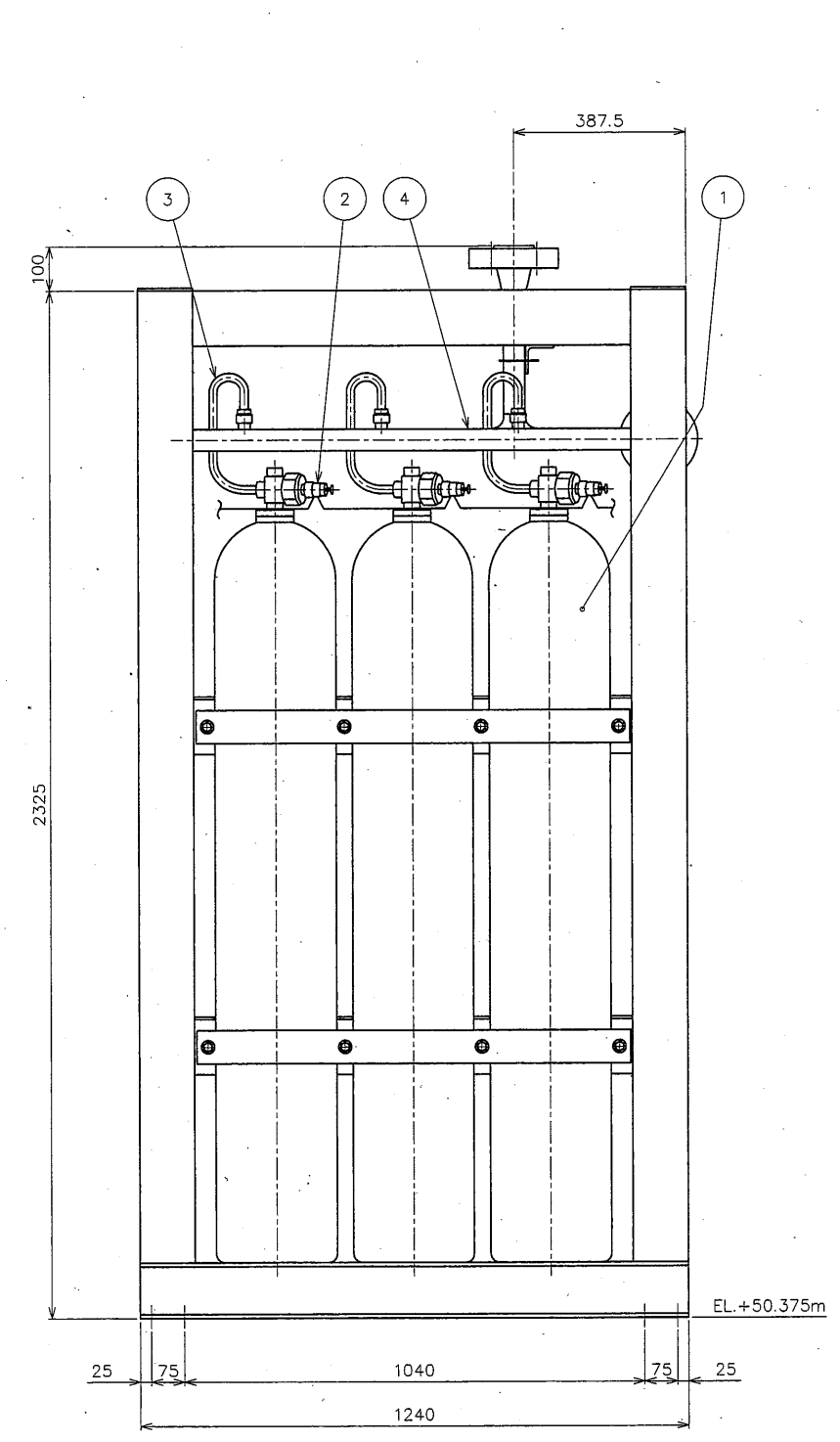
最高使用圧力	MPa	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 14.7
	最大	MPa 15.0
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質管理クラス	-	1
流体の種類	-	蒸気
質量	kg	約 3230
建屋区分	-	PA
設置場所	-	2B
適用法規	-	高圧ガス保安法
基数	-	1

注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	蒸気	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

部	品	名	材	料	数	重	備
分	分	称	質	種	量	(kg)	考
	6	継付ボルト・ナットM16	SS400		8組		
	5	継手	SS400 STKR400		1組		
	4	集合管	SUS304TP		1組		
	3	連結管	C1220T		14		
	2	容器取開放装置	C3771		14		
9	1	蒸気ガス貯蔵容器	クロムニッケル鋼		14		

日本原燃株式会社  
 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 GB消火装置  
 GB消火用蒸気ガス貯蔵容器ユニット-2-4外形図  
 (0198-GU-124)



管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

要目表			
最高使用圧力	MPa		15.0
最高使用温度	℃		40
運転圧力	通常	MPa	14.7
	最大	MPa	15.0
運転温度	通常	℃	常温
	最大	℃	40
耐震クラス	設計用		S
	官庁申請用		S
品質重要度クラス			1
流体の種類			窒素
質量	kg		約 1910
設置区分			PA
設置場所			228
適用法規			高圧ガス保安法
基効			1

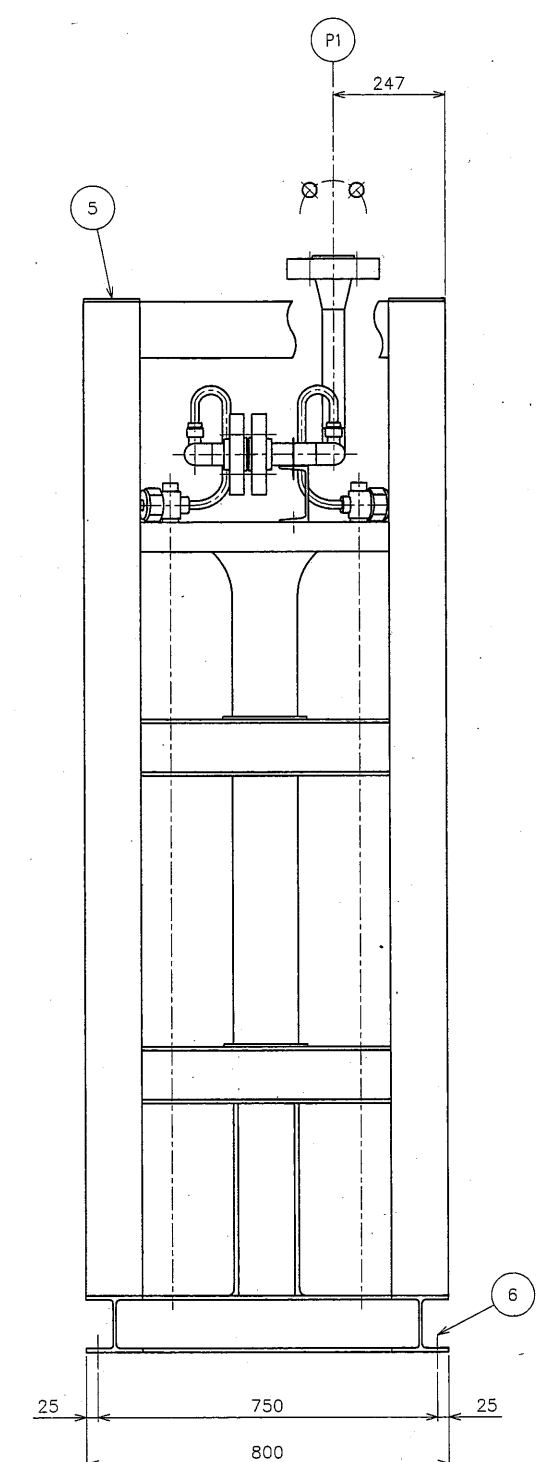
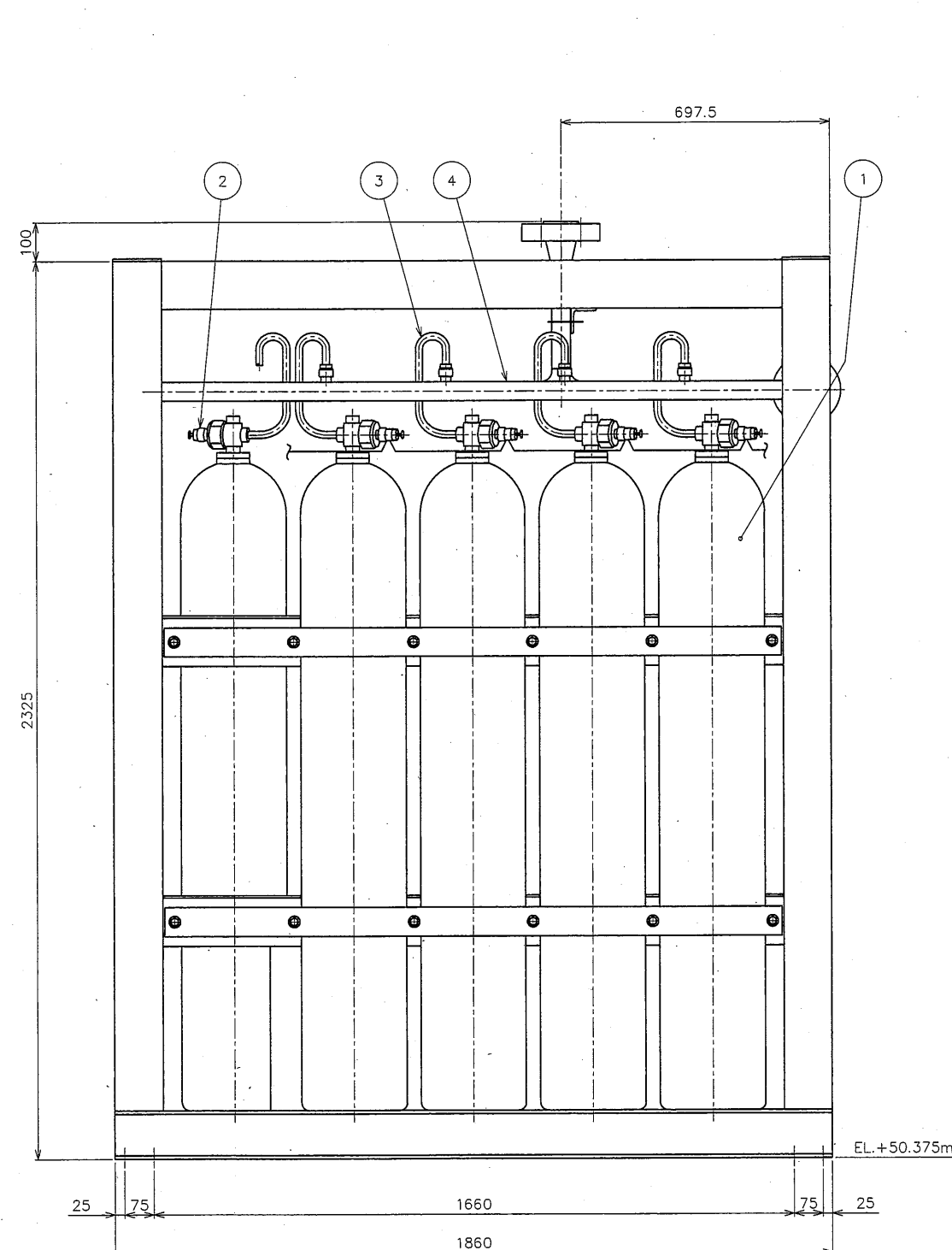
注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

6	副付ボルト・ナットM16	SS400	8組				
5	組枠	SS400-STKR400	1組				
4	集合管	SUS304TP	1組				
3	連結管	C1220T	6				
2	容器弁開放装置	C3771	6				
10	1	窒素ガス貯蔵容器	6				

予分	予分	予分	番号	名称	材料	数量	1個重量 (kg)	合計重量 (kg)	備考

日本原燃株式会社殿

10 MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 GB消火装置  
 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-2-5外形図  
 (0198-GU-125)



最高使用圧力	MPa	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 14.7
	最大	MPa 15.0
運転温度	通常	常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質管理クラス	-	1
流体の種類	-	窒素
質量	kg	約 2450
建屋区分	-	PA
設置場所	室	428
適用法規	-	-
基数	基	1

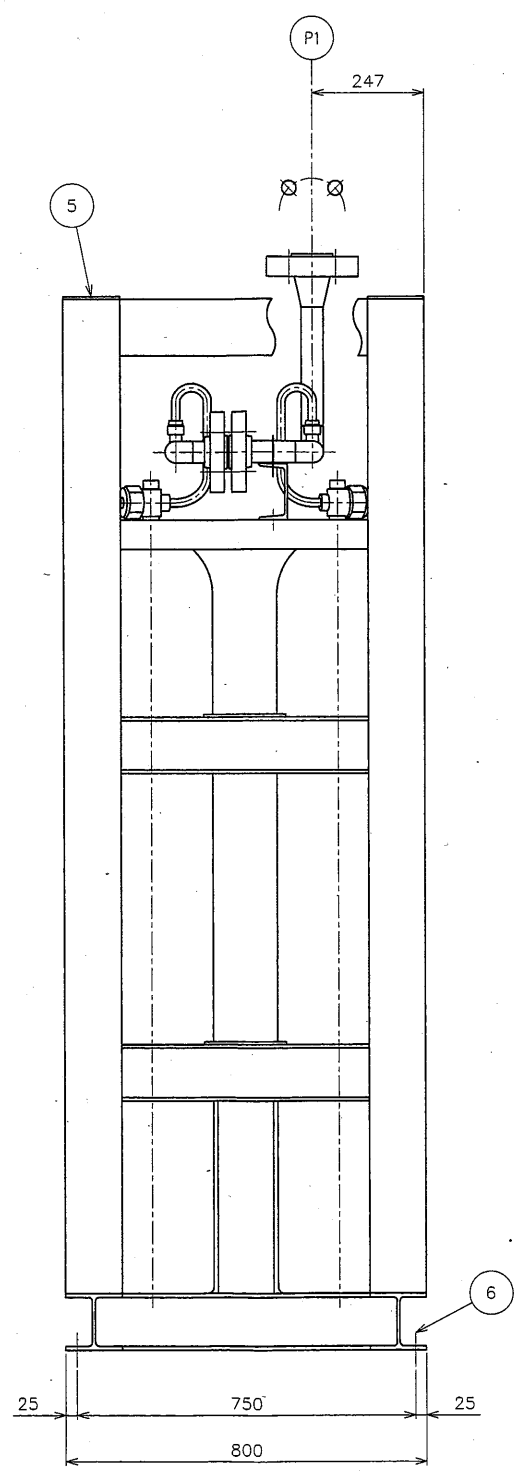
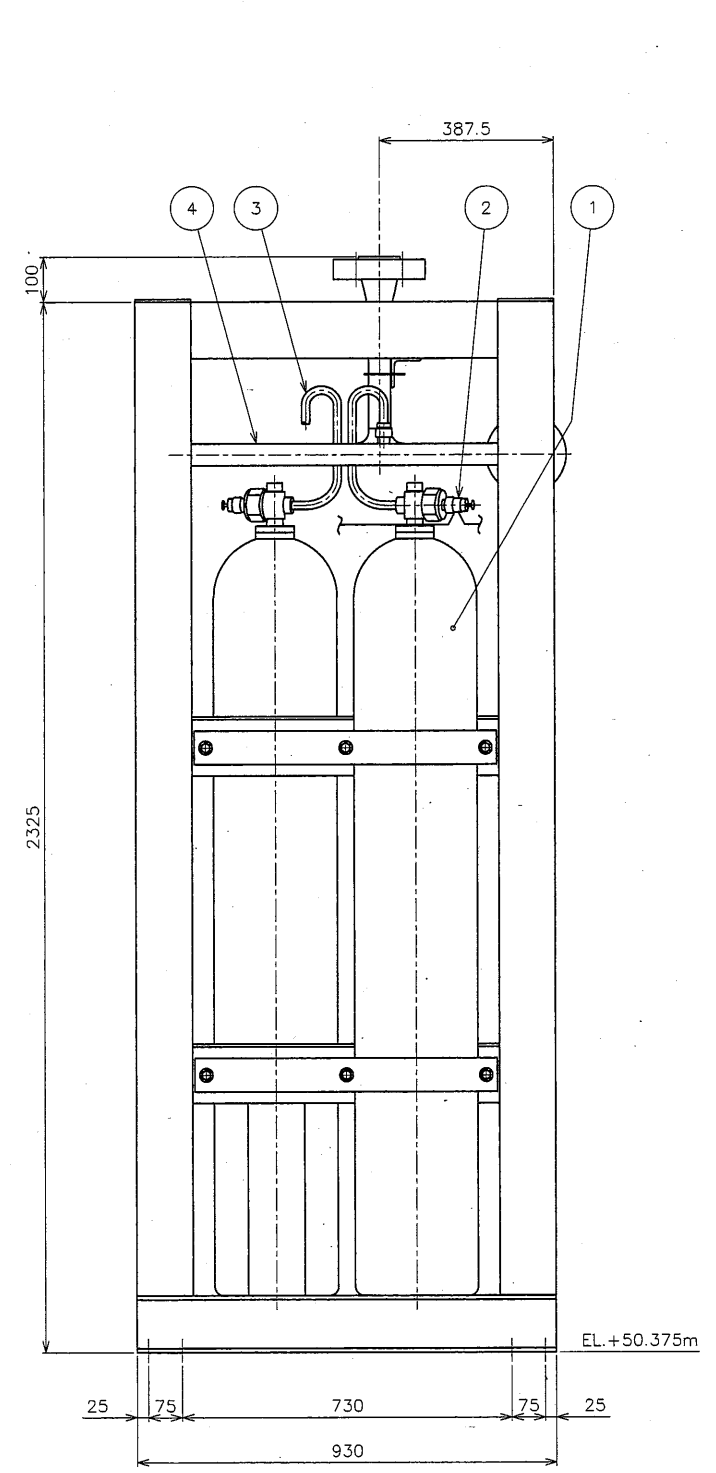
注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500lb-40A RF	SUSF304	

区分	番号	名称	材料	仕様	数量	重量 (kg)	備考
	6	緩付ボルト・ナットM16	SS400	8組			
	5	組棒	SS400 STKR400	1組			
	4	集合管	SUS304TP	1組			
	3	連結管	C1220T	9			
	2	容器弁開放装置	C3771	9			
	1	窒素ガス貯蔵容器	クローモリブチン鋼	9			

日本原燃株式会社殿

MOX燃料工場  
 防火設備 (Q)  
 GB消火装置  
 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-3外形図  
 (0198-GU-131)



最高使用圧力	MPa	15.0
最高使用温度	℃	40
運転圧力	通常	MPa 14.7
	最大	MPa 15.0
運転温度	通常	℃ 常温
	最大	℃ 40
耐震クラス	設計用	S
	官庁申請用	S
品質管理クラス		1
流体の種類		窒素
質量	kg	約 1470
建屋区分		PA
設置場所		釜 428
適用法規		-
基数		1

注記  
 (1) 塗装色は、「塗装要領書 PM-0100-4351-001 (PX-7102001)」による。

管台No.	管台名称	数量	流体名	管台仕様	材質	備考
P1	ガス出口	1	窒素	ANSI 2500Lb-40A RF	SUSF304	

品番	名称	材料	数量	単位	重量(kg)	備考
6	器具ボルト・ナットM16	SS400	8	組		
5	組棒	SS400 STKR400	1	組		
4	集合管	SUS304TP	1	組		
3	連結管	C1220T	3			
2	容器弁開放装置	C3771	3			
1	窒素ガス貯蔵容器	クォリモリブチン鋼	3			

日本原燃株式会社殿

MOX燃料工場  
 防火設備(Q)  
 GB消火装置  
 GB消火用窒素ガス貯蔵容器ユニット-4外形図  
 (0198-GU-141)

関連する基本設計方針（別紙 2）

11 条：火災等による損傷の防止

29 条：火災等による損傷の防止

項目番号	基本設計方針	要求種別	主な設備	展開事項	第1回申請				第2回申請				第3回申請				第4回申請			
					説明対象	申請対象設備 (2項変更①)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更②)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更③)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (2項変更④)	仕様表	説明対象	申請対象設備 (1項新規③)	仕様表	
6	火災及び爆発の影響軽減対策が必要な火災防護上重要な機器等を設置する火災区域は、3時間以上の耐火能力を有する耐火壁(耐火隔壁、耐火シール、防火扉、延焼防止ダンパ等)として、3時間耐火に設計し、必要なら150mm以上の壁厚を有するコンクリート壁や耐火試験により3時間以上の耐火能力を有する耐火壁、天井及び床により隣接する他の火災区域と分離する。【機能要求②】火災区域又は火災区域からの煙の流入防止を目的として、煙等流入防止装置を設置する設計とする。	機能要求② 設置要求	施設共通 基本設計方針 火災区域構造物	設計方針 (火災区域の設定) 設計方針 (影響軽減)	○	施設共通 基本設計方針 火災区域構造物	<火災区域構造物> 名称、種類、主要寸法、材料	○	-	火災影響軽減設備 延焼防止ダンパ 防火シャッタ 等	<火災区域構造物> 名称、種類、主要寸法、材料	○	-	火災影響軽減設備 防火シャッタ	-	○	-	施設共通 基本設計方針 (耐火シール等)	-	
25	また、焼結炉等では、温度異常に伴う炉内への空気混入を防止するため、熱的制限値を設定し、温度制御機器により焼結時の温度を制御するとともに、炉内温度が熱的制限値を超えないよう過加熱防止回路により炉内の加熱を自動で停止する設計とする。	機能要求②	過加熱防止回路	設計方針 (発生防止)	-	-	-	-	-	成形施設 予備混合装置GB 等	成形施設 均一混合装置GB	-	-	-	-	-	-	-	-	
96	a. 消火設備の消火剤の容量 消火設備は、想定される火災の性質に応じた十分な容量として、消防法施行規則及び試験結果に基づき算出した消火剤容量を配備する設計とする。	機能要求②	消火設備	設計方針 (火災の消火)	-	-	-	-	-	消火設備 GB消火装置 窒素消火装置 二酸化炭素消火装置	<ボンベ> 名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数、取付箇所 <配管> 名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ、材料	-	-	-	-	-	-	消火設備 消火用水槽 ろ過水貯槽	<タンク> 名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数、取付箇所 <ポンプ・原動機> 名称、種類、容量、揚程、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数、取付箇所 <配管> 名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ、材料	
97	ただし、グローブボックス内の消火を行う不活性ガス消火装置(グローブボックス消火装置)については、グローブボックスの給気量を下回るようにはせずに、消火剤を放出するとともに、消火ガス放出開始から5分で放出を完了できる設計とする。 また、複数連結したグローブボックスについては、消火ガスの放出単位を設定し、その放出単位の給気量の合計値に対して95%の消火ガスを放出するとともに、消火ガス放出開始から所定の時間で放出を完了できる設計とし、消火剤容量は最も大きな放出単位を消火できる量以上を配備する。	設置要求 機能要求②	消火設備 GB消火装置	設計方針 (火災の消火)	-	-	-	-	-	消火設備 GB消火装置	<ボンベ> 名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数、取付箇所 <配管> 名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ、材料	-	-	-	-	-	-	-	-	
98	消火用水供給系の水源は、消防法施行令及び防火設備の取組に関する規則に基づくとともに、2時間の最大放水量に対し十分な容量を有する設計とする。 また、緊急時対策建屋の消火用水供給系の水源は、消防法施行令に基づくとともに、2時間の最大放水量に対し十分な容量を有する設計とする。	機能要求②	消火設備	設計方針 (火災の消火)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	防火水槽	<タンク> 名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数、取付箇所	○	-	-	消火設備 消火用水槽 ろ過水貯槽	<タンク> 名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数、取付箇所
99	b. 消火設備の系統構成 (a) 消火用水供給系の多重性又は多様性 消火用水供給系の水源として、ろ過水貯槽(再処理施設、廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))及び消火用水貯槽(再処理施設、廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))を設置し、【機能要求①】及び【機能要求②】を有する設計とする。 緊急時対策建屋の消火用水供給系の水源は、消火用水貯槽(再処理施設、廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))を2基設ける設計とする。また、緊急時対策建屋の消火用水供給系の水源は、消火用水貯槽(再処理施設、廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))を2基設ける設計とする。また、緊急時対策建屋の消火用水供給系の水源は、消火用水貯槽(再処理施設、廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))を2基設ける設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	消火設備	設計方針 (火災の消火)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	消火設備 消火用水槽 ろ過水貯槽	<タンク> 名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数、取付箇所 <ポンプ・原動機> 名称、種類、容量、揚程、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数、取付箇所 <配管> 名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ、材料
100	消火用水系の消火ポンプは、必要量を確保可能な電動機駆動消火ポンプ(再処理施設、廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))に加え、【機能要求①】及び【機能要求②】を有するディーゼル駆動消火ポンプ(再処理施設、廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))を1台ずつ設置すること、多様性を有する設計とする。また、消火配管内を加圧状態に保持するため、機器の単一故障を想定し、圧力調整用消火ポンプ(再処理施設、廃棄物管理施設と共用(以下同じ。))を2基設ける設計とする。また、緊急時対策建屋の消火ポンプは電動機駆動消火ポンプを2台設置することで、多重性を有する設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	消火設備 圧力調整用消火ポンプ、 ディーゼル駆動消火ポンプ、 電動機駆動消火ポンプ	設計方針 (火災の消火)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	消火設備 電動機駆動消火ポンプ 【機能要求②】 消火設備 圧力調整用消火ポンプ ディーゼル駆動消火ポンプ	<ポンプ・原動機> 名称、種類、容量、揚程、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数、取付箇所 <配管> 名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ、材料
126	(a) 3時間以上の耐火能力を有する隔壁等による分離 系統分離し配置している火災防護上の系統分離対策を講じる安重機能を有する機器等は、火災耐久試験により3時間以上の耐火能力を確認した、【機能要求②】を有する設計とする。	設置要求 機能要求② 評価要求	施設共通 基本設計方針 (GB排風機、非常用発電機を有する機器等は、火災耐久試験により3時間以上の耐火能力を確認した、【機能要求②】を有する設計とする)	基本方針 設計方針 (影響軽減) 評価方法 (影響軽減) 評価 (影響軽減)	○	【施設共通 基本設計方針】 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁(耐火隔壁、貫通部シール、防火扉、防火ダンパ等) 【機能要求②】 【施設共通基本設計方針】 3時間以上の耐火能力を有する隔壁等	<火災区域構造物> 名称、種類、主要寸法、材料	○	【施設共通 基本設計方針】 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁(耐火隔壁、貫通部シール、防火扉、防火ダンパ等)	【施設共通 基本設計方針】 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁(耐火隔壁、貫通部シール、防火扉、防火ダンパ等)	【施設共通 基本設計方針】 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁(耐火隔壁、貫通部シール、防火扉、防火ダンパ等)	【施設共通 基本設計方針】 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁(耐火隔壁、貫通部シール、防火扉、防火ダンパ等)	【施設共通 基本設計方針】 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁(耐火隔壁、貫通部シール、防火扉、防火ダンパ等)	【施設共通 基本設計方針】 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁(耐火隔壁、貫通部シール、防火扉、防火ダンパ等)	【施設共通 基本設計方針】 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁(耐火隔壁、貫通部シール、防火扉、防火ダンパ等)	【施設共通 基本設計方針】 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁(耐火隔壁、貫通部シール、防火扉、防火ダンパ等)	【施設共通 基本設計方針】 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁(耐火隔壁、貫通部シール、防火扉、防火ダンパ等)	【施設共通 基本設計方針】 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁(耐火隔壁、貫通部シール、防火扉、防火ダンパ等)	【施設共通 基本設計方針】 3時間以上の耐火能力を有する耐火壁(耐火隔壁、貫通部シール、防火扉、防火ダンパ等)	
127	(b) 水平距離6m以上の離隔距離の確保、火災感知設備及び自動消火設備の設置による分離 互いに相違する系列の火災防護上の系統分離対策を講じる設備は、水平距離間には設置するものを含め可燃性物質が存在しないようにし、系列間を6m以上の離隔距離により分離する設計とし、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置することで系統間を分離する設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	基本方針、GB排風機、火災感知設備、消火設備(窒素消火装置)	基本方針 設計方針 (影響軽減)	○	基本方針	-	○	-	GB排風機 【機能要求②】 消火設備 窒素消火装置	<ボンベ> 名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数、取付箇所 <配管> 名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ、材料	○	-	火災感知設備 自動火災報知設備	-	-	-	-	-	
128	(c) 1時間耐火隔壁による分離、火災感知設備及び自動消火設備の設置による分離 互いに相違する系列の火災防護上の系統分離対策を講じる設備を1時間の耐火能力を有する隔壁で分離し、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置することで系統間を分離する設計とする。	設置要求 機能要求① 機能要求② 評価要求	基本方針、非常用発電機(燃料移送ポンプ)、火災感知設備、消火設備(二酸化炭素消火装置)	基本方針 設計方針 (影響軽減) 評価方法 (影響軽減) 評価 (影響軽減)	○	基本方針	-	○	-	【機能要求②】 消火設備 二酸化炭素消火装置	<ボンベ> 名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数、取付箇所 <配管> 名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ、材料	○	-	燃料移送ポンプ 火災感知設備 自動火災報知設備	-	-	-	-	-	
130	(h) 中央監視室床下での影響軽減対策 中央監視室の床下に関しては、「3時間以上の耐火能力を有する隔壁等で分離された設計」、「互いに相違する系列間の水平距離が6m以上あり、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置する設計」、又は「1時間の耐火能力を有する隔壁等で互いの系列間を分離し、かつ、火災感知設備及び自動消火設備を設置する設計」とする。	設置要求 機能要求① 機能要求②	基本方針、GB排風機、非常用電源設備、火災感知設備、窒素消火装置	基本方針 設計方針 (影響軽減)	○	【設置要求】 基本方針	-	○	-	GB排風機 【機能要求②】 窒素消火装置	<ボンベ> 名称、種類、容量、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数、取付箇所 <配管> 名称、最高使用圧力、最高使用温度、外径、厚さ、材料	○	-	非常用発電機の系統 火災感知設備 自動火災報知設備	-	-	-	-	-	